

図面 No.	図面名称	縮尺
00	図面リスト	
T-01	特記仕様書(1)	
T-02	特記仕様書(2)	
T-03	特記仕様書(3)	
T-04	特記仕様書(4)	
T-05	特記仕様書(5)	
T-06	特記仕様書(6)	
D-01	案内図・配置図	1/200
D-02	求積表	1/200
D-03	仕上表	
D-04	1階平面図	1/120
D-05	立面図(1)	1/100
D-06	立面図(2)	1/100
D-07	断面図	1/100
D-08	矩計図	1/50
D-09	展開図(1)	1/50
D-10	展開図(2)	1/50
D-11	展開図(3)	1/50
D-12-1	既存 キープラン	1/120
D-12	キープラン	1/100
D-13-1	既存 建具表	1/100
D-13	建具表	1/100
D-14	カーテン・手摺・コーナーガード図	1/100
D-15	家具図	1/100
D-16	サイン配置図	1/100
D-17	サイン詳細図	
D-18	既存外構図	1/250
D-19	外構図	1/250

図面 No.	図面名称	縮尺
F-01	基礎伏図	1/100
F-02	1階床伏図	1/100
F-03	小屋伏図	1/100
F-04	軸組図	1/100
F-05	N値計算図	1/100
S-01	構造特記仕様書	
S-02	鉄筋工事仕様書 No.1	
S-03	鉄筋工事仕様書 No.2	
S-04	基礎・壁・床伏図	1/100
S-05	軸組図	1/100
S-06	配筋リスト	1/30
S-07	壁配筋詳細図	1/50
S-08	軸組詳細図	1/50
E-01	電気設備工事仕様書	
E-02	配置図	1/100
E-03	屋外キュービクル結線図・参考姿図	
E-04	既存分電盤結線図	
E-05	分電盤結線図	
E-06	動力盤結線図	
E-07	幹線・動力設備平面図	1/100
E-08	コンセント設備図	1/100
E-09	照明器具参考姿図	
E-10	電灯設備平面図	1/100
E-11	誘導灯系統図・姿図	
E-12	誘導灯・非常照明設備平面図	1/100

図面 No.	図面名称	縮尺
E-13	弱電機器参考姿図	
E-14	弱電設備系統図	
E-15	電話設備平面図	1/100
E-16	L A N・T V設備平面図	1/100
E-17	電気錠設備平面図	1/100
E-18	自動火災報知設備系統図	
E-19	自動火災報知設備平面図	1/100
E-20	ナースコール設備平面図	1/100
M-01	給排水衛生ガス設備工事特記仕様書(1)	
M-02	給排水衛生ガス設備工事特記仕様書(2)	
M-03	空調和設備工事特記仕様書(1)	
M-04	空調和設備工事特記仕様書(2)	
M-05	衛生設備 凡例・機器表・器具表	
M-06	給排水衛生設備 勾配図・柵リスト(汚水)	1/100
M-07	給排水衛生設備 勾配図・柵リスト(雨水)	1/100
M-08	既存給排水衛生設備 平面図	1/100
M-09	給排水衛生設備 平面図	1/100
M-10-1	既存 スプリンクラー設備 凡例、配管系統図	
M-10	スプリンクラー設備 凡例、配管系統図	
M-11-1	既存 スプリンクラー設備 平面図	1/100
M-11	スプリンクラー設備 平面図	1/100
M-12	アイソメ図・計算書	
M-13	既存 空調換気設備 機器表	
M-13-1	空調換気設備 機器表	
M-14	空調設備 平面図	1/100
M-15-1	既存 換気設備 平面図	1/120
M-15	換気設備 平面図	1/100

特記仕様書

1 工事概要

- 1. 工事場所 福山市地吹町2159-1・12、2162-4・7、2150-2、2149-4の一部、2162-1・8の一部
2. 建築概要 用地地域：近隣商業地域 防火地域：準防火地域
敷地面積：1,331.38 m²
建築面積：697.77 m² (建蔽率 52.41 % < 有効建蔽率 80 %)
増築部分：205.01 m²
延床面積：691.36 m² (容積率 51.93 % < 有効容積率 240 %)
増築部分：202.64 m²
3. 工事種目 建築主体工事
電気設備工事
給排水衛生設備工事
空調・換気設備工事
消化設備工事
外構工事
4. 注意事項
(1) 諸手続：施工業者に於いて遅滞なく行う事、またその費用は施工業者の負担とする。
(2) 施工図：着工に先立ち、施工図・製作図・原寸図の作成は、設計者の指示により速やかに作成し、承認を受けるものとする。
(3) 請負者負担：設計図及び仕様書に示されていない部分で、施工上欠くことのできないものについては請負者の負担とする。
(4) 検査・立合：工事段階の区切り目及び事前に係員の指示箇所については、施工検査を受け、承認がなければ次の作業を進めてはならない。
(5) 保証：工事完了後2年以内に生じた施工上及び使用材料の不良に依る損傷及び破損箇所は、直に施工業者の負担に於いて無償で速やかに補修のこと。

2 建築工事仕様

- 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標仕」という。)に依る。
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は◎印のついたものを適用する。
◎印のない場合は、※印のあるものを適用する。
◎印と※印のある場合は、ともに適用する。
(3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律(グリーン購入法)」の特定調達品目を示す。
(5) 材料および製造所の記載順序は不同である。

1 一般共通事項

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like ① 適用基準等, ② 設計図書の優先順位, ③ 電気担当技術者, ④ 発生材の処理, ⑤ 環境への配慮, ⑥ 建築材料等, ⑦ 特別な材料の工法, ⑧ 技能士.

⑨ 化学物質の濃度測定

施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、(1.5.9) スチレンの濃度を測定し、報告する。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定 ※行わない ○行う
測定対象室 ○図示 ○
測定箇所数 ○図示 ○
報告の様式等については、現場説明書による。

⑩ 完成時の提出図書

(1.7.1~3) (表1.7.1)
※完成図 提出部数 ※各2部 ○部 (第二原図及び電子媒体(CD-R))
※施行計画書 提出部数 ※1部 ○部
※施行図 提出部数 ※1部 ○部
※保全に関する資料 提出部数 ※1部 ○部

⑪ 工事写真

下記のものを監理者に提出する。
工事中写真の撮影は「営繕工事写真作成要領」によるものとする。
(1) 工程写真
工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真(カラー・サービス版)を期間別工事工程報告書に添付するものとする。
(2) 工事中写真
水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査または確認することが出来なくなる部分は、その他監督員の指示する箇所はA4版写真台紙(カラー・サービス版)にまとめて、完成検査日までに1部提出するものとする。
(3) 完成写真
建物外觀各方向主要箇所及び主要室内、その他監理者の指示する箇所(カラー・8切り同等以上)提出部数 全紙バネル 箇所2部 アルバム 箇所2部 (表紙、再表紙に監督職員の指示により工事名称等を印字すること)
(4) その他の写真
隣接建物等に損傷のおそれのある場合は、施工前、施工後の写真(カラー・キャビネ版)を監理者の指示により提出するものとする。
(5) 保管
工事写真のネガは工事完成後、請負者において2年間保管するものとする。
完成写真の撮影業者 ※ 監理者の承諾する撮影業者
(6) 電子データ
RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて2部提出する。

⑫ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる旅行図を提出して、監督職員の承認を受ける。

⑬ 統括安全衛生管理義務者の指名

労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。
請負者は本契約後直ちに「統括安全衛生管理者選任届出書」(任意様式)を提出すること。

⑭ 工程報告

期間中は週1回以上電話またはその他の手段にて報告すること。

⑮ 保証書

Table with 4 columns: 工事区分, 材料名, 保証年数, 備考. Includes items like 防水工事, 屋根工事, 防蟻工事, 特殊床工事, 植栽工事, その他.

2 仮設工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 監督員事務所, 2 工事用水, 3 工事用電力, 4 仮囲い等の安全施設.

3 土工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 埋めもどし及び盛り土, 2 残土処分, 3 整地, 4 地盤改良.

4 地業工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 試験くい, 2 既製コンクリートくい及び網くい地業, 3 場所打ちコンクリートくい地業, 4 砂利地業, 5 捨コンクリート地業, 6 土間防湿層, 7 接地部分の断熱材, 8 柱状改良.

5 鉄筋工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 鉄筋の種類別, 2 溶接金網, 3 材料試験, 4 鉄筋の継手, 5 耐久上不利な箇所などの鉄筋のかぶり厚さ, 6 帯筋, 7 はり貫通孔補強, 8 圧接完了後の検査.

6 コンクリート工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 設計基準強度, 2 レデミクストコンクリートの種別, 3 コンクリートの仕上がり, 4 床コンクリートこて仕上げ, 5 セメントの種類別, 6 骨材, 7 細骨材の塩分含有量, 8 混和材料, 9 コンクリート中の塩化物量, 10 打継部止水板, 11 型枠のせき板の種類, 12 コンクリートの強度試験.

13	無筋コンクリート	粗骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水押さえコンクリートの場合) (6.14.1) (6.14.2) ※ 25mm 適用箇所 ※ 6.14.1(c) による ○ 下表による (6.9.3)	2	改質アスファルトシート防水	断熱工法の断熱材 (9.2.2) ※ 押出法ポリスチレンフォーム3種 b スキン層付き <input checked="" type="checkbox"/> 厚さ (mm) ※ 25 ○ 厚さ (mm) ○	4	あと張り工法	タイルの見焼 ※ 行わない ○ 行う ( ) 製造所 ※ 監理者の承諾する製造所 保水剤 製造所 信越化学工業 (h i m e t r o z) 、松本油脂製薬 (マ-ポロ-ズエ-ス) 既製調合モルタル ※ 使用しない ○ 使用する (製造所 )
	14	水密コンクリート		種別 普通コンクリート ○ 15 ○ 18 捨てコンクリート 防水押さえ 軽量コンクリート ○ 15 ○ 18 発注強度 ※ 15 N/mm <sup>2</sup> 以上	防水層の種類 (9.3.2~4) (表9.3.1)		立上り部の保護材 (9.2.2) ※ 乾式保護材 ※ 押出成形セメント板 (厚さ15mm) ○ ○ レンガ ※ J I S R 1 2 5 0 によるもの ○ 市販品のれんが又は市販品のれんが型コンクリートブロック (見え隠れ部分) ○ コンクリート	壁タイル張りの工法 (11.3.3) (表11.3.2) 内装タイル ※ 壁タイル接着剤張り ○ 改良槽上げ張り 外装タイル ※ 密着張り ○ 改良槽上げ張り ○ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ○ マスク張り ○ ゴザイクタイル張り 躯体表面の処理 ○ 行わない ※ 行う (施行範囲 ※ 図示 ○ ) (11.3.3) 躯体表面の処理方法 MCR工法又は自荒し工法 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、 仕上り面凹凸状態とする。 (6.9.3.4) 自荒し工法 (高圧水洗) を行う場合は、水圧50N/mm <sup>2</sup> 以上、かつ、2.5分/m <sup>2</sup> とし、 施行計画書を監督職員に提出し承認を受けること。また、自荒しの状態は、事前に監督職員に 承認を受けること。 (15.2.4)
7 鉄骨工事								
1	鉄骨製作工場	※ 監理者の承諾する製作所 Mグレード以上 ○ 建設省告示第1103号の基準に適合するもの。 (7.1.3)	3	合成高分子ルーフィング防水	防水層の種類 (9.4.2.3) (表9.4.1)	5	型枠先付け工法	下地モルタル塗り ※ 標仕15.2.2~15.2.5 ○ (15.2.2~5) タイルの試験張り ※ 行わない ○ 行う (※ 外壁タイル ○ ) (11.2.1)
2	施行管理技術者	○ 適用する (7.1.4)		防水層の種類 (9.5.2.3) (表9.5.1.2)	型枠の種類 ○ X-1 屋上 仕上塗料塗り ○ X-2 ○ シルバー ○ カラー ○ Y-1 ※ 地下外壁防水 ○ Y-2 工法の保護シート ○ Y-2 ※ 屋内防水 ※ 適用する ○ 適用しない		種別 (11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)	
3	鋼材	※ 構造図仕様書による J I S規格同等品の場合 ※ 試験を行う ○ 試験を行わない (7.2.1)	4	塗膜防水	断気装置 種類・材質 数量	12	木工事	種別 (11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)
4	高カボルト	※ 構造図仕様書による (7.2.2)		シーリング用材料 (9.6.2) (表9.6.1)	造作用集材 (1.2.2.2)		種別 ※ タイルシート法 ○ 小口タイル ※ 標仕6.9.3 [材料] (b) (2) 又は ○ 目地併法 ○ 二丁掛タイル 金属製タイル先付け用パネル ○ 積木法 大型タイル ○	
5	ターンバックル	鋼の種類 ※ 割棒式 ○ バイプ式 (7.2.6) ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト	5	シ-リング用材料	シーリング材の種類 ※ 下記以外は、標仕表9.6.1による (9.6.2) (表9.6.1)	1	造作用集材	単材の樹種及び厚さ (1.2.2.2)
6	溶接部の試験	※ 構造図仕様書による (7.6.11)		サイディング目地 P U - 2 ポリウレタン系	化粧板の樹種及び厚さ (1.2.2.2)		種別 ※ タイルシート法 ○ 小口タイル ※ 標仕6.9.3 [材料] (b) (2) 又は ○ 目地併法 ○ 二丁掛タイル 金属製タイル先付け用パネル ○ 積木法 大型タイル ○	
7	錆止め塗料	※ 構造図仕様書による (7.8.1)	6	漏水試験	接着性試験 ※ 簡易接着性試験 (9.6.5) ○ 引張接着性試験 (部位: )	2	接着剤	※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (1.2.2.6) ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂 (以下「ユリア樹脂等」という) 又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種
8	耐火被覆	種別 (7.9.2) ○ ラス張りモルタル塗り ○ 耐火板張り ○ 耐火被覆材吹付け (※ 乾式工法 ○ 湿式工法)		アルミ製 L=30×10×1.2 ○	防錆処理 ※ 行う (※ 標仕1.2.2.8(c) による ○ 図示 ) (1.2.1.8) 防錆処理 ○ 行う (※ 図示 ○ ) (1.2.1.9) 防錆、防錆処理剤の種類及び品質 (1.2.1.8) 表面処理用木材保存剤 (防錆・防錆剤) は監督職員の承諾するものとする。			
9	アンカーボルトの保持及び埋込工法	種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 (7.10.3)	7	防水押さえ金物	屋内については水漬試験を行う。	3	防錆、防錆処理	表面処理用木材保存剤 (防錆・防錆剤) は監督職員の承諾するものとする。
10	柱底均しモルタル	工法 ○ A種 ※ B種 (7.10.3) 無収縮モルタル製造所 A B C 商会 (ノンシュリンクグラウトプレミックス) 日槽マスタービルダーズ (エムベコグラウトプレミックス)		10 石工事	1 天然石		石の種類 ○ 花こう岩 ○ 大理石 (10.2.1) (表10.2.1.2) 石の品質 ※ 1等品 (床以外) ※ 2等品 (床) 石材の種類及び仕上げ	13
11	軽量形鋼構造	丸鋼の種類 ○ A種 ○ B種 (7.11.1)	11	タイル工事	種石の種類 ※ 大理石 ○ (10.2.1) (表10.2.2) 表面仕上げ ※ 本磨き ○ 形状・寸法 ※ 図示	1	長尺金属板葺	
12	亜鉛メッキ	種別 ※ A種 (軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする) (7.12.3) 適用箇所		1 1 タイル工事	2 テラズブロック及びテラズタイル		接着力試験 ※ 行う ○ 行わない (11.1.4) 試験方法 ※ 11.1.4 (b) (1) ○ 試験体 ※ 11.1.4 (b) (2) ○ 引張接着強度 ※ 11.1.4 による ○	2
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事								
1	補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 ※ 空洞ブロック16 ○ 空洞ブロック16-W (8.2.2) 各部の配筋 ※ 図示 (8.2.5)	2	製造所	※ 監理者の承諾する製造所	3	ストレート波板葺 (外壁を含む)	屋根葺工法を定める専門業者 (1.3.2.2.3) (表1.3.2.1)
2	コンクリートブロック塀壁及び塀	ブロックの種類 ※ 標仕表8.3.1及び下表による (8.3.2)		1 1 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地		外壁 ※ 立面図 ○ 共通仕様書 (施工図にて再確認する) (11.1.3) 屋内 ※ 11.1.3 (b) による	3
3	ALCパネル	各部の配筋 ※ 図示 (8.3.3)	2	施工後の確認及び試験	接着力試験 ※ 行う ○ 行わない (11.1.4) 試験方法 ※ 11.1.4 (b) (1) ○ 試験体 ※ 11.1.4 (b) (2) ○ 引張接着強度 ※ 11.1.4 による ○	4	ルーフドレイン	
4	押出成形セメント板	パネルの種類等 (8.4.2~5) (表8.4.2~4)	3	タイル	タイルの種類 (11.2.1.3)		5	と
9 防水工事								
1	アスファルト防水	防水層の種類 (9.2.2.3) (表9.2.3~8)	10	タイル	タイルの種類 (11.2.1.3)	5	と	材種 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ 配管用銅管 (1.3.5.2) (表1.3.5.1) 銅管製といの防露巻き (1.3.5.2.3) (表1.3.5.3.4) ※ 行う (施行箇所 ※ 標仕表1.3.5.4による ○ ) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種 掃除口 ※ あり (図示) ○ なし
1	アスファルト防水	防水層の種類 (9.2.2.3) (表9.2.3~8)		10 石工事	3 製造所		※ 監理者の承諾する製造所	5

グループホームおひさま 増築工事	R05.03.20
特記仕様書(2)	T-02

<p>⑥ たてどいの床および天井面の取合部</p>	<p>※ 防露を行う場合 高さ (mm) 床 ※ 150 ○ 天井 ※ 30 ○ 防露を行わない場合 シーリングプレート (ステンレス製) を取付ける (天井) 配水管カバーを取付ける (床)</p>	<p>③ 床コンクリート直均し仕上げ</p>	<p>既製目地材 ※ 適用しない ○ 適用する (15.2.2) 床目地 ○ 適用する (工法 ※ 押し目地 ○) (15.2.5)</p> <p>下表以外は標仕6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4) (15.3.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施行箇所</th> <th>平たんさ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ フリーアクセスフロア (パネル構造) 範囲</td> <td>1mにつき10以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フリーアクセスフロア (溝構造) 範囲</td> <td>3mにつき7以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施行箇所	平たんさ (mm)	備考	○ フリーアクセスフロア (パネル構造) 範囲	1mにつき10以下		○ フリーアクセスフロア (溝構造) 範囲	3mにつき7以下		○			<p>⑥ 木製建具</p>	<p>表面仕上げ ※ HL ② 鏡面 ○ (16.5.4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ (補強あり) (16.5.5)</p> <p>建具材の種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 (表16.6.1) ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種 (16.6.2)</p>																																																																							
施行箇所	平たんさ (mm)	備考																																																																																						
○ フリーアクセスフロア (パネル構造) 範囲	1mにつき10以下																																																																																							
○ フリーアクセスフロア (溝構造) 範囲	3mにつき7以下																																																																																							
○																																																																																								
<p>14 金属工事</p>																																																																																								
<p>1 ステンレスの表面仕上げ</p>	<p>※ HL仕上げ ○ 鏡面仕上げ ○ (14.2.1)</p>	<p>4 セルフレベリング材塗り</p>	<p>(15.4.2) (表15.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ セメント系</td> <td>※ 10 ② 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ そっこう系</td> <td>※ 10 ○</td> <td></td> </tr> </table>	種類	厚さ (mm)	備考	※ セメント系	※ 10 ② 15		○ そっこう系	※ 10 ○		<p>⑦ 建具金物</p>	<p>製造所 監理者の承諾する製造所 (16.7.4) 鍵箱 ※ 設ける ( 個用) ○ 設けない マスターキー ※ 製作する ( 5 本) 美和ロック CKNJ1265 ○ 製作しない 引違扉の鍵錠はトリガー付とする。</p>																																																																										
種類	厚さ (mm)	備考																																																																																						
※ セメント系	※ 10 ② 15																																																																																							
○ そっこう系	※ 10 ○																																																																																							
<p>2 アルミニウムおよびアルミニウム合金の表面処理</p>	<p>(14.2.2) (表14.2.1表)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ B-1種 (無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B-2種 (○ブラウン系 ○ブラック ○ステンカラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	種別	施工箇所	○ B-1種 (無着色)		○ B-2種 (○ブラウン系 ○ブラック ○ステンカラー)		○		<p>⑤ 仕上塗材仕上げ</p>	<p>仕上塗材の種類、仕上げの形状等 (15.5.2) (表15.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">○ 薄付け仕上塗材</td> <td>○ 外装薄塗材 Si</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 外装薄塗材 E</td> <td>○ 砂壁状 ② 着色骨材砂壁状</td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形外装薄塗材 E</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> </tr> <tr> <td>○ 防水形外装薄塗材 E</td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ○ 凹凸状</td> </tr> <tr> <td>○ 内装薄塗材 S</td> <td>砂壁状</td> </tr> <tr> <td>○ 内装薄塗材 C</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 内装薄塗材 L</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 内装薄塗材 Si</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 内装薄塗材 E</td> <td>○ 砂壁状しゅらく</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">○ 複層仕上塗材</td> <td>○ 複層塗材 CE</td> <td>○ ゆず肌状 ○ 凸凹処理 ○ 凹凸模様</td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材 Si</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材 E</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>※ 複層塗材 RE</td> <td>溶媒 ※ 水性 ○ 溶剤系</td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形複層塗材 CE</td> <td>樹脂 ※ アクリル系</td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材 RS</td> <td>外観 ※ つやあり ○ つやなし</td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 CE</td> <td>○ メタリック</td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 E</td> <td>防水形の増塗材 ※ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 RE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 RS</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 軽量骨材仕上塗材</td> <td>○ 吹付用軽量塗材</td> <td>砂壁状</td> </tr> <tr> <td>○ こて塗用軽量塗材</td> <td>平たん状</td> </tr> </table>	種類	呼び名	仕上げの形状等	○ 薄付け仕上塗材	○ 外装薄塗材 Si	○	○ 可とう形外装薄塗材 Si	○	② 外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ② 着色骨材砂壁状	○ 可とう形外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状	○ 防水形外装薄塗材 E	○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ○ 凹凸状	○ 内装薄塗材 S	砂壁状	○ 内装薄塗材 C	○	○ 内装薄塗材 L	○	○ 内装薄塗材 Si	○	○ 内装薄塗材 E	○ 砂壁状しゅらく	○ 複層仕上塗材	○ 複層塗材 CE	○ ゆず肌状 ○ 凸凹処理 ○ 凹凸模様	○ 複層塗材 Si	○	○ 複層塗材 E	上塗材	※ 複層塗材 RE	溶媒 ※ 水性 ○ 溶剤系	○ 可とう形複層塗材 CE	樹脂 ※ アクリル系	○ 複層塗材 RS	外観 ※ つやあり ○ つやなし	○ 防水形複層塗材 CE	○ メタリック	○ 防水形複層塗材 E	防水形の増塗材 ※ 行う	○ 防水形複層塗材 RE		○ 防水形複層塗材 RS		○ 軽量骨材仕上塗材	○ 吹付用軽量塗材	砂壁状	○ こて塗用軽量塗材	平たん状	<p>8 自動ドア開閉装置</p>	<p>駆動力 ※ 電気式及び電動式及び電動油圧式 ○ (16.8.2.3) (表16.8.1~3) 検出装置 種類 ○ マット ※ 光線 (反射) ○ 熱線 ○ 左記と安全光線の併用 取付位置 ○ 床面 ○ 天井面 ○ 壁面 ※ 無目</p>																									
種別	施工箇所																																																																																							
○ B-1種 (無着色)																																																																																								
○ B-2種 (○ブラウン系 ○ブラック ○ステンカラー)																																																																																								
○																																																																																								
種類	呼び名	仕上げの形状等																																																																																						
○ 薄付け仕上塗材	○ 外装薄塗材 Si	○																																																																																						
	○ 可とう形外装薄塗材 Si	○																																																																																						
	② 外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ② 着色骨材砂壁状																																																																																						
	○ 可とう形外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状																																																																																						
	○ 防水形外装薄塗材 E	○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ○ 凹凸状																																																																																						
	○ 内装薄塗材 S	砂壁状																																																																																						
	○ 内装薄塗材 C	○																																																																																						
	○ 内装薄塗材 L	○																																																																																						
	○ 内装薄塗材 Si	○																																																																																						
	○ 内装薄塗材 E	○ 砂壁状しゅらく																																																																																						
○ 複層仕上塗材	○ 複層塗材 CE	○ ゆず肌状 ○ 凸凹処理 ○ 凹凸模様																																																																																						
	○ 複層塗材 Si	○																																																																																						
	○ 複層塗材 E	上塗材																																																																																						
	※ 複層塗材 RE	溶媒 ※ 水性 ○ 溶剤系																																																																																						
	○ 可とう形複層塗材 CE	樹脂 ※ アクリル系																																																																																						
	○ 複層塗材 RS	外観 ※ つやあり ○ つやなし																																																																																						
	○ 防水形複層塗材 CE	○ メタリック																																																																																						
	○ 防水形複層塗材 E	防水形の増塗材 ※ 行う																																																																																						
	○ 防水形複層塗材 RE																																																																																							
	○ 防水形複層塗材 RS																																																																																							
○ 軽量骨材仕上塗材	○ 吹付用軽量塗材	砂壁状																																																																																						
	○ こて塗用軽量塗材	平たん状																																																																																						
<p>3 鉄の亜鉛めっき</p>	<p>(14.2.3) (表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>○ A類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ C類</td> <td>屋外階段</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>○ D類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ E類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ F類</td> <td></td> </tr> </table> <p>亜鉛めっき面の試験 ○ 溶融亜鉛めっきの付着量試験</p>	表面処理方法	種類	施工箇所	溶融亜鉛めっき	○ A類		○ B類		○ C類	屋外階段	電気亜鉛めっき	○ D類		○ E類		○ F類		<p>6 ロックウール吹付け</p>	<p>種別 ※ 一般用 ○ (15.7.2.3) 色彩 ○ 着色 ※ 原色 厚さ (mm) ○ 10 ○ 15 ○ 20 ※ 25 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種</p>	<p>⑨ 自閉式上吊り引戸装置</p>	<p>材料 ※ ステンレス鋼板 (SUS304、SUS430J1L、SUS430)、アルミニウム製等防錆性能を有するもの ○ 製造所標準仕様による (16.9.2) 性能 ※ 標仕16.9.1 による (16.9.3) (表16.9.1) ○ 製造所標準仕様による</p>																																																																		
表面処理方法	種類	施工箇所																																																																																						
溶融亜鉛めっき	○ A類																																																																																							
	○ B類																																																																																							
	○ C類	屋外階段																																																																																						
電気亜鉛めっき	○ D類																																																																																							
	○ E類																																																																																							
	○ F類																																																																																							
<p>4 軽量鉄骨天井下地</p>	<p>野縁等の種類 (14.4.2) (表14.4.1) 屋外 (○19形 ※ 25形) 屋内 (※19形 ○ 25形) その他は、※ 14.4.2 による ○ (14.4.3.4) 天井のふところ高が3mを超える場合の補強 ※ 図示 ○ (14.4.4) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 (14.4.4) ○ 行う (補強箇所 ※ 図示 補強方法 ※ 図示)</p>	<p>7 貼物タイル下地</p>	<p>上塗り材 CE、Eはアクリル樹脂エナメル、RS、REはフレッタン樹脂エナメル、Siはケイ酸質系とする。 ALCパネル内蔵目地部の形状 ※ V型目地付き ○</p>	<p>10 重量シャッター</p>	<p>種類 ○ 一般 ○ 外壁用防火 ○ 屋内用防火 ○ 防煙 (16.10.2) 防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。 開閉機能 ※ 上部電動式 (手動併用) ○ 上部手動式 (16.10.2) (表16.10.1) 危害防止機構 ※ 障害物感知装置 (自動閉鎖型) (16.10.2) シャッターケース (防火、防煙以外の場合) ※ 設ける ○ 設けない (16.10.2) 強度による種類 ○ 50 ※ 80 ○ 120</p>																																																																																			
<p>5 軽量鉄骨壁下地</p>	<p>スタッド、ランナーなどの種類 ※ 表14.5.1による ○ (14.5.3) スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 ○ (表14.5.1)</p>	<p>6 ロックウール吹付け</p>	<p>貼物タイル (ビニル床タイル等) 下地は1層防水モルタル塗、2層以上はモルタル塗りとする。</p>	<p>11 軽量シャッター</p>	<p>開閉機能 ※ 手動式 ② 上部電動式 (手動併用、リモコン付) (16.11.2) (表16.11.1) スラット 材質 ※ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼材) 又は (16.11.3) JIS G 3318 (塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼材) ○ 鋼板 ② ステンレスパイプ 形状 ※ インターロック型 ○ オーバースライダー形 (16.11.4) 強度による種類 ○ 50 ※ 65 ○ 80 シャッターケース ※ 設ける ○ 設けない ガイドレール ステンレス製厚さ1.5mm SUS304 (中柱は除く) (表16.11.2) 中柱 (鋼製) 内法高2.5m以上補強型 座板 (外部) ステンレス製 2L-3×40×40 (クッションゴム付) 塗装 ※ 焼付塗装 ○ 常温塗装</p>																																																																																			
<p>6 金属成形板張り</p>	<p>(14.6.2) (表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>製法</th> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>② スパンドレル形</td> <td>○ 押出し ○ ロール</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td></td> <td></td> <td>※ B-1種 ○ B-2種 ( )</td> </tr> <tr> <td>○ パネル形</td> <td>※ プレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> <p>伸縮継手 ※ 設けない ○ 設ける (施行箇所は図示) (14.6.3)</p>	形状	製法	材種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理	② スパンドレル形	○ 押出し ○ ロール	※ アルミニウム製			※ B-1種 ○ B-2種 ( )	○ パネル形	※ プレス				○	<p>7 貼物タイル下地</p>	<p>種別 ※ 一般用 ○ (15.7.2.3) 色彩 ○ 着色 ※ 原色 厚さ (mm) ○ 10 ○ 15 ○ 20 ※ 25 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種</p>	<p>12 オーバーヘッドドア</p>	<p>(16.12.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>※ スチールタイプ ○ アルミニウムタイプ ○ ファイバーグラスタイプ</td> <td>※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式</td> <td>○ スタンダード形 ○ ローヘッド形 ○ ハイリフト形 ○ パーチカル形</td> <td>※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板 (SUS304、SUS430J1L)</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup> (16.12.2)</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質	※ スチールタイプ ○ アルミニウムタイプ ○ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式	○ スタンダード形 ○ ローヘッド形 ○ ハイリフト形 ○ パーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板 (SUS304、SUS430J1L)																																																									
形状	製法	材種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理																																																																																			
② スパンドレル形	○ 押出し ○ ロール	※ アルミニウム製			※ B-1種 ○ B-2種 ( )																																																																																			
○ パネル形	※ プレス				○																																																																																			
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質																																																																																					
※ スチールタイプ ○ アルミニウムタイプ ○ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式	○ スタンダード形 ○ ローヘッド形 ○ ハイリフト形 ○ パーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板 (SUS304、SUS430J1L)																																																																																					
<p>⑦ アルミニウム製笠木</p>	<p>(14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>最小呼称肉厚 (mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 250形</td> <td>1.6</td> <td>※ A-1 又は B-1種</td> <td>※ 固定方法及び間隔は図示による。</td> <td>○ コーナー部、突当り部等の役物は本体製造時の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>○ 300形</td> <td>1.8</td> <td>○ B-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 350形</td> <td>2.0</td> <td>( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	最小呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備考	○ 250形	1.6	※ A-1 又は B-1種	※ 固定方法及び間隔は図示による。	○ コーナー部、突当り部等の役物は本体製造時の仕様による。	○ 300形	1.8	○ B-2種			○ 350形	2.0	( )			<p>16 建具工事</p>	<p>性能等級等 (16.2.2) (表16.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">外部に面する建具</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み (mm)</th> <th>施行箇所</th> </tr> <tr> <td>② A種</td> <td>S-4</td> <td>※ A-3</td> <td>※ W-4</td> <td>※ T0</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>S-5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ○ H-1 ○ H-2 ○ H-3 耐震ドアセットの面内変形歪み率の等級 ○ D-1 ○ D-2 ○ D-3</p> <p>表面処理 (16.2.4) (表14.2.1) 外部に面する建具 ※ B-1 ○ B-2 (色調) ( ) 内部建具 ※ C-1 ○ C-2 (色調) ( )</p> <p>網戸 防虫網の材種 ※ 合成樹脂 ○ ガラス繊維入り合成樹脂 ○ ステンレス製 (16.2.3) 形式 ※ 外部可動式 ○ 固定式</p>	外部に面する建具						種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施行箇所	② A種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ T0	※ 図示	○ B種	S-5	○	○	○	○	○ C種	S-6	A-4	W-5	100		<p>⑬ ガラ</p>	<p>板ガラスの種類、厚さは建具表による (16.13.2) ○ ガラスブロック (16.13.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>防・耐火性能</th> </tr> <tr> <td>○ 正方形</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>※ クリア</td> <td>※ なし</td> </tr> <tr> <td>○ 長方形</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○ あり</td> </tr> </table> <p>ガラス留め材 (16.13.2) (表16.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 ○ ガasket (FIX部はシーリング材)</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。</p> <p>板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3) 標仕16.3.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 J A S S 17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。</p> <p>ガラス用フィルム (内張り用)</p> <table border="1"> <tr> <th>用途による区分</th> <th>記号</th> </tr> <tr> <td>○ ガラス飛散防止フィルム</td> <td>※ GS-A-B</td> </tr> <tr> <td>○ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム</td> <td>○ SC-A/GS-A-B ○ SC-B/GS-A-B</td> </tr> <tr> <td>○ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>※ SF-A</td> </tr> <tr> <td>○ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム</td> <td>○ SC-A/SF-A ○ SC-B/SF-A-B</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5759 による</p>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	防・耐火性能	○ 正方形	○	○	※ クリア	※ なし	○ 長方形			○	○ あり	建具の種類	材種	アルミニウム製	※ シーリング材 ○ ガasket (FIX部はシーリング材)	鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材	ステンレス製	※ シーリング材	用途による区分	記号	○ ガラス飛散防止フィルム	※ GS-A-B	○ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	○ SC-A/GS-A-B ○ SC-B/GS-A-B	○ ガラス貫通防止フィルム	※ SF-A	○ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	○ SC-A/SF-A ○ SC-B/SF-A-B
種類	最小呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備考																																																																																				
○ 250形	1.6	※ A-1 又は B-1種	※ 固定方法及び間隔は図示による。	○ コーナー部、突当り部等の役物は本体製造時の仕様による。																																																																																				
○ 300形	1.8	○ B-2種																																																																																						
○ 350形	2.0	( )																																																																																						
外部に面する建具																																																																																								
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施行箇所																																																																																			
② A種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ T0	※ 図示																																																																																			
○ B種	S-5	○	○	○	○																																																																																			
○ C種	S-6	A-4	W-5	100																																																																																				
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	防・耐火性能																																																																																				
○ 正方形	○	○	※ クリア	※ なし																																																																																				
○ 長方形			○	○ あり																																																																																				
建具の種類	材種																																																																																							
アルミニウム製	※ シーリング材 ○ ガasket (FIX部はシーリング材)																																																																																							
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材																																																																																							
ステンレス製	※ シーリング材																																																																																							
用途による区分	記号																																																																																							
○ ガラス飛散防止フィルム	※ GS-A-B																																																																																							
○ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	○ SC-A/GS-A-B ○ SC-B/GS-A-B																																																																																							
○ ガラス貫通防止フィルム	※ SF-A																																																																																							
○ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	○ SC-A/SF-A ○ SC-B/SF-A-B																																																																																							
<p>15 左官工事</p>																																																																																								
<p>① 防火材料</p>	<p>屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。</p>	<p>③ 防火戸</p>	<p>煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は電気工事とする。 ※ 扉にラッチ受座用切込開口補強 ○ 枠に解錠機構用切込開口補強</p>	<p>14 付属電気設備</p>	<p>電動シャッター、自動扉の施工範囲は下記による。 自動扉の電源スイッチ以降の配線工事 (配管及び位置ボックスは電気工事とする。) 電動シャッターの操作スイッチ以降、シャッター制御盤までの配線工事 (配管及び位置ボックスは電気工事とする。) 三次電動機 0.4kW以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び連相用コンデンサーを設置。</p>																																																																																			
<p>② モルタル塗り</p>	<p>保水材を使用する場合は、特記仕様書第11章1項による。 (15.2.2) 防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。(JIS A 1404による試験)</p> <table border="1"> <tr> <th>混合割合</th> <th>凝結時間</th> <th>曲げ及び圧縮強度比</th> <th>吸水比</th> <th>透水性</th> </tr> <tr> <td>セメント重量の5%以下</td> <td>JIS R 5201の試験 8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内</td> <td>T0%以上</td> <td>95%以下</td> <td>80%以下 (294.0kPaの 水圧を1時間かける)</td> </tr> </table> <p>安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。(JIS R 5201の試験9)</p>	混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水性	セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験 8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	T0%以上	95%以下	80%以下 (294.0kPaの 水圧を1時間かける)	<p>4 網製軽量建具</p>	<p>開き戸の1枚の戸の有効開口が950mm又は有効高さが2.400mmを超える場合の網板類の厚さ ※ 表16.4.1による (16.4.4) 製造所 ※ 監理者の承諾する製作所</p> <p>ステンレス鋼板 (16.5.3)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">鋼板の種類 (JIS G 4305)</th> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>※ SUS304 又は SUS430J1L ○</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>※ SUS430 ○ SUS304 又は SUS430J1L</td> </tr> </table>	鋼板の種類 (JIS G 4305)		屋外	※ SUS304 又は SUS430J1L ○	屋内	※ SUS430 ○ SUS304 又は SUS430J1L	<p>15 その他</p>	<p>金属製建具のアンカーは、原則として電気接合とする。</p>																																																																			
混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水性																																																																																				
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験 8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	T0%以上	95%以下	80%以下 (294.0kPaの 水圧を1時間かける)																																																																																				
鋼板の種類 (JIS G 4305)																																																																																								
屋外	※ SUS304 又は SUS430J1L ○																																																																																							
屋内	※ SUS430 ○ SUS304 又は SUS430J1L																																																																																							



17 塗装工事	
1 材	建物内部に使用するコリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3) ※ 規制対象外 ○ 第三種 建物内部に使用する塗料の材料 ○ 水性系 ○ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 (18.1.3) ○ 次の箇所を除き防火材料とする。(施行箇所: )
2 素地ごしらえ	木部 不透明塗料塗り ※ A種 ○ (表18.2.1~3) 透明塗料塗り ※ B種 ○ 鉄面 ○ A種 ○ B種 ※ C種 2液型ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ひっ素樹脂エナメル塗の場合はB種 亜鉛めっき面 鋼製建具 ※ A種 ○ B種 ○ C種 鋼製建具以外 ※ A種 ○ B種 ○ C種 2液型ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ひっ素樹脂エナメル塗の場合はA種
3 錆止め塗料塗り	塗料種別 (表18.3.2) 鉄骨面錆止め塗料 E-P-G以外 ※ A種 ( ) E-P-G ※ B種 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料 E-P-G以外 ※ A種 ○ B種 E-P-G ※ C種
4 調合ペイント塗料の種別	屋外 油性調合ペイント又は合成樹脂調合ペイント ○ 1種 ※ 2種 (18.4.2) 屋内 合成樹脂調合ペイント ※ 1種 ○ 2種
5 防塵塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色 ○ ) 仕上種別 コーティング (ローラーばけ塗り) 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m <sup>2</sup> 以上とする
6 塗装業者	※ 日本塗装工業会の会員 ○ 監理者の承諾する塗装業者
7 施工監理	日本塗装工業会の指導を極力受けること。尚、同会の塗装工事報告書は指導を受けた旨提出し、係員の指示を受けること。

19 内装工事	
1 接着剤 (内装工事全般)	(19.2.2) (18.3.3) (19.5.5,6) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2) 壁紙施工用でん粉系接着剤、コリア樹脂等又はホルムアルデヒド系防汚剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種 ※ 接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。
2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能 (19.2.2) 帯電防止 ○ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS S 1454) 1×10 <sup>7</sup> ~10 <sup>10</sup> の程度 耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、耐摩耗性試験、層間はく離強度試験 (発泡層のあるビニル床シートのみ) 及び耐キャスト製試験等の試験後、異常がないこと。 ビニル床シート (19.2.2) 種類 記号 色柄 厚さ (mm) 特殊機能 ※ 発泡層のないもの ※ F S ※ 無地 ○ 2 ※ 2.5 ○ 帯電防止 ○ 発泡層のあるもの ○ 柄物 ○ 2.8 ○ 耐動荷重 工法 ※ 熱溶接工法 ○ 突付け (施行箇所: ) (19.2.3) 化学教室、実験室等は耐硫化塩ビシート張りとする。 ビニル床タイル (19.2.2) 種類 記号 施工箇所 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 特殊機能 ○ 複層ビニル床タイル F T ※ 無地 ○ 300×300 ※ 2.0 ○ 帯電防止 ○ 柄物 ○ 450×450 ○ 耐動荷重 ○ コンポジションビニル床タイル K T ※ 無地 ○ 300×300 ※ 2.0 ○ 柄物 ○ 450×450 ○ 置敷きビニル床タイル F O A ※ 無地 ○ 500×500 ○ ○ 柄物 ○ ビニル幅木 (19.2.2) 材質 ※ 軟質 ○ 硬質 高さ (mm) ○ 60 ○ 75 ※ 100 ○ 300 厚さ (mm) ※ 2.0 ゴム床タイル (19.2.2) 色柄 ( ) 厚さ (mm) ○ 3.0 ○ 4.0 ○ 6.0 ○ 9.0 寸法 ( ) タイルカーベットの敷き方 (19.3.3,4) バイル形状 種類 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 工法 ※ ループバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 人体帯電圧 9kV 以下 (リアプレビア7) ※ 全面接着 ○ 第二種 ○ ○ ○ カットバイル ○ ○ カット、ループ併用 ○ タイルカーベットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ○ 模様流し ○ 階段部分 ※ 模様流し ○ 市松模様 ○ 見切り、押え金物 ○ 適用する (材質、形状等 ※ 図示 ○ ) (19.3.3)
3 カーベットの敷き	

4 合成樹脂塗床	(19.4.2,3) (表19.4.1~7) 種類 施行箇所 仕上げの種類 ○ 弾性ウレタン塗床材 ※ 平滑仕上げ ○ 防汚仕上げ ○ つや消し仕上げ ※ エポキシ樹脂塗床材 ※ 薄膜流し展べ仕上げ ○ 厚膜流し展べ仕上げ (※ 平滑 ○ 防汚) ○ 樹脂モルタル仕上げ (※ 平滑 ○ 防汚) ○ 防汚仕上げ コリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2) ※ 規制対象外 ○ 第三種 ① 単層フローリング (19.5.2~6) (表19.5.1,2) 種類 ○ フローリングボード ○ フローリングブロック ○ モザイクパーケット 工法 ○ 湿式工法 ○ 乾式工法 (○ 釘留め工法 ○ 接着工法) 樹種 ※ ひのき ○ ナラ 厚さ (mm) ○ 8 ○ 12 ※ 15 ② 複層フローリング (※ 1種 ○ 2種 ○ 3種) 樹種 ※ ひのき ○ ナラ (一部床暖房対応タイプ) 形状 ※ えん甲板 ○ 寄木 工法 ※ 釘留め工法 (○ A種 ※ B種 ○ C種) ○ 接着工法 厚さ (mm) ○ 8 ○ 12 ※ 15 コリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 第三種 ワックス塗り回数 ※ 3回 ○ 2回 ○ 1回 種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (19.6.2) (表19.6.1) 畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする ○ A種 (ノンフロンのもの) (19.7.2) (表19.7.1) 畳下地 厚さ (mm) ※ 40 ○ 65 ○ 80 (不燃) フローリング類下地 厚さ (mm) ※ 80 ○ 95 (不燃) せっこうボード及びその他ボードの厚さ、規格等 (19.7.2) (表19.7.1) 材種 施工箇所 張り方 厚さ (mm) 壁 ○ 下張り 突付け ○ 9.5 ※ 12.5 (不燃認定品) ○ 上張り ○ 突付け ○ 9.5 ※ 12.5 (不燃認定品) ○ 直張り ○ 目透し ○ 9.5 ※ 12.5 (不燃認定品) ○ 継目処理 ○ 下張り 突付け ※ 9.5 ○ 12.5 (不燃認定品) ○ 上張り ○ 突付け ○ 9.5 ○ 12.5 (不燃認定品) ○ 直張り ○ 目透し ※ 9.5 ○ 12.5 (不燃認定品) ○ 継目処理 天井 ○ 化粧せっこうボード (トラバチン模様) 直張り 突付け 9.5 (不燃認定品) (○ 455×910 ○ 910×910) ○ 化粧せっこうボード (杉板目プリント) 直張り 目透かし 9.5 (準不燃認定品) 下地基メーカー仕様による ○ 吸音穴あき石膏ボード 9.5 (準不燃認定品) 不燃性原紙裏打ち JIS A 6301による 天井 ○ ロックワール化粧吸音板 ○ 上張り 突付け ※ 9 ○ 12 (不燃認定品) ○ 直張り JIS A 6307規格品 天井 ○ ロックワール吸音材 ※ 25 (不燃認定品) ロックワール吸音ボード1号 (60K) JIS A 6303規格品 ○ グラスワール吸音材 ○ 天井 ※ 25 (不燃認定品) ○ 50 JIS A 6305規格品 グラスワール吸音ボード2号 (32K) ○ 木毛セメント板 ○ 20 ※ 25 ○ 30 JIS A 6404規格品 ※ 難燃木毛セメント板 ○ 断熱木毛セメント板 (準不燃認定品) ○ 無石綿セメントけい酸カルシウム板 ○ 6 ○ 8 ○ 10 ○ 12 (不燃認定品) ○ 繊維強化セメント板 JIS A 5430規格品 天井及び壁に使用するものは、すべて防火材料の認定表示のあるものとする。 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2) (表19.6.1) ○ 適用する (○ シーリング材 ○ ジョイントコンパウンド) 天井及び壁に使用する合板は、12層木工事5床張り用合板及びその他の合板による。 (19.7.2) 合板類の張付け ○ A種 ※ B種 (19.7.3) (表19.7.3) 建築基準法に基づく防火材料の認定表示のあるものとする。 (19.8.2) 施工箇所 品質 (製造所) 防火性能の級別 火気使用室 サングツ (中級品) ○ 1級 ○ 2級 ○ 4級 廊下・玄関 サングツ (中級品) ○ 1級 ○ 2級 ○ 4級 その他 サングツ (中級品) ○ 1級 ○ 2級 ○ 4級 素地ごしらえ (19.8.3) (18.2.5.) (表18.2.5) (表18.2.7) モルタル面、プaster面 ○ A種 ※ B種 (施行箇所: ) コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (施行箇所: ) せっこうボード面 ○ A種 ※ B種 (施行箇所: ) 材種 (19.9.2,3) 種類 施行箇所 厚さ (mm) 品質等 ○ 押出法 ※ 2種b ※ 一般部 ※ 25 A種 (ノンフロンのもの) (19.9.2,3) ポリスチレンフォーム保温板 ※ 3種b ※ 接合部分 ※ 25 (スキップ層付き) ○ 現場発泡断熱材 ※ A種1 ※ 断熱材補修部分 ○ A種 (ノンフロンのもの) (19.9.2,3) ○ 一般部 ※ 25 ○ 難燃性を有するもの
6 畳敷き	
7 ポリスチレンフォーム床下地材	
8 せっこうボード、その他ボード及び合板張り	
9 壁紙張り	
10 断熱材	

11 浴室天井材	不燃認定品 製造所 見切縁、水切りは特記製造所の使用による。
12 メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903規格品 厚さ (mm) ※ 1.2 ○ 1.6
13 フローリング特殊張り及び捨板特殊張り	体育館、格技場用 ※ 監督職員の承諾する施行業者
20 ユニット及びその他の工事 (20.2.2)	
1 フリーアクセスフロア	施工箇所 構法 仕上り高 (mm) 適用地蔵時水平力 耐荷重性能 表面仕上材 備考 ○ パネル構法 ○ 1.0G ○ 3,000N ○ 帯電防止床タイル ○ 溝構法 ○ 0.6G ○ 5,000N ○ タイルカーベットの透析室 ○ ノンフロン 150mm ○ 長尺ビニル 高さ300mm以上については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。 表面仕上材の品質・規格等は、19章内装工事による。 構成材の材質 ○ アルミニウム製 ○ 鋼製 ○ 配線用取出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 20~30% ○ 配線取出し開口 ※ パネル1枚につき40×80 (mm) 程度の開口1箇所以上 ○ 図示 コンセント等の取付け対応 ※ 製造所の仕様による (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数 ※ 図示 ローリングロード性能 ※ 適用する ○ 適用しない
2 可動間仕切り	構造形式 パネル部の総厚さ (mm) 表面素材の厚さ (mm) 表面仕上げ 遮音性能 防火性能 ○ スタッド式 (○内蔵 ○露出) ※ 鋼板 ※ メラミン樹脂又は ○ あり ○ あり (※ 0.6 ○ 0.8) ○ アクリル樹脂焼付け ( ) ( ) ○ スタッドパネル式 ○ ○ なし ○ なし ○ パネル式
3 移動間仕切り	遮音性能 厚さ (mm) 表面材 表面仕上げ 操作方法 ○ 一般タイプ ※ 鋼板 ○ 焼付け塗装 ○ 手動式 ○ 電動式 ○ 遮音タイプ ※ 鋼板 ○ 焼付け塗装 ○ 手動式 ○ 電動式 (36db以上) ○ 壁紙張り ○ 部分電動式
4 トイレブース	表面仕上げ材 (20.2.5) 表面材の材質 脚部 ドアエッジ 形状 材質 形状 材質 ○ メラミン樹脂系化粧板 ※ 幅木 ○ アルミニウム製 ○ 標準 ○ アルミニウム製 ○ ポリエステル樹脂系化粧板 ○ 支柱 ○ ステンレス製 ○ R ○ ステンレス製 ○ なし ○ 表面材と同等
5 階段滑り止め	材種 ステンレス鋼 (※ 接着工法 ○ 埋込み工法) (20.2.6) フラットエンド ○ あり (※ ビニル製 ○ ステンレス鋼) ○ なし 形式 ※ ビニルタイヤまたは合成ゴムタイヤ入り ○ タイヤなし
6 階段手すり	材種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 ○ 集成材 ※ クリアラッカー ○ ○ 60 ○ 45 ○ ステンレスパイプ ○ HL ○ ○ 鋼製パイプ ○ E-P-G ○ ○ ビニル製
7 黒板及びホワイトボード	材種 寸法 (mm) 色彩 備考 (20.2.8) ○ 黒板 ○ 焼付け ※ 緑 ○ 黒 ※ 平面 ○ 曲面 ○ スクリーン付引分 ※ 緑 ○ 黒 ○ ホワイトボード ○ ほうろう ※ 白 ※ 平面 ○ 曲面 ○ スクリーン付引分
8 鏡	寸法 (mm) ○ 図示 ○ (20.2.9) 厚さ (mm) ※ 5 ○

9	表 示	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>材 質</th> <th>材 質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>取付け高さ</th> <th>(20.2.10) 書 体</th> </tr> <tr> <td>○ 衝突防止表示 (○ 両面 ○ 片面)</td> <td>※ ステンレス製 ○ 図示</td> <td>※ 30φ</td> <td>※ 市販品</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 室名札</td> <td>※ アクリル板</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 5</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ピクトグラフ ○ 扉番号 ○ 階数表示</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 建物案内板 ○ 各階案内板</td> <td>※ アクリル板</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 5</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>案内用図記号は J I S Z 8 2 1 0 による。</p> <p>誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。</p>	区 分	材 質	材 質	厚さ (mm)	取付け高さ	(20.2.10) 書 体	○ 衝突防止表示 (○ 両面 ○ 片面)	※ ステンレス製 ○ 図示	※ 30φ	※ 市販品	※ 図示		○ 室名札	※ アクリル板	※ 図示	※ 5	※ 図示		○ ピクトグラフ ○ 扉番号 ○ 階数表示	○		○	○		○ 建物案内板 ○ 各階案内板	※ アクリル板	※ 図示	※ 5	※ 図示		25	耐 震 ス リ ッ ト	<table border="1"> <tr> <th>方 向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> </tr> <tr> <td>○ 垂直方向</td> <td>※ 完全 (全費通型) スリット</td> <td>○ 耐火型</td> <td>○ あり</td> </tr> <tr> <td>○ 水平方向</td> <td>○</td> <td>○ 非耐火型</td> <td>○ なし</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>目 地</th> <th>内 壁</th> <th>外 壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>シーリング材 (見え掛りのみ)</td> <td>シーリング材 (内外共)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (mm)</td> <td>※ 幅20×深さ10</td> <td>※ 幅20×深さ10</td> </tr> </table> <p>材質 ○ アルミニウム ※ ステンレス クリアランス (mm) ○ 50 ○ 100 ○ 150 ○ 300 耐火性能 ○ あり (1時間耐火) ○ なし 防水型 ※ 外部 適用する ※ 内部 適用しない</p>	方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	○ 垂直方向	※ 完全 (全費通型) スリット	○ 耐火型	○ あり	○ 水平方向	○	○ 非耐火型	○ なし	目 地	内 壁	外 壁	目地材	シーリング材 (見え掛りのみ)	シーリング材 (内外共)	目地寸法 (mm)	※ 幅20×深さ10	※ 幅20×深さ10	22 舗装工事	22 舗装工事	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>盛土に用いる材料</td> <td>種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (22.2.3) (表3.2.1) ○ 建設汚泥から再生した処理土 ㊦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>遮断層及び凍上抑制層の材料</td> <td>○ 遮断層 ※ 川砂、海砂又は良質な山砂 ○ (22.2.2、3) 厚さは図示 ○ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ㊦ ○ クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 砂 厚さは図示</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>路面安定処理</td> <td>※ 添加材料による安定処理 (22.2.2、3) (表22.2.2) 種類 ○ 普通ポルトランドセメント ○ フライアッシュセメントB種 ㊦ ○ 生石灰 ( ) ○ 消石灰 ( ) 添加量 ( ) kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ※ 5以上 ○ )</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>路床土の支持力比 (CBR) 試験</td> <td>※ 行う (※ 締め固めた土 ○ 乱さない土) (22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>路床締め固め度の試験</td> <td>※ 行う (22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>砂の粒度試験</td> <td>※ 行う (22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>路盤材料 ㊦</td> <td>※ 再生クラッシュラン (RC-40) ㊦ (22.3.3) ○ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) ㊦ ○ クラッシュラン (C-40) ○ 透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>路盤の締め固め度試験</td> <td>※ 行う (22.2.5)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>アスファルト舗装</td> <td>車道部の基層 ※ なし ○ あり (22.4.2) (表22.4.1) アスファルト ※ 再生アスファルト ㊦ ○ ストレートアスファルト (22.4.3) 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6) 区分 ○ 一般地域 ○ 寒冷地域 表層 ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13F) ○ 細粒度アスファルト混合物(13) ○ 細粒度キャップアスファルト混合物(13F) 基層 ○ 細粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※ 行わない ○ 行う (施行箇所: ) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.4.6) 切り取り検査 ※ 行わない ○ 行う (カ所)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>コンクリート舗装</td> <td>早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する (22.5.3) 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.3) 溶接金網 ○ あり (○ D10@200 ○ 5×150×150) ○ なし (22.5.3、4) 厚さ試験 ※ 行わない ○ 行う (22.5.6)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>カラー舗装</td> <td>○ カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (22.6.2、3) カラー舗装の下 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>透水性アスファルト舗装 ㊦</td> <td>アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.7.6) (22.4.6)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>排水性アスファルト舗装 ㊦</td> <td>アスファルト混合物 (22.8.3) (表22.7.1) ○ ポリマー改良アスファルトI型 ※ ポリマー改良アスファルトII型 アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.8.6) (22.4.6)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>ブロック系舗装 ㊦</td> <td>○ コンクリート平板舗装 (コンクリート平板は J I S A 5 3 7 1 の平板) (22.9.2、3) 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※ 普通平板 (N) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 ○ 保水性平板 (M) ○ ○ ○ モルタル ○ 透水性平板 (P)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ インターロッキングブロック舗装 (22.9.2、3) (インターロッキングブロックは J I S A 5 3 7 1 のインターロッキングブロック) 種類 厚さ (mm) 色彩及び表面加工等 ※ 普通ブロック (N) 車道部 ※ 80 ○ ※ 単純品 ○ 透水性ブロック (P) 歩道部 ※ 60 ○ ○ ○ 保水性ブロック (M) ○ 誘導、注意突起用ブロック 車道部 ※ 80 歩道部 ※ 60 黄色系とする ○ 植生用ブロック ※ 80 ○ 100 孔及び/又は凹を設ける</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 舗石舗装 (石材は J I S A 5 0 0 3 の2等品) (22.9.2、3) 種類 厚さ (mm) 施行方法 基層 ※ 小舗石 (花こう岩) ※ 80~100 ○ ※ うろこ張り ※ コンクリート舗装 ○ ○ ○ ○ アスファルト舗装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>砂利敷き 種別 ○ A種 (通路) ○ B種 (その他) ○ (22.10.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>路面標識用塗料 J I S K 5 6 6 5 (路面標識用塗料) による 種類 施行 色 塗布幅 (mm) 塗布厚さ (mm) 揮発性有機溶剤の含有率 ○ 1種 ㊦ 常温 液状 ※ 白 ※ 150 ※ 1.0 塗料総質量に対して ○ 2種 ㊦ 加熱 ○ ○ ○ 5%以下 ※ 3種1号 溶接 粉体状</td> </tr> </table>	1	盛土に用いる材料	種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (22.2.3) (表3.2.1) ○ 建設汚泥から再生した処理土 ㊦	2	遮断層及び凍上抑制層の材料	○ 遮断層 ※ 川砂、海砂又は良質な山砂 ○ (22.2.2、3) 厚さは図示 ○ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ㊦ ○ クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 砂 厚さは図示	3	路面安定処理	※ 添加材料による安定処理 (22.2.2、3) (表22.2.2) 種類 ○ 普通ポルトランドセメント ○ フライアッシュセメントB種 ㊦ ○ 生石灰 ( ) ○ 消石灰 ( ) 添加量 ( ) kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ※ 5以上 ○ )	4	路床土の支持力比 (CBR) 試験	※ 行う (※ 締め固めた土 ○ 乱さない土) (22.2.5)	5	路床締め固め度の試験	※ 行う (22.2.5)	6	砂の粒度試験	※ 行う (22.2.5)	7	路盤材料 ㊦	※ 再生クラッシュラン (RC-40) ㊦ (22.3.3) ○ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) ㊦ ○ クラッシュラン (C-40) ○ 透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの	8	路盤の締め固め度試験	※ 行う (22.2.5)	9	アスファルト舗装	車道部の基層 ※ なし ○ あり (22.4.2) (表22.4.1) アスファルト ※ 再生アスファルト ㊦ ○ ストレートアスファルト (22.4.3) 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6) 区分 ○ 一般地域 ○ 寒冷地域 表層 ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13F) ○ 細粒度アスファルト混合物(13) ○ 細粒度キャップアスファルト混合物(13F) 基層 ○ 細粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※ 行わない ○ 行う (施行箇所: ) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.4.6) 切り取り検査 ※ 行わない ○ 行う (カ所)	10	コンクリート舗装	早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する (22.5.3) 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.3) 溶接金網 ○ あり (○ D10@200 ○ 5×150×150) ○ なし (22.5.3、4) 厚さ試験 ※ 行わない ○ 行う (22.5.6)	11	カラー舗装	○ カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (22.6.2、3) カラー舗装の下 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装	12	透水性アスファルト舗装 ㊦	アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.7.6) (22.4.6)	13	排水性アスファルト舗装 ㊦	アスファルト混合物 (22.8.3) (表22.7.1) ○ ポリマー改良アスファルトI型 ※ ポリマー改良アスファルトII型 アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.8.6) (22.4.6)	14	ブロック系舗装 ㊦	○ コンクリート平板舗装 (コンクリート平板は J I S A 5 3 7 1 の平板) (22.9.2、3) 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※ 普通平板 (N) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 ○ 保水性平板 (M) ○ ○ ○ モルタル ○ 透水性平板 (P)			○ インターロッキングブロック舗装 (22.9.2、3) (インターロッキングブロックは J I S A 5 3 7 1 のインターロッキングブロック) 種類 厚さ (mm) 色彩及び表面加工等 ※ 普通ブロック (N) 車道部 ※ 80 ○ ※ 単純品 ○ 透水性ブロック (P) 歩道部 ※ 60 ○ ○ ○ 保水性ブロック (M) ○ 誘導、注意突起用ブロック 車道部 ※ 80 歩道部 ※ 60 黄色系とする ○ 植生用ブロック ※ 80 ○ 100 孔及び/又は凹を設ける			○ 舗石舗装 (石材は J I S A 5 0 0 3 の2等品) (22.9.2、3) 種類 厚さ (mm) 施行方法 基層 ※ 小舗石 (花こう岩) ※ 80~100 ○ ※ うろこ張り ※ コンクリート舗装 ○ ○ ○ ○ アスファルト舗装			砂利敷き 種別 ○ A種 (通路) ○ B種 (その他) ○ (22.10.2)			路面標識用塗料 J I S K 5 6 6 5 (路面標識用塗料) による 種類 施行 色 塗布幅 (mm) 塗布厚さ (mm) 揮発性有機溶剤の含有率 ○ 1種 ㊦ 常温 液状 ※ 白 ※ 150 ※ 1.0 塗料総質量に対して ○ 2種 ㊦ 加熱 ○ ○ ○ 5%以下 ※ 3種1号 溶接 粉体状
		区 分	材 質	材 質	厚さ (mm)	取付け高さ	(20.2.10) 書 体																																																																																																										
○ 衝突防止表示 (○ 両面 ○ 片面)	※ ステンレス製 ○ 図示	※ 30φ	※ 市販品	※ 図示																																																																																																													
○ 室名札	※ アクリル板	※ 図示	※ 5	※ 図示																																																																																																													
○ ピクトグラフ ○ 扉番号 ○ 階数表示	○		○	○																																																																																																													
○ 建物案内板 ○ 各階案内板	※ アクリル板	※ 図示	※ 5	※ 図示																																																																																																													
方 向	タイプ	耐火性能	防水性能																																																																																																														
○ 垂直方向	※ 完全 (全費通型) スリット	○ 耐火型	○ あり																																																																																																														
○ 水平方向	○	○ 非耐火型	○ なし																																																																																																														
目 地	内 壁	外 壁																																																																																																															
目地材	シーリング材 (見え掛りのみ)	シーリング材 (内外共)																																																																																																															
目地寸法 (mm)	※ 幅20×深さ10	※ 幅20×深さ10																																																																																																															
1	盛土に用いる材料	種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (22.2.3) (表3.2.1) ○ 建設汚泥から再生した処理土 ㊦																																																																																																															
2	遮断層及び凍上抑制層の材料	○ 遮断層 ※ 川砂、海砂又は良質な山砂 ○ (22.2.2、3) 厚さは図示 ○ 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ㊦ ○ クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 砂 厚さは図示																																																																																																															
3	路面安定処理	※ 添加材料による安定処理 (22.2.2、3) (表22.2.2) 種類 ○ 普通ポルトランドセメント ○ フライアッシュセメントB種 ㊦ ○ 生石灰 ( ) ○ 消石灰 ( ) 添加量 ( ) kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ※ 5以上 ○ )																																																																																																															
4	路床土の支持力比 (CBR) 試験	※ 行う (※ 締め固めた土 ○ 乱さない土) (22.2.5)																																																																																																															
5	路床締め固め度の試験	※ 行う (22.2.5)																																																																																																															
6	砂の粒度試験	※ 行う (22.2.5)																																																																																																															
7	路盤材料 ㊦	※ 再生クラッシュラン (RC-40) ㊦ (22.3.3) ○ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) ㊦ ○ クラッシュラン (C-40) ○ 透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの																																																																																																															
8	路盤の締め固め度試験	※ 行う (22.2.5)																																																																																																															
9	アスファルト舗装	車道部の基層 ※ なし ○ あり (22.4.2) (表22.4.1) アスファルト ※ 再生アスファルト ㊦ ○ ストレートアスファルト (22.4.3) 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6) 区分 ○ 一般地域 ○ 寒冷地域 表層 ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13F) ○ 細粒度アスファルト混合物(13) ○ 細粒度キャップアスファルト混合物(13F) 基層 ○ 細粒度アスファルト混合物(20) シールコート ※ 行わない ○ 行う (施行箇所: ) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.4.6) 切り取り検査 ※ 行わない ○ 行う (カ所)																																																																																																															
10	コンクリート舗装	早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する (22.5.3) 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.3) 溶接金網 ○ あり (○ D10@200 ○ 5×150×150) ○ なし (22.5.3、4) 厚さ試験 ※ 行わない ○ 行う (22.5.6)																																																																																																															
11	カラー舗装	○ カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (22.6.2、3) カラー舗装の下 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装																																																																																																															
12	透水性アスファルト舗装 ㊦	アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.7.6) (22.4.6)																																																																																																															
13	排水性アスファルト舗装 ㊦	アスファルト混合物 (22.8.3) (表22.7.1) ○ ポリマー改良アスファルトI型 ※ ポリマー改良アスファルトII型 アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ○ 行う (22.8.6) (22.4.6)																																																																																																															
14	ブロック系舗装 ㊦	○ コンクリート平板舗装 (コンクリート平板は J I S A 5 3 7 1 の平板) (22.9.2、3) 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※ 普通平板 (N) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 ○ 保水性平板 (M) ○ ○ ○ モルタル ○ 透水性平板 (P)																																																																																																															
		○ インターロッキングブロック舗装 (22.9.2、3) (インターロッキングブロックは J I S A 5 3 7 1 のインターロッキングブロック) 種類 厚さ (mm) 色彩及び表面加工等 ※ 普通ブロック (N) 車道部 ※ 80 ○ ※ 単純品 ○ 透水性ブロック (P) 歩道部 ※ 60 ○ ○ ○ 保水性ブロック (M) ○ 誘導、注意突起用ブロック 車道部 ※ 80 歩道部 ※ 60 黄色系とする ○ 植生用ブロック ※ 80 ○ 100 孔及び/又は凹を設ける																																																																																																															
		○ 舗石舗装 (石材は J I S A 5 0 0 3 の2等品) (22.9.2、3) 種類 厚さ (mm) 施行方法 基層 ※ 小舗石 (花こう岩) ※ 80~100 ○ ※ うろこ張り ※ コンクリート舗装 ○ ○ ○ ○ アスファルト舗装																																																																																																															
		砂利敷き 種別 ○ A種 (通路) ○ B種 (その他) ○ (22.10.2)																																																																																																															
		路面標識用塗料 J I S K 5 6 6 5 (路面標識用塗料) による 種類 施行 色 塗布幅 (mm) 塗布厚さ (mm) 揮発性有機溶剤の含有率 ○ 1種 ㊦ 常温 液状 ※ 白 ※ 150 ※ 1.0 塗料総質量に対して ○ 2種 ㊦ 加熱 ○ ○ ○ 5%以下 ※ 3種1号 溶接 粉体状																																																																																																															
10	煙突ライニング	○ 煙突用成形ライニング材 (20.2.11) 適用安全使用温度 ○ 400℃ ○ 650℃ ○ ○ キャスタブル耐火材 工法 ※ こて押え ○ 適用安全使用温度 ※ 400℃ ○	26	エキスパンション・ジョイント金物	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>地上高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム合金製</td> <td>※ テーパー型 ○ 同一断面型</td> <td>○ 6 ○ 8 ○ 10 ○ 12</td> <td>※ ハンドル式 ○ ロープ式</td> <td>○ 埋込み式 ○ ベース式 ○ バンド式</td> </tr> </table>	材 質	形 式	地上高さ (m)	操作方法	固定方法	※ アルミニウム合金製	※ テーパー型 ○ 同一断面型	○ 6 ○ 8 ○ 10 ○ 12	※ ハンドル式 ○ ロープ式	○ 埋込み式 ○ ベース式 ○ バンド式																																																																																																		
材 質	形 式	地上高さ (m)	操作方法	固定方法																																																																																																													
※ アルミニウム合金製	※ テーパー型 ○ 同一断面型	○ 6 ○ 8 ○ 10 ○ 12	※ ハンドル式 ○ ロープ式	○ 埋込み式 ○ ベース式 ○ バンド式																																																																																																													
11	ブラインド	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>種 類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>施行箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 横形</td> <td>※ ギヤ式 ○ コード式 ○ 操作棒式</td> <td>※ アルミニウム合金</td> <td>※ 25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 縦形</td> <td>○ 1本操作コード ※ 2本操作コード</td> <td>○ アルミスラット ○ クロススラット</td> <td>○ 80 ○ 100</td> <td></td> </tr> </table>	形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	施行箇所	※ 横形	※ ギヤ式 ○ コード式 ○ 操作棒式	※ アルミニウム合金	※ 25		○ 縦形	○ 1本操作コード ※ 2本操作コード	○ アルミスラット ○ クロススラット	○ 80 ○ 100		27	止水板	形式 ○ 据置き式 ○ 壁張り式 ○ 差込み式																																																																																													
形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	施行箇所																																																																																																													
※ 横形	※ ギヤ式 ○ コード式 ○ 操作棒式	※ アルミニウム合金	※ 25																																																																																																														
○ 縦形	○ 1本操作コード ※ 2本操作コード	○ アルミスラット ○ クロススラット	○ 80 ○ 100																																																																																																														
12	ロールスクリーン	<table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>施行箇所</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ ポリエステル ○ 綿 ○</td> <td>○ 電気式 ○ スプリング式 ○ チェーン式</td> <td>○ 1級 ○ 2級 ○ 3級 ○</td> <td>○ 図示 ○</td> <td></td> <td>防火性能 ※あり</td> </tr> </table>	材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	施行箇所	備 考	※ ポリエステル ○ 綿 ○	○ 電気式 ○ スプリング式 ○ チェーン式	○ 1級 ○ 2級 ○ 3級 ○	○ 図示 ○		防火性能 ※あり	28	旗 竿	材質 ○ 黄銅 (ホワイトブロンズめっき仕上) 又はステンレス製 ( ) 組																																																																																																
材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	施行箇所	備 考																																																																																																												
※ ポリエステル ○ 綿 ○	○ 電気式 ○ スプリング式 ○ チェーン式	○ 1級 ○ 2級 ○ 3級 ○	○ 図示 ○		防火性能 ※あり																																																																																																												
13	カーテン	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>施行箇所</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ シングル ※ ダブル</td> <td>○ 片引き ※ 引分け</td> <td>○ 電動 ○ ひも引き ※ 手引き</td> <td>○ フランスひだ ○ 箱ひだ ○ つまひだ ○ プレーンひだ ○ 片ひだ</td> <td>(鉛幕)</td> </tr> </table>	形 式	開閉操作	ひだの種類	施行箇所	備 考	○ シングル ※ ダブル	○ 片引き ※ 引分け	○ 電動 ○ ひも引き ※ 手引き	○ フランスひだ ○ 箱ひだ ○ つまひだ ○ プレーンひだ ○ 片ひだ	(鉛幕)	29	旗 竿 受 金 物																																																																																																			
形 式	開閉操作	ひだの種類	施行箇所	備 考																																																																																																													
○ シングル ※ ダブル	○ 片引き ※ 引分け	○ 電動 ○ ひも引き ※ 手引き	○ フランスひだ ○ 箱ひだ ○ つまひだ ○ プレーンひだ ○ 片ひだ	(鉛幕)																																																																																																													
14	カーテンレール	材質 ※ アルミニウム製 ○ ステンレス製 (ダブルとする) (20.2.14) 形式 ○ 片分け ○ 引分け (※鉛幕用は300mm以上の呂合せの重ね掛けとする)	30	車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 上下式額内蔵型 ○ 標準式 ○ スプリング式</td> <td>※ ステンレス製 ○</td> <td>○ φ114.3 t=2.5 ○</td> <td>○ GL+700 ○</td> <td></td> </tr> </table>	形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	備 考	○ 上下式額内蔵型 ○ 標準式 ○ スプリング式	※ ステンレス製 ○	○ φ114.3 t=2.5 ○	○ GL+700 ○																																																																																																			
形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	備 考																																																																																																													
○ 上下式額内蔵型 ○ 標準式 ○ スプリング式	※ ステンレス製 ○	○ φ114.3 t=2.5 ○	○ GL+700 ○																																																																																																														
15	ブラインドボックス及びカーテンボックス	※ 木製 (メラミン化粧板) 溝幅×深さ (mm) ○ 90×150 ※ 120×80 ○ 120×150 ○ 150×80 ○ ○ 市販品 (アルミニウム製 押出材) 溝幅×深さ (mm) ○ 90×150 ※ 120×80 ○ 120×150 ○ 150×80 ○ 表面処理 ※ B-1 ○ B-2 (※ シルバー ○ ブラウン系)	31	フ ェ ン ス	メッシュフェンス 既製品 (門扉共)																																																																																																												
16	点検口	天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※ 450×450 ○ 600×600 床 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※ 450×450 ○ 600×600	32	敷地境界石標	種類 ※ コンクリートブロック製 (市販品) ○ 火こう石類 (文字記号等入り) 設置方法 根切り底を突き締めたらえ、厚さ60mmの砂利地盤を行い、コンクリートで覆蓋して建て込む。 建て込みは監理職員の立会のもと行う。 コンクリートの割合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度																																																																																																												
17	防煙垂れ壁	固定式 材質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備考 ※ 網入り磨き板ガラス ※ 6.8 ※ 図示 アルミ製枠付き ○ 線入り磨き板ガラス ○ ○ 500	33	アコーデオンドア	製品は消防法に規定する防火加工を行ったものとする。																																																																																																												
18	視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>図示</td> <td>※ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300 ○ ※ 7.0 ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300 ○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外</td> <td>図示</td> <td>○ 磁器質タイル</td> <td>※ 300×300 ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ レジコンクリート製</td> <td>300×300 ※ 30 ○</td> </tr> </table> <p>ブロックパターンは J I S T 9 2 5 1 による。</p>	施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	図示	※ 塩化ビニル製	※ 300×300 ○ ※ 7.0 ○		○ レジコンクリート製	※ 300×300 ○	屋外	図示	○ 磁器質タイル	※ 300×300 ○		※ レジコンクリート製	300×300 ※ 30 ○	34	館 名 文 字	※ 箱文字 (※ ステンレス製 ○ 黄銅製) 厚さ (mm) ※ 50 ○ ○ 切抜文字 (○ ステンレス製 ○ 黄銅製) ○ コンクリート彫込文字																																																																																										
施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																														
屋内	図示	※ 塩化ビニル製	※ 300×300 ○ ※ 7.0 ○																																																																																																														
		○ レジコンクリート製	※ 300×300 ○																																																																																																														
屋外	図示	○ 磁器質タイル	※ 300×300 ○																																																																																																														
		※ レジコンクリート製	300×300 ※ 30 ○																																																																																																														
19	くつふきマット	※ ビニール製 (受けわくステンレス製) ○ 硬質アルミニウム製 (受けわくステンレス製)	35	天 井 見 切 縁	材質 ※ アルミニウム既製品 (押出し型材) ○ ビニール既製品																																																																																																												
20	流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (L = mm)</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質等</th> </tr> <tr> <td>○ 流し台</td> <td>※ 1200 ○ 1500 ○ 1800</td> <td>トラップ付き</td> <td>※ 優良住宅部品 ○</td> </tr> <tr> <td>○ コンロ台</td> <td>※ 600 ○ 700</td> <td>バックガード ※あり ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 吊戸棚</td> <td>※ 1200 ○ 900 ○ 600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 水切棚</td> <td>※ 1200 ○ 900</td> <td>ステンレス製 ※ 1段式</td> <td>※ 市販品</td> </tr> </table>	種 類	寸法 (L = mm)	適用内容	規格・品質等	○ 流し台	※ 1200 ○ 1500 ○ 1800	トラップ付き	※ 優良住宅部品 ○	○ コンロ台	※ 600 ○ 700	バックガード ※あり ○		○ 吊戸棚	※ 1200 ○ 900 ○ 600			○ 水切棚	※ 1200 ○ 900	ステンレス製 ※ 1段式	※ 市販品	36	物 干 金 物	既製品 図示																																																																																								
種 類	寸法 (L = mm)	適用内容	規格・品質等																																																																																																														
○ 流し台	※ 1200 ○ 1500 ○ 1800	トラップ付き	※ 優良住宅部品 ○																																																																																																														
○ コンロ台	※ 600 ○ 700	バックガード ※あり ○																																																																																																															
○ 吊戸棚	※ 1200 ○ 900 ○ 600																																																																																																																
○ 水切棚	※ 1200 ○ 900	ステンレス製 ※ 1段式	※ 市販品																																																																																																														
21	カウンタ	材質 ※ 集成材 ウレタン塗装 ○ メラミン化粧板 ○ 人口大理石	37	自 転 車 置 場	10㎡以下 (既製品) のものを 1 台 設置 (完了検査後) 設置箇所 図示																																																																																																												
22	鋼製書架及び物品棚	※ J I S規格品 ○ その他	38	消 火 器	必要数量を設置すること。																																																																																																												
23	屋内掲示板	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り ○	2 1 排水工事	1	連心力鉄筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管	<table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状 (接合方法)</th> </tr> <tr> <td>※ 連心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (※ 1種 ○ 2種)</td> <td>○ B形 (ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>※ VP ○ VU ○ RS-VU ㊦</td> <td></td> </tr> </table> <p>車道部の配水管の敷設 ※ 図示 ○ 砂基礎 (地盤厚さ20cm以上 材料 山砂の類)</p>	材 種	管の種類	管形状 (接合方法)	※ 連心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (※ 1種 ○ 2種)	○ B形 (ゴム接合)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ VP ○ VU ○ RS-VU ㊦																																																																																																			
材 種	管の種類	管形状 (接合方法)																																																																																																															
※ 連心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (※ 1種 ○ 2種)	○ B形 (ゴム接合)																																																																																																															
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ VP ○ VU ○ RS-VU ㊦																																																																																																																
24	屋外掲示板	照明器具 ※ あり ○ なし 施設 ※ あり ○ なし	2	鋳 鉄 製 込 込	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>適用荷重 (安全荷重 (kN))</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>○ 水封形</td> <td>○ T-2用 (5)</td> <td>○ あり</td> </tr> <tr> <td>○ 簡易密閉形 (パッキン式)</td> <td>○ T-6用 (15)</td> <td>○ なし</td> </tr> <tr> <td>○ 密閉形 (テーパー・パッキン式)</td> <td>○ T-20用 (50)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵	○ 水封形	○ T-2用 (5)	○ あり	○ 簡易密閉形 (パッキン式)	○ T-6用 (15)	○ なし	○ 密閉形 (テーパー・パッキン式)	○ T-20用 (50)		○ 中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)																																																																																															
種 類	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵																																																																																																															
○ 水封形	○ T-2用 (5)	○ あり																																																																																																															
○ 簡易密閉形 (パッキン式)	○ T-6用 (15)	○ なし																																																																																																															
○ 密閉形 (テーパー・パッキン式)	○ T-20用 (50)																																																																																																																
○ 中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)																																																																																																																	
			3	グ レ ー チ ング	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 式</th> <th>用 途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○ 鋼製</td> <td>※ 受枠付き</td> <td>○ 溝ふた (横断用)</td> <td>○ 歩行用</td> <td>※ 細目</td> <td>※ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス製</td> <td>○</td> <td>○ 溝ふた (側溝用)</td> <td>○ T-2用</td> <td>※ 普通目</td> <td>※ 平形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボルト固定</td> <td>○ 横心た用</td> <td>○ T-6用</td> <td>○ 細目</td> <td>○ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ なし</td> <td>○ かさ上げ用</td> <td>○ T-14用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○ U字溝用</td> <td>○ T-20用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状	○ 鋼製	※ 受枠付き	○ 溝ふた (横断用)	○ 歩行用	※ 細目	※ 凹凸形	○ ステンレス製	○	○ 溝ふた (側溝用)	○ T-2用	※ 普通目	※ 平形		ボルト固定	○ 横心た用	○ T-6用	○ 細目	○ 凹凸形		※ なし	○ かさ上げ用	○ T-14用				○ 図示	○ U字溝用	○ T-20用																																																																										
種 類	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状																																																																																																												
○ 鋼製	※ 受枠付き	○ 溝ふた (横断用)	○ 歩行用	※ 細目	※ 凹凸形																																																																																																												
○ ステンレス製	○	○ 溝ふた (側溝用)	○ T-2用	※ 普通目	※ 平形																																																																																																												
	ボルト固定	○ 横心た用	○ T-6用	○ 細目	○ 凹凸形																																																																																																												
	※ なし	○ かさ上げ用	○ T-14用																																																																																																														
	○ 図示	○ U字溝用	○ T-20用																																																																																																														
			4	埋 戻 し 土	種別 ※ B種 ○																																																																																																												

2.3 植栽及び屋上緑化工事

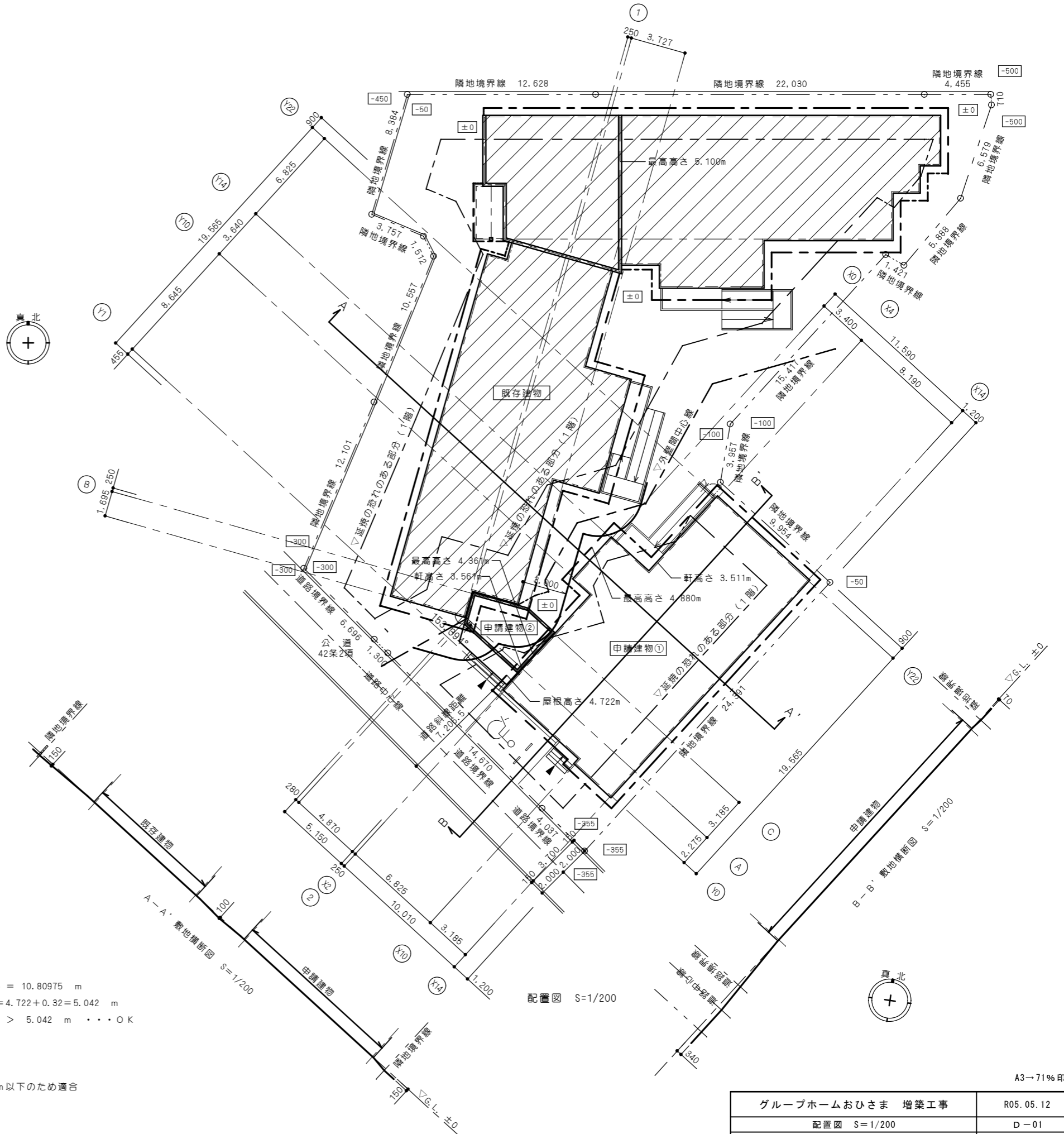
①	植栽基盤整備	芝及び地被類 (2.3.2.2.3) (表2.3.2.1.2)			
		適用	有効土層厚さ (cm)	工法	整備範囲
		※ 行う ○ 行わない	※ 2.0 ○	※ B種 ○	※ 植栽範囲 ○ 図示
②	植込み用土	樹木 (2.3.2.2.3) (表2.3.2.1.2)			
		樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲
		○ 1.2以上	※ 1.0 ○	※ A種	○ 葉張りの範囲
		○ 7以上~1.2未満	※ 8.0 ○	○ B種	ただし、低木は植栽範囲
		○ 3以上~7未満	※ 6.0 ○	○ C種	○ 図示
		○ 3未満	※ 5.0 ○	○ D種	
		工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。			
3	土壌改良剤 ㊦	※ 適用する (2.3.2.3.4)			
		施行範囲	※ 植栽範囲	○ 図示	
		○ バーク堆肥 ㊦			
		有機物の含有率 (乾物)	: 7.0%以上		
		炭素窒素比 [C/N比]	: 3.5以上		
		陽イオン交換容量[CEC] (乾物)	: 7.0mEq/100g以上		
		水素イオン濃度 [pH]	: 5.5~7.5		
		水分	: 5.5~6.5%		
		幼植物試験の結果	: 生育障害その他異常が認められない		
		窒素全量 [N] (現物)	: 0.5%以上		
		りん酸全量 [P2O5] (現物)	: 0.2%以上		
		加里全量 [K2O] (現物)	: 0.1%以上		
		○ 下水汚泥コンポスト ㊦			
		「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、有害試験の結果、害が認められないものとする。			
		有機物の含有率 (乾物)	: 3.5%以上		
		炭素窒素比 [C/N比]	: 2.0以上		
		水素イオン濃度 [pH]	: 8.5以下		
		水分	: 5.0%以下		
		窒素全量 [N] (現物)	: 0.8%以上		
		りん酸全量 [P2O5] (現物)	: 1.0%以上		
		アルカリ分 (現物)	: 1.5%以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない)		
④	支柱材	※ 杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) ㊦ (2.3.3.2)			
		防腐処理方法	※ 加圧式防腐処理 ○		
		○ 新竹 (良質な2年生以上)			
⑤	幹巻き用材料	※ 幹巻き用テープ ○ わら及びこも (2.3.3.2)			
⑥	芝張り	種類	※ コウライシバ ○ ノシバ (2.3.4.2.3)		
		工法	○ 目地張り ○ べた張り		
7	吹付けは種用種子等	※ 洋芝類 (採取後2年以内) ○ (2.3.4.2)			
8	地被類	※ コンテナ栽培品 (種類等: ) (2.3.4.2)			
⑨	活着保証	※ 行う (1年) ○ 行わない			
⑩	植栽	○ 図示による ○			
11	屋上緑化 ㊦	植栽基盤 (2.3.5.2.3)			
		○ 屋上緑化システム			
		土壌層の厚さ	○ 図示 ○		
		排水層	○ 軽量骨材 (層の厚さ: ) ○	○ 板状成形品	
		植込み用土	※ 改良土 ○	○ 人工軽量土	
		○ 屋上緑化軽量システム			
		樹木等及びその他の材料 (2.3.5.3)			
		樹木の樹種、寸法、株立数、数量等	※ 図示 ○		
		芝及び地被類の種類等	※ 図示 ○		
		見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等	※ 図示 ○		
		工法 (2.3.5.4)			
		支柱	○ 設置する (形状 ○ 図示 ○ )		
		かん水装置	○ 設置する (種類: ) (工事区分は図示による)		

申請地：広島県福山市地吹町2159-1・12、2162-4・7、  
2150-2・2149-4・2162-1・8の一部



案内図 S=1/2000

1. 敷地概要	
地名地番	広島県福山市地吹町2159-1・12、2162-4・7、 2150-2・2149-4・2162-1・8の一部
都市計画区域	都市計画区域内・市街化区域
前面道路幅員	<北側> - m <南側> 4.00 m <東側> - m <西側> - m
敷地面積	1,331.38㎡
用途地域	近隣商業地域
建蔽率/容積率	80% / 300% (道路幅員により240%)
防火地域	準防火地域
高度地区	-
その他の地域地区	-
2. 計画概要	
工事名称	グループホームおひさま 増築工事
主要用途	グループホーム 08170
工事種別	増築工事
構造規模	木造 一部RC造
耐火性能	その他
増築 建築面積	205.01
既存 建築面積	492.76㎡
合計 建築面積	697.77㎡ (52.41% < 80%)
増築 延床面積	202.64㎡
既存 延床面積	488.72㎡
合計 延床面積	691.36㎡ (51.93% < 240%)

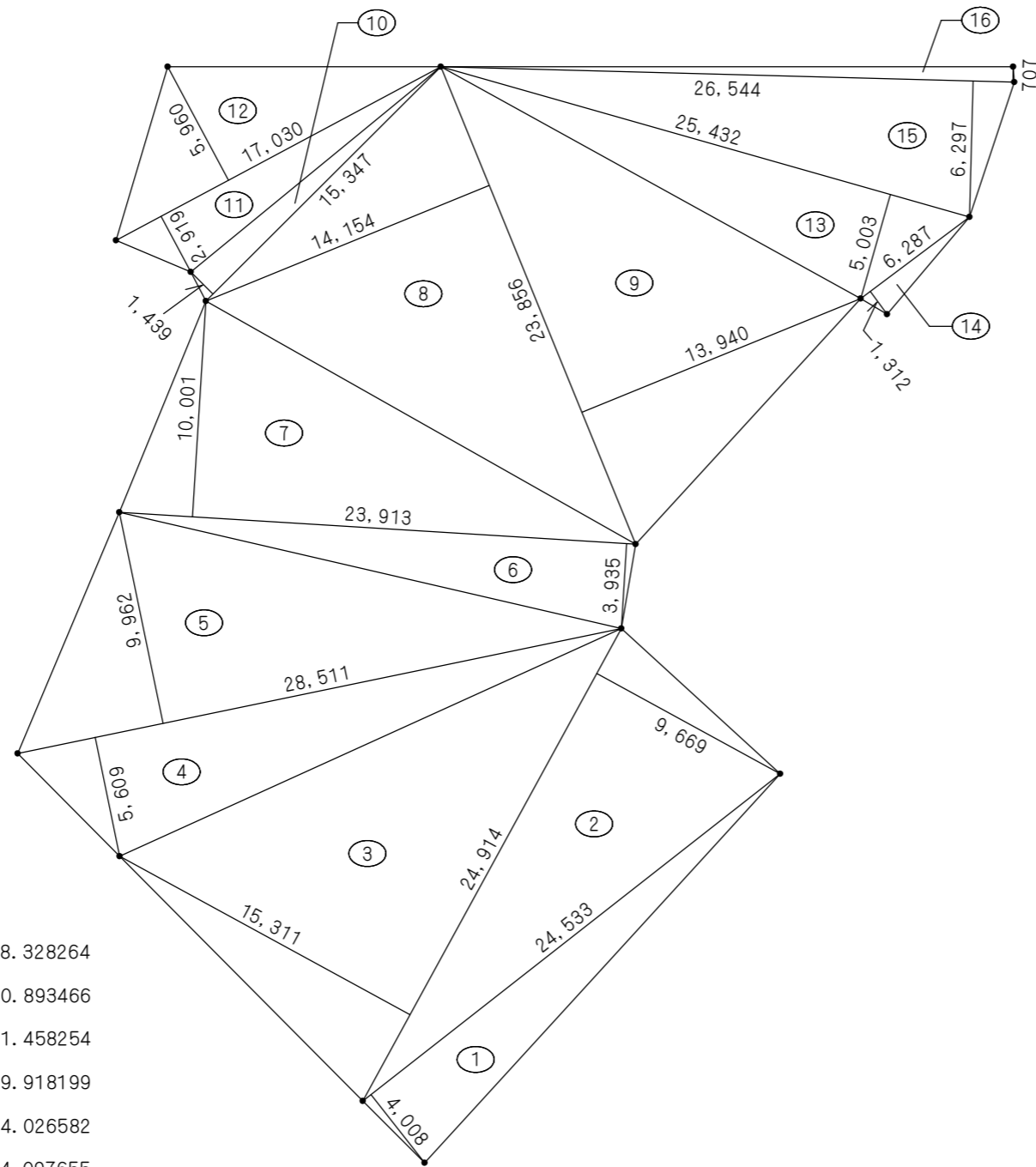


道路斜線  
 $7.2065 \times 1.5 = 10.80975 \text{ m}$   
 建物高さ  $H = 4.722 + 0.32 = 5.042 \text{ m}$   
 $10.80975 \text{ m} > 5.042 \text{ m} \dots \circ \text{K}$

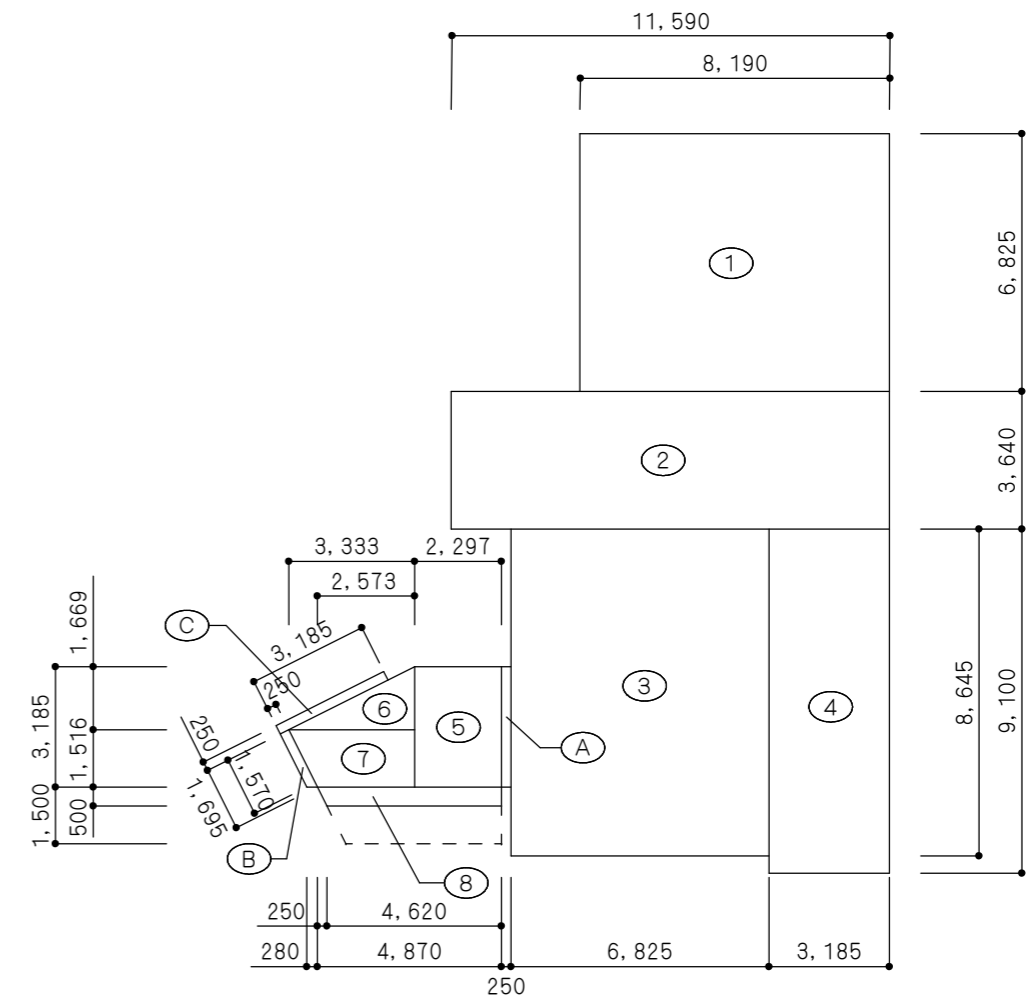
隣地斜線  
 最高高さが31m以下のため適合

A3-71%印刷

グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
配置図 S=1/200	D-01
<b>アズ建築設計事務所</b> 広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616	一級建築士事務所 広島 19-1-1588号 一級建築士 第88163号 斉藤孝夫



敷地求積図 S=1/300



1階床面積図 S=1/200

敷地面積

①	24.533	×	4.008	=	98.328264
②	24.914	×	9.669	=	240.893466
③	24.914	×	15.311	=	381.458254
④	28.511	×	5.609	=	159.918199
⑤	28.511	×	9.962	=	284.026582
⑥	23.913	×	3.935	=	94.097655
⑦	23.913	×	10.001	=	239.153913
⑧	23.856	×	14.154	=	337.657824
⑨	23.856	×	13.940	=	332.552640
⑩	15.347	×	1.439	=	22.084333
⑪	17.030	×	2.919	=	49.710570
⑫	17.030	×	5.960	=	101.498800
⑬	25.432	×	5.003	=	127.236296
⑭	6.287	×	1.312	=	8.248544
⑮	26.544	×	6.297	=	167.147568
⑯	26.544	×	0.707	=	18.766608

倍面積	2662.779516
1/2	1331.389758 m <sup>2</sup>
	1331.38 m <sup>2</sup>

増築部分 1階床面積

①	8.190	×	6.825	=	55.896750
②	11.590	×	3.640	=	42.187600
③	6.825	×	8.645	=	59.002125
④	3.185	×	9.100	=	28.983500
⑤	2.297	×	3.185	=	7.316104
⑥	3.333	×	1.669 / 2	=	2.781389
⑦	(3.333 + 2.573)	×	1.516 / 2	=	4.476748
A	0.250	×	3.185	=	0.796250
B	(1.570 + 1.695)	×	0.250 / 2	=	0.408125
C	3.185	×	0.250	=	0.796250
合計					202.644841

木造  
186.07

RC造  
16.57

202.64 m<sup>2</sup>

増築部分 建築面積

⑧	(4.870 + 4.620)	×	0.500 / 2	=	2.372500
合計					202.644841 (床面積)
合計					205.017341

205.01 m<sup>2</sup>

建築面積合計 492.76(既存) + 205.01 = 697.77 m<sup>2</sup>

延床面積合計 488.72(既存) + 202.64 = 691.36 m<sup>2</sup>

グループホームおひさま 増築工事	R05.01.16
求積図	D-02

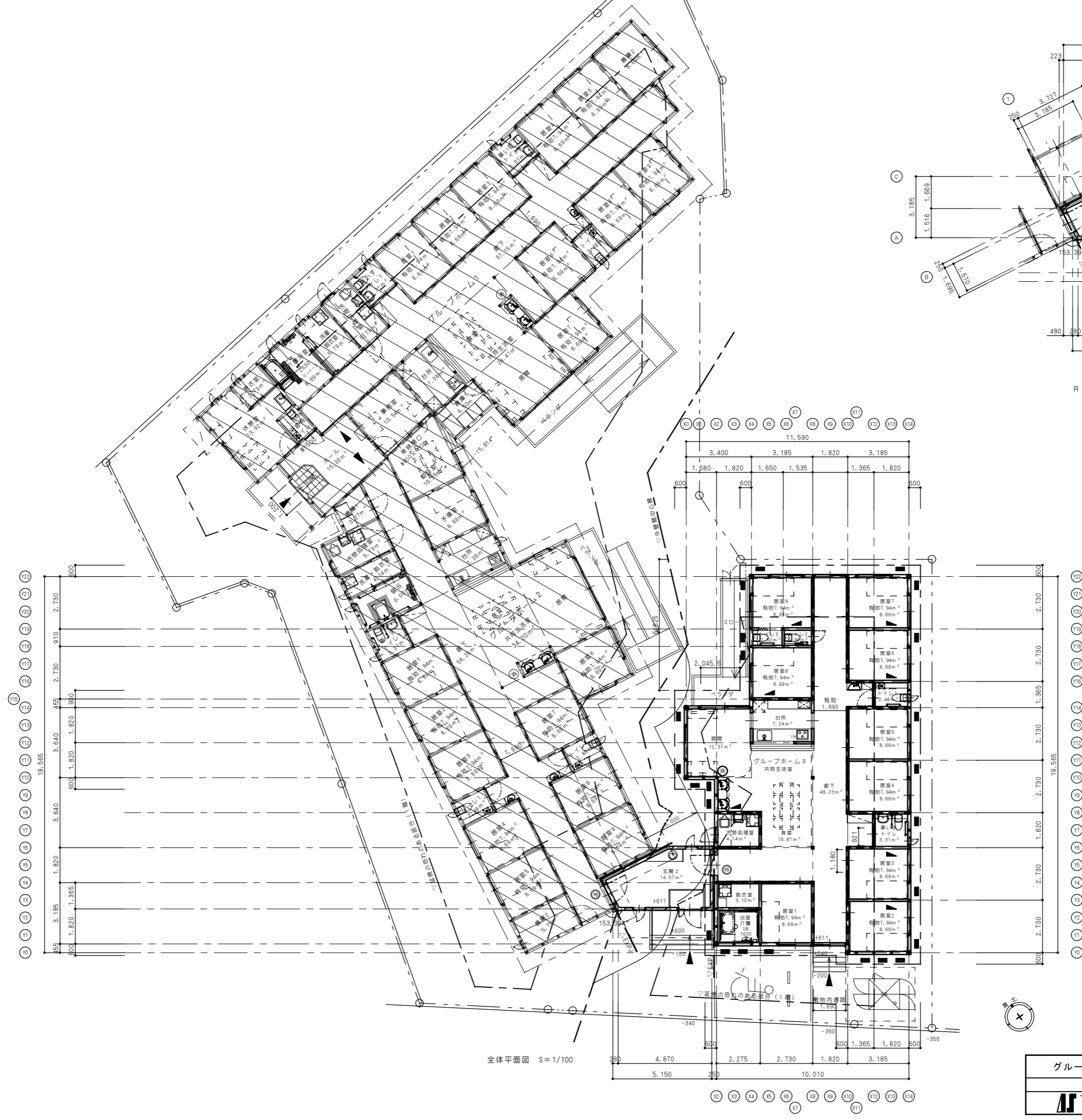
外部仕上表（木造・既存部分）			
屋根	ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺き 厚0.4 換気棟（片流れ用）（NM-8697）	犬走り	モルタル金コテ押え
外壁	サイディング貼り 厚14mm（PC030BE-9201）		
根回り	モルタル塗	ベランダ	レッドシダー（スロープ付） 外部木塗装：ウッドプロ（VATON）
ポーチ	300角タイル	駐車場	床：アスファルト舗装 車止め 白線
軒裏	軒天：パルプ繊維混入セメント板 厚12（QF030RS-0154） 破風 H=210 厚12		
樋	既製品 参考品番：横樋 T160 縦樋 Y60H（積水）		
木工事（構造材）	土台：桧105×105 通柱：桧120×120 管柱、その他：桧 梁：集成材、松 内部管柱：3.5寸角	外部建具	窓：アルミ窓 ペアガラス（YKKap同等品）

外部仕上表（RC造）			
屋根	コンクリート（厚 150）直均しの上、塩ビシート t=2.0露出防水	樋	SUS製（既製品） 65φ
外壁	コンクリート（厚 180）打放し補修の上、撥水剤塗布		
根回り	コンクリート（厚 180）打放し補修の上、撥水剤塗布	外部建具	玄関ドア：ヴェナートD30 C03（防火設備：EB-2488-1） 窓：アルミ窓 ペアガラス（YKKap同等品）
ポーチ	300角タイル		
庇	コンクリート（厚 150）直均しの上、フッ素樹脂塗装		
軒裏	コンクリート（厚 150）打放し補修の上、撥水剤塗布		

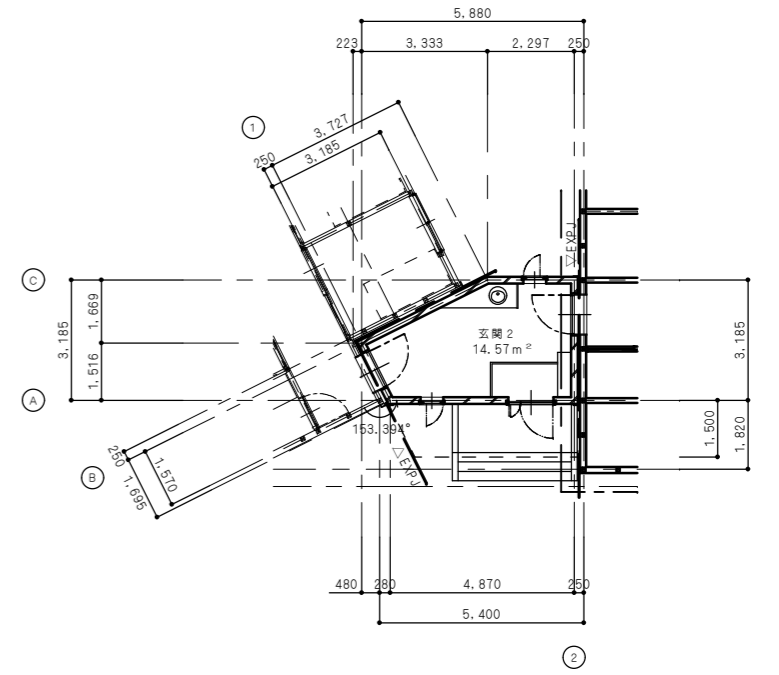
内部仕上表							
階	室名	床	巾木	壁	廻縁	天井	備考
1階	玄関2	磁器タイル300角	タイル	コンクリート打放し補修 撥水剤塗布	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	
	玄関ホール	無垢フローリング 厚15	—	コンクリート打放し補修 撥水剤塗布	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	ステンレス見切り 靴箱 掲示板（1200×750） 手洗い
	廊下	無垢フローリング 厚15	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	手摺 収納 手洗い
	汚物処理室	長尺ビニールシート ◎2.8	ビニール巾木 H=100	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	洗濯機パン 洗濯用流し 汚物流し 収納 棚 シャワーカーテン
	脱衣室	長尺ビニールシート ◎2.8	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	洗濯機パン
	浴室						介護UB1620
	台所	合板フローリング 厚15	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 キッチンパネル仕上げ	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	システムキッチン・カップボード キッチンパネル
	食堂	無垢フローリング 厚15	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	手洗い キッチンカウンター
	居間	無垢フローリング 厚15	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	
	居室1～9	無垢フローリング 厚15	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	
	トイレ1	長尺ビニールシート ◎2.8	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	収納付手洗いカウンター 手摺 紙巻機 棚
	トイレ2	長尺ビニールシート ◎2.8	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	収納付手洗いカウンター 紙巻機 カガミ
	トイレ3	無垢フローリング 厚15	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	手摺 紙巻機 棚
	車いす用トイレ	長尺ビニールシート ◎2.8	ビニール巾木 H=300	P B 厚12.5下地 ビニールクロス	突付け	P B 厚9.5下地 ビニールクロス	手洗い 手摺 紙巻機 棚

※特記事項	特記なき限り内装仕上にはF☆☆☆☆の材料を使用する 天井裏及び壁内にはF☆☆☆☆の材料を使用する	居室は、全てカーテン・レース付（居室のみ遮光カーテン）防災品
	木造：外壁（厚105）・天井（厚155）断熱材：高性能グラスウール HG16-38	クロスは、全て準不燃クロス 全てのコーナー部には、樹脂製コーナーガード
	RC造：天井裏 全て現場発泡ウレタン（厚25）吹付	無垢フローリングは、蜜蝋ワックス仕上げ ホール・廊下の壁には、全て木製手摺付
	*各種材料等 見本提出のこと *衛生設備機器：TOTO同等品	

グループホームおひさま 増築工事	R05.04.25
仕上表	D-03
 <b>アズ建築設計事務所</b> <small>広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616</small>	<small>一級建築士事務所 広島 19-1-1588号  一級建築士 第88163号 斉藤孝夫</small>

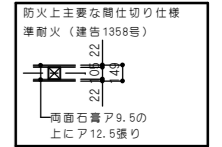


全体平面図 S=1/100



RC柱平面図 S=1/100

- 凡例
- ① 法2条9号の2口による特定防火設備(常時閉鎖)
  - ② 法2条9号の2口による防火設備(常時閉鎖)
  - ③ 法2条9号の2口による防火設備(アルミサッシ)：網入りガラス厚6.8
  - ④ 避難性能付き扉(常時閉鎖)
  - ⑤ 耐火構造の壁を示す(RC厚180)
  - ⑥ 防火上主要な開口を示す
  - ⑦ ※小室裏又は天井裏まで達せしめること
  - ⑧ 消火器：ABC10型(収納ボックス付)



※内装・天井裏仕上：  
全てF☆☆☆☆を使用

凡例

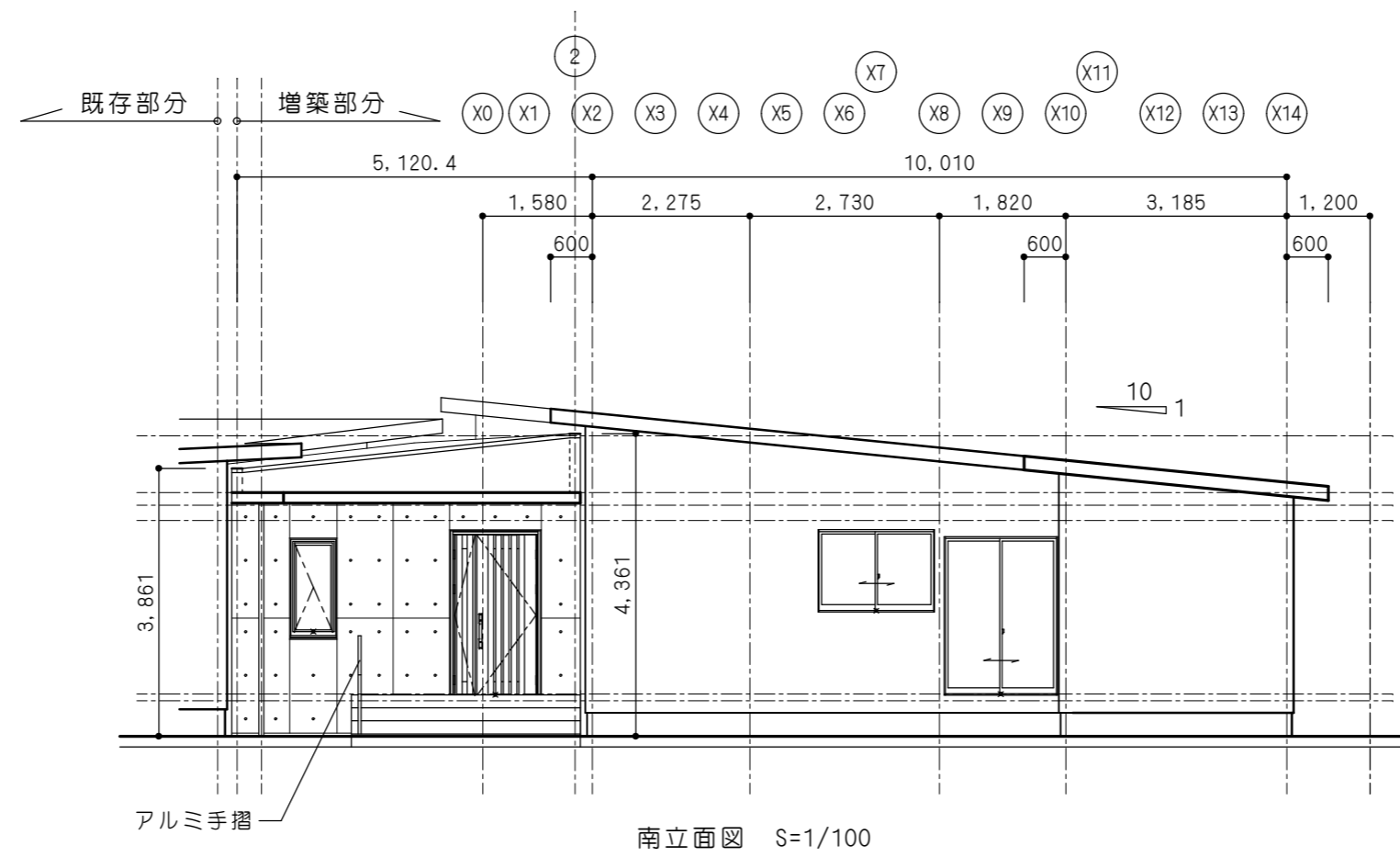
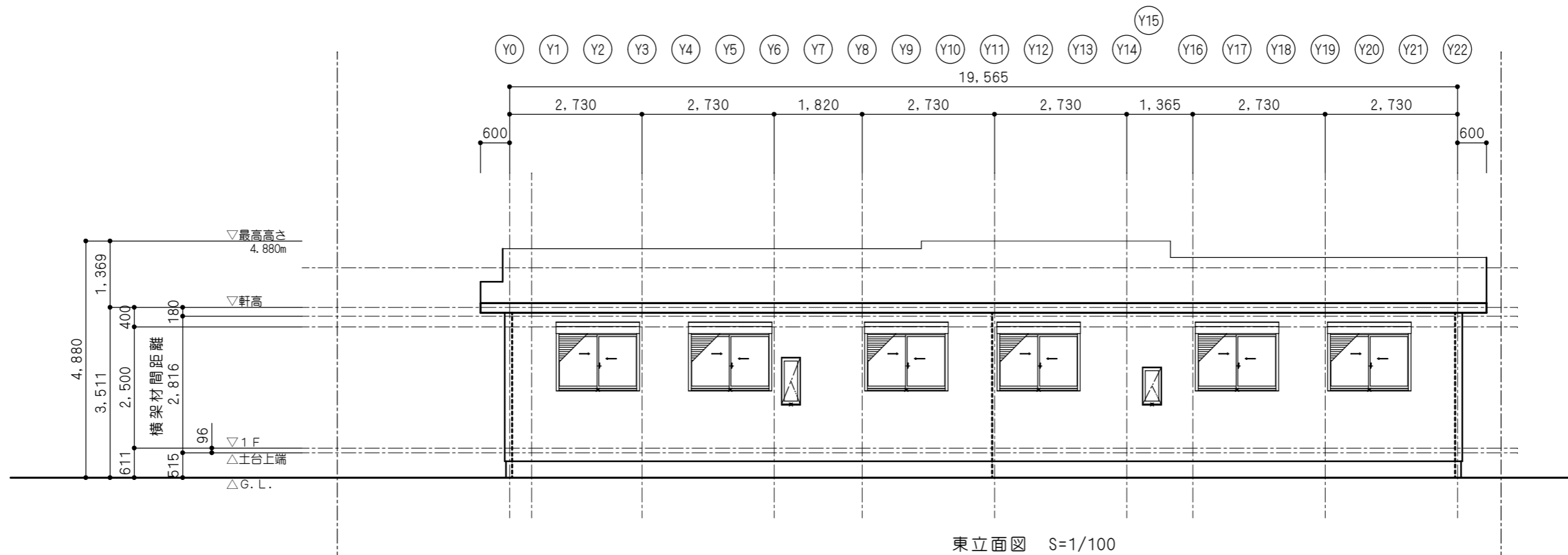
■	管柱 105X105
●	通し柱 120X120
▲	筋かい(シングル)45 x 90
▲	筋かい(ダブル)45 x 90
■	構造用合板 厚9
///	既存部分

避難距離(有窓居室)：建物が60m以下のため適合

A3→50%印刷

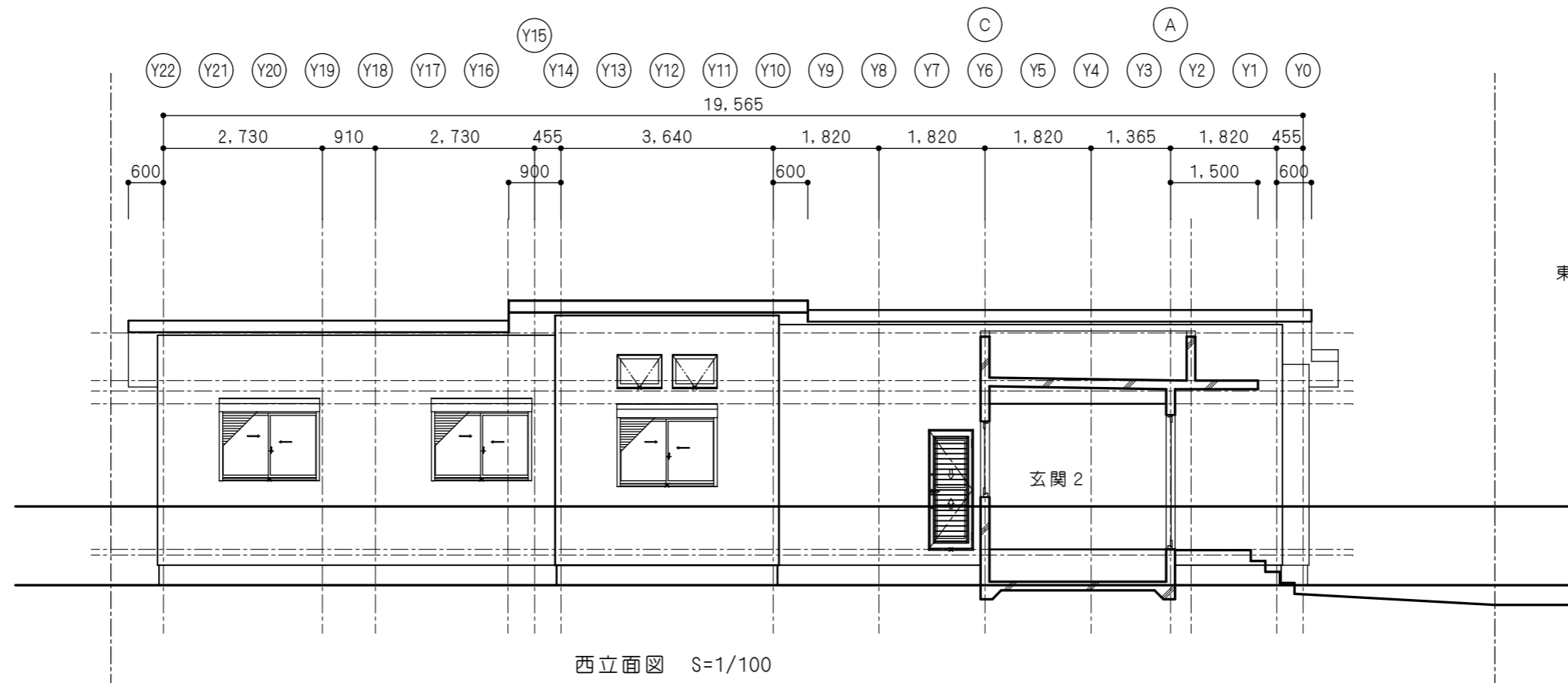
グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
平面図 S=1/100	D-04
<b>アズ建築設計事務所</b> 広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616	一級建築士事務所 広島 19-1-1588号 一級建築士 第88183号 齊藤孝夫





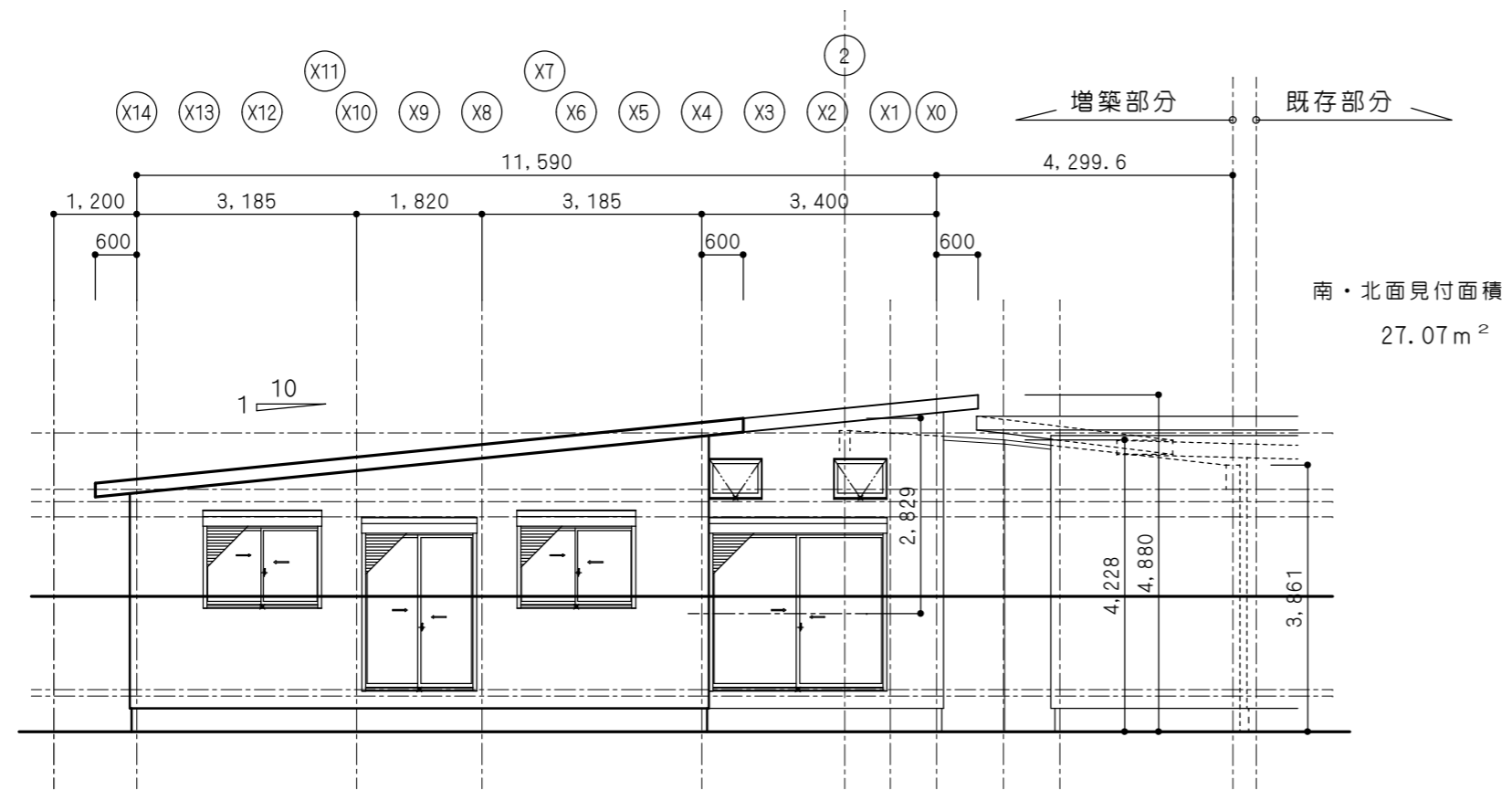
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
立面図(1) S=1/100	D-05





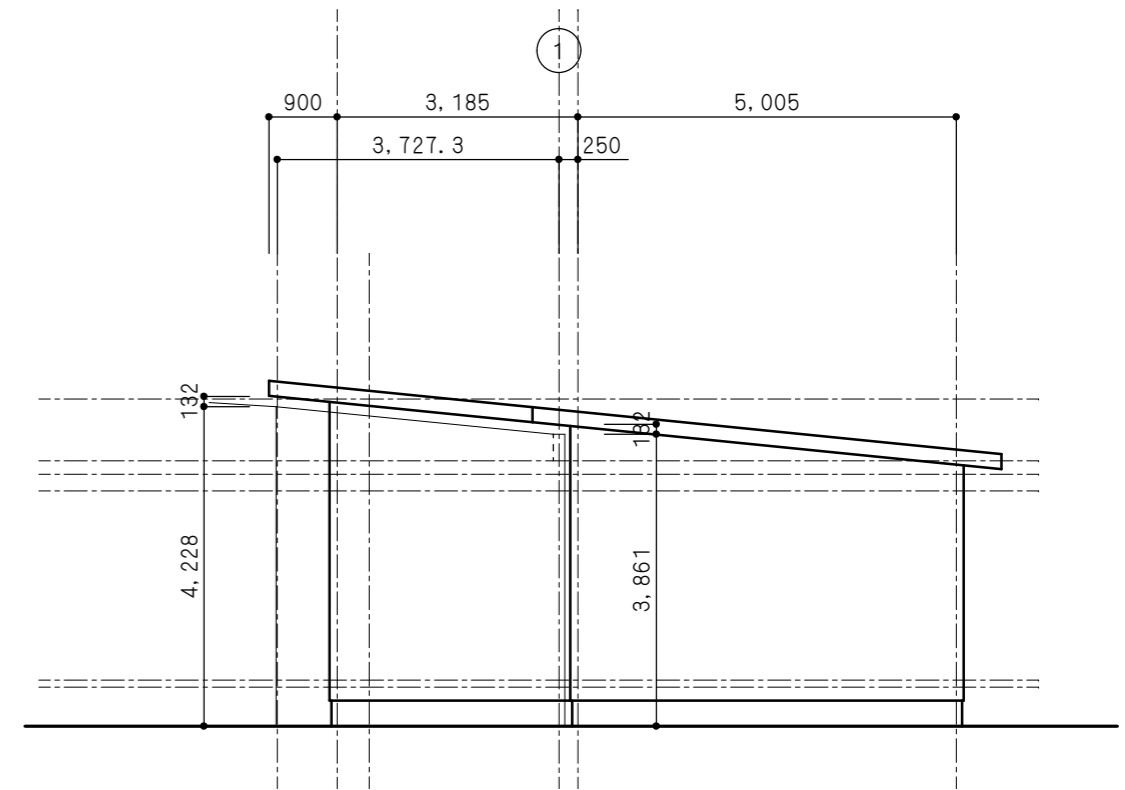
東・西面見付面積  
67.28m<sup>2</sup>

西立面図 S=1/100



南・北面見付面積  
27.07m<sup>2</sup>

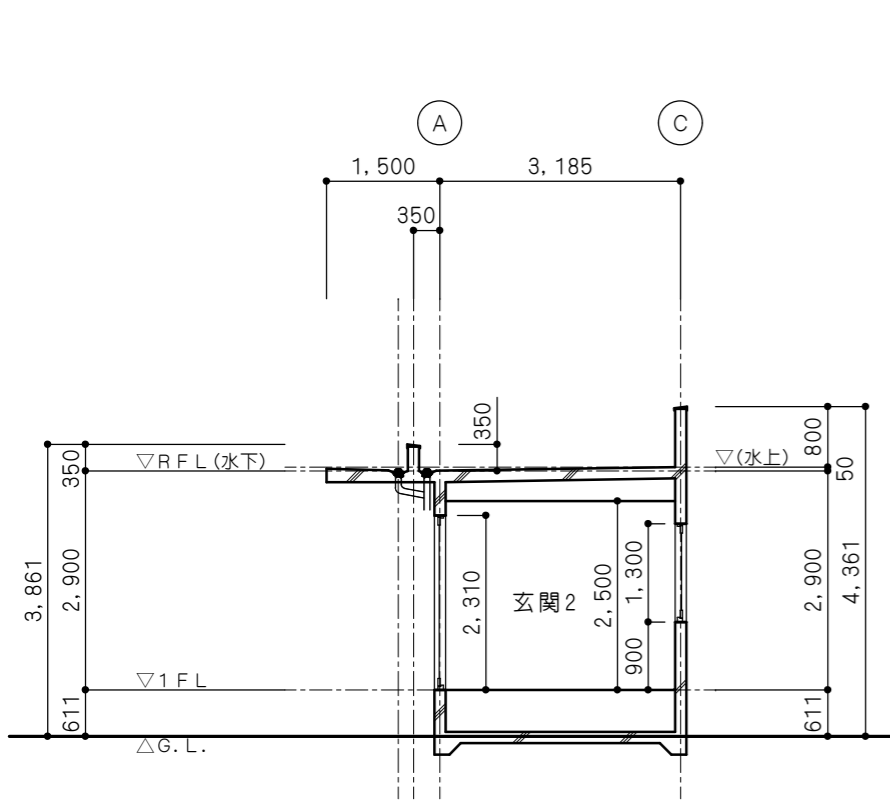
北立面図 S=1/100



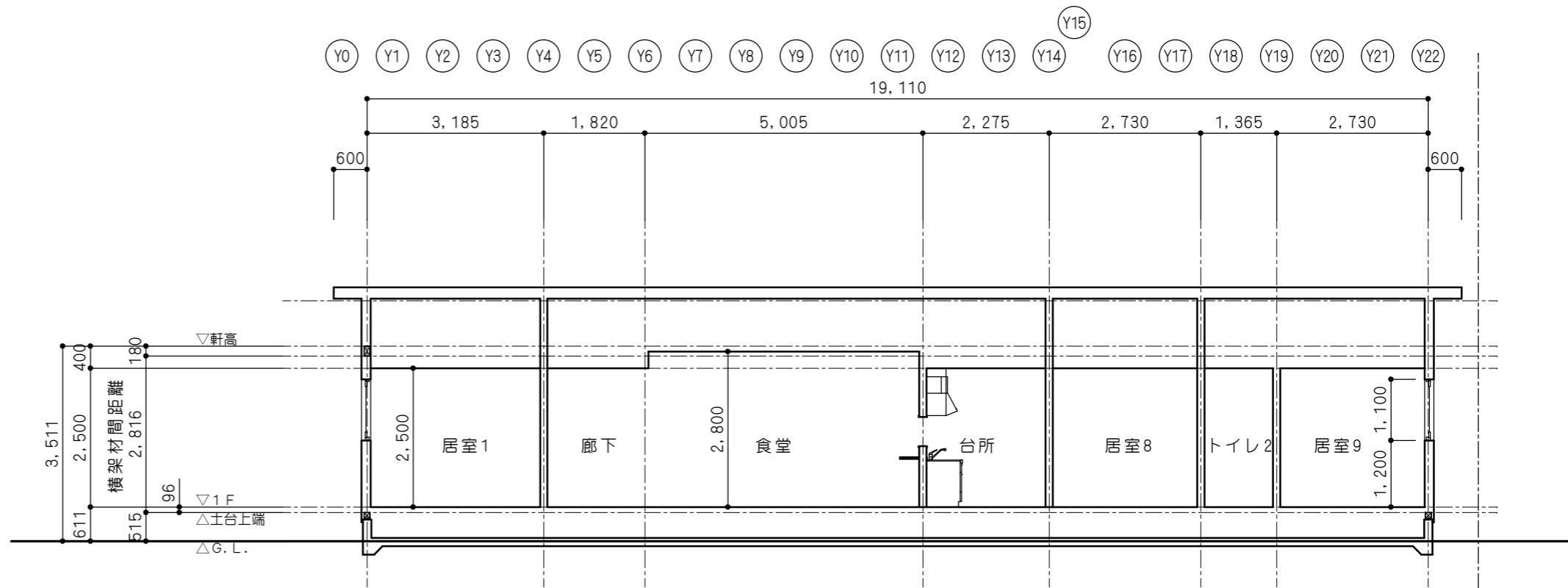
北西立面図 S=1/100

共同生活室 採光補正係数（近隣商業地域）： $6.825/2.829 \times 10 - 1 = 23.125 \dots 3$

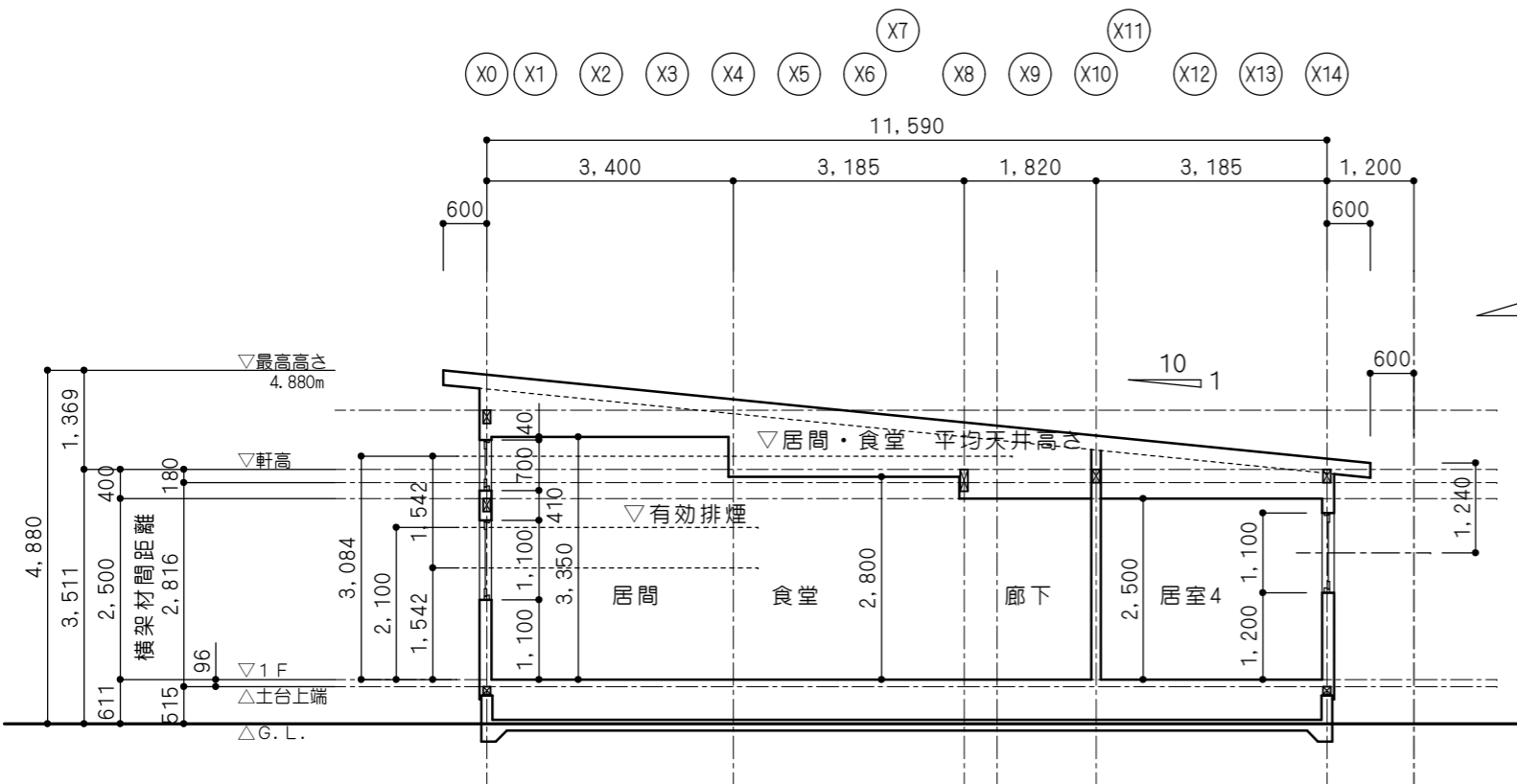
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
立面図(2) S=1/100	D-06



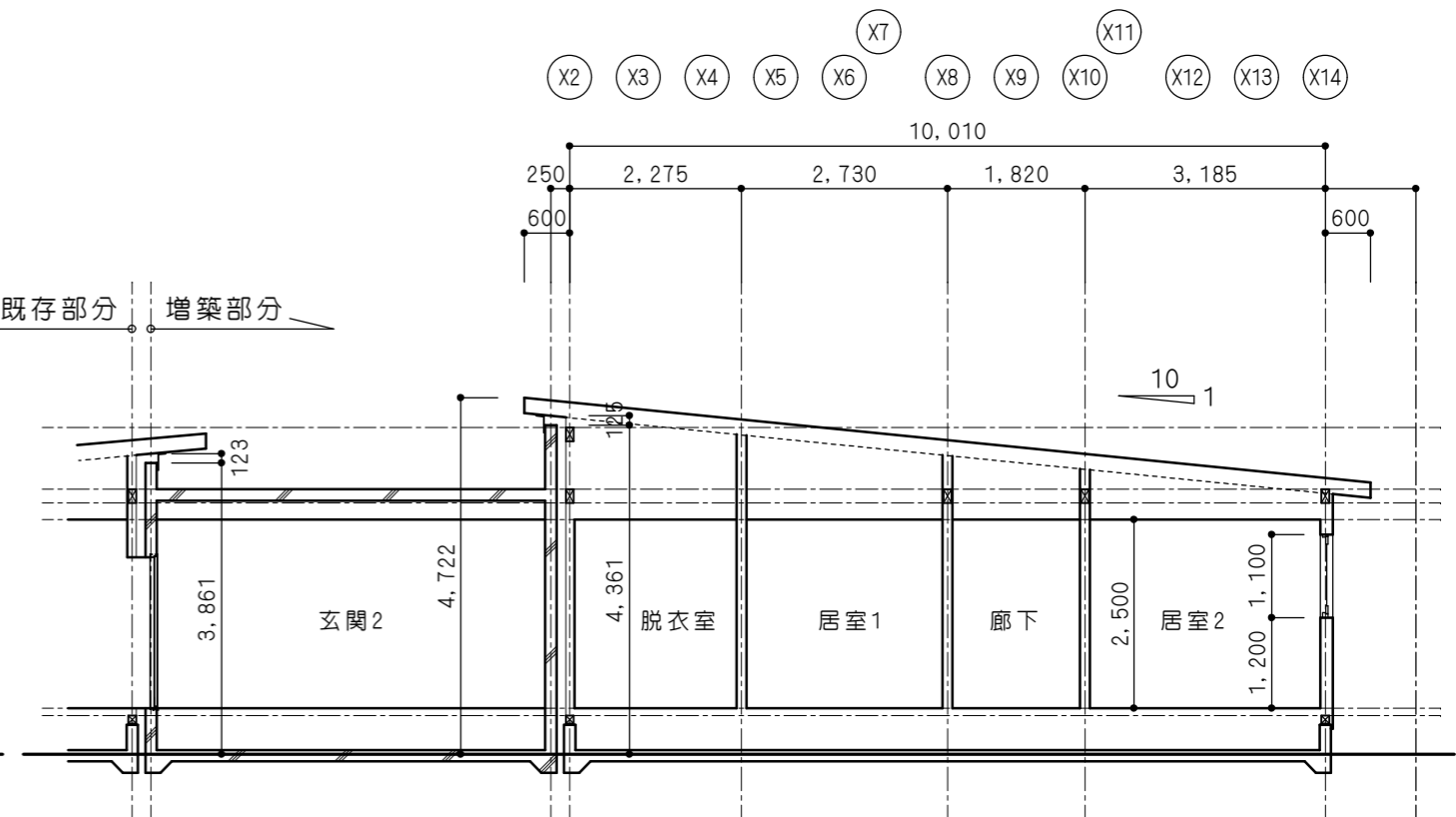
南北断面図 (1) S=1/100



南北断面図 (2) S=1/100



東西断面図 (1) S=1/100



東西断面図 (2) S=1/100

居室 採光補正係数 (近隣商業地域) :  $0.6/1.24 \times 10 - 1 = 3.838 \dots 3$

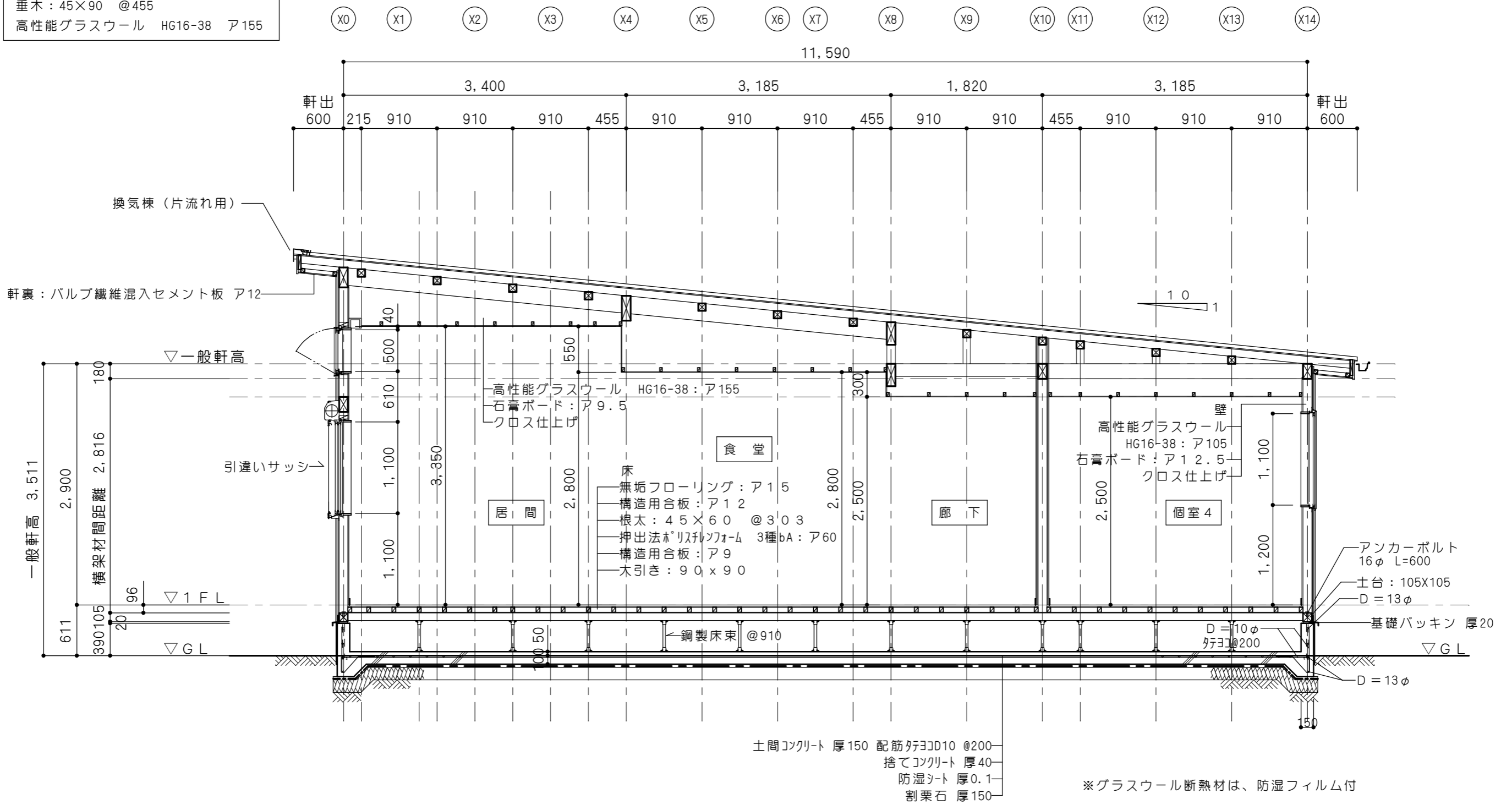
居間・食堂 平均天井高さ  
 $3.35 \times 3.4 + 2.8 \times 3.185 = 20.308$   
 $20.308 / 6.37 = 3.084 \text{ m}$

変形量  
 $4361/100 \times 2 = 87.22$

グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
断面図 S=1/100	D-07

**屋根**  
 屋根防火性能：NM-8697  
 ガルバリウム鋼板 瓦棒葺  
 コムアスファルト-フィング<sup>®</sup> 22kg  
 垂木：45×90 @455  
 高性能グラスウール HG16-38 ア155

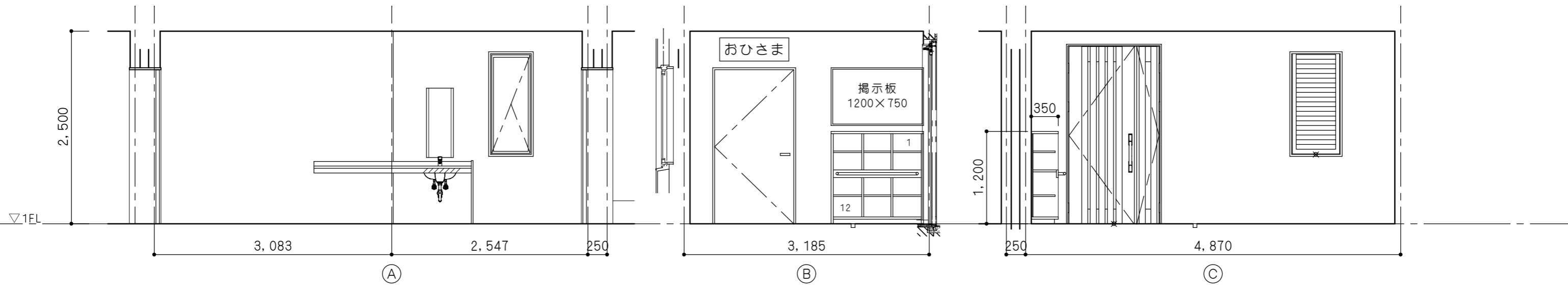
**外壁**  
 外壁防火性能：PC030BE-9201  
 サイディング貼り ア14  
 防腐縦胴縁：45×15@227.5  
 透湿防水シート  
 構造用合板：ア9  
 高性能グラスウール HG16-38 ア105



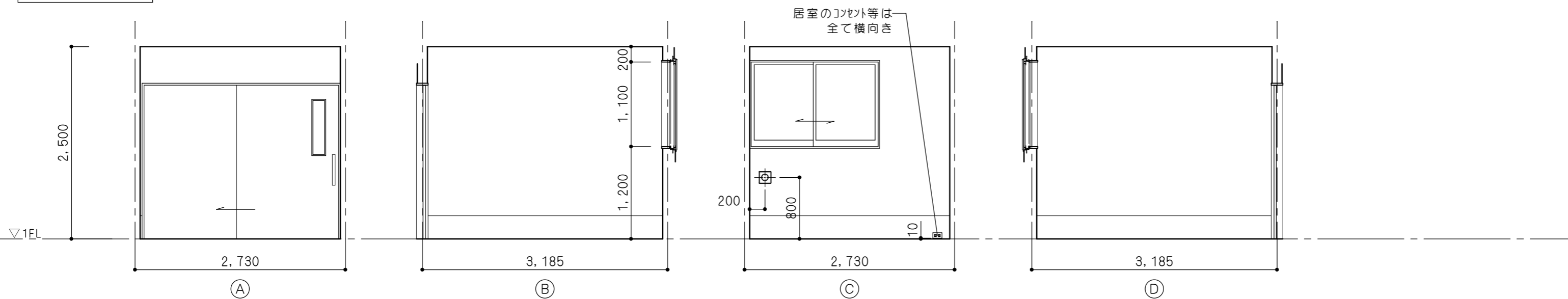
※グラスウール断熱材は、防湿フィルム付  
 小さい隙間やコンセント廻りなど防湿フィルム付にできない場合は、別に防湿フィルムを貼り気密テープ貼りとする

グループホームおひさま 増築工事	R05.01.16
矩計図 S=1/50	D-08

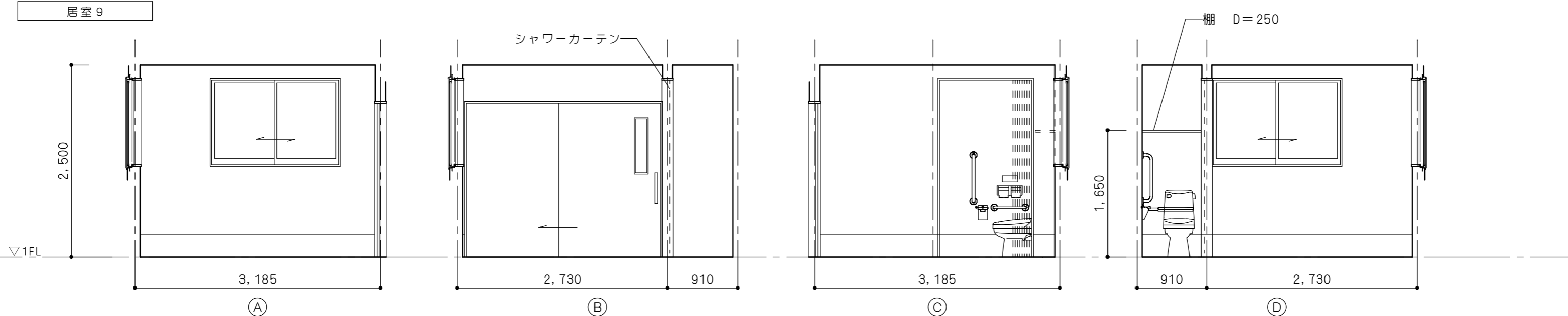
玄関ホール

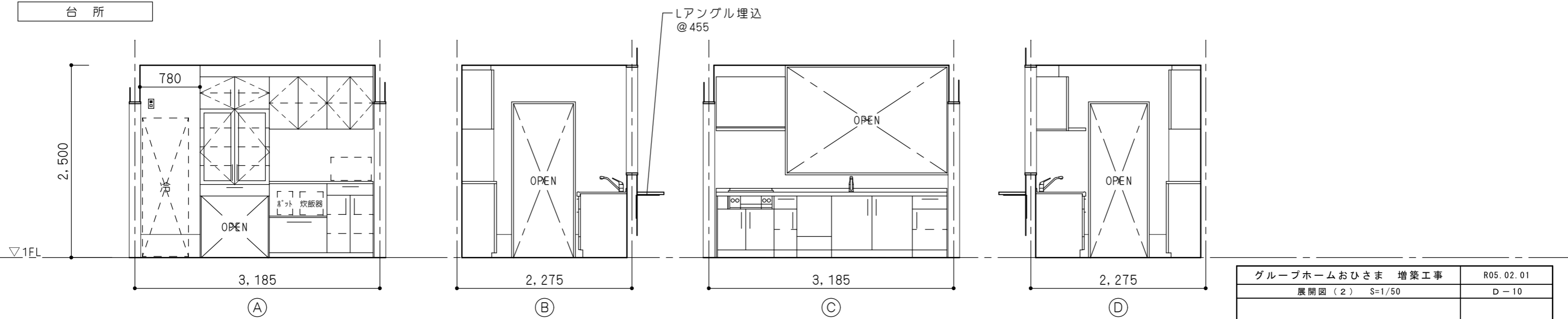
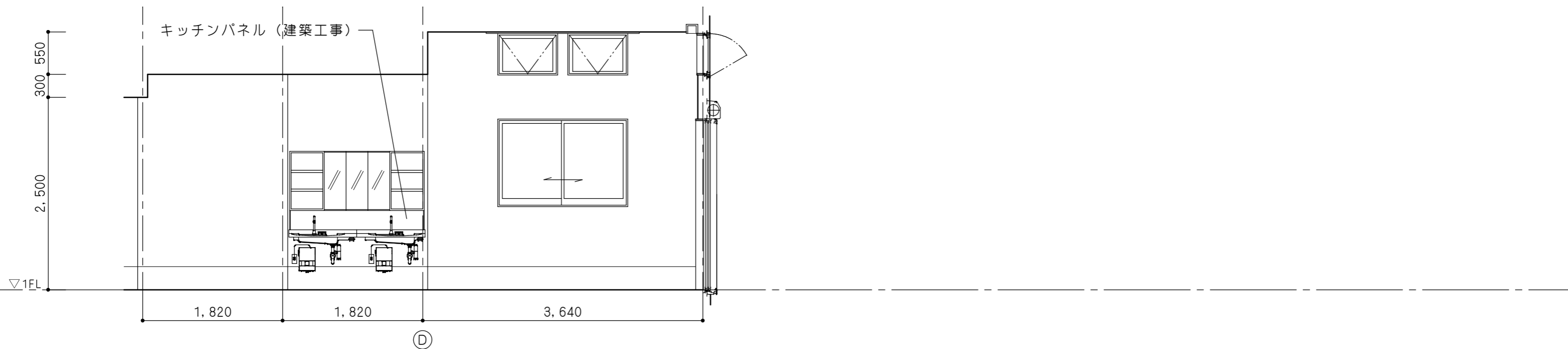
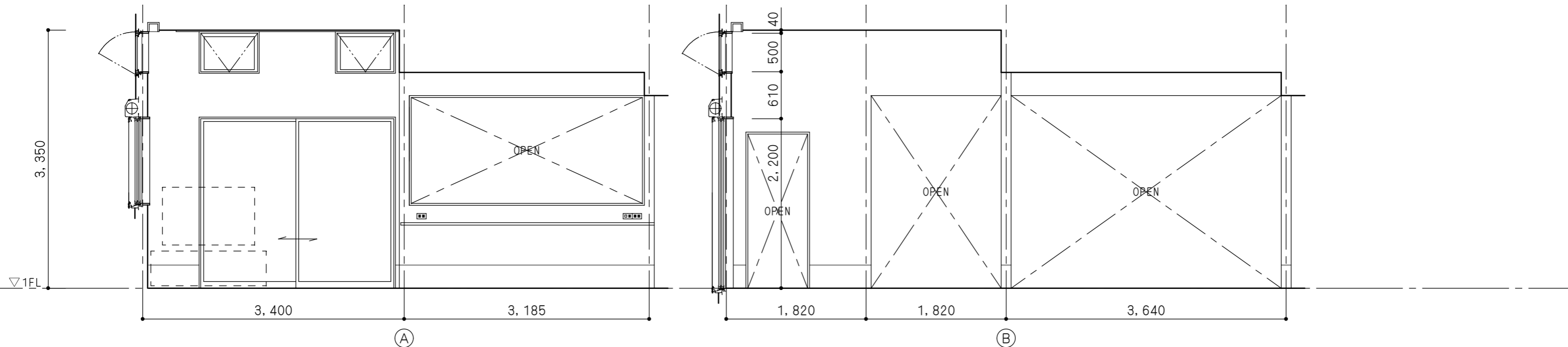


居室 1



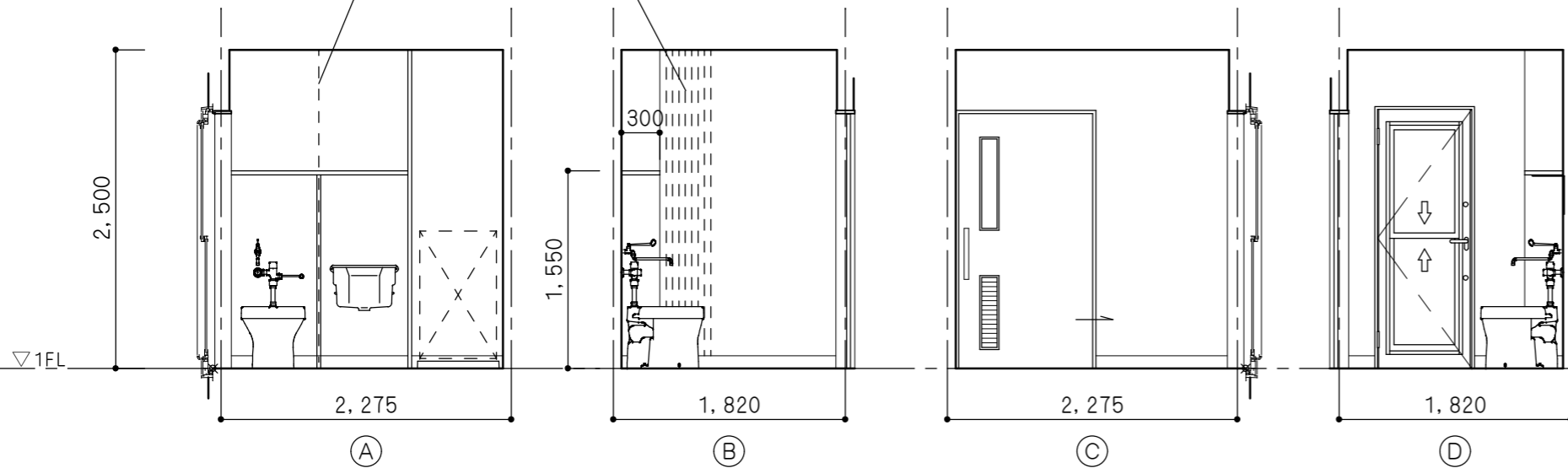
居室 9



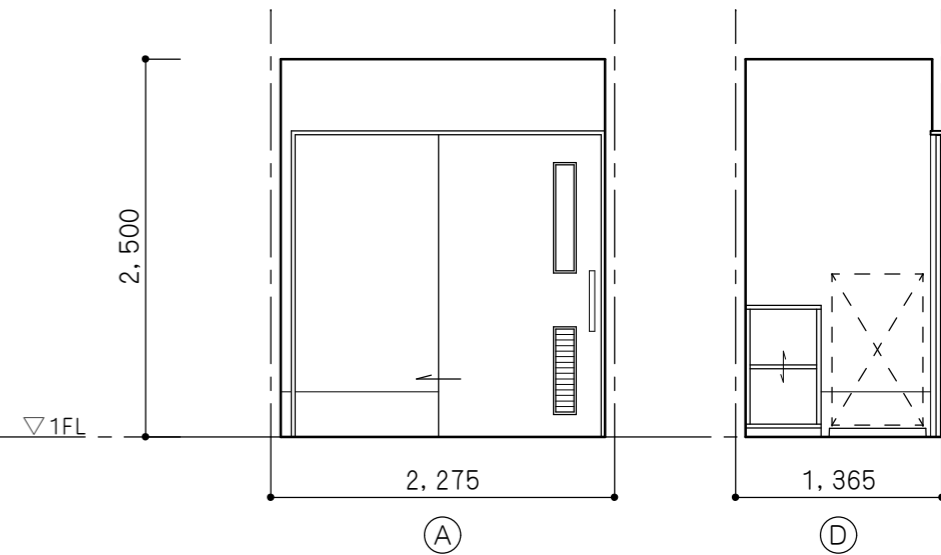


汚物処理室

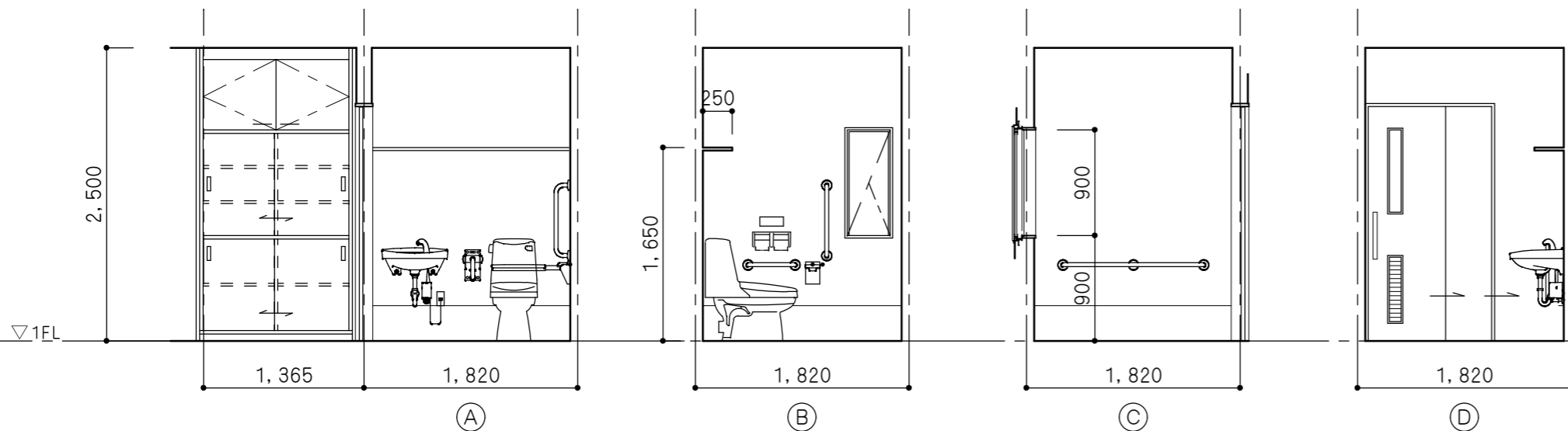
シャワーカーテン



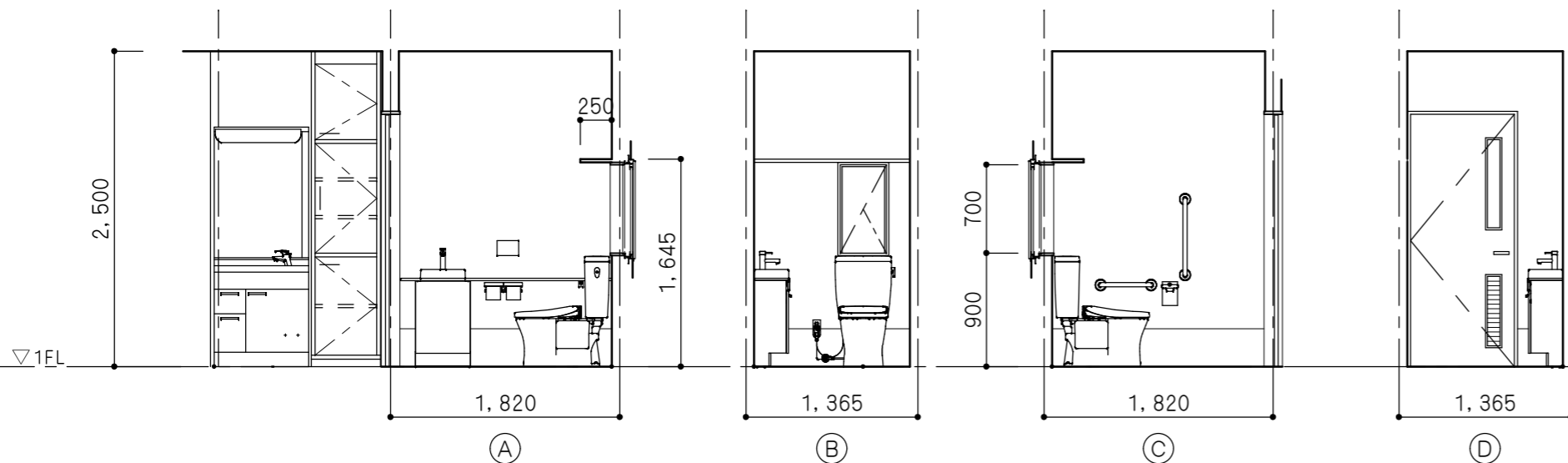
脱衣室



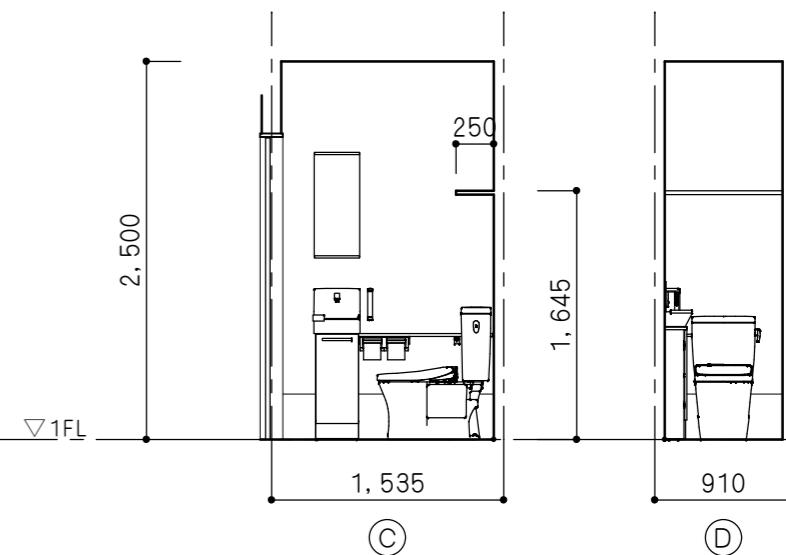
車いすトイレ

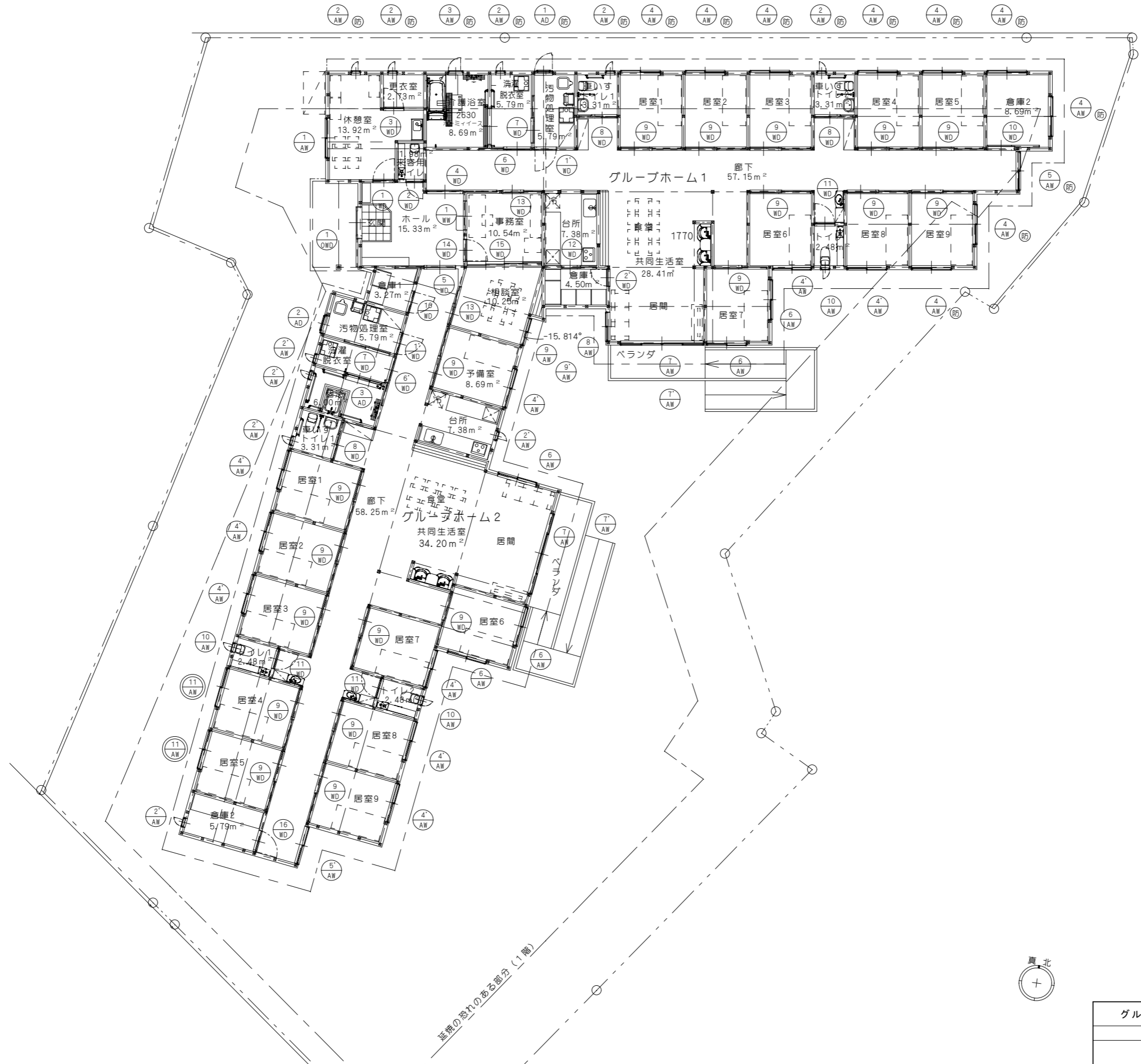


トイレ 1

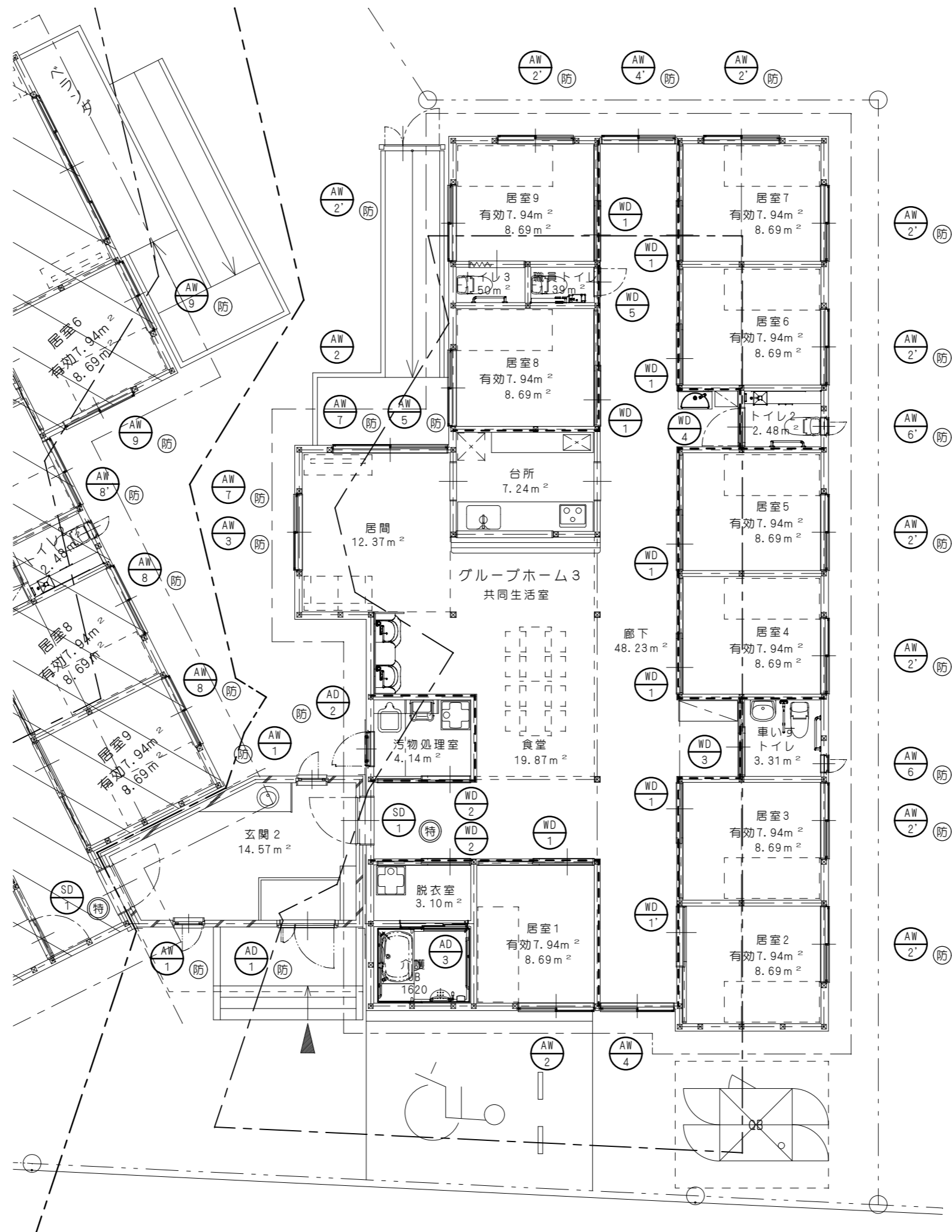


トイレ 2





グループホームおひさま 増築工事	R05.03.28
既存 キープラン S=1/120	D-12-1



グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
キープラン S=1/100	D-12
 <b>アズ建築設計事務所</b> <small>広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616</small>	<small>一級建築士事務所 広島 19-1-1583号</small> <small>一級建築士 第88163号 斉藤孝夫</small>



符号	数量	① QWD	1ヶ所	① AD (防)	1ヶ所	② AD	1ヶ所	③ AD	1ヶ所						
形状															
種類		上吊片引きドア 木製横格子戸		アルミ窓 通風ドア (ルミグJ)		アルミ窓 通風片引き戸 (707納まり)		浴室ドア (サセ711)							
枠	枠巾	木製 255		アルミ		アルミ		アルミ							
建具材料	框厚	木製 45		アルミ		アルミ		アルミ							
仕上		ワックス													
硝子		単板ガラス 型板		複層ガラス 型板		複層ガラス 型板		擦りガラス調樹脂							
金物		自閉ストッパー付 シリンダー錠 (マスターキー)		付属一式 DC シリンダー錠 (内外)		付属一式 シリンダー錠 (内外)		付属一式							
備考		電気錠 大型取手 火報連動		横格子 EB-2480		横格子		排水ドレン付							
符号	数量	① AW	1ヶ所	② AW (防) ②' AW 2	2ヶ所 5ヶ所 5ヶ所	③ AW (防)	1ヶ所	④ AW (防) ④' AW 4	4ヶ所 9ヶ所 11ヶ所	⑤ AW (防) ⑤' AW	各1ヶ所	⑥ AW	5ヶ所	⑪ AW	2ヶ所
形状															
種類		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)		アルミ窓 たてすべり出し窓 (ルミグJ)		アルミ窓 たてすべり出し窓 (ルミグJ)		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)	
枠	枠巾	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
建具材料	框厚	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
仕上															
硝子		複層ガラス 透明		複層ガラス 型板		複層ガラス 型板		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明	
金物		付属一式		付属一式 オペレーターハンドル仕様		付属一式 オペレーターハンドル仕様		付属一式		付属一式		付属一式		付属一式	
備考				EB-1764(2)		EB-1764		EB-1388-1(4) シャッター付		EB-1388-1(5) シャッター付					開口制限ストッパー付→クレセントに変更
符号	数量	⑦ AW	2ヶ所	⑦ AW	4ヶ所	⑧ AW	1ヶ所	⑨ AW	1ヶ所	⑨ AW	1ヶ所	⑩ AW	3ヶ所		
形状															
種類		アルミ窓 引違い窓 (4枚) (ルミグJ)		アルミ窓 排煙外倒し窓 (ルミグJ)		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)		アルミ窓 引違い窓 (ルミグJ)		アルミ窓 排煙外倒し窓 (ルミグJ)		アルミ窓 たてすべり出し窓 (ルミグJ)			
枠	枠巾	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ			
建具材料	框厚	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ			
仕上															
硝子		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明		複層ガラス 透明		複層ガラス 型板			
金物		付属一式		付属一式		付属一式		付属一式		付属一式		付属一式 オペレーターハンドル仕様			
備考				排煙オペレーターハンドル (埋込)						排煙オペレーターハンドル (埋込)					

引違い窓 (AW-4、4'、AW-5、5'、AW-6、AW-7の居室) には、クレセントに鍵付、開口制限ストッパー付  
開口ドア (玄関ドア以外) ・窓には、全て網戸付

C L : レバーハンドル 彫込本締錠  
K L : レバーハンドル 彫込空錠  
D C : ドアチェック  
戸車用レール : アルミVレール

グループホームおひさま 増築工事	R05.03.28
既存 建具表 S=1/100	D-13-1

符号 数量	AD 1 1ヶ所	AD 2 防 1ヶ所	AD 3 1ヶ所	AW 1 防 1ヶ所 AW 1' 防 1ヶ所	AW 2 防 2ヶ所 AW 2' 防 9ヶ所	AW 3 防 1ヶ所	AW 4 防 4ヶ所 AW 4' 防 1ヶ所
形状							
種類	玄関ドア ヴェナートD30 C03	アルミ窓 通風ドア (北'ソト'II)	2枚片引き戸	たてすべり出し窓 (BGE31)	アルミ窓 引違い窓 (エピソードII)	アルミ窓 引違い窓 (エピソードII)	アルミ窓 引違い窓 (エピソードII)
枠 枠巾	木製	アルミ 防火窓 (GNEO)	アルミ	アルミ 70	アルミ	アルミ	アルミ
建具材料 框厚	木製	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
仕 上							
硝 子	Low-E複層ガラス	Low-E複層網入 (中空層12) 型板	擦りガラス調樹脂	Low-E複層網入 (中空層12) 透明	Low-E複層 (中空層16) 透明	Low-E複層 (中空層16) 透明	Low-E複層 (中空層16) 透明
金 物	付属一式 シリンダー錠 (マカキ)	付属一式 DC シリンダー錠 (内外)	付属一式	付属一式 オペレーターハンドル仕様	付属一式	付属一式	付属一式
備 考	電気錠 防火設備: EB-2488-1	横格子 EB-3341		EB-2795-2(1')	防火シャッター(2') EB-3399(2')	防火シャッター EB-3399	防火シャッター(4') EB-3399(4')
符号 数量	AW 5 防 1ヶ所	AW 6 防 6ヶ所 AW 6' 防 1ヶ所	AW 7 防 4ヶ所	AW 8 防 8ヶ所 AW 8' 防 1ヶ所	AW 9 防 2ヶ所	SD 1 特 2ヶ所	
形状							
種類	アルミ窓 引違い窓 (エピソードII)	アルミ窓 たてすべり出し窓 (北'ソト'II)	アルミ窓 外倒し窓 (北'ソト'II)	防火シャッター	防火シャッター	片開きフラッシュ戸 (常時閉)	
枠 枠巾	アルミ	アルミ 防火窓 (GNEO)	アルミ 防火窓 (GNEO)			スチール 140	
建具材料 框厚	アルミ	アルミ	アルミ			スチール 40	
仕 上						MP (マリンペイント)	
硝 子	Low-E複層 (中空層16) 透明	Low-E複層網入 (中空層12) 型板	Low-E複層網入 (中空層12) 透明			4' -2 KL DC	
金 物	付属一式	付属一式 オペレーターハンドル仕様	付属一式 フック棒付(2本)	付属一式	付属一式		
備 考	防火シャッター EB-3399	EB-2176-1	EB-1458-2	EB-1693	EB-1693	特定防火設備 建告1369号	
符号 数量	WD 1 8ヶ所	WD 1' 1ヶ所	WD 2 2ヶ所	WD 3 1ヶ所	WD 4 1ヶ所	WD 5 1ヶ所	
形状							
種類	吊片引き戸 A7'サイン (おもいやりサイン)	吊片引き戸 A7'サイン (おもいやりサイン)	吊片引き戸 F7'サイン (おもいやりサイン)	2枚連動吊戸 FA7'サイン (おもいやり)	片開き戸 F7'サイン (おもいやりサイン)	片開き戸 F7'サイン (おもいやりサイン)	
枠 枠巾	木製枠	木製枠	木製枠	木製枠	木製枠	木製枠	
建具材料 框厚							
仕 上							
硝 子	アクリル系樹脂 (ミスト調半透明)	アクリル系樹脂 (ミスト調半透明)	アクリル系樹脂 (ミスト調半透明)	アクリル系樹脂 (ミスト調半透明)	アクリル系樹脂 (ミスト調半透明)	アクリル系樹脂 (ミスト調半透明)	
金 物	大型取手	大型取手	大型取手 両側サムターン(H=1700)	大型取手 表示錠	付属一式 DC 表示錠	付属一式 DC 表示錠	
備 考	ラクラクローズ機能付	ラクラクローズ機能付 アウトセット	ラクラクローズ機能付	ラクラクローズ機能付			

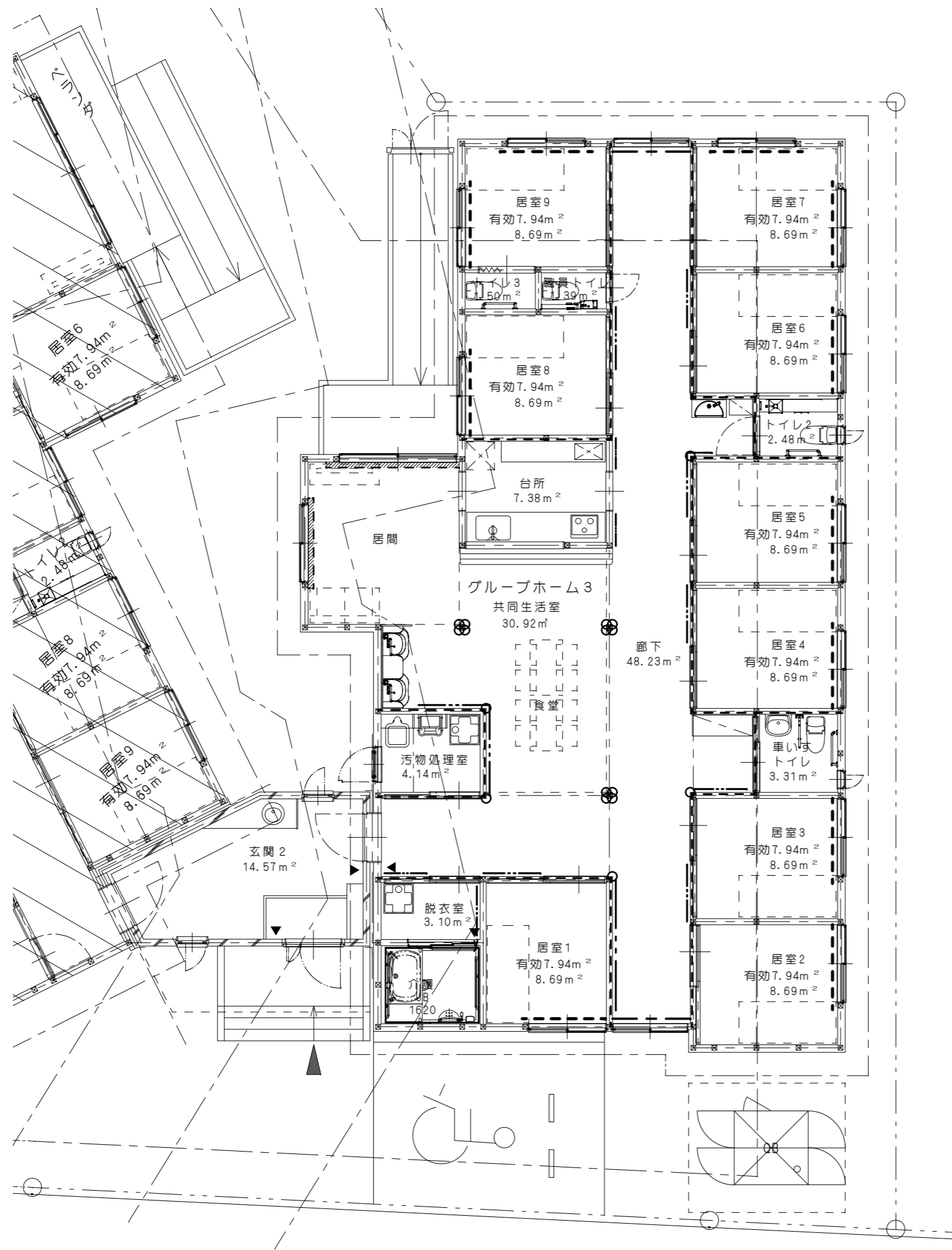
開口ドア (玄関ドア以外) ・窓には、全て網戸付

玄関ドア電気錠システムプラン: PA4 もっと便利プラン (外部) 暗証錠タイプ  
 (室外) シークレットスイッチEK3822B  
 (事務所) インターフェースユニットYS KAG-B4 2線変換アダプターYS KAG-B2 電気錠操作器WQN4503W

複層: FL3-A12 (A16) -FL3

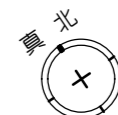
CL: レバーハンドル 彫込本締錠  
 KL: レバーハンドル 彫込空錠  
 DC: ドアチェック  
 戸車用レール: アルミVレール

グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
建具表 S=1/100	D-13
アズ建築設計事務所 広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616	一級建築士事務所 広島 19-1-1588号 一級建築士 第88163号 斉藤孝夫

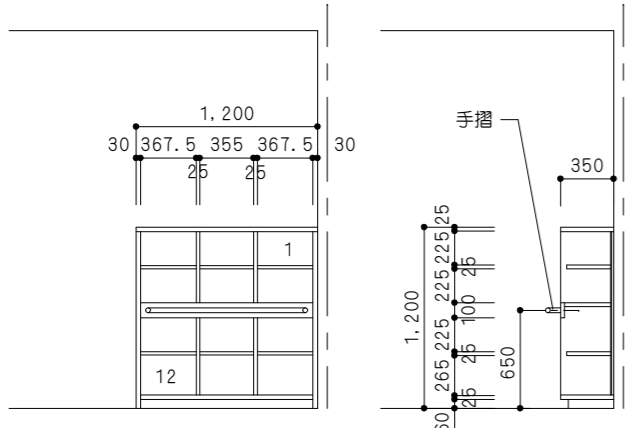
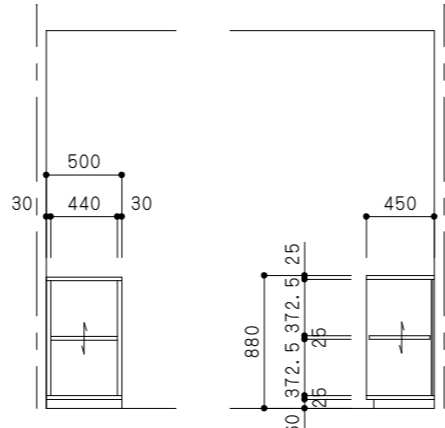


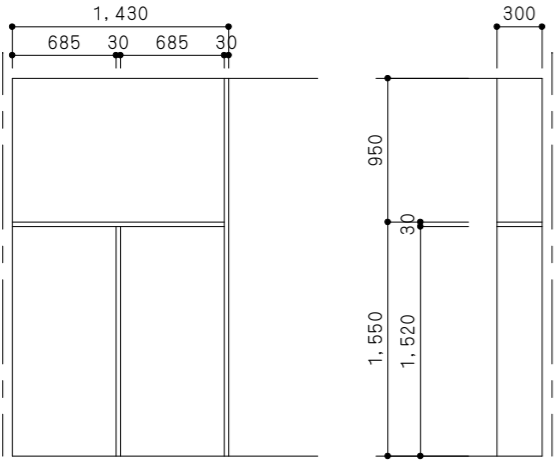
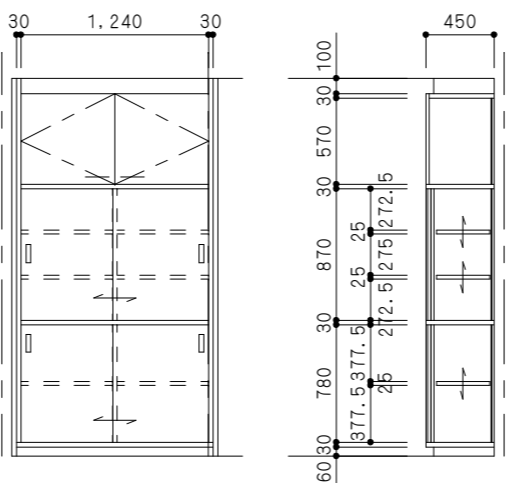
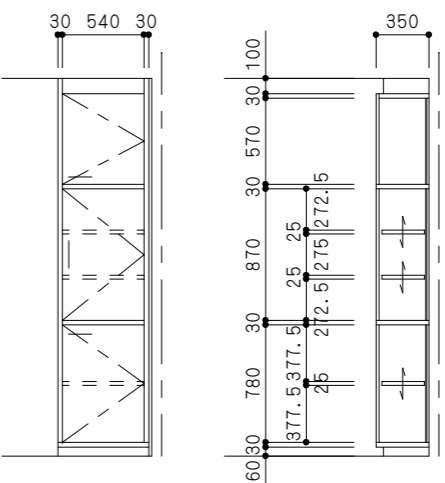
■各種凡例

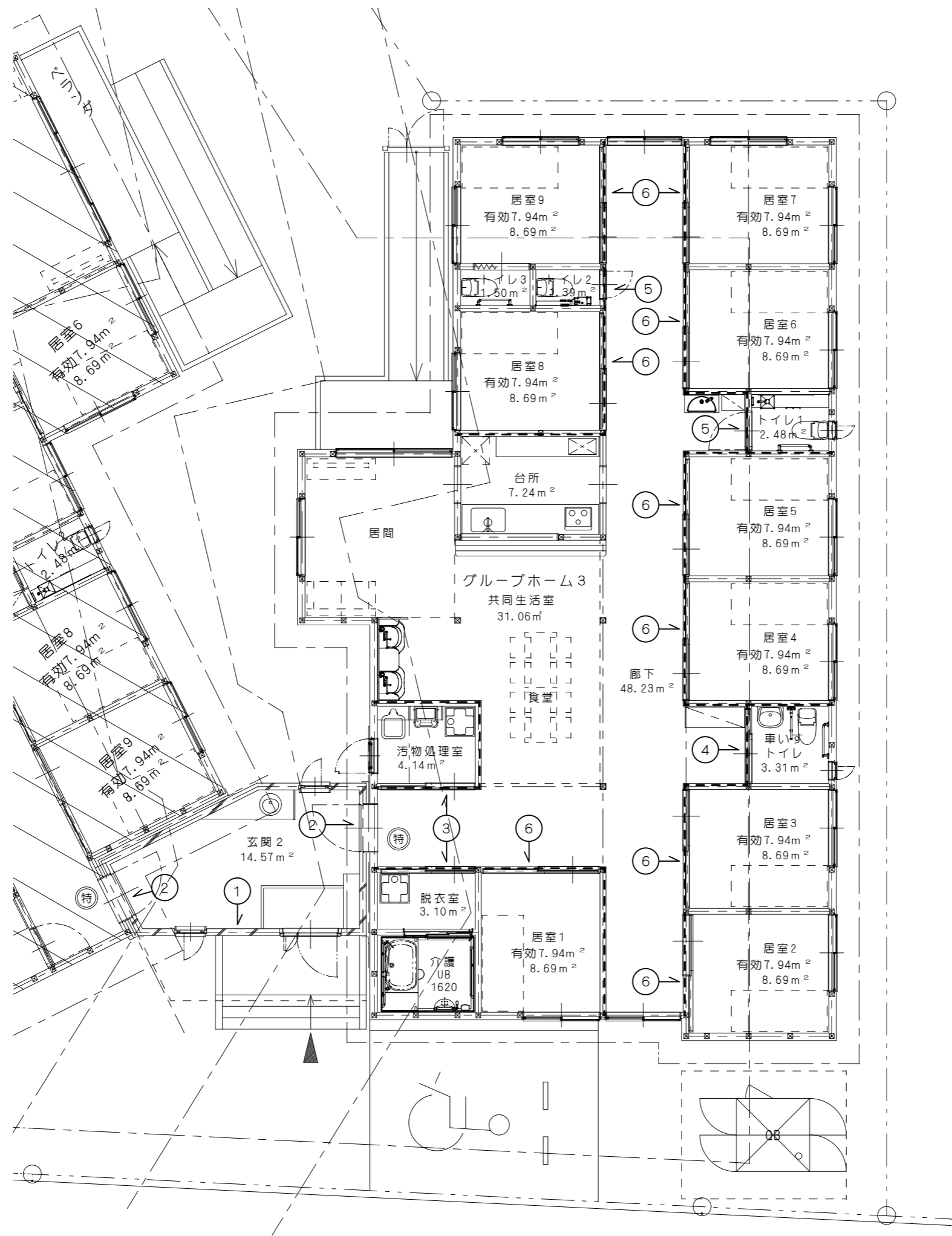
符号	名称
	カーテンBOX (W=120) カーテン・レース
	ロールスクリーン
	カーテンレールダブル(壁付) 遮光カーテン・レース
	木製手摺35φ 出幅72mm タモクリア塗装 設置高H=800天端
	木製手摺タテ35φ L=600タモクリア塗装
	コーナーガード(木製) H=600



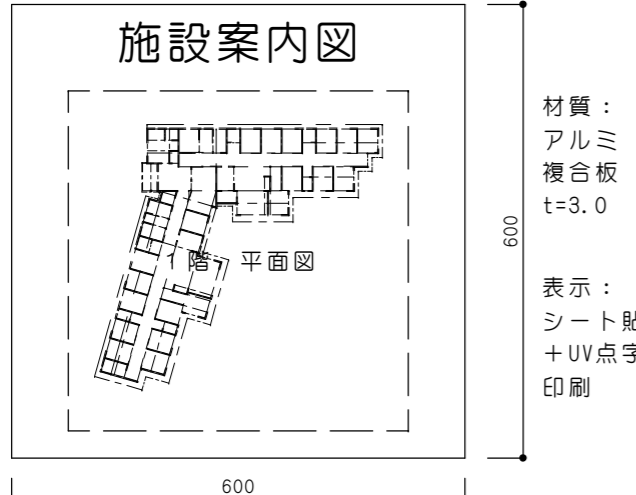
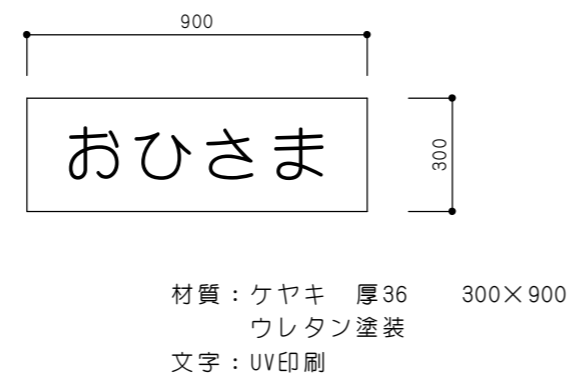
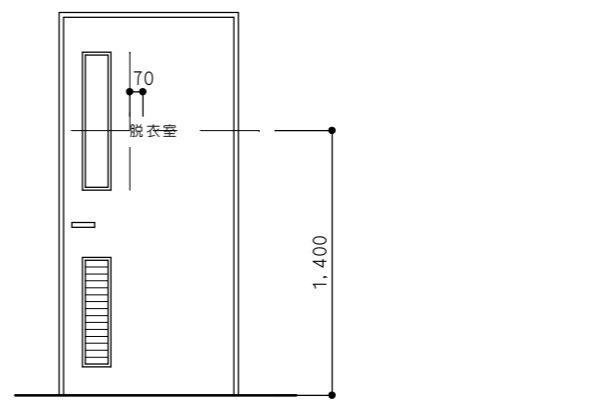
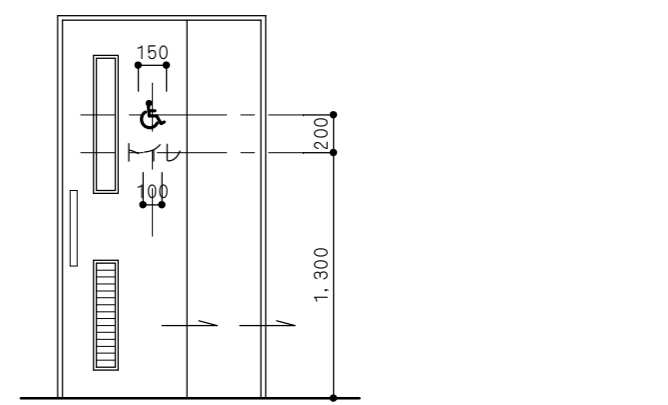
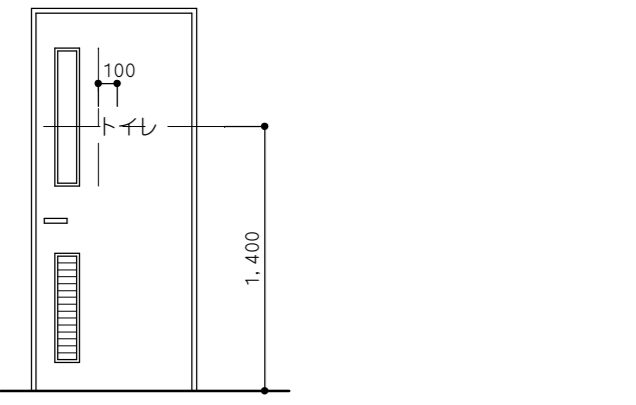
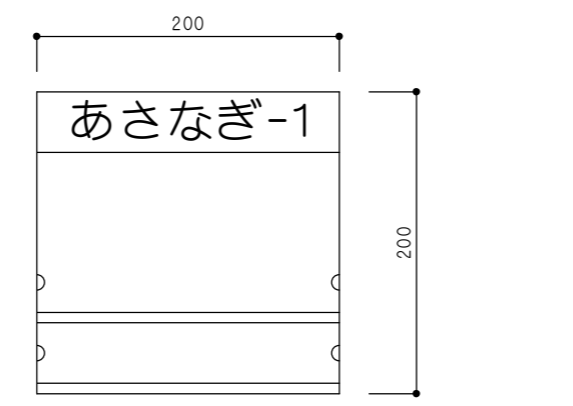
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
カーテン・手摺・コーナーガード図 S=1/100	D-14

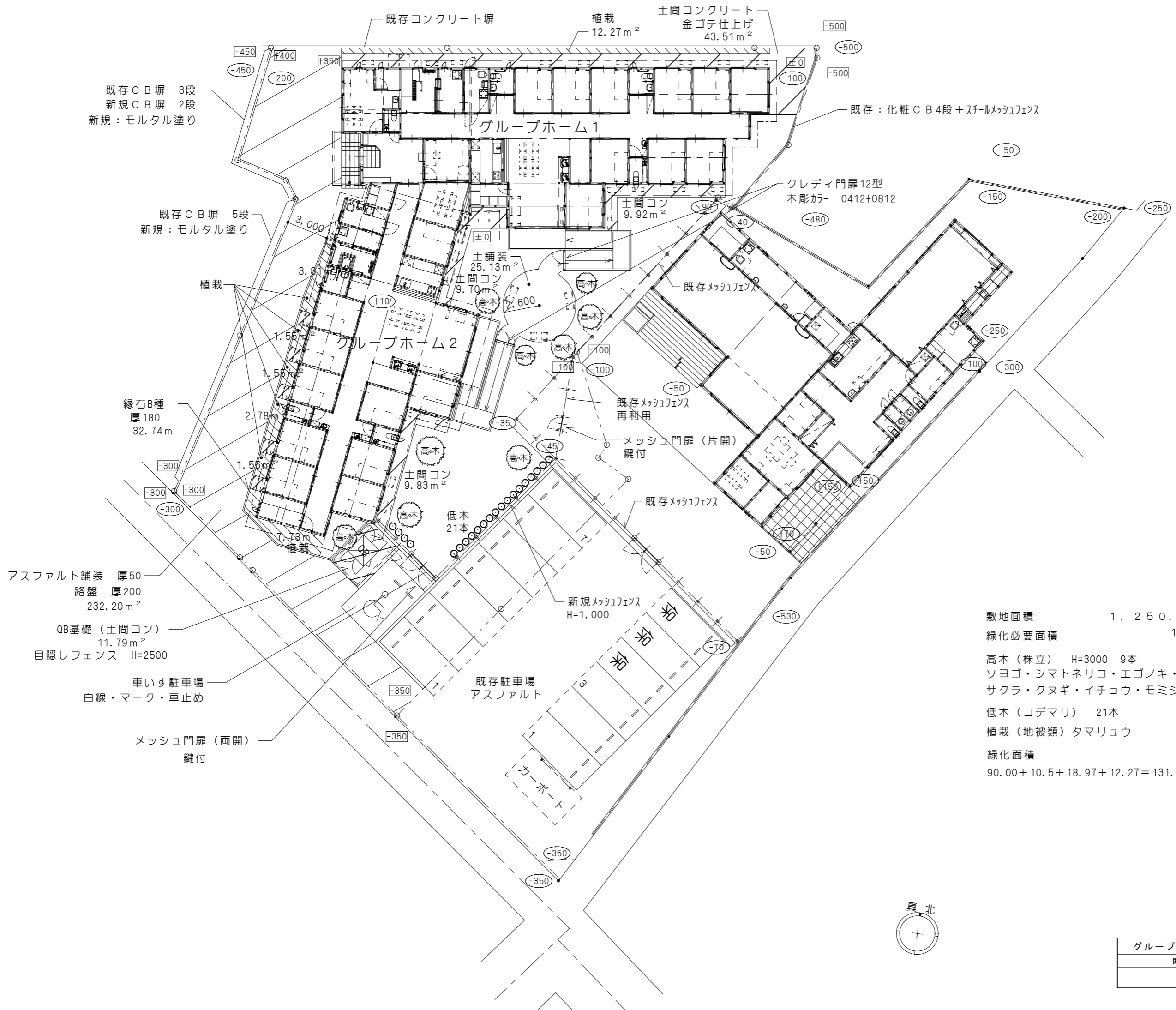
<p>靴箱</p> <p>1ヶ所</p>  <p style="text-align: center;">姿図                      断面図</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>本体：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>内部：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>棚板：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>巾木：メラミン化粧板( )</td></tr> <tr><td>手摺</td></tr> <tr><td>※壁面にて転倒処理のこと</td></tr> </table>	本体：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	内部：ホリ合板( )	棚板：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	巾木：メラミン化粧板( )	手摺	※壁面にて転倒処理のこと	<p>脱衣室</p> <p>1ヶ所</p>  <p style="text-align: center;">姿図                      断面図</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>本体：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>内部：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>棚板：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>巾木：メラミン化粧板( )</td></tr> <tr><td>ねじ式棚受けダボ(9φ×15)</td></tr> <tr><td>棚受けダボレール</td></tr> <tr><td>※壁面にて転倒処理のこと</td></tr> </table>	本体：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	内部：ホリ合板( )	棚板：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	巾木：メラミン化粧板( )	ねじ式棚受けダボ(9φ×15)	棚受けダボレール	※壁面にて転倒処理のこと	
本体：ホリ合板( )																			
木口同色メラミン貼																			
内部：ホリ合板( )																			
棚板：ホリ合板( )																			
木口同色メラミン貼																			
巾木：メラミン化粧板( )																			
手摺																			
※壁面にて転倒処理のこと																			
本体：ホリ合板( )																			
木口同色メラミン貼																			
内部：ホリ合板( )																			
棚板：ホリ合板( )																			
木口同色メラミン貼																			
巾木：メラミン化粧板( )																			
ねじ式棚受けダボ(9φ×15)																			
棚受けダボレール																			
※壁面にて転倒処理のこと																			

<p>汚物処理室</p> <p>1ヶ所</p>  <p style="text-align: center;">姿図                      断面図</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>本体：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>内部：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>棚板：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>巾木：メラミン化粧板( )</td></tr> </table>	本体：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	内部：ホリ合板( )	棚板：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	巾木：メラミン化粧板( )	<p>車いすトイレ前</p> <p>1ヶ所</p>  <p style="text-align: center;">姿図                      断面図</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>本体：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>内部：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>棚板：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>巾木：メラミン化粧板( )</td></tr> <tr><td>ねじ式棚受けダボ(9φ×15)</td></tr> <tr><td>棚受けダボレール</td></tr> <tr><td>スライド丁番</td></tr> <tr><td>※壁面にて転倒処理のこと</td></tr> </table>	本体：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	内部：ホリ合板( )	棚板：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	巾木：メラミン化粧板( )	ねじ式棚受けダボ(9φ×15)	棚受けダボレール	スライド丁番	※壁面にて転倒処理のこと	<p>トイレ 1 前</p> <p>1ヶ所</p>  <p style="text-align: center;">姿図                      断面図</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>本体：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>内部：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>棚板：ホリ合板( )</td></tr> <tr><td>木口同色メラミン貼</td></tr> <tr><td>巾木：メラミン化粧板( )</td></tr> <tr><td>ねじ式棚受けダボ(9φ×15)</td></tr> <tr><td>棚受けダボレール</td></tr> <tr><td>スライド丁番</td></tr> <tr><td>※壁面にて転倒処理のこと</td></tr> </table>	本体：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	内部：ホリ合板( )	棚板：ホリ合板( )	木口同色メラミン貼	巾木：メラミン化粧板( )	ねじ式棚受けダボ(9φ×15)	棚受けダボレール	スライド丁番	※壁面にて転倒処理のこと
本体：ホリ合板( )																												
木口同色メラミン貼																												
内部：ホリ合板( )																												
棚板：ホリ合板( )																												
木口同色メラミン貼																												
巾木：メラミン化粧板( )																												
本体：ホリ合板( )																												
木口同色メラミン貼																												
内部：ホリ合板( )																												
棚板：ホリ合板( )																												
木口同色メラミン貼																												
巾木：メラミン化粧板( )																												
ねじ式棚受けダボ(9φ×15)																												
棚受けダボレール																												
スライド丁番																												
※壁面にて転倒処理のこと																												
本体：ホリ合板( )																												
木口同色メラミン貼																												
内部：ホリ合板( )																												
棚板：ホリ合板( )																												
木口同色メラミン貼																												
巾木：メラミン化粧板( )																												
ねじ式棚受けダボ(9φ×15)																												
棚受けダボレール																												
スライド丁番																												
※壁面にて転倒処理のこと																												



グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
サイン配置図 S=1/100	D-16

<p>1 施設案内表示 (点字付) S=1/10 数量 1ヶ所</p>  <p>材質： アルミ 複合板 t=3.0</p> <p>表示： シート貼 + UV点字 印刷</p>	<p>2 ユニット出入口 S=1/20 数量 2ヶ所</p>  <p>900</p> <p>300</p> <p>材質：ケヤキ 厚36 ウレタン塗装 文字：UV印刷</p> <p>300×900</p>	<p>3 室名サイン (カットサイン) S=1/40 数量 2ヶ所</p>  <p>70</p> <p>更衣室</p> <p>1.400</p> <p>文字表示：シート切文字 (グレー) 直貼 文字大きさ：70mm 角</p>	<p>4 ピクトサイン (カットサイン) S=1/40 数量 1ヶ所</p>  <p>150</p> <p>トイレ</p> <p>200</p> <p>1.300</p> <p>文字・ピクト表示：シート切文字 (ブルー) 直貼 ピクト大きさ：150mm 角 文字大きさ：100mm 角</p>
<p>5 トイレ表示 (カットサイン) S=1/40 数量 2ヶ所</p>  <p>100</p> <p>トイレ</p> <p>1.400</p> <p>文字表示：シート切文字 (ブルー) 直貼 文字大きさ：100mm 角</p>	<p>6 サインプレート S=1/5 数量 9ヶ所</p>  <p>200</p> <p>あさなぎ-1</p> <p>200</p> <p>本体：アクリル木目印刷 表示：UV印刷</p>		



既存CB塀 3段  
 新規CB塀 2段  
 新規：モルタル塗り

既存CB塀 5段  
 新規：モルタル塗り

縁石B種  
 厚180  
 32.74m

アスファルト舗装 厚50  
 路盤 厚200  
 232.20m<sup>2</sup>

OB基礎（土間コン）  
 11.79m<sup>2</sup>  
 目隠しフェンス H=2500

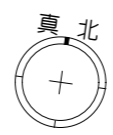
車いす駐車場  
 白線・マーク・車止め

メッシュ門扉（両開）  
 鍵付

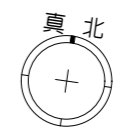
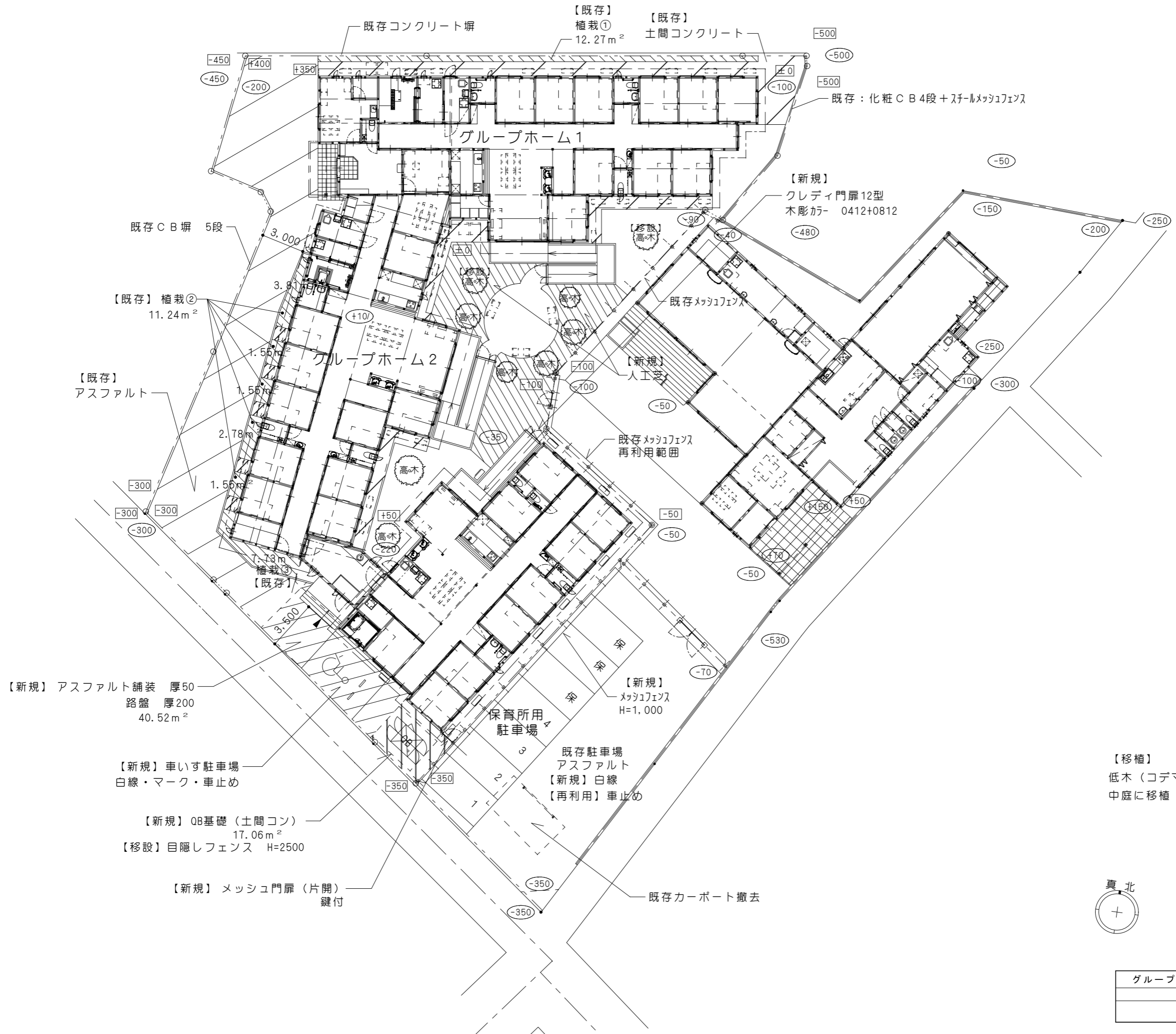
既存駐車場  
 アスファルト

敷地面積 1,250.07m<sup>2</sup>  
 緑化必要面積 125m<sup>2</sup>  
 高木（株立） H=3000 9本  
 ソヨゴ・シマトネリコ・エゴノキ・シラカシ  
 サクラ・クヌギ・イチョウ・モミジ・ハナミズキ  
 低木（コデマリ） 21本  
 植栽（地被類）タマリユウ  
 緑化面積  
 90.00+10.5+18.97+12.27=131.74m<sup>2</sup> > 125m<sup>2</sup>・・・OK

[-300] 設計GL  
 (-300) 既存GL



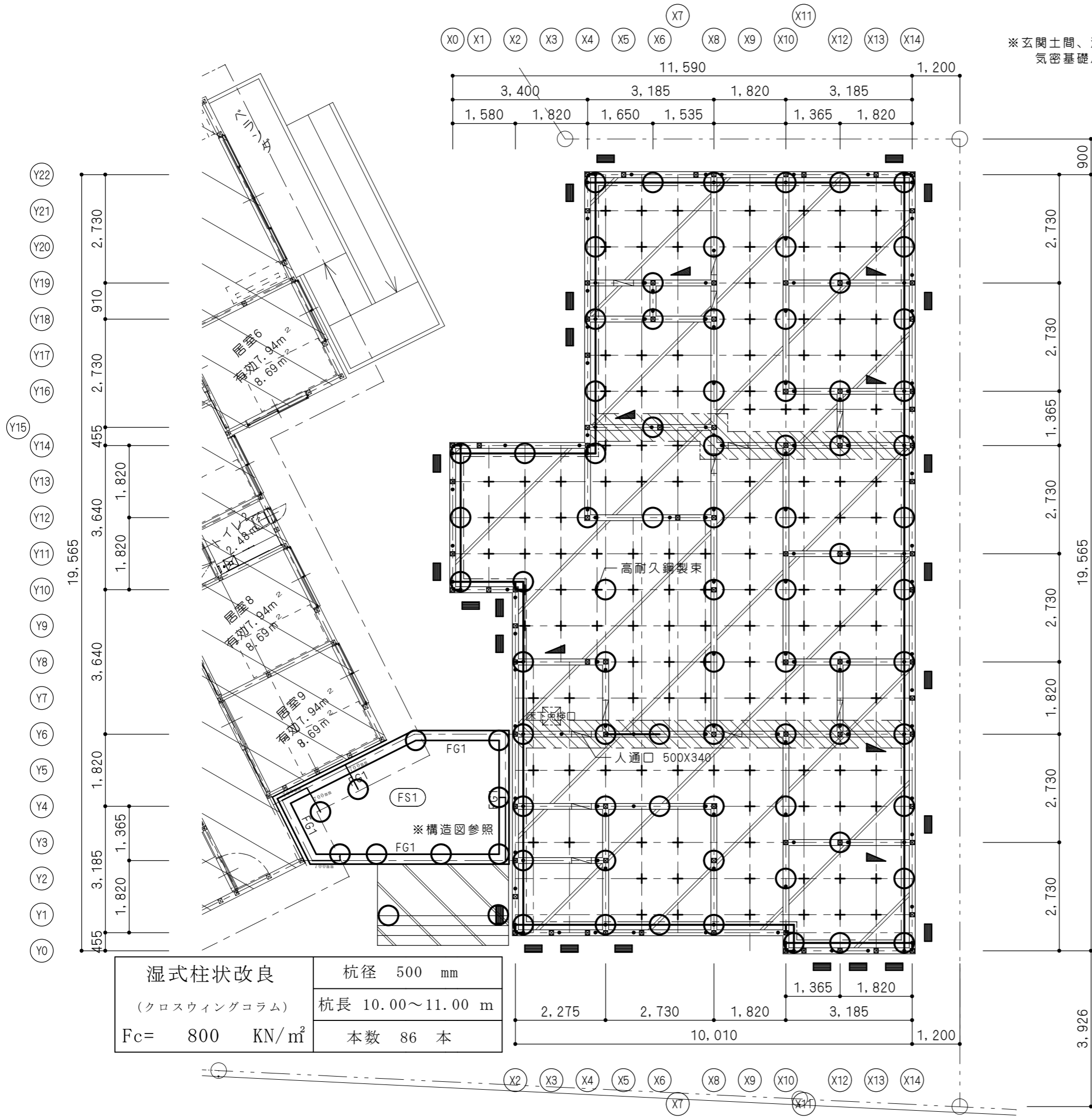
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
既存外構図 S=1/250	D-18



[-300] 設計 G L  
 (○-300) 既存 G L

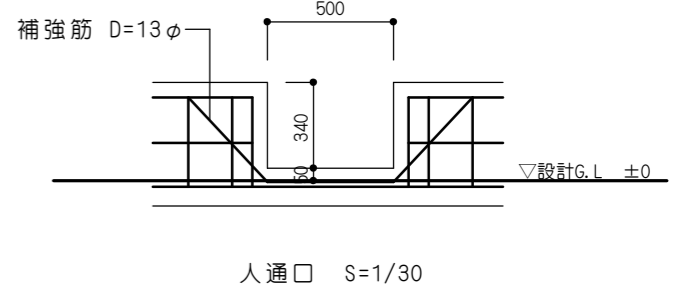
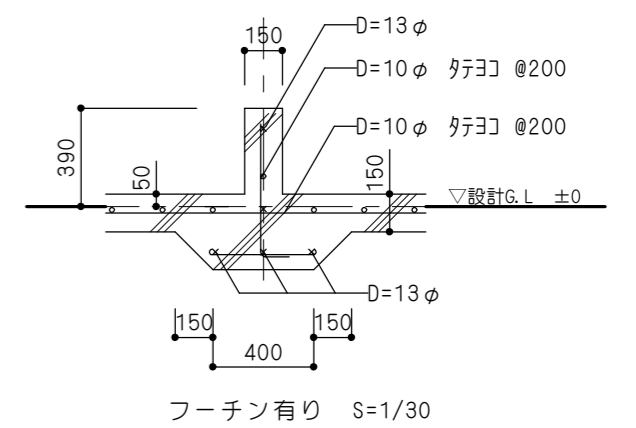
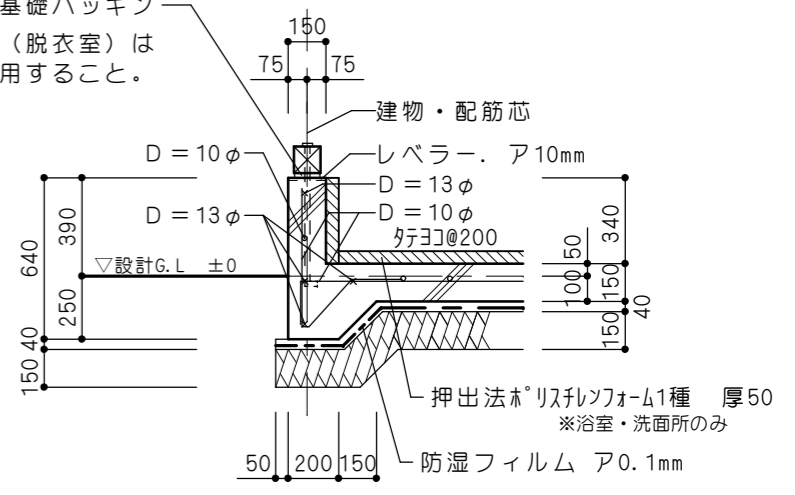
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
外構図 S=1/250	D-19



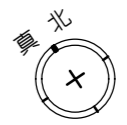


湿式柱状改良 (クロスウイングコラム)	杭径 500 mm
Fc= 800 KN/m <sup>2</sup>	杭長 10.00~11.00 m
	本数 86 本

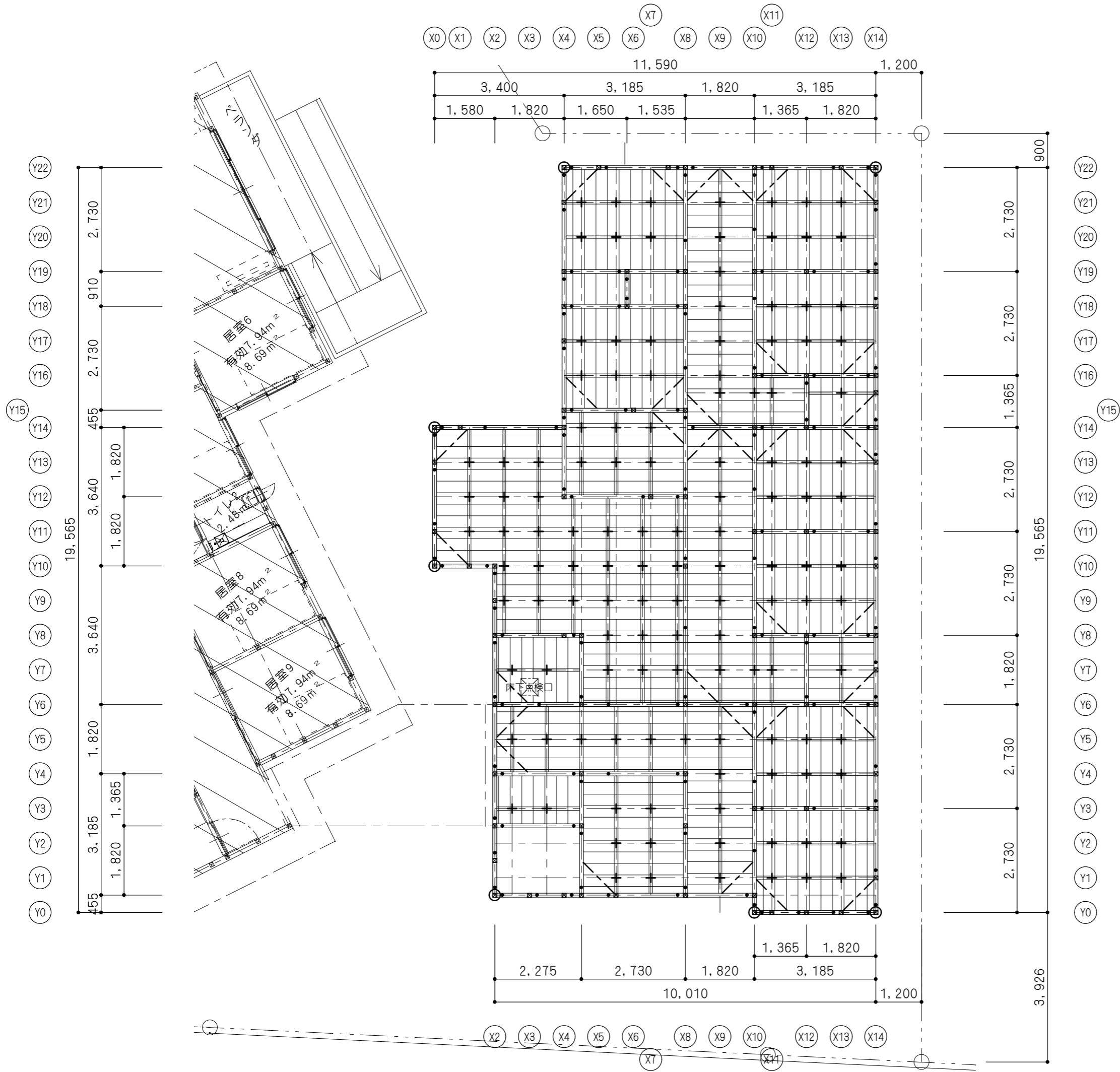
通気基礎パッキン  
 ※玄関土間、浴室・洗面所(脱衣室)は  
 気密基礎パッキンを使用すること。



凡 例	
	床下人通口 W=500 (開口)
	アンカーボルト 12φ L=400 @2000以内 ※設置位置等は、住宅金融公庫基準に順ずる
	鋼製束 @910 ※基礎パッキン 厚20 使用



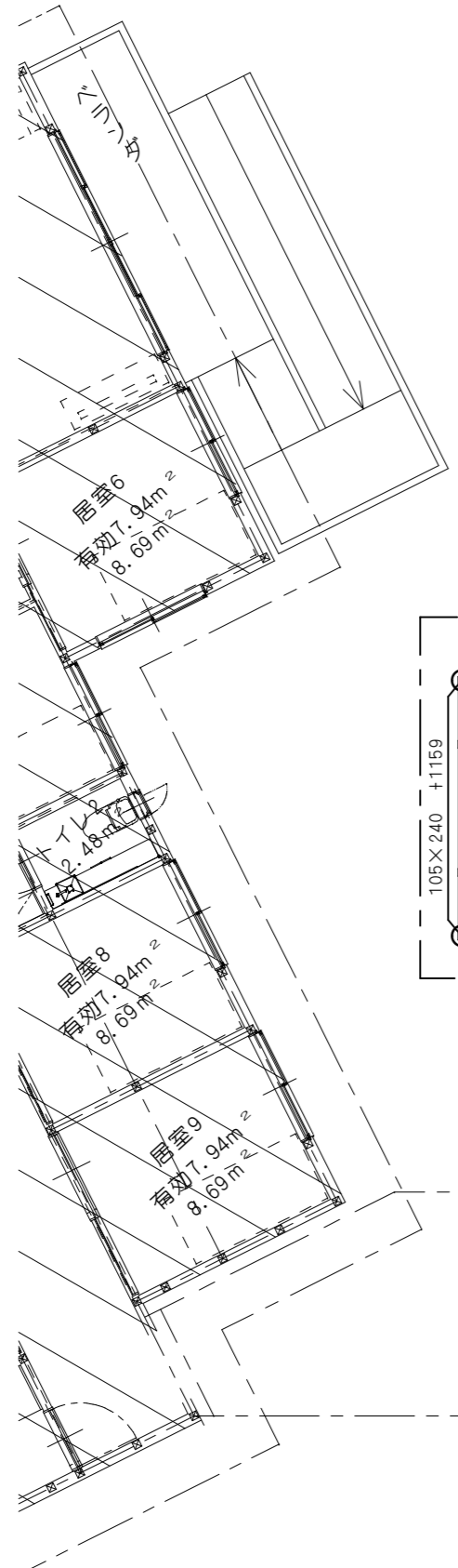
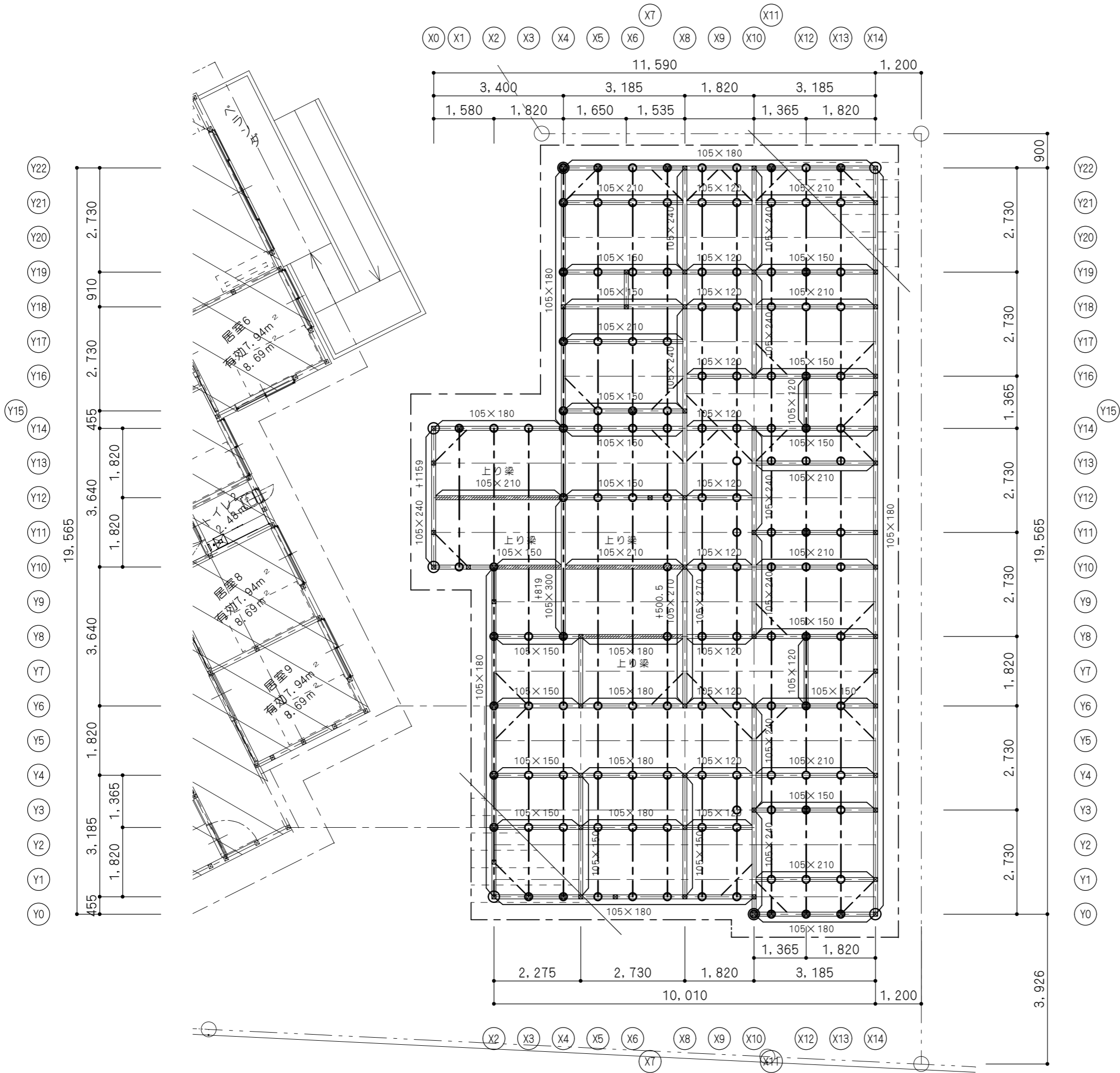
グループホームおひさま 増築工事	R05.03.17
基礎伏図 S=1/100	F-01



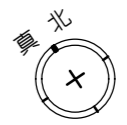
土台	105×105
火打土台	45×90
大引	90×90 @910
根太	45×60 @303
通し柱	120×120
管柱	105×105

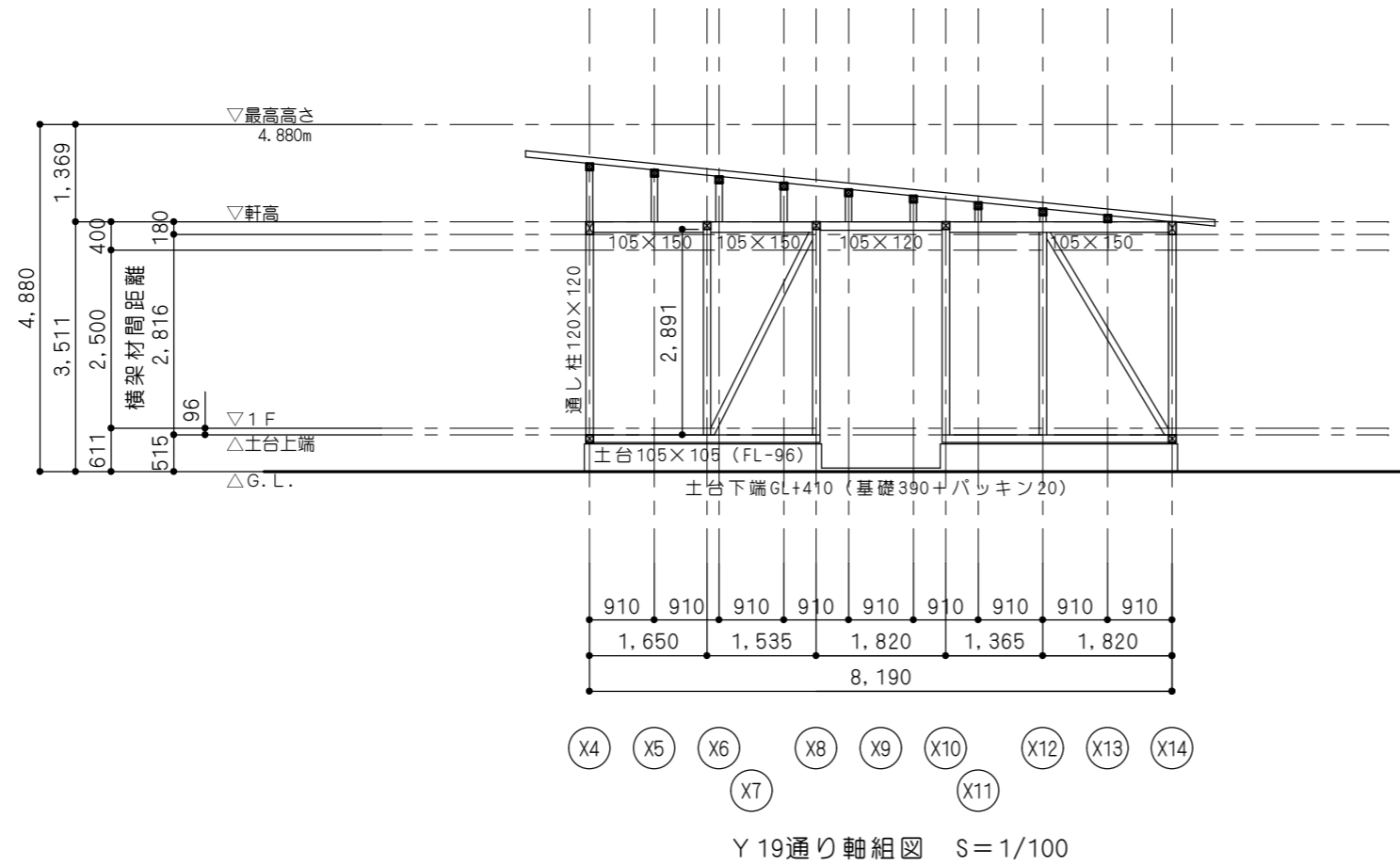


グループホームおひさま 増築工事	R05.03.17
1階床伏図 S=1/100	F-02



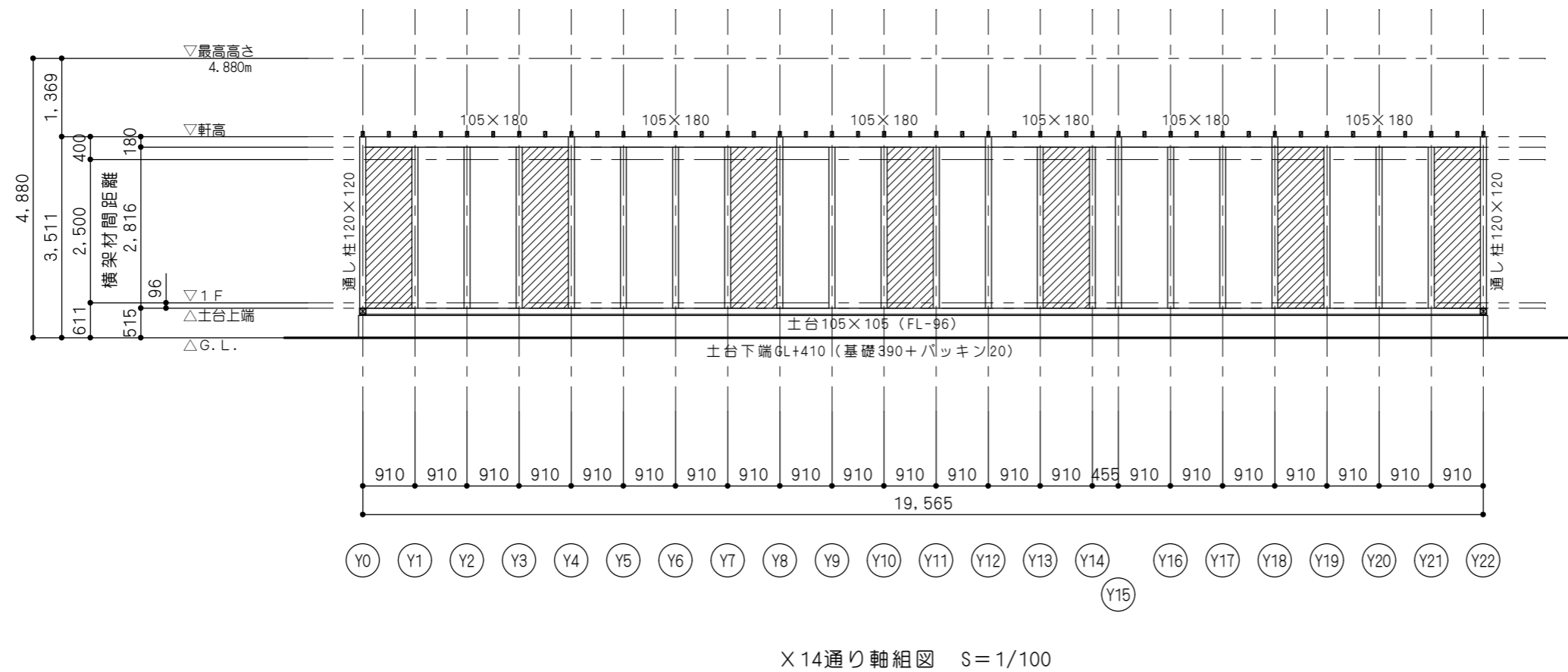
梁 桁	特記無きは105 X 105
火打梁	90 X 90
垂木	45 X 90 @455
母屋	90 X 90 @910
通し柱	120 X 120
管柱	105 X 105
1階柱	☒
小屋束	○





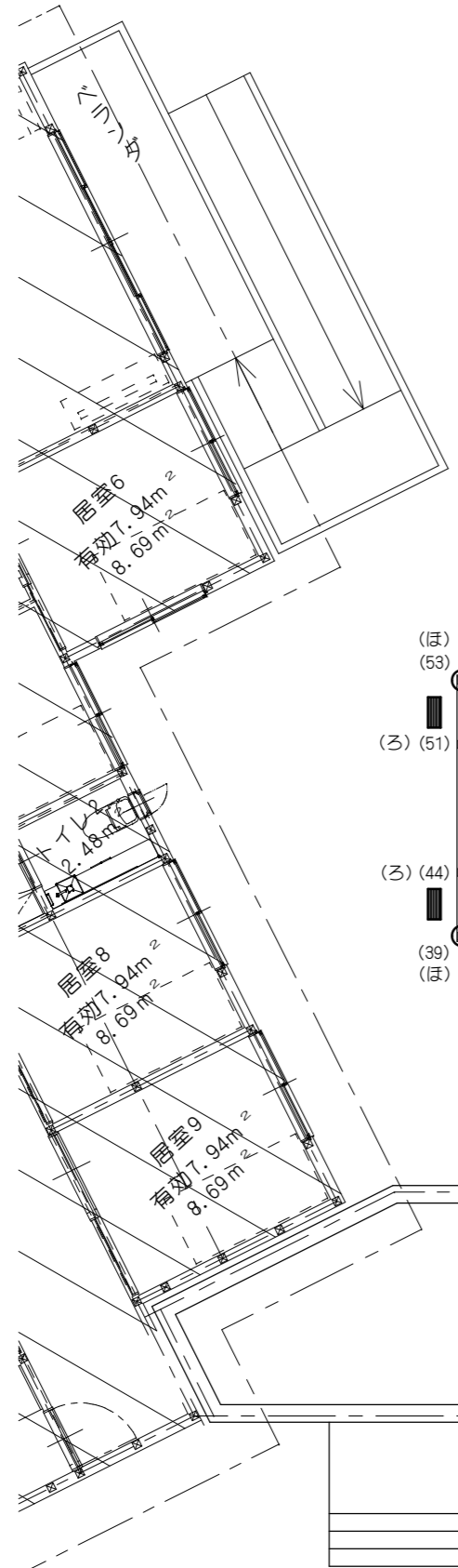
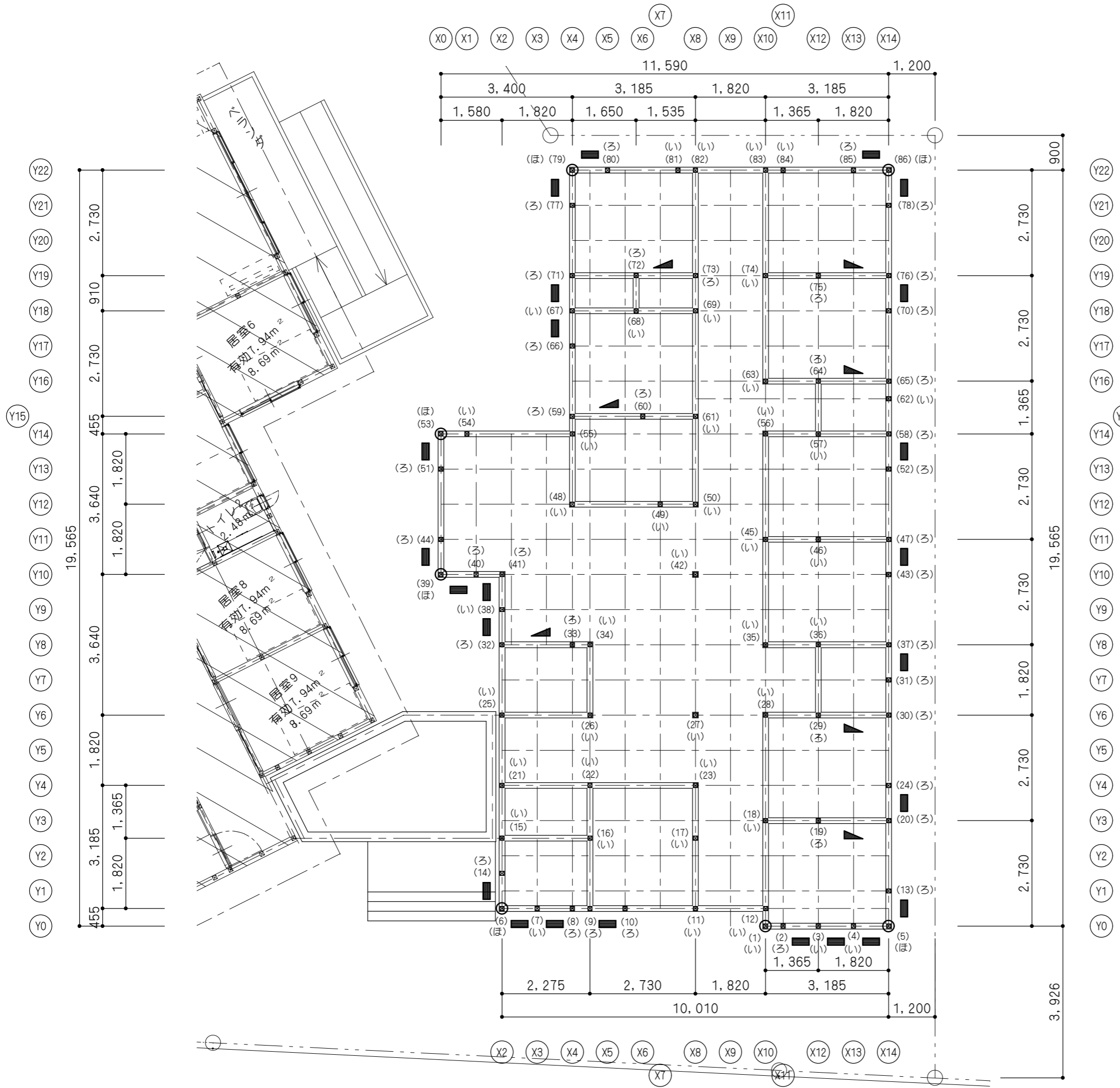
特記事項

- ①屋根ふき材の種別：ガルバリウム鋼板 縦八ゼ葺き 厚0.4
- ②柱の有効細長比を下記に示す  
1階： $\lambda 1 = 2891 / 30.3 = 95.41 < 150 \dots OK$
- ③軸組等の構造方法は「構造方法標準図」参照
- ④各部材の接合部は「継手・仕口標準図」参照
- ⑤外壁面には透湿防水シートを仕上げ材と下地材の間に張ること
- ⑥構造耐力上主要な部分である柱、筋かい、構造用合板および土台のうち  
地盤から1m以内の部分には、有効な防錆・防蟻処理を講ずること
- ・管柱はすべて105×105
- ・外周間柱はすべて30×105（図中省略）
- ・垂木サイズは45×90@455



耐力壁仕様	
	: 壁倍率 2.5 構造用合板 ア9
	: 壁倍率 2 片筋交い 45×90
	: 壁倍率 4 たすき掛け筋交い 45×90
	: 壁倍率 5 構造用合板 ア9 +片筋交い 45×90

グループホームおひさま 増築工事	R05.03.17
軸組図 S=1/100	F-04



N値計算

	出隅 柱(1) 壁倍率 2.5 構造用合板 ア9 $2.5 \times 0.8 - 0.4 = 1.6$ 1.6(8.5kN) 接合部の仕様: (ほ)
	中間 柱(2) $2.5 \times 0.5 - 0.6 = 0.65$ 0.65(3.5kN) 接合部の仕様: (ろ)
	中間 柱(3) 壁倍率 2.5 構造用合板 ア9 $0 \times 0.5 - 0.6 = -0.6$ -0.6(-3.2kN) 接合部の仕様: (い)
	交差 柱(4) 壁倍率 2 片筋交い 45×90 $1.5 \times 0.5 - 0.6 = 0.15$ 0.15(0.8kN) 接合部の仕様: (ろ)
	中間 柱(5) $2.5 \times 0.5 - 0.6 = 0.65$ 0.65(3.5kN) 接合部の仕様: (ろ)
	交差・入隅 柱(6) 壁倍率 なし $0 \times 0.5 - 0.6 = -0.6$ -0.6(-3.2kN) 接合部の仕様: (い)
	出隅 柱(6') 壁倍率 なし $0 \times 0.8 - 0.4 = -0.4$ -0.4(-2.2kN) 接合部の仕様: (い)
	中間 柱(7) $0 \times 0.5 - 0.6 = -0.6$ -0.6(-3.2kN) 接合部の仕様: (い)

《凡例》

	管 柱 105×105
	通し柱 120×120
	筋かい(シングル)45 x 90
	筋かい(ダブル)45 x 90
	構造用合板 厚 9

構造特記仕様書

§ 1 一般事項
選択項目は○印を適用し、●印が無い場合は\*印を適用する。
○印が複数有る場合は、共に適用する。

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の優先順位は下記による。
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。
1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は、意匠図、構造図及び設備図による。
1-7 建築設備の構造強度は施行令第129条の2及びH12建第1388号の規定に適合すること。

§ 2 仮設工事

§ 3 土工事

- 3-1 山留め、掘切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 \*根切り土の中の良土 ・搬入良土
盛土 \*根切り土の中の良土 ・搬入良土
残土処分 ・場内均地し \*場外搬出処分（\*自由 ・指定場所）

§ 4 地業工事

Table with columns: 場所, 均しコンクリート, 厚さ, A: 砕石, B: 割栗石, 厚さ. Rows include 基礎, 地中梁, 構造スラブ, 土間スラブ.

注(1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
(2)端部aは100以上とする。

- 4-2 設計地耐力
長期 kN/m<sup>2</sup>
地耐力載荷試験 ・行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する \*行わない)

- 4-3 地盤改良
・無筋コンクリート地業 ・締固め工法 ・ソイルセメント杭
・セメント系固化材攪拌 ・圧密排水工法 ・柱状地盤改良(サンコラム工法)
[ ・載荷試験 ・軸圧縮試験 ] ・行う (箇所) \*行わない
[ ・六価クロム溶出試験 ] ・行う \*行わない

4-4 既製コンクリート杭

Table with columns: 杭種, PHC杭, ST杭, SC杭, OPRC杭, 節杭. Rows include 種類, 種類, 種類, 種類, 種類.

- 2) 工法
・打撃工法
・埋込工法
・油圧ハンマー
・ディーゼルハンマー
・ブレボーリングセメントミルク注入工法
・ブレボーリング拡大根固め工法(認定工法)
杭周固定液 \*あり ・なし
中掘拡大根固め工法(認定工法)
回転埋設根固め工法(認定工法)
ジオミキシングトップ工法

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 備考.

4) 杭の構成表

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 上杭, 中杭, 下杭, 全長, 本数. Sub-columns for length and type.

- 5) 杭頭補強
・かご筋 ・スタッド溶接 ・異形鉄筋
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

- 1) 工法
・アースドリル工法 ・拡底アースドリル工法
・リバース工法 ・オールケーシング工法
・BH工法
2) 杭径、設計耐力、本数表(拡底部は施工工程を示す)

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 管厚mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 3) 杭先端深さ GL-m
4) 孔壁測定 (2方向)
\*行う (全数、%) ・行わない

- 5) 使用材料
コンクリート Fc N/mm<sup>2</sup> \*普通ポルトランドセメント
鉄筋 D16以下 SD295A ・D19以上 SD345
D以上 SD390
鋼管(リブ付) ・SKK400 ・SKK490

4-6 鋼管杭、その他特殊杭

- 1) 杭種 羽根付鋼管杭
材種 STK490
2) 工法
・打撃工法 (油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー) ・埋込工法

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 管厚mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 4-7 杭打地業共通事項
1) [ ・杭長決定用先行杭 ・試験掘 ] ・行う(1本) \*行わない
2) 載荷試験 ・行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) \*行わない
3) S-L塗布 ・行う \*行わない

§ 5 鉄筋工事

Table with columns: 種類, 径, 継手. Rows include SD295A, SD345, SD390, 溶接金網, 高強度せん断補強筋.

溶接継手 \*ガス圧接 ・突き合せ溶接(D16以下は重ねアーク溶接でも可)
※鉄筋のガス圧接継手はH12建第1463号の規定に適合すること。

- 5-2 溶接部の検査(第三者機関による)
・抜取り検査
・引張り試験(JISZ3120)
1検査ロットにつき 本
・超音波探傷試験(JISZ3062)
1検査ロットにつき 30箇所
※1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内。
不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。
また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。

- 5-3 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

- 5-4 その他
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§ 6 コンクリート工事

- 6-1 設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)
1) セメント \*普通ポルトランドセメント(JISR5210) ・高炉セメントB種
・低熱ポルトランドセメント(JISR5210)
2) 粗骨材 ・砂利 \*砕石 ・高炉スラグ ・人工軽量骨材 ・再生骨材
最大径(mm) \*20 ・25 ・40
3) 躯体
\*普通コンクリート
・Fc18 ●Fc21 ・Fc24 ・Fc27 ・Fc30 ・Fc
・軽量コンクリート
・Fc18 ・Fc21 ・Fc24 ・Fc27 ・Fc30 ・Fc

- 4) 土間コンクリート ・Fc18 ●Fc21
5) 均しコンクリート ・Fc15 ●Fc18
6) 防水押さえコンクリート ・Fc18 ・Fc18(機関単位容積質量 18.5)
7) かさ上げコンクリート ・Fc18 ・Fc18(機関単位容積質量 18.5)

- 6-2 混和材 \*AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・躯体防水材 ・膨張材

Table with columns: 箇所, 基礎, 地中梁, 一般, 備考. Rows include スランプ, 水セメント比, 単位水量, 単位セメント量.

- 6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1) 骨材 [ ●塩分含有量 ●アルカリシリカ反応 ] \*行う ・行わない
2) フレッシュコンクリート [ ●スランプ ●空気量 ] \*行う ・行わない
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 \*行う ・行わない
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 \*行う \*行わない
5) マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析) ・行う \*行わない

調査強度は下記の式を満足するものとする。(補正値は工事費に含む)
Fm=Fq+mSn Fm: 調査管理強度 Fq: 品質基準強度 mSn: 構造体強度補正値

Table with columns: コンクリートの材齢による場合, 基礎、梁側、柱、壁, スラブ下, 梁下. Rows include 15℃以上, 5℃以上, 0℃以上, 圧縮試験による場合.

- 6-7 コンクリートの養生は建築基準法施行令第75条の規定による。

§ 7 鉄骨工事

Table with columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, 梁, 小梁, 他. Rows include 一般構造用圧延鋼材, 建築構造用圧延鋼材.

- 7-2 高力ボルト
高力ボルトの種類 使用箇所
トルシア形高力ボルト \*S10T 全般(MRLT-0052同等品)
JIS形高力ボルト ・F10T トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト ・FP 母材が亜鉛メッキされている部分

- 7-3 普通ボルト、アンカーボルト
1) 材質 ・SS400(認定柱脚以外) ・SS490(M16以上) ・ABR400 ・ABR490
2) 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ・使用する ・使用しない

Table with columns: 径, 長さ, 使用箇所. Rows include 16φ, 19φ.

- 7-5 溶接材料
1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとす。

- 7-6 スカラップ形状 \*スカラップ工法 ・ノンスカラップ工法

Table with columns: 継手, 柱, 梁. Rows include フランジ, ウェブ.

- 7-8 溶接手法及び管理
使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で選任の管理技術者により管理を行うこと。

- 7-9 デッキプレート(単位mm)
1) 床用 高さ ・板厚
2) 合成スラブ用 高さ ・板厚
3) 型枠用 高さ ・板厚
4) 防錆処理 亜鉛メッキ ・Z12 ・Z12 その他 ・QLデッキ標準図による
7-10 錆止め塗装(工場塗1回1種、現場塗1回2種を原則とする)
1) 素地こしらえ \*ケレン ・プラスト
2) 錆止め塗料

Table with columns: 適用, 塗料, 塗布量(kg/m<sup>2</sup>). Rows include 室外, 室内, シアナミド鉛錆止めペイント.

- 3) 溶融亜鉛メッキ ・行う ・行わない
7-11 溶接部の検査(受入検査) \*行う ・行わない
1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は?日本溶接協会によるC/W検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とする。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 6付則」鉄骨精度基準による。
5) 超音波探傷検査は母材厚6mm以上の突合せ継手を対象とし、合格判定は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程」(同解説)による。
6) 工事溶接に対し第三者検査機関による検査箇所数は下表による。

Table with columns: 検査段階, 1, 2, 3. Rows include 検査箇所数, 第1節, 第2節, 第3節.

- 7) 現場溶接の場合は第三者機関による検査を100%行う。
8) 不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならなければならない。
9) ずれ、食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突合せ継手の食い違いのずれの検査補強マニュアル」等を参考にする。
7-12 鉄骨製作工場
国土交通大臣認定(グレード)
S H M R J

§ 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 8-1 コンクリートブロック
1) 種類 ・A種 ・B種 ・C種
2) 厚さ(mm) ・100 ・120 ・150 ・190

- 8-2 ALCパネル
1) 使用箇所 ・床 ・屋根 ・外壁 ・内壁
2) 厚さ(mm) ・50 ・75 ・100 ・120 ・150
3) 外壁取り付け構法

Table with columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考. Rows include 縦, 横.

- 8-3 押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ(mm) ・60
方向 構法 使用箇所 備考
縦 ・ロッキング構法
横 ・スライド構法

§ 9 建築設備

- 9-1 建築設備の構造強度は建築基準法施行令第129条の2の3に適合すること。

# 鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁事務課監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事にによる。

## 鉄筋の折曲げ基準

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)			使用箇所
		10D以下	10D以上	15D以上	
末端部	90°	D	34D以上	44D以上	柱・壁の主筋 基礎のベース筋 10D以上の巻筋
	135°	D	34D以上	44D以上	あばら筋 巻筋 10D以上の巻筋
	90°	D	34D以上	44D以上	丁筋及び1層の巻筋のあばら筋
	135°及び90°	D	34D以上	44D以上	巻筋
中間部	90°以下	D	34D以上	44D以上	あばら筋 巻筋 スパイラル筋
	90°	D	44D以上 (64D以上)	84D以上 (84D以上)	その他の巻筋

(注) 1. S390Hは、使用箇所が、その他の鉄筋の場合に( )内を適用する。  
2. dは、呼び名に用いた数値を示す。

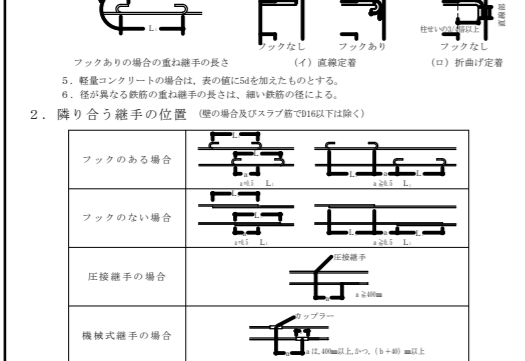
## 異形鉄筋のフック

- 鉄筋の末端部には、次の場合にフックを付ける。  
 1) 柱の隅隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。(下図(a)の●印で示す鉄筋)  
 2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。(下図(b)の●印で示す鉄筋) ただし、基礎梁を除く
- 
- 3) 煙突の鉄筋 (壁の一部となる場合を含む。)  
 4) 杭基礎のベース筋  
 5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

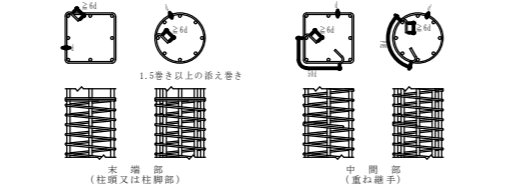
## 鉄筋の継手及び定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし		フックあり	
		L	L <sub>1</sub>	L	L <sub>1</sub>
HRB400	20	40d	40d	40d	40d
	25	40d	40d	40d	40d
SD350	20	40d	40d	40d	40d
	25	40d	40d	40d	40d

- (注) 1. L: 重ね継手長さ及び2. 及び3. 以外の定着長さ  
 2. L<sub>1</sub>: 鋼鉄板等のそのない箇所への定着長さ  
 3. L: 小梁及びスラブの下端部の定着長さ。ただし、基礎制圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。  
 4. フックありの場合の L、L<sub>1</sub>及び L<sub>1</sub>は、下図に示すようにフック部分 (●) を加えない。  
 なお、梁主筋の柱内定着において、縦に折曲げて定着する場合は、下図に示すように柱せい×3/4倍以上のみ込まれる。ただし、折曲げ先の直線部の長さが10dに満たなくなる場合は、監督員と協議する。



## 3. スパイラル筋の継手及び定着



## 4. 溶接金網の継手及び定着

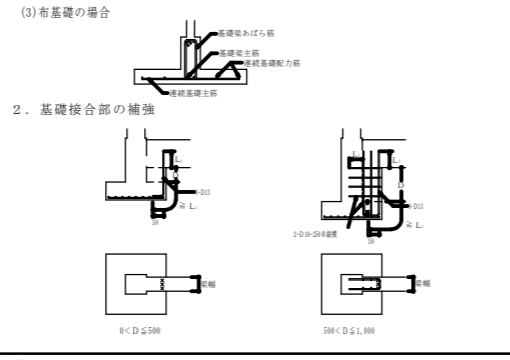
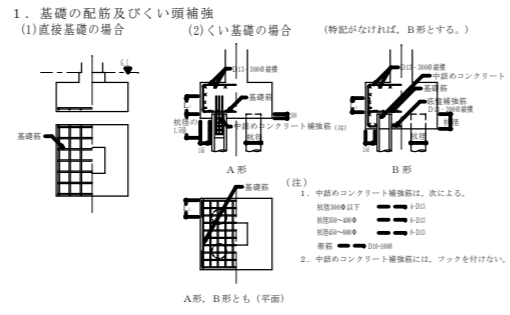


## 鉄筋のかぶり厚・その他

構造部分の種類	最小かぶり厚さ (mm)	
	スラブ、耐力壁以外の壁	柱、耐力壁
土に接しない部分	柱内 仕上げあり	仕上げなし
土に接する部分	柱内 仕上げあり	仕上げなし
	柱外 仕上げあり	仕上げなし
基礎、制圧スラブ	柱内 仕上げあり	仕上げなし
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	柱、梁、スラブ
埋設等を受ける部分	柱、梁、スラブ	柱、梁、スラブ

- (注) 1. \*印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。  
 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ (仕上げ材、吹付け又は塗装等) のものを除く。  
 3. スラブ、梁、基礎、及び階壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、普通コンクリートの厚さを含めない。  
 4. 基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。  
 5. 風害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。
2. 鉄筋相互のあき  
 (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍  
 (2) 25mm  
 (3) 隣り合う鉄筋の平均径 (呼び名に用いた数値「d」) の1.5倍以上  
 (4) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。  
 (5) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
3. 鉄筋の表示記号
- |    |     |      |      |      |      |      |      |      |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 丸  | 9.0 | 13.0 | 16.0 | 19.0 | 22.0 | 25.0 | 28.0 | 32.0 |
| 記号 | D19 | D13  | D16  | D19  | D22  | D25  | D28  | D32  |

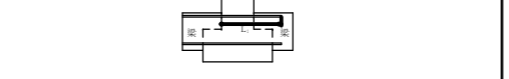
## 基礎



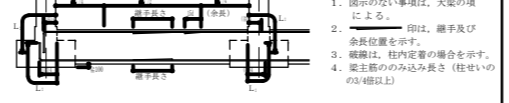
## 基礎梁

1. 基礎梁主筋の継手及び定着  
 1) 一般事項  
 (1) 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。  
 (2) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。

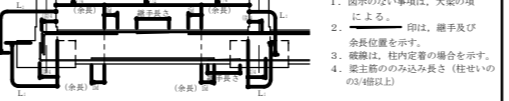
## (3) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁筋は柱の中心軸を越えてから定着する。



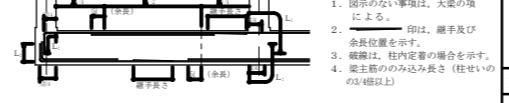
## 2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合



## 3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合



## 4) 連続基礎及びべた基礎の場合

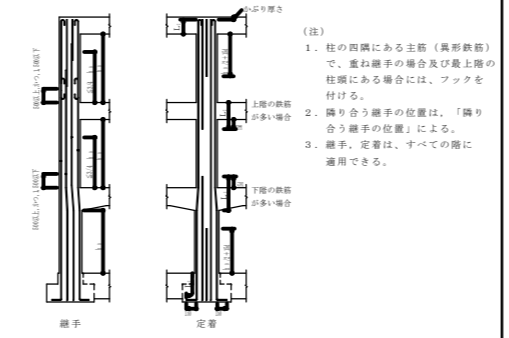


## 2. あばら筋、腹筋及び幅止め筋

- 1) あばら筋  
 (1) あばら筋の径及び間隔は、特記による。  
 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、大梁のあばら筋の項による。ただし、梁の上端にスラブがつく場合、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、下図によることとする。
- 
- 2) 腹筋及び幅止め筋  
 腹筋及び幅止め筋は、大梁の項による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は、特記による。  
 3) あばら筋の割付け  
 あばら筋の割付けは、大梁の項による。

## 柱

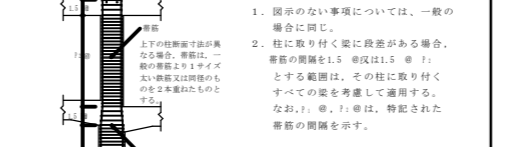
1. 柱主筋の継手、定着及び余長  
 (1) 継手の中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3/4 (L) (Lは、柱の内法高さ) 以下とする。  
 (2) 重ね継手の長さは L とし、定着及び余長は下図による。ただし、柱頭定着長さ L が確保できない場合は、特記による。



## 2. 帯筋

- 1) 帯筋の種類及び間隔は、特記による。  
 (1) H形 (イ) (ロ) (ハ) (ニ)  
 (2) W-1形 (イ) (ロ) (ハ) (ニ)  
 (3) S P形 (スパイラル筋) (イ) (ロ)  
 (4) 丸形 (イ) (ロ)
- (注) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻き以上の巻きを行う。
- 3) フック及び継手の位置は交互とする。

## 3. 帯筋の割付け



## 4. 打ち増し補強

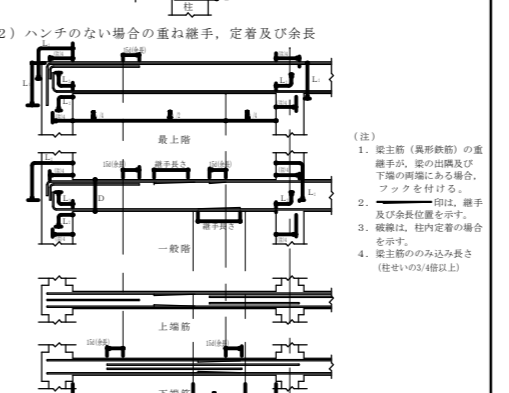
- 柱の打ち増し補強配筋は下図により、打ち増し幅が70mm以上、かつ、200mm以下の場合に適用する。200mmを超える場合は、特記による。  
 なお、梁及び耐力壁の定着長さは、打ち増し部分を除いて算定する。
- 
- (注) 70 ≤ a < 200 の場合

## 大梁

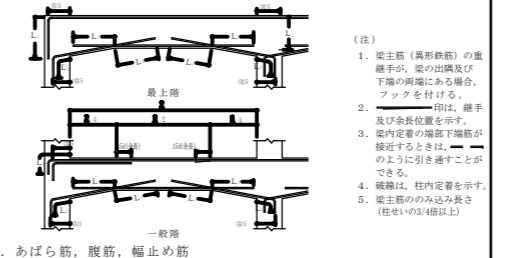
### 1. 大梁主筋の継手及び定着

- 1) 一般事項  
 (1) 継手中心位置は、次による。  
 上階筋：中央 1/2以内  
 下階筋：柱より梁せい(D)以上離し、●を加えた範囲以内  
 (2) 継手長さは L とし、定着長さ及び余長は下図による。  
 (3) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することとする。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
- 
- (注) 70 ≤ a < 200 の場合
- (4) 梁主筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を越えてから縦におろす。ただし、梁せいや柱断面が大きい場合等には、監督員の承諾を受けて、曲上げとすることができる。  
 (5) 梁にハンチを付ける場合、その傾斜は特記による。特記がなければ1:4とする。  
 (6) 段違いは、下図によることとする。

### 2. ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



### 3. ハンチのある場合の定着及び余長



### 2. あばら筋、腹筋、幅止め筋

- 1) 一般事項  
 (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。  
 (2) 腹筋は継手を取る場合の継手長さは、150mm程度とする。  
 (3) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければ、L とする。  
 (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000程度とする。  
 2) あばら筋の組立の形及びフックの位置  
 (1) 形は、下図の (イ) とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ)、T形梁の場合は、(ロ) ~ (ニ) とすることができる。

- (2) フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。  
 なお、(ハ) の場合は、スラブの付く側を90°折曲げとする。
- 

### 3) あばら筋の割付け

- (1) 間隔が一様で、ハンチのない場合  
 (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。  
 2. 図中のP印は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
- (2) 間隔が一様で、ハンチのある場合  
 (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。  
 2. 図中のP印は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
- (3) 梁の端部で間隔の異なる場合  
 (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。  
 2. 図中のP印は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
- (4) 腹筋及び幅止め筋  
 (1) 一般の梁 (2) 壁梁の場合  
 (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。腹筋は、幅筋及び幅止め筋の間に引く。  
 2. 図中のP印は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

### 4. 打ち増し補強

- 梁の打ち増し補強配筋は下図により、打ち増し幅が70mm以上、かつ、200mm以下の場合に適用する。200mmを超える場合は、特記による。  
 なお、小梁、耐力壁及びスラブの鉄筋の定着長さは、打ち増し部分を除いて算定する。
- 
- (注) 70 ≤ a < 200 の場合

## 小梁及び片持ち梁

### 1. 小梁の主筋の継手、定着及び余長

- 1) 連続小梁  

(注) 1. ●印は、余長位置を示す。  
 2. 図示のない事項は、基礎梁及び大梁の項による。

2) 単独小梁  

(注) 1. ●印は、余長位置を示す。  
 2. 図示のない事項は、基礎梁及び大梁の項による。

3) あばら筋は、大梁の項による。  
 4) 打ち増し補強は、大梁の項による。

### 2. 片持梁主筋の定着及び余長

- 1) 先端に小梁のない場合  

(注) 1. 図示のない事項は、大梁の項による。  
 2. ●印は、余長を示す。  
 3. 先端の小梁の長さ L は、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。  
 4. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数引き通す場合でも上階筋は、2本以上を柱に定着する。

2) 先端に小梁がある場合  

(注) 1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。  
 2. 先端小梁端部の主筋は、片持梁内水平定着する。  
 3. 先端小梁の連続筋は、片持梁の梁筋を貫通する筋として引く。

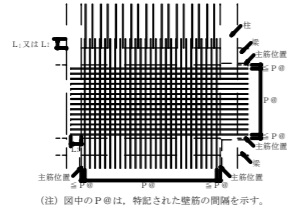
3) あばら筋は、大梁の項による。  
 4) 打ち増し補強は、大梁の項による。

鉄筋工事仕様書 No. 2

壁の配筋

1. 一般事項

- 1) 壁配筋の重ね継手及び定着長さは、特記がなければ、Lとする。
- 2) 土圧等を受ける壁及び耐震壁として特記されたものは、重ね継手長さをL、定着長さをLとする。
- 3) 重ね継手及び定着の長さが取れない場合は、監督員と協議する。
- 4) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
- 5) 一般部壁の配筋は、下図による。



(注) 図中のP筋は、特記された壁筋の側面を示す。

2. 壁の配筋基準は下図により、種別は特記による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W10	D10-200@シングル	
W12	D10-200@シングル	
W15A	D10-200@シングル	
W15B	D10-200@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	
W18B	D10-200@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	
W20B	D10-200@ダブル	

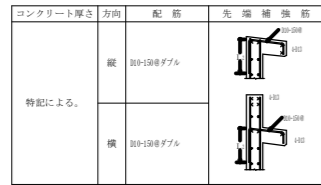
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

3. 片持ちスラブ形階段を受ける壁の配筋基準は下図により、種別は特記による。

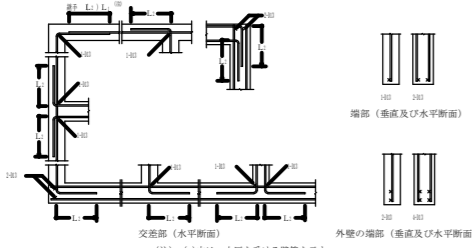
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	筋径別
KW1	縦筋 D10-200@		KA1
	横筋 D10-200@		KA3
KW2	縦筋 D10-200@		KA2
	横筋 D10-200@		KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

4. バラベットの配筋は、下図による。



5. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。



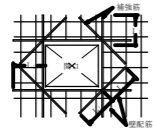
(注) ( ) 内は、土圧を受ける壁等を示す。

6. 壁開口部の補強

- 1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。適用は特記による。特記がなければ、B形とする。なお、耐震壁の補強筋は、特記による。

壁開口部補強筋 (A形)			壁開口部補強筋 (B形)		
壁の種別	縦筋	斜め	壁の種別	縦筋	斜め
W12, W15	D10	D10	W12, W15	D10	D10
W18, W20	D10	D10	W18, W20	D10	D10

2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。



- 3) 開口部が柱及び梁に接する部分又は最大径が300mm以下で鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

7. コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記による。

8. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し補強配筋は、下図により、打増し厚さaが50mm以上、かつ、200mm以下の場合に適用する。



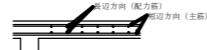
床スラブの配筋

1. スラブの配筋は、次による。

- 1) スラブの基準配筋 (S形基準配筋) は下表及び下図により、配筋種別及びスラブ厚さは、特記による。

S形基準配筋					
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全長	長辺方向 (配力筋) 全長	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全長	長辺方向 (配力筋) 全長
S 1	D10-200	D10-200	S 8	D10-200	D10-200
S 2	同上	D10-200	S 9	同上	D10-200
S 3	同上	D10-200	S 10	D10-200	D10-200
S 4	D10-200	同上	S 11	同上	D10-200
S 5	同上	D10-200	S 12	同上	D10-200
S 6	同上	同上	S 13	D10-200	D10-200
S 7	D10-200	D10-200	S 14	同上	D10-200

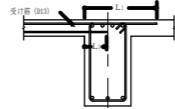
(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



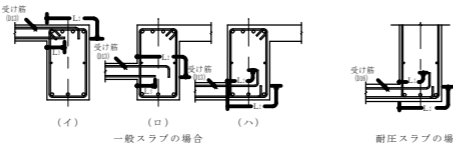
2) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。

3) 鉄筋の重ね継手長さは、Lとする。

4) 定着長さ及び受け筋は、下図による。



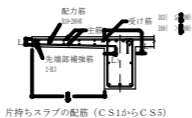
- 5) 定着長さ及び受け筋は、引き通すことができない場合は、下図により梁内に定着する。



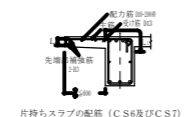
2. 片持ちスラブの配筋は、次による。

- 1) 片持ちスラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は下表及び下図により、配筋種別及びスラブ厚さは、特記による。

CS形基準配筋			
配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS 1	上 D10-200 下 D10-200	CS 5	上 D10-200 下 D10-200
CS 2	上 D10-200 下 D10-200	CS 6	上 D10-200 下 D10-200
CS 3	上 D10-200 下 D10-200	CS 7	上 D10-200 下 D10-200
CS 4	上 D10-200 下 D10-200		

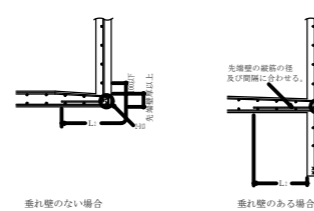


片持ちスラブの配筋 (CS1からCS5)



片持ちスラブの配筋 (CS6及びCS7)

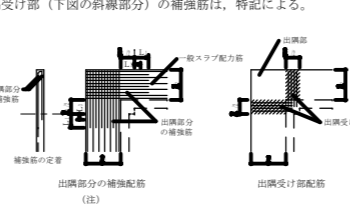
3. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



4. 出隅部

- 1) 補強の配筋は、特記による。特記がなければ、D10-100@ダブルとする。

2) 出隅受け部 (下図の斜線部分) の補強筋は、特記による。

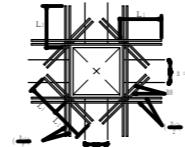


(注) 1. 出隅受け部は柱又は梁に定着する。

5. スラブ開口部の補強

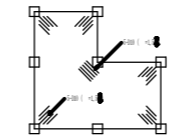
スラブ開口部の補強は、特記による。特記がなければ、次による。  
1) スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合、下図により開口部によって切られる鉄筋と同等の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D10 (φ2L) シングルを上下筋の内側に配筋する。

- 2) スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



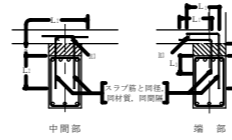
6. 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅及び入隅部分には、下図により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



7. 土間スラブの打継ぎ補強

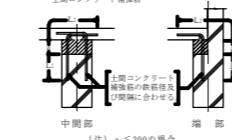
基礎梁と土間スラブを一体打ちとして、打継ぎを設ける場合の補強は、特記による。特記がなければ、下図による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。



(注) a ≦ 300 の場合

8. 土間コンクリートの補強

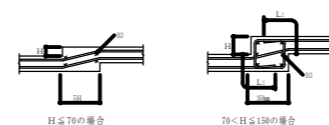
土間コンクリートの補強筋は、特記による。なお、基礎梁との接合部は、下図による。



(注) a ≦ 300 の場合

9. 段差のあるスラブの補強

150mm以下の段差のあるスラブの補強は、下図による。

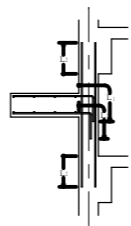


階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

片持ちスラブ形階段の基準配筋			
配筋種別	縦筋	横筋	斜め筋
KA 1	D10-200	D10-200	D10-200
KA 2	D10-200	D10-200	D10-200
KA 3	D10-200	D10-200	D10-200
KA 4	D10-200	D10-200	D10-200



(注) 1. 壁配筋は、壁片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋の項による。

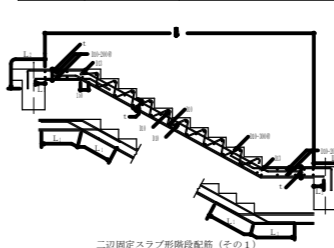
2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦におさす。

3. スラブ配筋の継手及び定着の長さは、[鉄筋の定着長さ]のLとする。

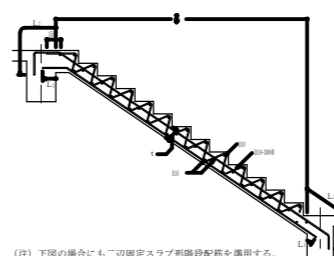
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋は下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

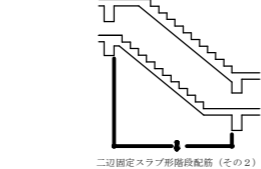
配筋種別	スラブ厚さ (mm)	上端筋、下端筋とも (全長)
KB 1	200	D10-200
KB 2	200	D10-200
KB 3	200	D10-200
KB 4	200	D10-200
KB 5	200	D10-200
KB 6	200	D10-200
KB 7	200	D10-200



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

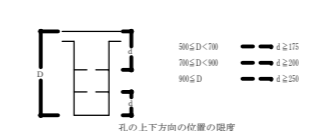
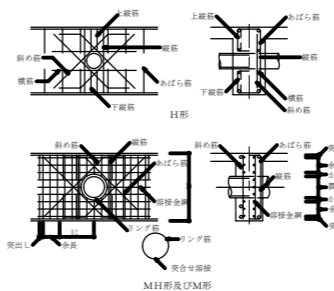


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

梁貫通孔補強筋

1. 梁貫通孔は、次による。

- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- 3) 孔の上下方向の位置の限度は、下図による。
- 4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直行する梁 (小梁) の面から、原則として、1.2D (Dは梁せい) 以上離す。
- 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 6) 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 7) 補強筋は、主筋の内側とする。やむを得ない場合は、監督職員の承諾を受けて外側とすることができる。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、補強を省略することができる。
- 9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 11) 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



貫通孔が円形の場合 補強筋の定着長さ

貫通孔が円形でない場合 補強筋の定着長さ

2. 梁貫通孔の補強形式は下表により、配筋種別は特記による。なお、既製の梁貫通補強筋等を使用する場合は、特記による。

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H 1	なし	なし	なし	なし	
H 2	D10	D10	なし	なし	
H 3	D10	D10	D10	D10	
H 4	D10	D10	D10	D10	
H 5	D10	D10	D10	D10	
H 6	D10	D10	D10	D10	
H 7	D10	D10	D10	D10	

(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	D10	なし	
M 2	D10	なし	
M 3	D10	24φ-300	
M 4	D10	24φ-300	

(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

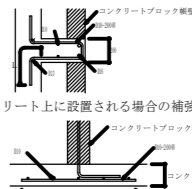
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし	なし	なし	
MH 2	D10	D10	なし	
MH 3	D10	D10	24φ-300	
MH 4	D10	D10	24φ-300	
MH 5	D10	D10	24φ-300	
MH 6	D10	D10	24φ-300	
MH 7	D10	D10	24φ-300	

(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

コンクリートブロック縦壁との取合い

1. 控壁

- 1) 控壁の配置は、特記による。
- 2) 配筋は、下図による。



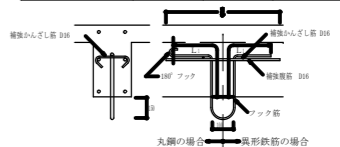
2. 縦壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、下図による。

コンクリートの厚さ

機械吊上げ用フック

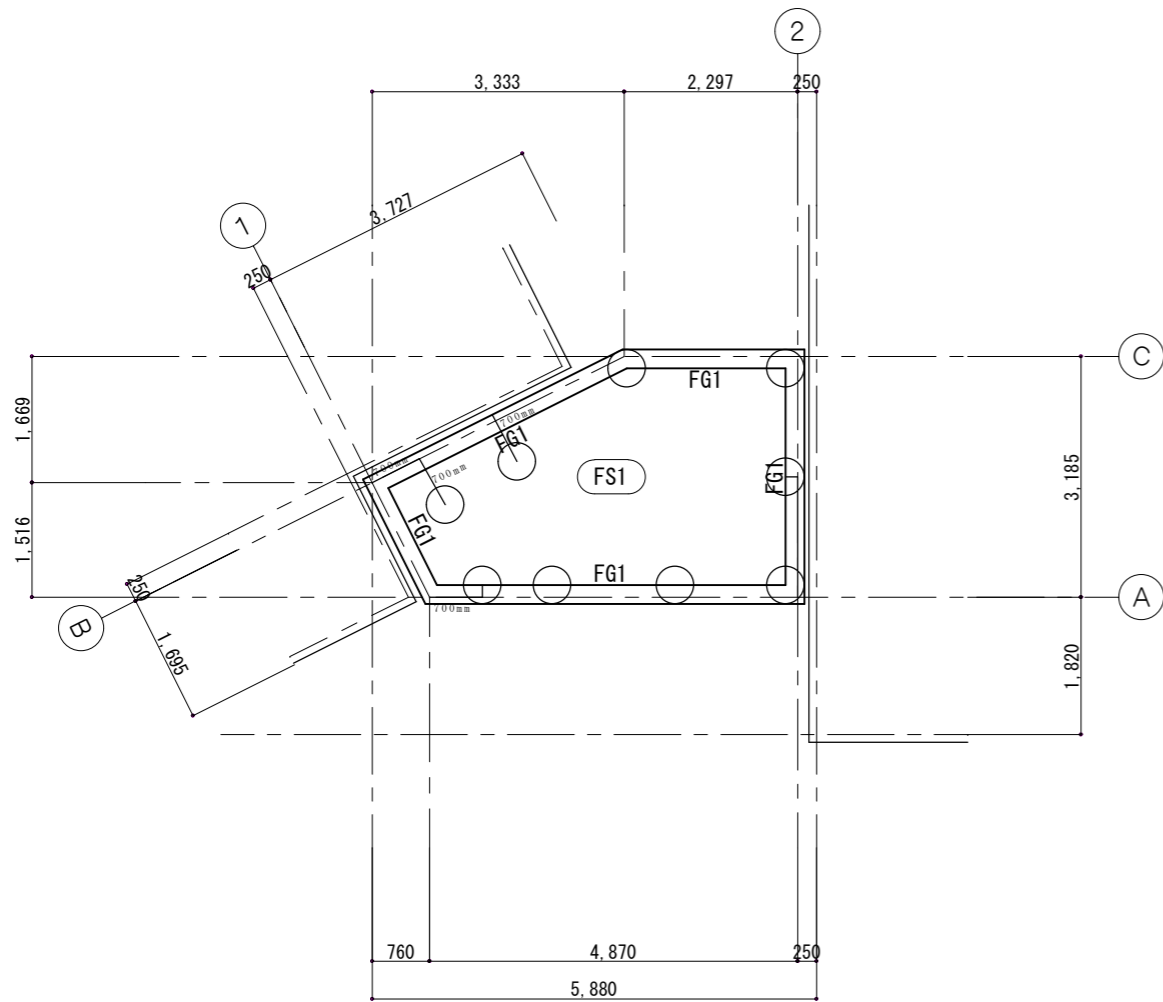
梁に設ける機械吊上げ用フックは下表及び下図により、種別は特記による。

種別	A種	B種	C種
フック径	φ25L20E	φ25L20E	φ25L20E
曲げ内法直径 (mm)	300	300	300
補強かんざし筋	D10	D10	D10
補強鉄筋 (mm)	D10	D10	D10
吊上げ荷重 (kN)	20kN	30kN	30kN

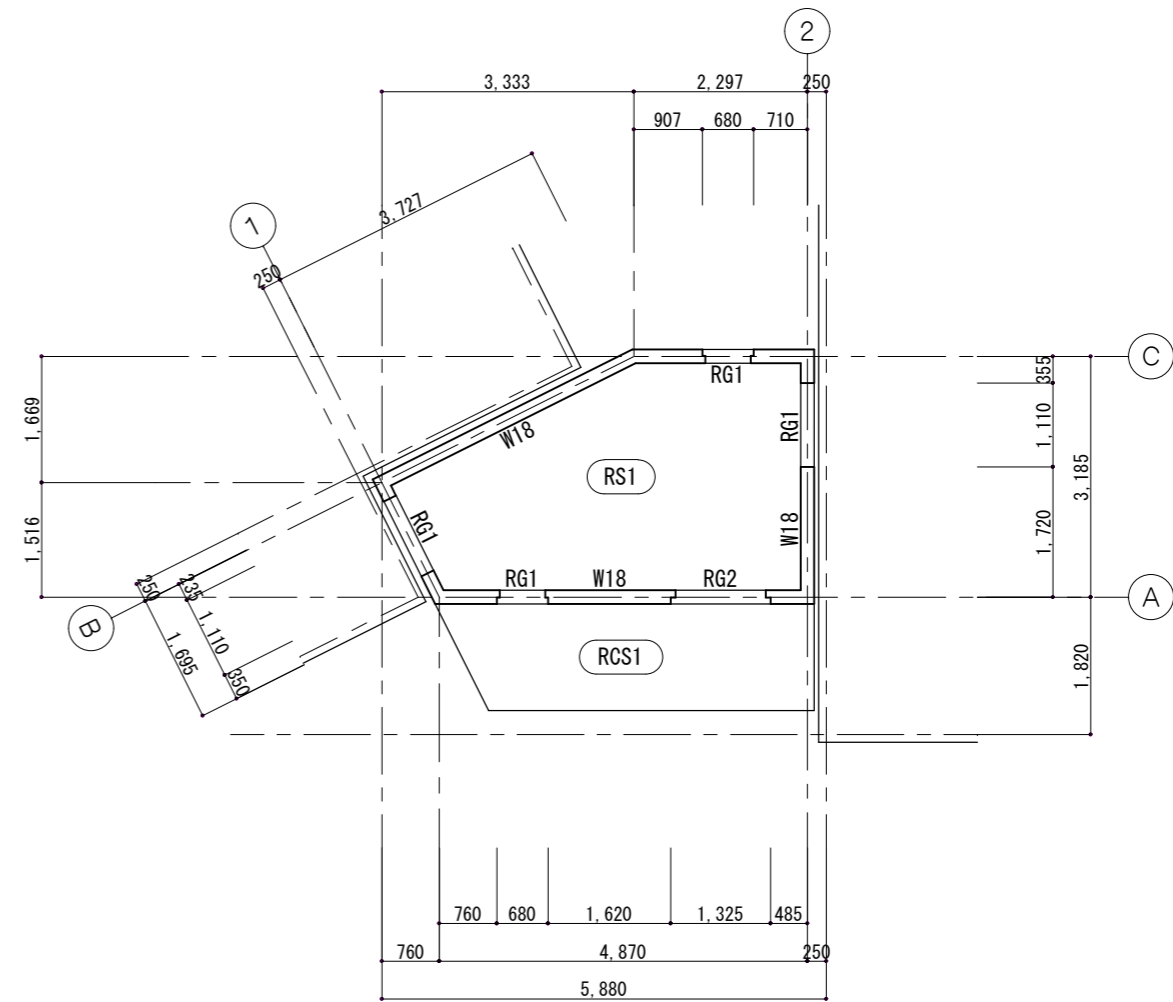


丸鋼の場合 異形鉄筋の場合





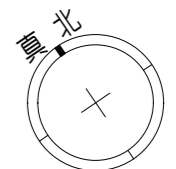
基礎伏図 S=1/100

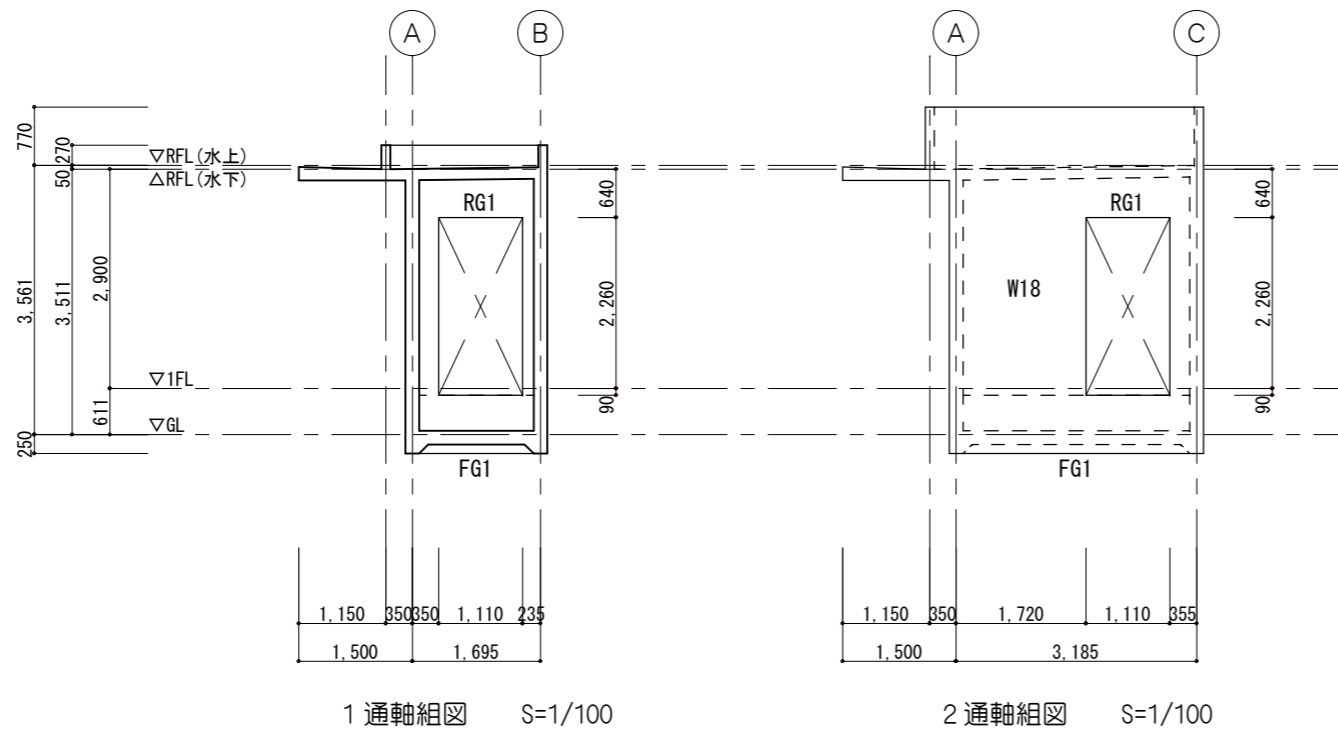
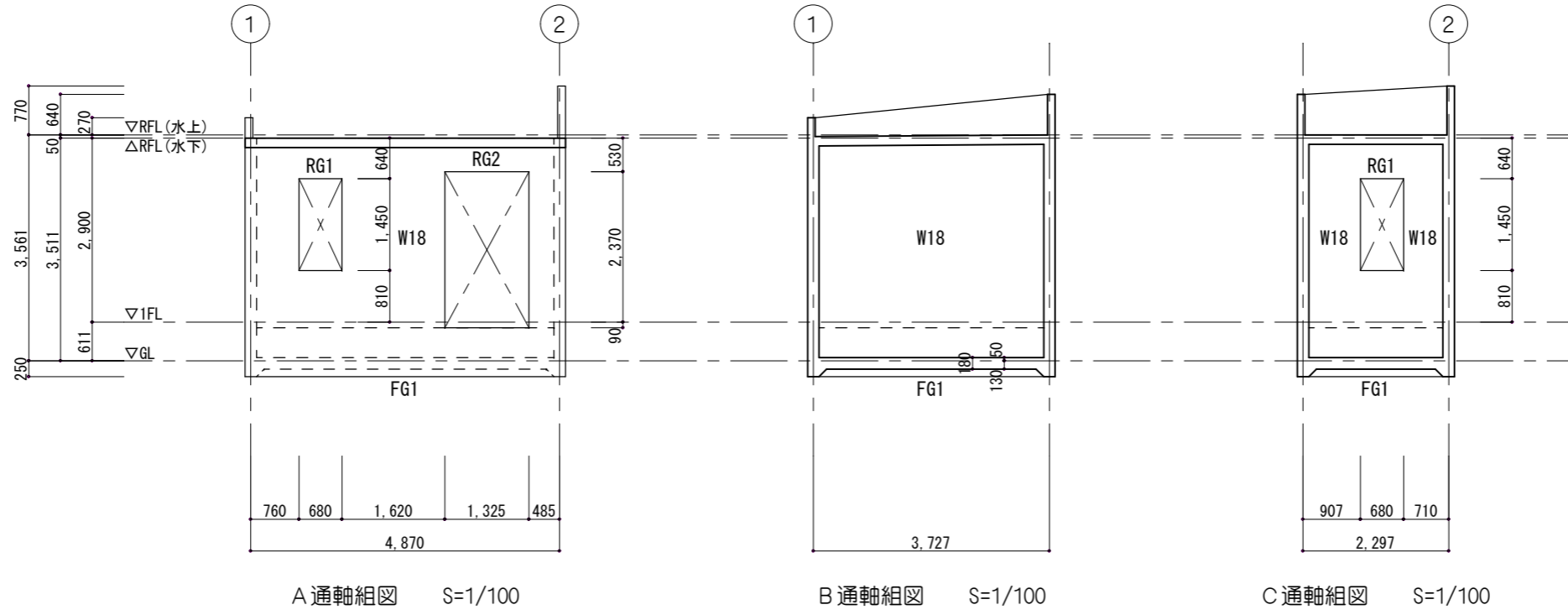


1階壁R階床伏図 S=1/100

湿式柱状改良 (クロスウィングコラム)	杭径 500 mm
	杭長 10.00~11.00 m
$F_c = 800 \text{ KN/m}^2$	本数 9 本

耐力壁長さの算定  
 必要耐力壁長さ  
 $14.57\text{m} \times 12.0\text{cm/m} = 174.84\text{cm}$   
 X方向  
 $372.7/372.7^2 \times 333.3^2 = 298.0$   
 $76.0 + 162.0 + 48.5 + 298.0 + 90.7 + 71.0 = 746.2\text{cm} > 174.84\text{cm} \therefore \text{OK}$   
 Y方向  
 $372.7/372.7^2 \times 166.9^2 = 74.7$   
 $74.7 + 172.0 = 246.7\text{cm} > 174.84\text{cm} \therefore \text{OK}$

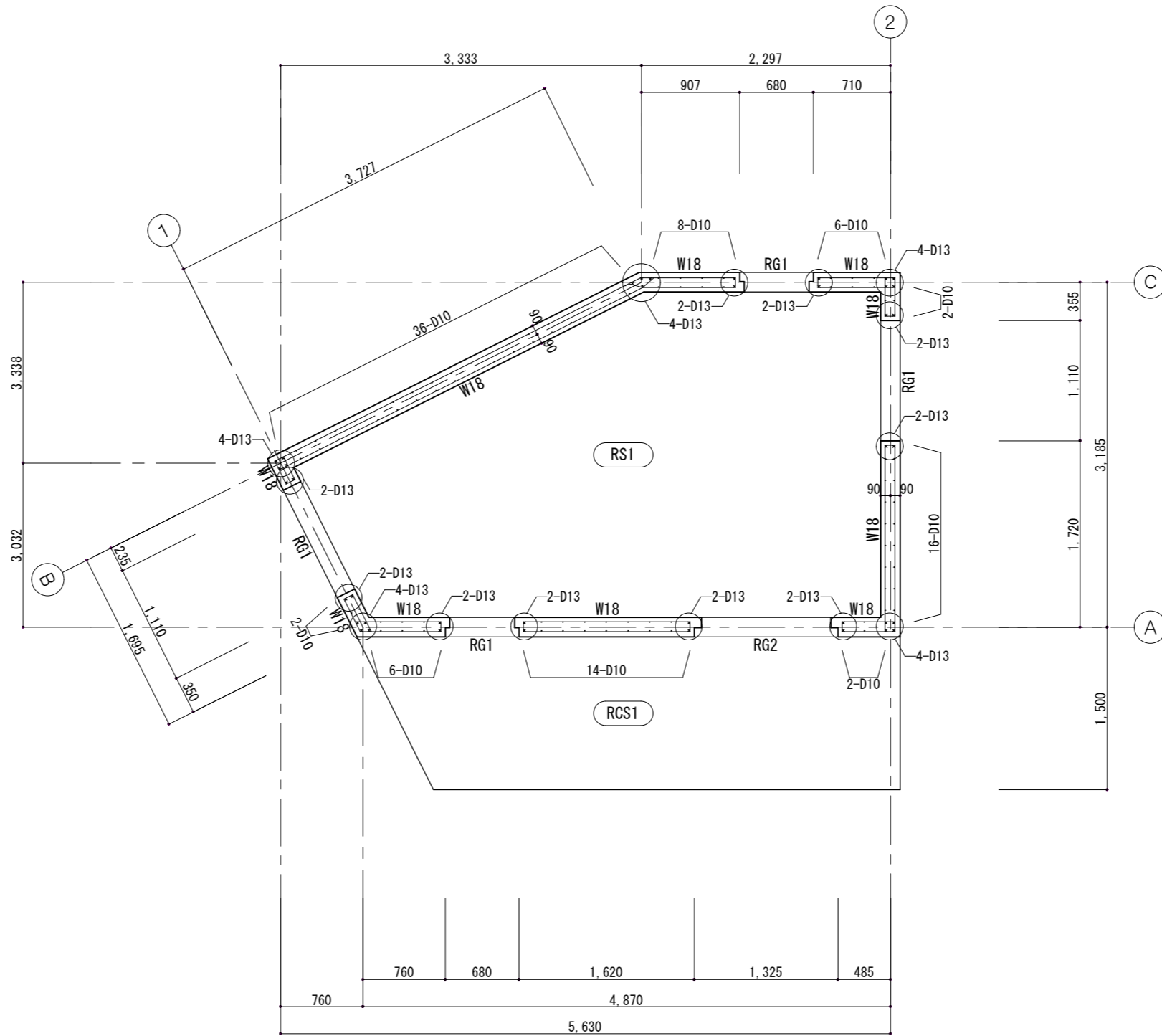




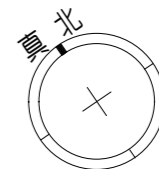
スラブリスト										
符号	スラブ厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考	
			中央部		両端部	中央部		両端部		
			端部(A)	中央(B)	全域(C)	端部(A)	中央(B)	全域(C)		
RS1	150	上層	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←	屋根	
		下層	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←		
RCS1	180 ~150	上層	D13 @200	←	←	D10 @200	←	←	庇	
		下層	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←		
FS1	180	上層	D13 @200	←	←	D10 @200	←	←	基礎底板	
		下層	D10 @200	←	←	D10 @200	←	←		

地中梁リスト S=1/30		
記号	RG1	RG2
部位	全断面	全断面
断面		
主筋	2-D13/2-D13	2-D13/2-D13
あばら筋	D10 @200	D10 @200
腹筋	2-D10	2-D10
記号	FG1	
部位	全断面	
断面		
主筋	2-D13/2-D13	
あばら筋	D10 @200	
腹筋	2-D10	

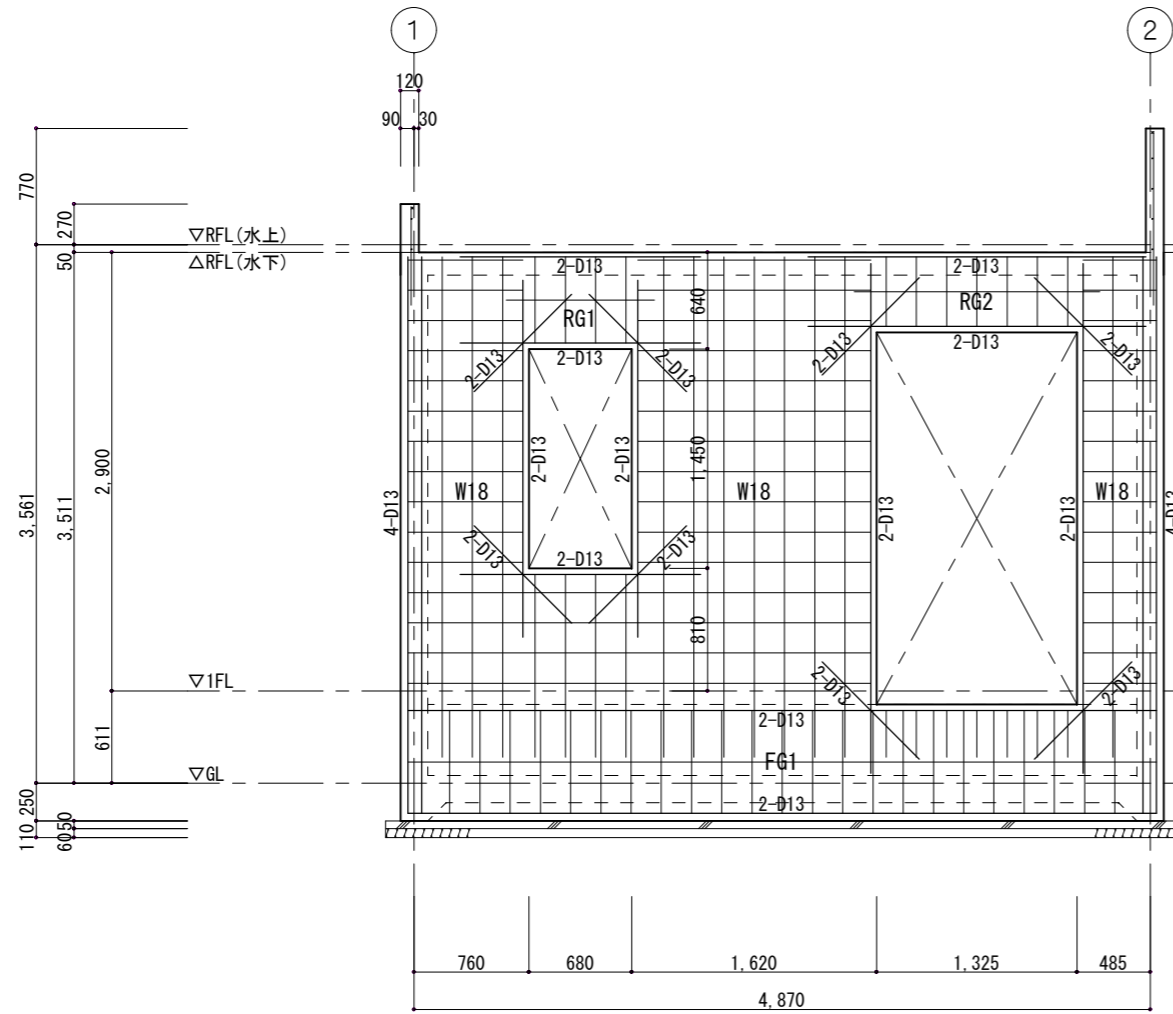
耐力壁リスト S=1/30			
符号	W18		開口補強筋
壁厚	180		
形状			
縦筋	D10 @200分フル		
横筋	D10 @200分フル		
開口補強筋	3階		
	2階		
	1階	2-D13	
中止筋	D10 @1000		



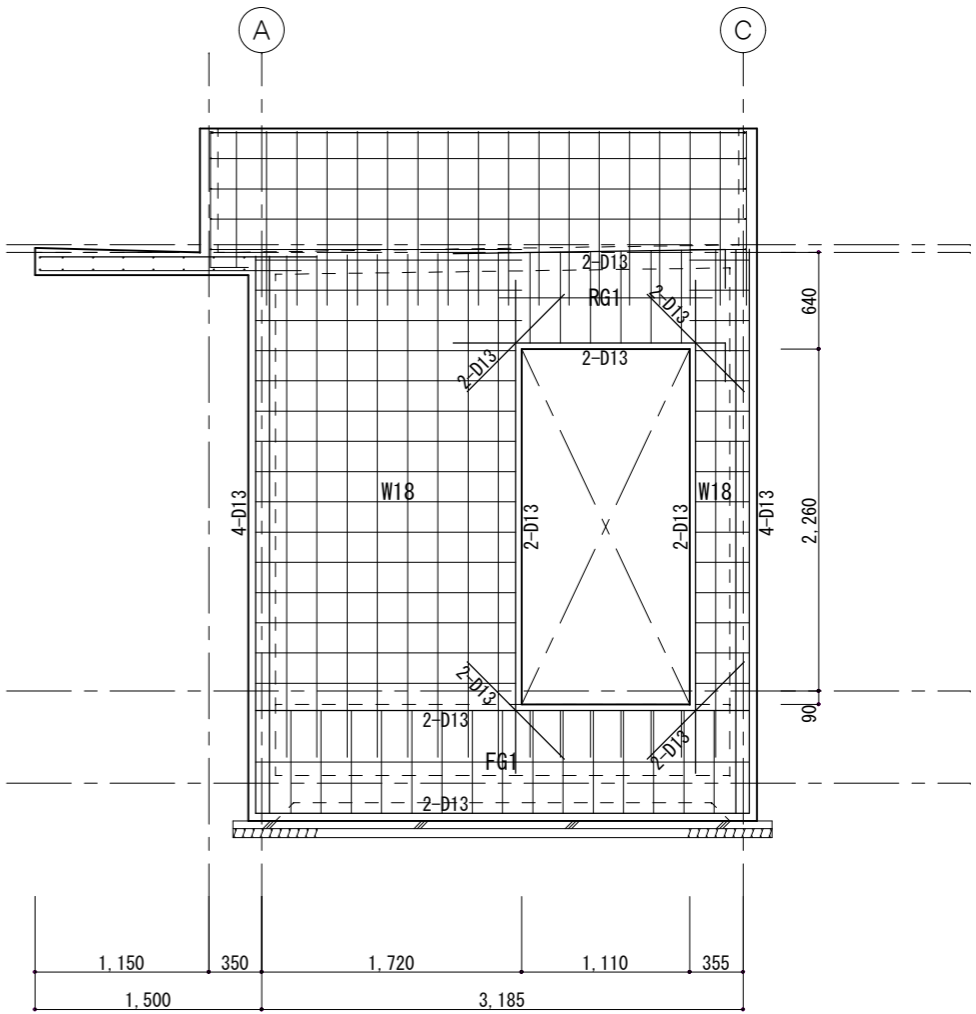
1階壁配筋詳細図 S=1/50



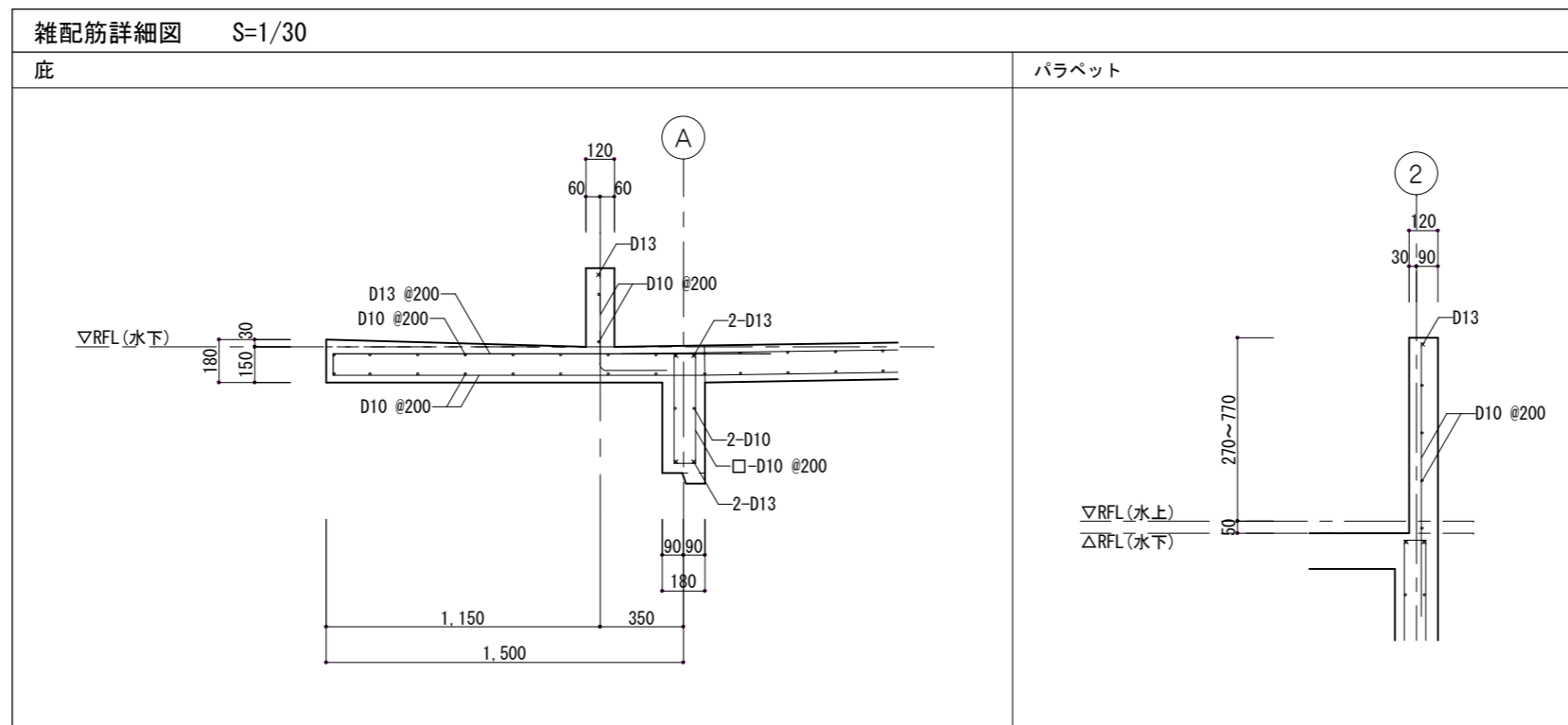
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.24
壁配筋詳細図 S=1/50	S-07



A 通軸組配筋図 S=1/50



2 通軸組配筋図 S=1/50







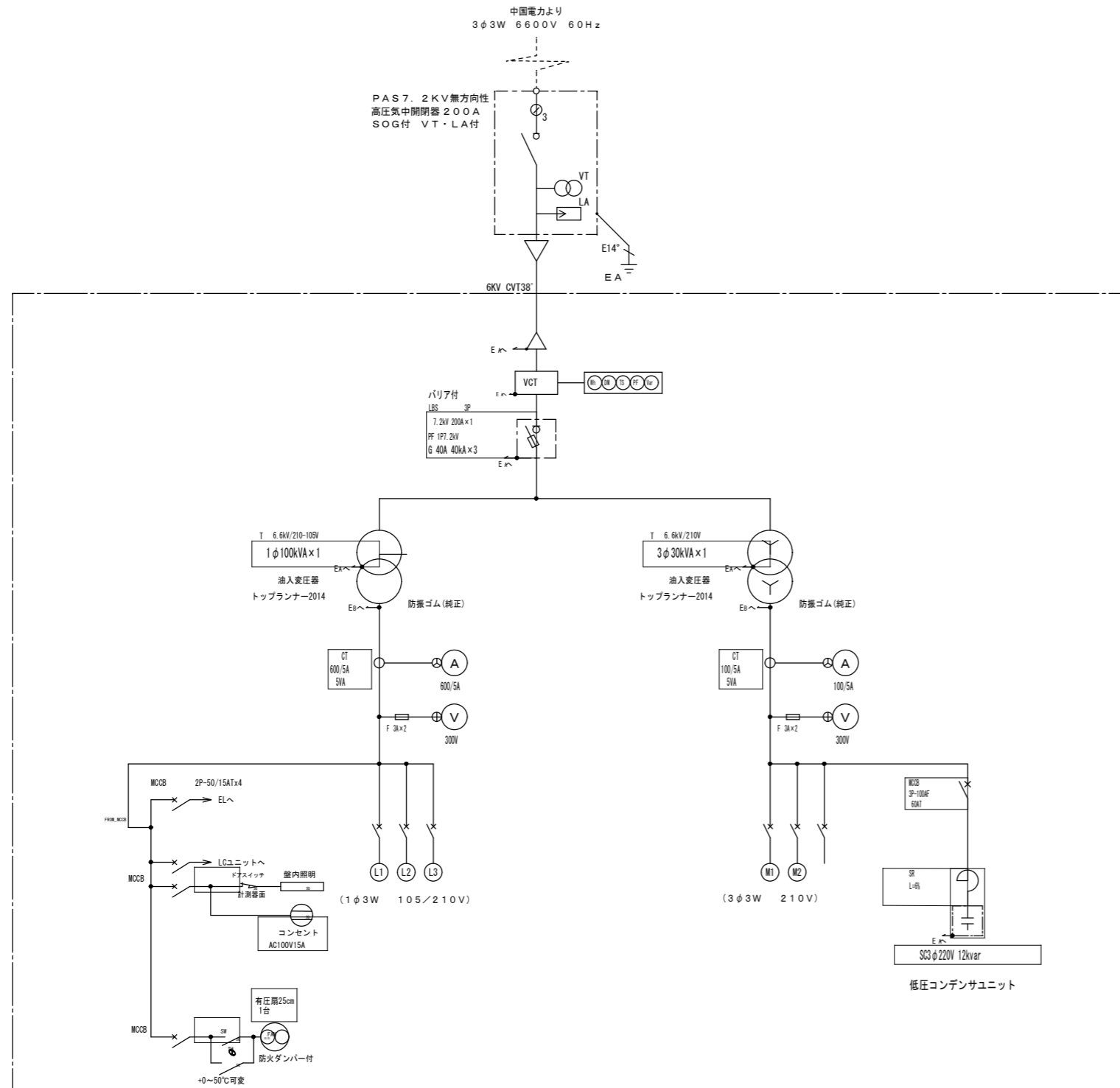
中層：古地交5-6-E1  
NTT：交高(二)5

1. 特記なき地中埋設配管深さはGL-600とし、埋設シート布設すること。
  2. 凡例
- ↓ 接地工事

配置図 S=1/100

A 3 → 5 0 %印刷

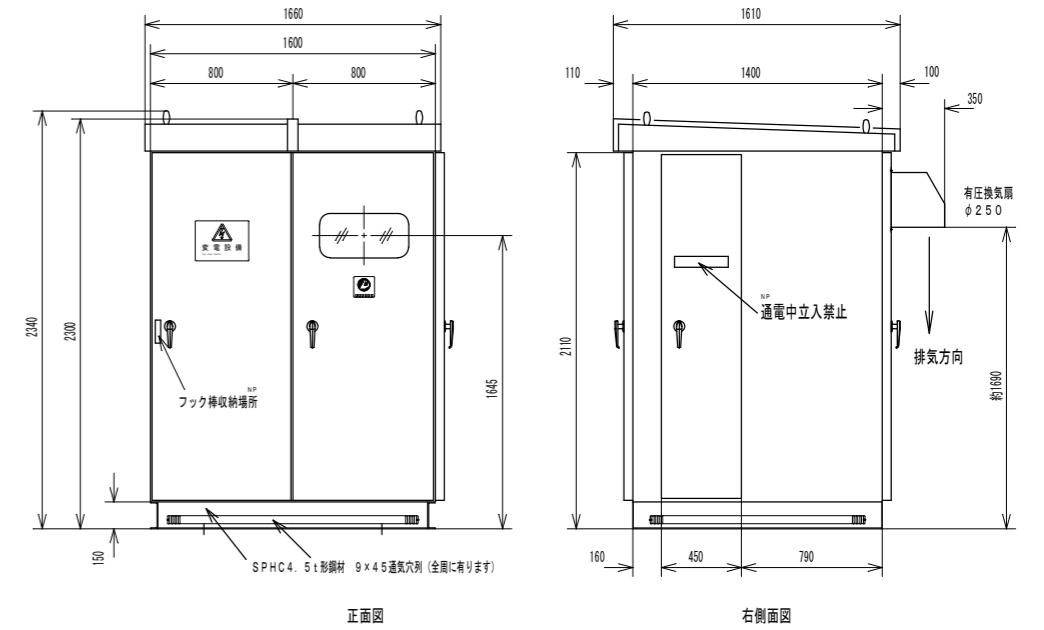
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
配置図 S=1/100	E-02



幹線記号	容量	配線用遮断器(14kA)	負荷名称	配線サイズ
(L1)	47.3KVA	MCCB3P225/225A	LM-1	CVT100'
(L2)	53.1KVA	MCCB3P400/250A	LM-1	CVT100'
(SP)		MCCB3P100AF	スペース	
(L2)	42.0KVA	MCCB3P225/200A	LM-2	CVT100'
計	142.4KVA			

幹線記号	容量	配線用遮断器(5kA)	負荷名称	配線サイズ
(M1)	21.10KVA	MCCB3P100/75A	LM-1	CVT22'
(M2)	8.32KVA	MCCB3P50/50A	LM-2	CVT14'
(SP)		MCCB3P100AF	スペース	
計	29.42KVA			

キュービクル姿図



キュービクル仕様

【消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式変電設備】

屋外型	
組 枠	L-50×50×L1
屋根板	2.3t SPC
函 板	2.3t SPC
扉 板	2.3t SPC
内設板	2.3t SPC
底 板	2.3t SPC
チャンネルベース	100×50×5t 亜鉛メッキ
取 手	L型鍵付き R-200
塗 装	5Y7/1
備 考	
付 属 品	ディスコン棒:長短格 1本 補修色 1缶 LBS用予備ヒューズ 100% その他ヒューズ 100% 表示プラグローブ 種類ごとに各2個 ABC粉末消火器10型 1台(屋外収納ボックス付)含む
注 記	・製作図提出時には、耐震計算書、室内温度上昇計算書、遮断協調曲線を添付する。 ・トランスはトップランナー変圧器とする。 ・変圧器には防振ゴムを取付る。 ・その他の詳細については、承認図を提出の上、係員の指示に従い、製作する事とする。 ・キュービクル内の換気扇はサーモによる発停とする。(但し室内温度上昇計算書により自然換気(ガラリ)

グループホームおひさま 増築工事	R05.03.06
屋外キュービクル結線図・参考姿図	E-03



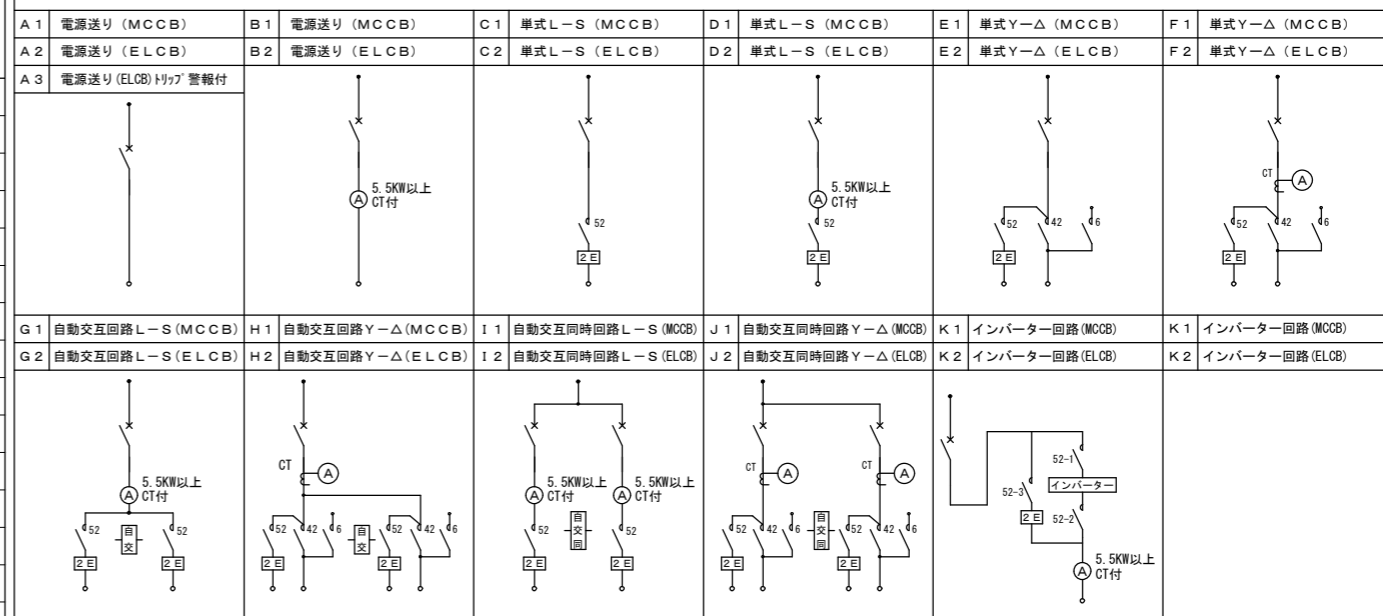




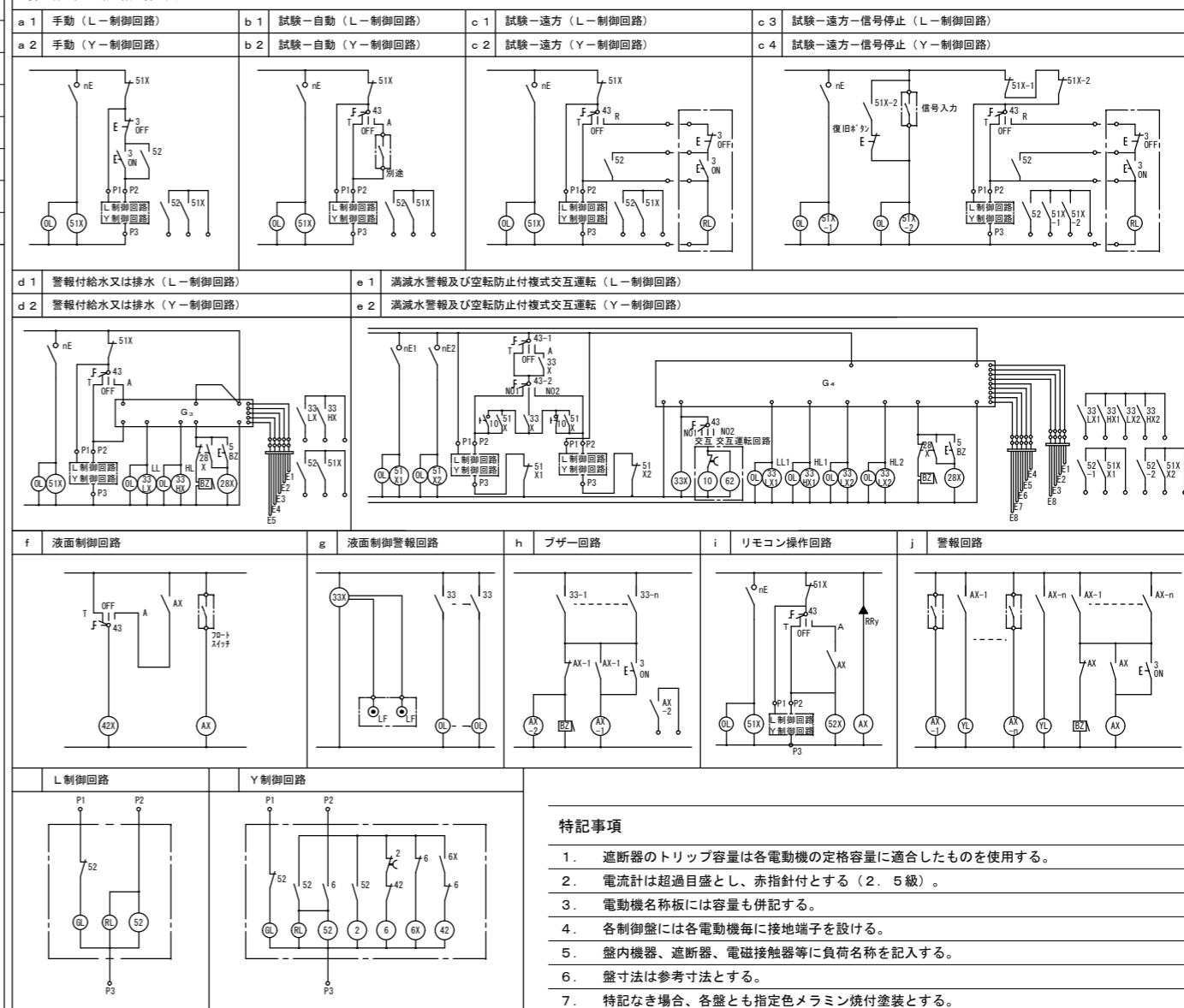
□ 動力盤結線図

盤名称 盤形状 幹線番号	主開閉器	分岐回路 MCCB・ELCB	動力 回路 番号	負荷名称	容量 (KW)	電圧 (V)	設置 場所	起動方式	操作 方式	結線 記号	現場盤			警報 中央監視盤			配線サイズ	備 考	
											操作	表示	警報	操作	表示	警報			
LM-1 (電灯盤と一体型)	(AF/AT)	(AF/AT)																	
既存																			
CE-T22		ELCB 3P 50/20	ECO1	(GH1)エコキュート (ECO-1)	1.35	200	屋外			A 2								VVF2.0-3C-3C E1.6	
M1		MCCB 3P 100/7.5	ECO2	(GH1)エコキュート (ECO-1)	1.35	200	屋外			A 2								VVF2.0-3C-3C E1.6	
3φ3W 200V		ELCB 3P 50/20	ECO3	(GH2)エコキュート (ECO-1)	1.35	200	屋外			A 2								VVF2.0-3C-3C E1.6	
		ELCB 3P 50/20	ECO4	(GH2)エコキュート (ECO-1)	1.35	200	屋外			A 2								VVF2.0-3C-3C E1.6	
		ELCB 3P 50/20		予備						A 2									
		ELCB 3P 50/20		予備						A 2									
				λ <sup>1</sup> -λ															
				λ <sup>1</sup> -λ															
LM-2 (電灯盤と一体型)																			
新規																			
CE-T14		ELCB 3P 50/20	ECO5	エコキュート (ECO-1)	1.35	200	屋外			A 2								VVF2.0-3C-3C E1.6	
M2		MCCB 3P 50/5.0	ECO6	エコキュート (ECO-1)	1.35	200	屋外			A 2								VVF2.0-3C-3C E1.6	
3φ3W 200V		ELCB 3P 50/20		予備						A 2									
		ELCB 3P 50/20		予備						A 2									
				λ <sup>1</sup> -λ															
				λ <sup>1</sup> -λ															

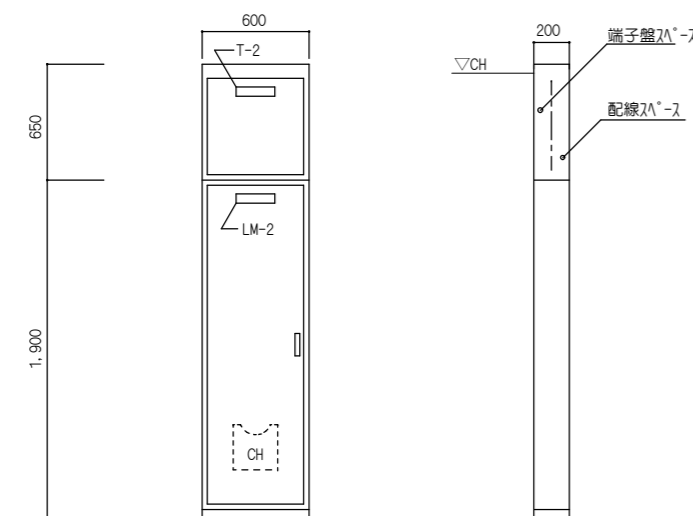
主回路結線図



操作回路結線図



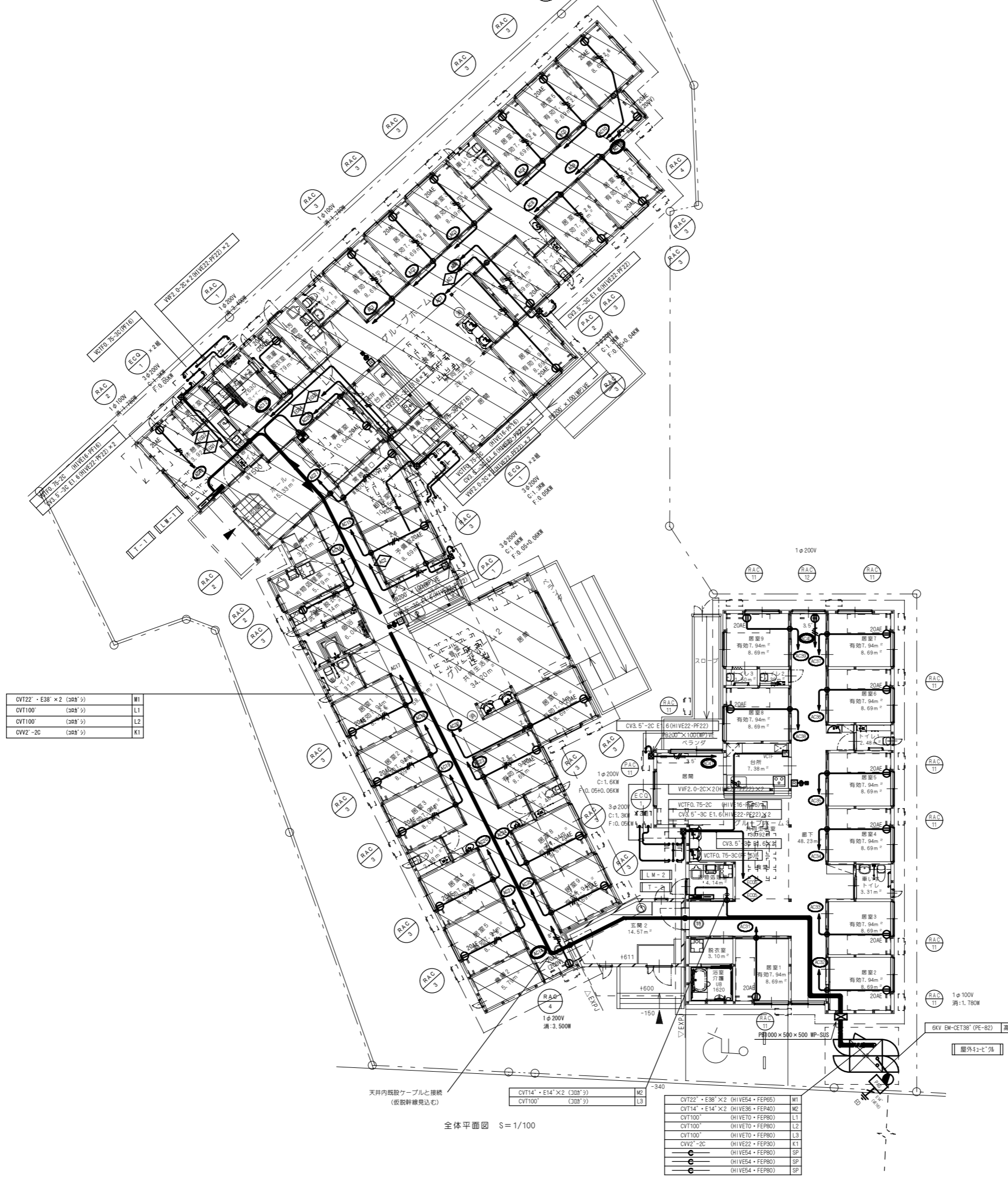
□ 盤参考姿図



形式	屋内自立型
箱体	鋼板 2.3t以上
扉	鋼板 2.3t以上
取手	鍵付
塗装	2.5Y9/1
備考	接地端子台付(ELCB用共)

特記事項

1. 遮断器のトリップ容量は各電動機の定格容量に適合したものを使用する。
2. 電流計は超過目盛とし、赤指針付とする(2.5級)。
3. 電動機名称板には容量も併記する。
4. 各制御盤には各電動機毎に接地端子を設ける。
5. 盤内機器、遮断器、電磁接触器等に負荷名称を記入する。
6. 盤寸法は参考寸法とする。
7. 特記なき場合、各盤とも指定色メラミン焼付塗装とする。

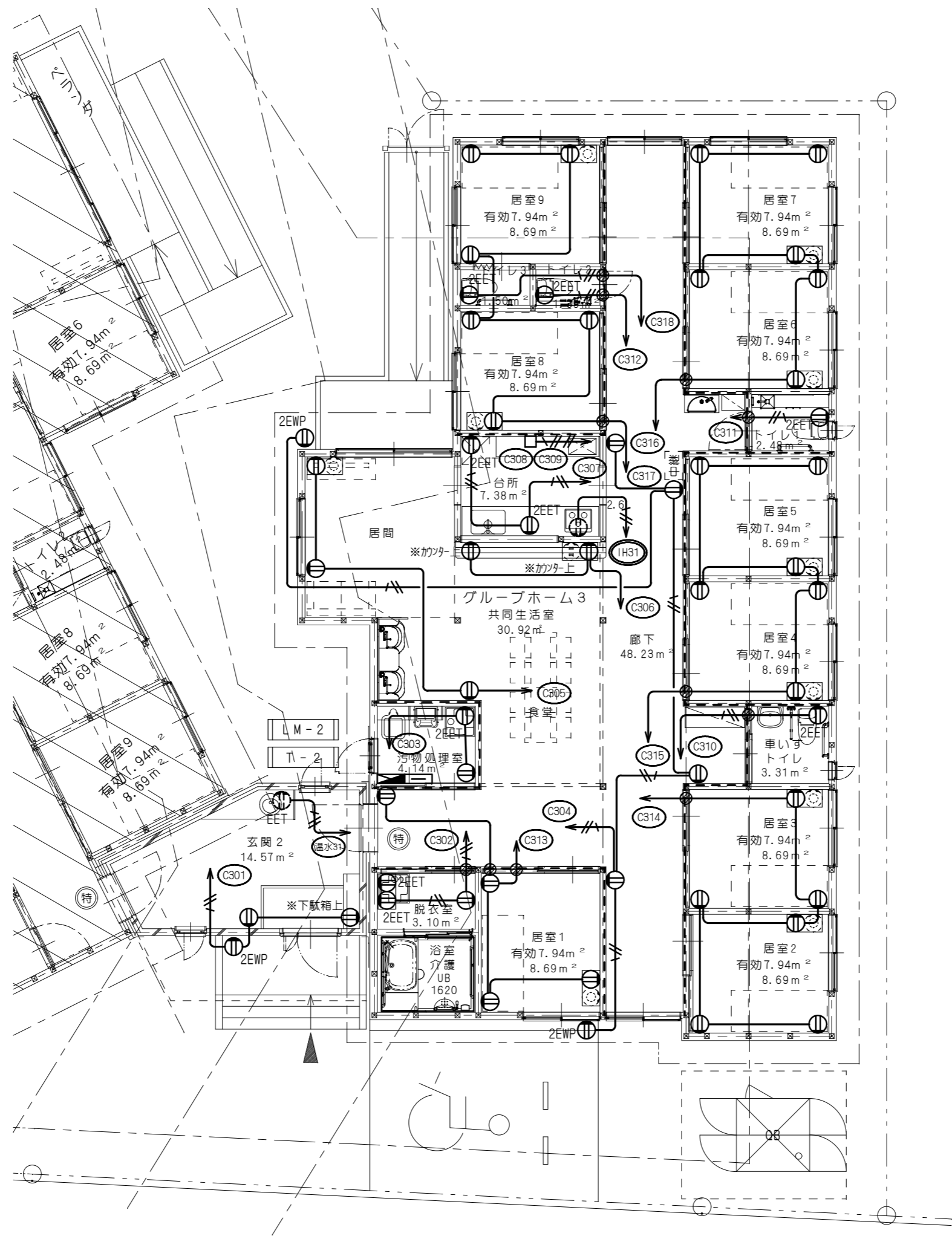


1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。

  - CV3.5° 3C・E1.6 (PF22)
  - VVF2.0-3C (PF22)1線アース
  - VVF2.6-3C (PF22)1線アース
  - CV8°-3C (PF28)1線アース
  - VCTF0.75-2C (PF16)
  - 空配管 (PF16)

※二重天井内はケーブルころがし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例

  - 20AE --- 埋込コンセント 2P20A×1 E付 125V
  - 20AE (200V) --- 埋込コンセント 2P20A×1 E付 250V
  - --- 警報表示盤(露出型)2窓 参考型番: BRN102同等品
  - ⊗ --- 防火区画貫通処理 (国土交通大臣認定品)
  - --- 空調リモコン(機械工事)裏BOX配管は本工事
  - ⊠ --- エコキュートリモコン(支給品取付)




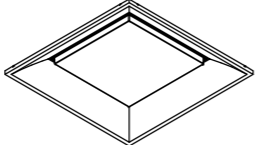
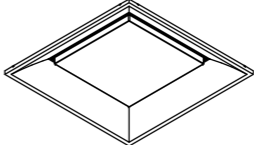
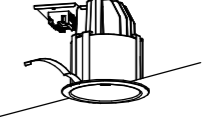
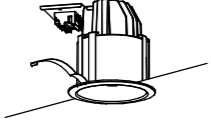
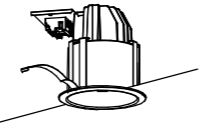
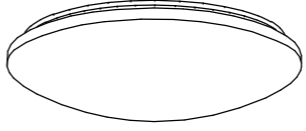
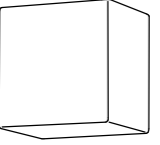
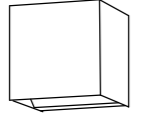
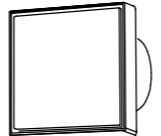
1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。

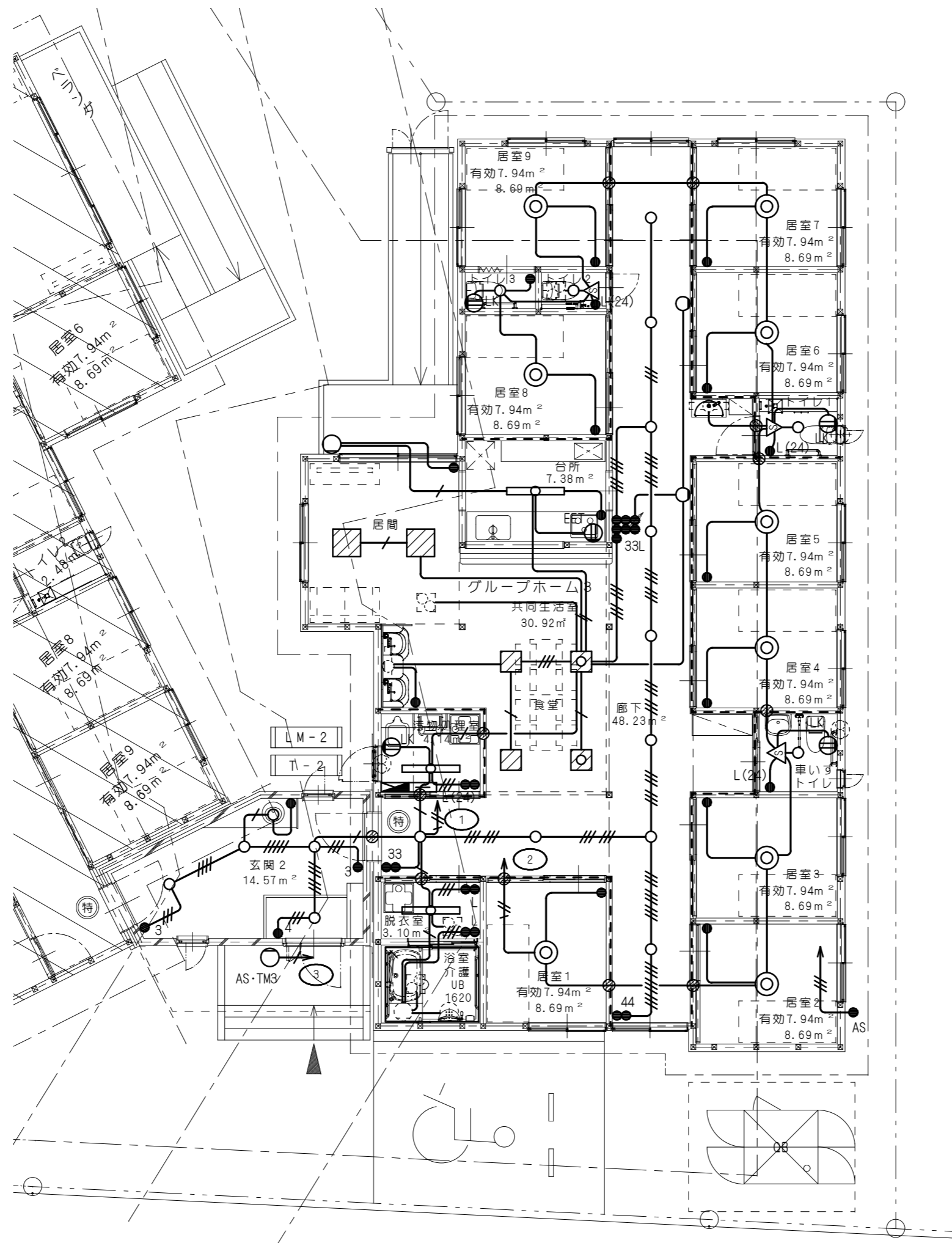
  - VVF2. 0-2C (PF 16)
  - VVF2. 0-3C (PF 22) 1線アース
  - VVF2. 0-2CX2・E2. 0 (PF 22)
  - VVF2. 6-2C (PF 22)
  - VVF2. 6-3C (PF 22) 1線アース

※二重天井内はケーブルごしがし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例

  - -- 埋込コンセント 2P15A×2
  - 2E -- 埋込コンセント 2P15A×2 E付
  - EET -- 埋込コンセント 2P15A×1 E・ET付
  - 2EET -- 埋込コンセント 2P15A×2 E・ET付
  - 30AE -- 埋込コンセント 2P30A×1 E付 250V (IH用) WF3630B相当
  - 2EWP -- 防水コンセント 2P15A×2 E・ET付 抜止め
  - -- 防火区画貫通処理 (国土交通大臣認定品)
4. 各居室コンセントはFL+10mmとし横向き・キッチン上部のコンセントは横向き

□ 照明器具参考姿図


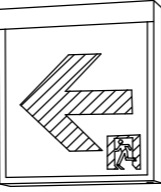
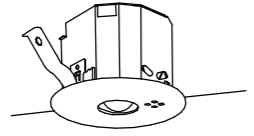
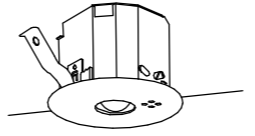
 <p>適合ランプ：直管LEDランプ用 電圧：100～242V、防湿型 ランプ素材：ガラス管、Ra：84 本体：亜鉛銅板、反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） 光源寿命40000時間</p>		 <p>スクエア光源タイプ、一般光源ユニット、4500lmタイプ 消費電力31.9W、電圧100～242V 調光タイプ（約10～100%） 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電球色（3000K）、Ra83</p>		 <p>スクエア光源タイプ、一般光源ユニット、6500lmタイプ 消費電力41.5W、電圧100～242V 調光タイプ（約10～100%） 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電球色（3000K）、Ra83</p>		 <p>LED&lt;ワソコア（ひと粒）タイプ&gt; LEDソケット付 電圧100V 反射板：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ100、埋込高120</p>	
A・B	LDL40×2 直付型40形 2500lm	G1	LED <sup>Λ</sup> -スライト 埋込型 下面開放型 □450 4500lm	G2	LED <sup>Λ</sup> -スライト 埋込型 下面開放型 □450 6500lm	H	LEDソケット付 <sup>Λ</sup> ワソコライト 100形用 1025lm
	型番：NNF42500+ランプ <sup>Λ</sup> ：LDL40S・D/19/23-K		型番：XLX140UELLA9		型番：XLX160UELLA9		型番：NNN71500+ランプ <sup>Λ</sup> ：NNU141105K LE9
	消費電力：64W		消費電力：31.9W		消費電力：41.5W		消費電力：9.9W
 <p>LED&lt;ワソコア（ひと粒）タイプ&gt; LEDソケット付 電圧100V 反射板：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ100、埋込高120</p>		 <p>LED&lt;ワソコア（ひと粒）タイプ&gt; LEDソケット付 電圧100V 反射板：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ100、埋込高120</p>		 <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束3200lm、消費電力26.5W、電圧100V 天井直付型、ソフトターン方式、カチットF 半縁天井取付アダプタ対応 カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで（100%～5%）調光</p>		 <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束2001m、消費電力5.6W、電圧100V 拡散タイプ、ツマミネジ方式、調光タイプ （ホワイト） 上下面カバー付、位相制御式（2線式） W=110 H=110 出しろ75</p>	
I	LEDソケット付 <sup>Λ</sup> ワソコライト 150形用 1460lm	J	LEDソケット付 <sup>Λ</sup> ワソコライト 200形用 1590lm	L	LEDシーリングライト 3200lm	M	LEDブラケット 60形電球1灯器具相当 200lm
	型番：NNN71500+ランプ <sup>Λ</sup> ：NNU140155K LE9		型番：NNN71500+ランプ <sup>Λ</sup> ：NNU240113K LE9		型番：LGBZ0357K		型番：XLGB81807CB1
	消費電力：13.8W		消費電力：17.2W		消費電力：26.5W		消費電力：5.6W
 <p>電球色（2700K）、高演色Ra93 器具光束2991m、消費電力6W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、防雨型、拡散タイプ、美ルック 光源寿命40000時間（光束維持率70%） アルミダイカスト（シルバメタリックレーザーサテン仕上） カバー：アクリル（透明つや消し） W=95 H=95 出しろ98</p>		 <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束2481m、消費電力6.1W、電圧100V 天井直付型・壁直付型、拡散タイプ、防雨型、ネジ込み方式 カバー：アクリル（透明・内面白塗装） 本体：プラスチック（オフブラック）</p>					
N	イクステリア フラケット 白熱電球60形1灯器具相当	O	LEDポーチライト 40形電球1灯器具相当				
	型番：LWG81512KLE1		型番：LWG80307KLE1				
	消費電力：6W		消費電力：6.1W				

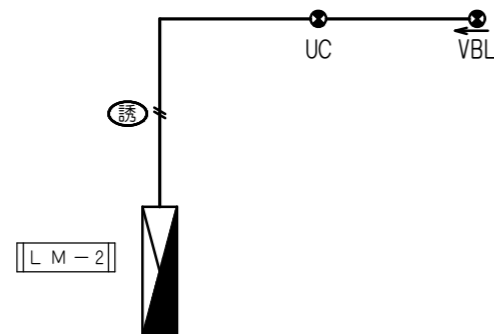


玄関ポーチ		廊下・共同生活室	
N	1	G1	4
玄関		G2	2
J	5	J	10
脱衣室		M	2
A	1	台所	
汚物処理室		B	1
A	1	居室1~9	
車いすトイレ		L	9
I	1	ベランダ	
トイレ1~3		0	1
H	3		

1. 図中記入なき配管記線は下記の通りとする。
- VVF2. 0-3C (PF22)1線アース
  - VVF1. 6-3C (PF16)1線アース
  - VVF1. 6-2C+3C(PF28)1線アース
  - VVF1. 6-2C (PF16)
  - VVF1. 6-3C (PF16)
  - VVF1. 6-2CX2 (PF22)
  - VVF1. 6-2C+3C(PF28)
  - VVF1. 6-3CX2 (PF28)
  - VVF1. 6-2CX2+3C(PF28)
  - VVF1. 6-3CX2+2C(PF28)
  - VVF1. 6-3CX3(PF28)
- ※二重天井内はケーブルころがし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 配線器具は樹脂製ワイド型とする。
3. 凡例
- -- スイッチ 1P15A
  - 3 -- スイッチ 3W15A
  - 4 -- スイッチ 4W15A
  - L -- スイッチ 1P 4A ON表示付 (ネーム付)
  - (24) -- スイッチ 1P 4A ON表示付 (24時間換気ネーム付)
  - 調光器 参考型番: NQ21595U
  - ▽ -- 熱線センサー付自動入切り 照明1.2A 換気1A 参考型番: WTK2614K
  - Ⓛ -- 埋込コンセント 2P15A×1 抜け止め
  - ⓔ -- 埋込コンセント 2P15A×1 E・ET付
  - AS -- 自動点滅器 AC100V 3A アラゲイ式
  - ⊗ -- 防火区画貫通処理 (国土交通大臣認定品)

□ 誘導灯・非常照明参考姿図

<p>避難口誘導灯</p>  <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号:1AS111-3207</p>		<p>通路誘導灯</p>  <p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号:1AM111-3209</p>																																																													
UC	LED C級 避難口誘導灯 片面型 電池内蔵	VBL	LED BL級 通路誘導灯 片面型 電池内蔵																																																												
	型番:FA10312LE1		型番:FA20312LE1																																																												
<p>非常照明</p>  <p>φ100低天井用(〜3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号:LALE-004 レンズ:ガラス、カバー:銅板:(クールホワイトつや消し仕上) 電圧:100〜242V、蓄電池:ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付、充電モニタ(緑)付</p> <table border="1"> <tr> <th>器具取付高さ(m)</th> <td>2.4</td> <td>2.5</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <th>単体配置</th> <td>A1</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <th>直線配置</th> <td>A2</td> <td>10.2</td> <td>10.6</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <th>四角配置</th> <td>A4</td> <td>8.2</td> <td>8.4</td> <td>9.1</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>電球の種類</th> <th>接続端子部の材料</th> <th>照明器具内の電線種類</th> <th>非常用電源</th> <th>建築基準法型認定番号</th> </tr> <tr> <td>LED</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> <td>架橋ポリエチレン絶縁電線</td> <td>電源内蔵型</td> <td>L A L E - 0 0 4</td> </tr> </table> <p>W1 LED非常灯専用型 リモコン自己点検機能付 低天井用 電池内蔵 型番:NNFB91605J</p>		器具取付高さ(m)	2.4	2.5	2.8	単体配置	A1	4.6	4.7	4.9	直線配置	A2	10.2	10.6	11.3	四角配置	A4	8.2	8.4	9.1	電球の種類	接続端子部の材料	照明器具内の電線種類	非常用電源	建築基準法型認定番号	LED	ポリカーボネート樹脂	架橋ポリエチレン絶縁電線	電源内蔵型	L A L E - 0 0 4	<p>非常照明</p>  <p>φ100中天井用(〜6m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号:LALE-006 レンズ:ガラス、カバー:銅板:(クールホワイトつや消し仕上) 電圧:100〜242V、蓄電池:ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付、充電モニタ(緑)付</p> <table border="1"> <tr> <th>器具取付高さ(m)</th> <td>2.4</td> <td>2.5</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <th>単体配置</th> <td>A1</td> <td>5.9</td> <td>6.1</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <th>直線配置</th> <td>A2</td> <td>12.7</td> <td>13.1</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <th>四角配置</th> <td>A4</td> <td>9.6</td> <td>9.9</td> <td>10.9</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>電球の種類</th> <th>接続端子部の材料</th> <th>照明器具内の電線種類</th> <th>非常用電源</th> <th>建築基準法型認定番号</th> </tr> <tr> <td>LED</td> <td>ポリカーボネート樹脂</td> <td>架橋ポリエチレン絶縁電線</td> <td>電源内蔵型</td> <td>L A L E - 0 0 6</td> </tr> </table> <p>W2 LED非常灯専用型 リモコン自己点検機能付 中天井用 電池内蔵 型番:NNFB93605J</p>		器具取付高さ(m)	2.4	2.5	2.8	単体配置	A1	5.9	6.1	6.6	直線配置	A2	12.7	13.1	14.4	四角配置	A4	9.6	9.9	10.9	電球の種類	接続端子部の材料	照明器具内の電線種類	非常用電源	建築基準法型認定番号	LED	ポリカーボネート樹脂	架橋ポリエチレン絶縁電線	電源内蔵型	L A L E - 0 0 6		
器具取付高さ(m)	2.4	2.5	2.8																																																												
単体配置	A1	4.6	4.7	4.9																																																											
直線配置	A2	10.2	10.6	11.3																																																											
四角配置	A4	8.2	8.4	9.1																																																											
電球の種類	接続端子部の材料	照明器具内の電線種類	非常用電源	建築基準法型認定番号																																																											
LED	ポリカーボネート樹脂	架橋ポリエチレン絶縁電線	電源内蔵型	L A L E - 0 0 4																																																											
器具取付高さ(m)	2.4	2.5	2.8																																																												
単体配置	A1	5.9	6.1	6.6																																																											
直線配置	A2	12.7	13.1	14.4																																																											
四角配置	A4	9.6	9.9	10.9																																																											
電球の種類	接続端子部の材料	照明器具内の電線種類	非常用電源	建築基準法型認定番号																																																											
LED	ポリカーボネート樹脂	架橋ポリエチレン絶縁電線	電源内蔵型	L A L E - 0 0 6																																																											



誘導灯系統図





全体平面図 S=1/100

1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。
 


※二重天井内はケーブルごし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
  
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
  
3. 凡例
 

●	-- 避難口誘導灯	(姿図参照)
○	-- 通路誘導灯	(姿図参照)
●	-- 非常照明	(姿図参照)
◎	-- 防火区画貫通処理	(国土交通大臣認定品)

A 3 → 5 0 % 印刷

グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
誘導灯・非常照明設備平面図 S=1/100	E-12
<b>アズ建築設計事務所</b> <small>広島県福山市春日町1-8-16 Tel: 084-941-0616</small>	<small>一級建築士事務所 広島 19-1-158号 一級建築士 第88183号 齊藤孝夫</small>

**ワイヤレス携帯受信器セット**

ECE1611K

電源電圧	DC2.4V
定格	パナソニック ニッケル水素電池 単4型 2本
消費電流	動作時：1.0mA以下 待機時：5mA以下
使用可能時間	約30m (障害物のない場所での水平見通し距離)
電波の到達距離	(周囲環境により短くなる場合があります。)
質量	約70g (電池含まず)

1個用充電台

電源電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力	2W
質量	160g		

パナソニックECE1611KP相当品

**ワイヤレス中継器**

電源電圧	入力：AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：0.5W 動作時：0.8W
電波の到達距離	発信器～中継器の屋内見通し 40m 中継器～受信器 (携帯以外)の屋内見通し 40m 中継器～携帯受信器の屋内見通し 30m
質量	約450g

パナソニックECE1680相当品

**モニター親機 (新規)**

定格	AC 100V (50Hz/60Hz)
消費電力	待ち受け時：約2.3W 動作時：約8W
質量	約475g
画面表示	約3.5型カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9GHz TDMA-WB

パナソニック セット品:VL-SE35KLA-Bセット

**コードレス電話機(親機) (既存)**

電源	ACアダプター AC100V(50Hz/60Hz)/(DC5.5V)(500mA)
消費電力	待機時：約0.4W 最大時：約1.9W
質量	約500g
適用回線	電話回線(ダイヤル回線・プッシュ回線) 新電電(NCC)回線
備考	ワイヤレスでドアホンと電話機を接続する

パナソニック セット品:VE-G0260W

**ワイヤレス浴室発信器**

定格	電源電圧 3.0V 単4形乾電池×2本 消費電流 動作時：5.0mA以下 待機時：10μA以下
電池寿命	約1年(10回/日)
操作部の寿命	押釦部：40000回
電波の到達距離	約40m (使用場所の環境により短くなります)

パナソニックECE1704P相当品

**電気錠操作器**

玄関ドア電気錠システムプラン  
PA4 もっと便利プラン (外部) 暗証錠タイプ

定格	電源電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：6W以下 最大負荷時：40W以下
使用周囲温度	0℃～+40℃
使用周囲湿度	95%以下
警報保持時間	約5分
形状	適合スイッチボックス 1個用スイッチボックス

電気錠操作器WON4503W

**カメラ付玄関子機 2台(新規)**

電源電圧	待機時：DC 約5V、動作時：DC 約20V (ドアホン親機より供給)
消費電流	待機時：DC 約2mA、動作時：DC 約140mA
質量	約190g
外観色調	シャンパンゴールド
取付方法	露出型：JIS 1個用スイッチボックス適合

**コードレス子機 1台(新規)**

電源	専用ニッケル水素蓄電池
消費電力	待機時：約0.2W 充電時：約0.7W
質量	約140g 約155g

**ワイヤレス壁掛発信器**

定格	電源電圧 3.0V 単4形乾電池×2本 (別売) 消費電流 動作時：5.0mA以下 待機時：10μA以下
電池寿命	約1年(10回/日)
操作部の寿命	押釦部：40000回
電波の到達距離	約40m (障害物のない場所での水平見通し距離) (周囲環境により短くなる場合があります。)
質量	約100g (電池は含まない)

パナソニックECE1708P相当品

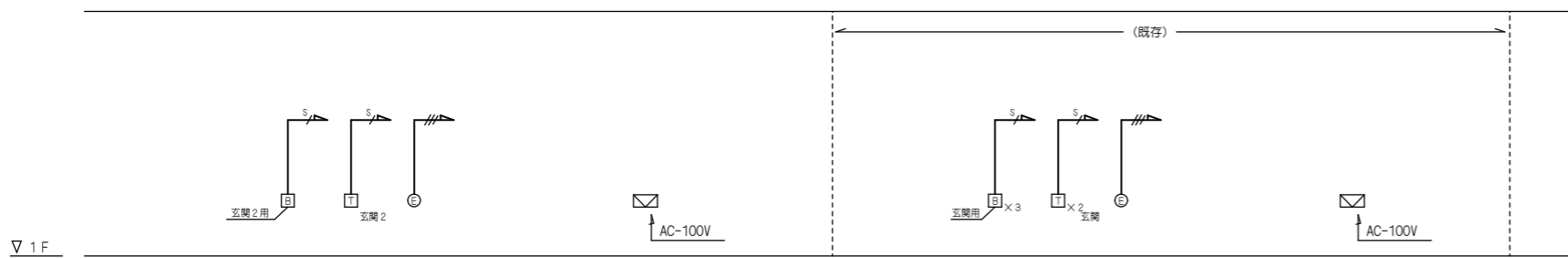
**デジタルテンキー**

電気錠制御方式	無極性2線式(電源搬送波重畳方式)
形状	埋込型

(室外) シークレットスイッチEK3822B

**解錠操作表示器**

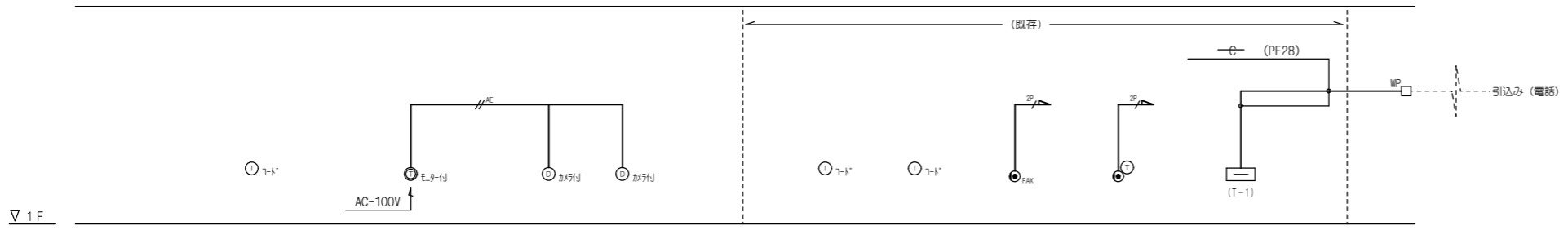
インターフェースユニットYS KAG-B4  
2線変換アダプターYS KAG-B2



電気設備 系統図

▽ 1F

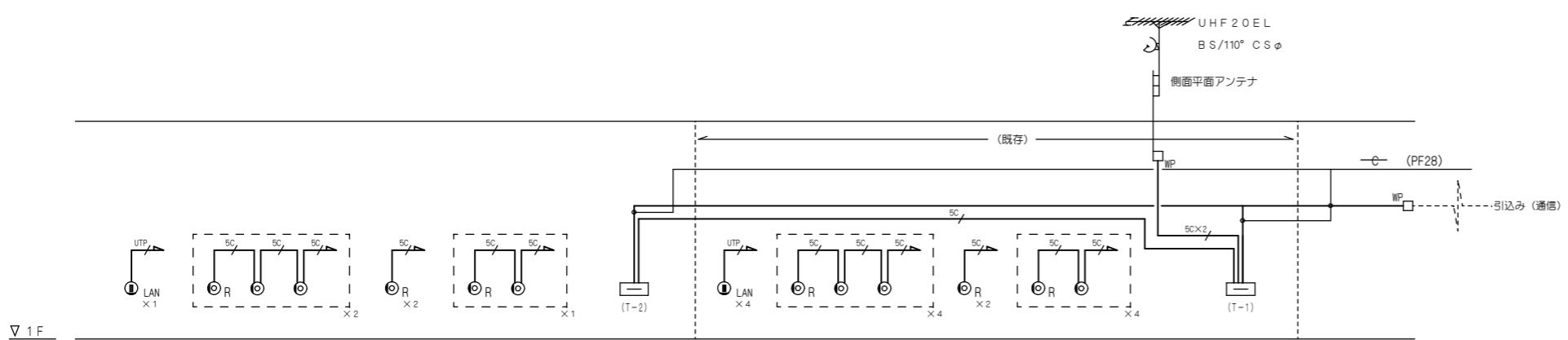
1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。
- |  |                     |
|--|---------------------|
|  | CPEVS 0.9-1P (PF16) |
|  | CPEV 0.9-1P (PF16)  |
|  | CPEV 0.9-2P (PF16)  |
|  | CPEV 0.9-3P (PF16)  |
- ※二重天井内はケーブルころがし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例
- |  |            |          |
|--|------------|----------|
|  | 電気錠制御盤2回線  | (別紙姿図参照) |
|  | デジタルテンキー   | (別紙姿図参照) |
|  | 解錠操作表示器    | (別紙姿図参照) |
|  | 電気錠 (建築工事) | (別紙姿図参照) |



電話設備 系統図

▽ 1F

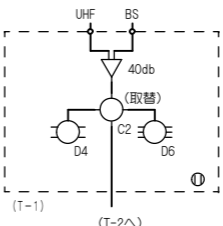
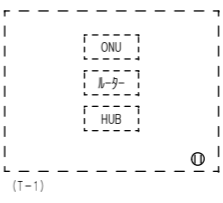
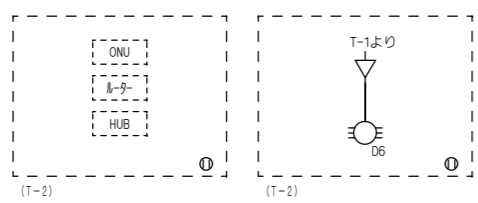
1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。
- |  |                  |
|--|------------------|
|  | ETIO 5-2P (PF16) |
|  | AE 1.2-2C (PF16) |
- ※二重天井内はケーブルころがし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例
- |  |                       |            |
|--|-----------------------|------------|
|  | モニター親機                | } (別紙姿図参照) |
|  | カメラ付玄関子機              |            |
|  | コードレス電話機(将来)          | } (別紙姿図参照) |
|  | コードレス子機               |            |
|  | 電話モジュラージャック 壁付 (6極4芯) |            |



LAN・TV設備 系統図

▽ 1F

1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。
- |  |                         |
|--|-------------------------|
|  | S-5C-FB (PF16)          |
|  | UTP 0.5-4P (PF16) CAT5e |
- ※二重天井内はケーブルころがし配線とする。  
※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例
- |  |                      |
|--|----------------------|
|  | LAN 情報コンセント 1口 CAT5e |
|  | テレビ直列ユニット (中間)       |
|  | テレビ直列ユニット (端末)       |





1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。
- 2P ETIO. 5-2P (PF16)
  - AE1. 2-2C (PF16)
- ※二重天井内はケーブルこころがし配線とする。  
 ※立下り部分はPF管にて保護とする。

2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。

3. 凡例
- モニター親機 } セット品:VL-SVD302KL
  - カメラ付玄関子機 } (別紙姿図参照)
  - コードレス電話機(将来) } セット品:VE-GD26DW
  - コードレス子機 } (別紙姿図参照)
  - 電話モジュラージャック 壁付 (6極4芯)

全体平面図 S=1/100

グループホームおひさま 増築工事	R05.02.27
電話設備平面図 S=1/100	E-15



1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。  
 SC S-5C-FB (PF16)  
 UTP UTP0.5-4P(PF16)CAT5e  
 ※二重天井内はケーブルころがし配線とする。  
 ※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例  
 LAN 情報コンセント 1口 CAT5e  
 T テレビ直列ユニット (中間)  
 R テレビ直列ユニット (端末)

全体平面図 S=1/100

グループホームおひさま 増築工事	R05.02.27
LAN・TV設備平面図 S=1/100	E-16



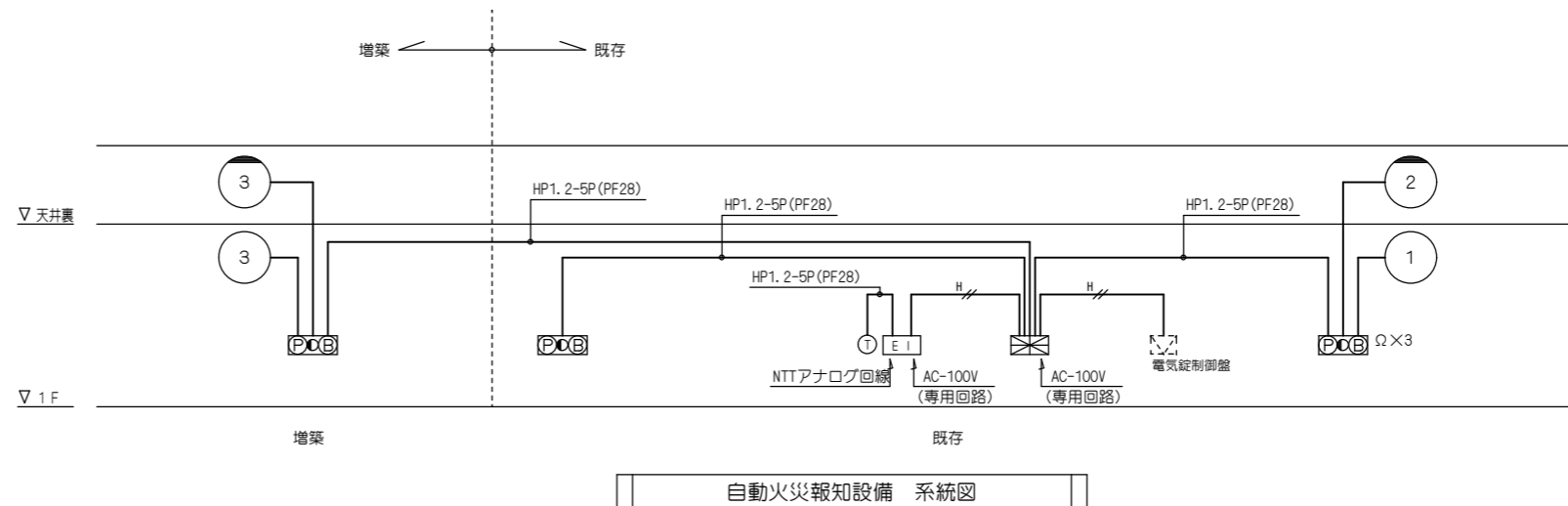
1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。
- CPEVS 0.9-1P (PF16)
  - CPEV 0.9-1P (PF16)
  - CPEV 0.9-2P (PF16)
  - CPEV 0.9-3P (PF16)
- ※二重天井内はケーブルこごし配線とする。  
 ※立下り部分はPF管にて保護とする。
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。
3. 凡例
- 電気錠制御盤2回線 (別紙姿図参照)
  - デジタルテンキー (別紙姿図参照)
  - 解錠操作表示器 (別紙姿図参照)
  - 電気錠 (建築工事) (別紙姿図参照)

全体平面図 S=1/100

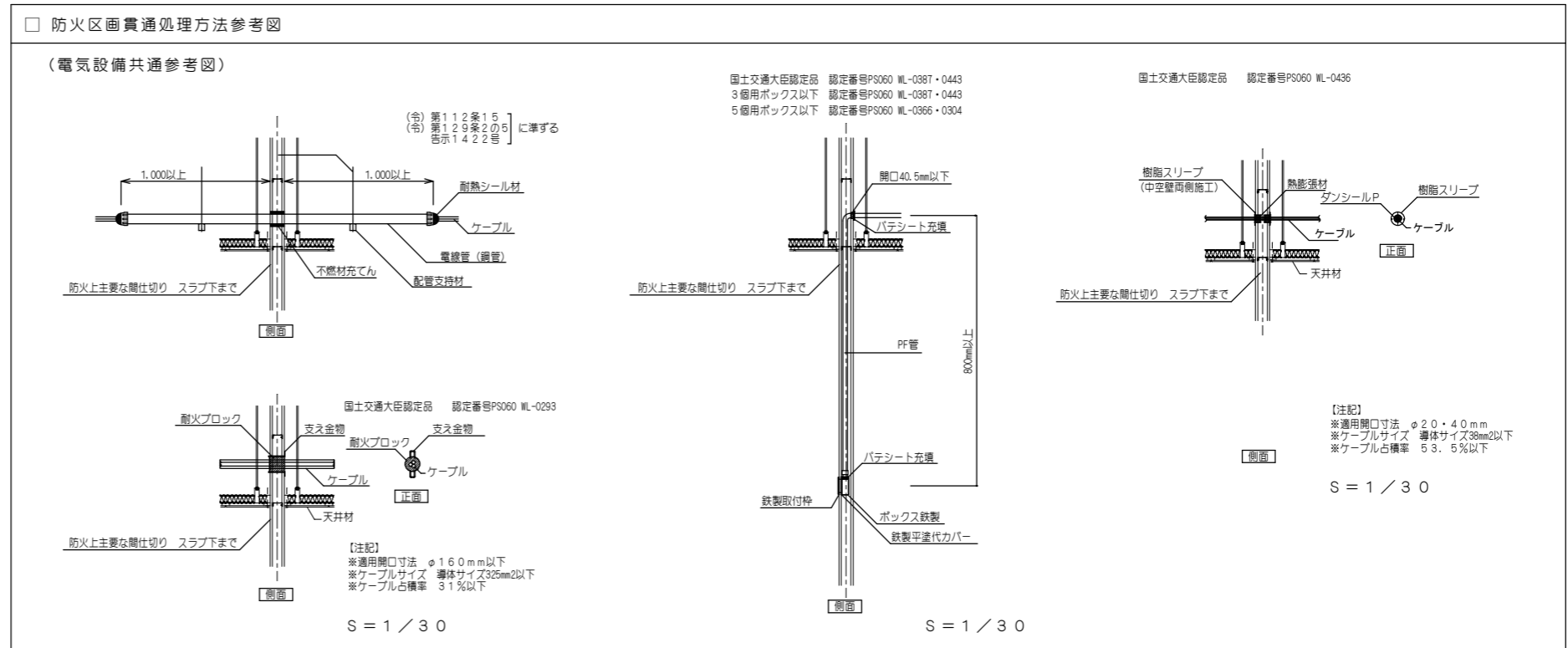
A3→50%印刷

グループホームおひさま 増築工事	R05.02.27
電気錠設備平面図 S=1/100	E-17

□ 凡例・機器仕様書		
記号	名称	備考
	受信機	P型2級 3回線 壁掛型 (注記参照)
	総合盤	(発信機、表示灯、ベル) 内蔵 埋込
	発信機	P型2級
	表示灯	AC24V、発光ダイオード内蔵
	音響装置(ベル)	DC24V 150φ
	差動式 スポット型 感知器	2種 自己保持型
	定温式 スポット型 感知器	特種(防水型) 60℃ 自己保持型
	定温式 スポット型 感知器	1種(防水型) 70℃ 自己保持型
	光電式 スポット型 感知器	2種
	火災通報装置	
	火災通報専用電話機	
	天井裏の感知器を示す	
	終端抵抗	
	立上げ・立下げ	
	警戒区域番号	自動火災報知設備
	警戒区域線	
	防火区画貫通処理	(国土交通大臣認定品)



□ 注記	
(1) 特記無き配線、配管は下記とする。	
	AE1.2-2C (PF16)
	AE1.2-4C (PF16)
	HP1.2-2C (PF16)
	HP1.2-nP (PF )
(2) 特記無き配線は二重天井内ケーブル転がし配線とする。	
(3) ケーブル転がし配線の立上げ下げは(PF)管にて保護とする。	
(4) 受信機の仕様は下記とする。	
・蓄積型とし、逐次鳴動・拡大警報機能付とする	
・一斉試験により全回線火災試験・表示試験・蓄積時間測定が順次自動的に行える事	
・地区音響鳴動方式は、一斉鳴動方式とする。	
・一人点検機能を有すること。	
(5) 表示内容は下記の通りとする	
・火災 2 L	
・(予備) 1 L	
(6) 感知器の設置位置は、空調の吹出口から1,500mm以上離隔をとること。	
(7) 煙感知器は、壁面から600mm以上離隔をとること。	
(8) 受信機及び発信機の実作部は、床面より800mm以上、500mm以下とする。	



グループホームおひさま 増築工事	R05.03.06
自動火災報知設備系統図 S= -	E-18



全体平面図 S=1/100

1. 図中記入なき配管配線は下記の通りとする。

- AE1. 2-2C(PF16)
- AE1. 2-4C(PF16)
- HP1. 2-2C(PF16)
- HP1. 2-4C(PF16)
- HP1. 2-5P(PF16)

※二重天井内はケーブルころごし配線とする。  
 ※立下り部分はPF管にて保護とする。

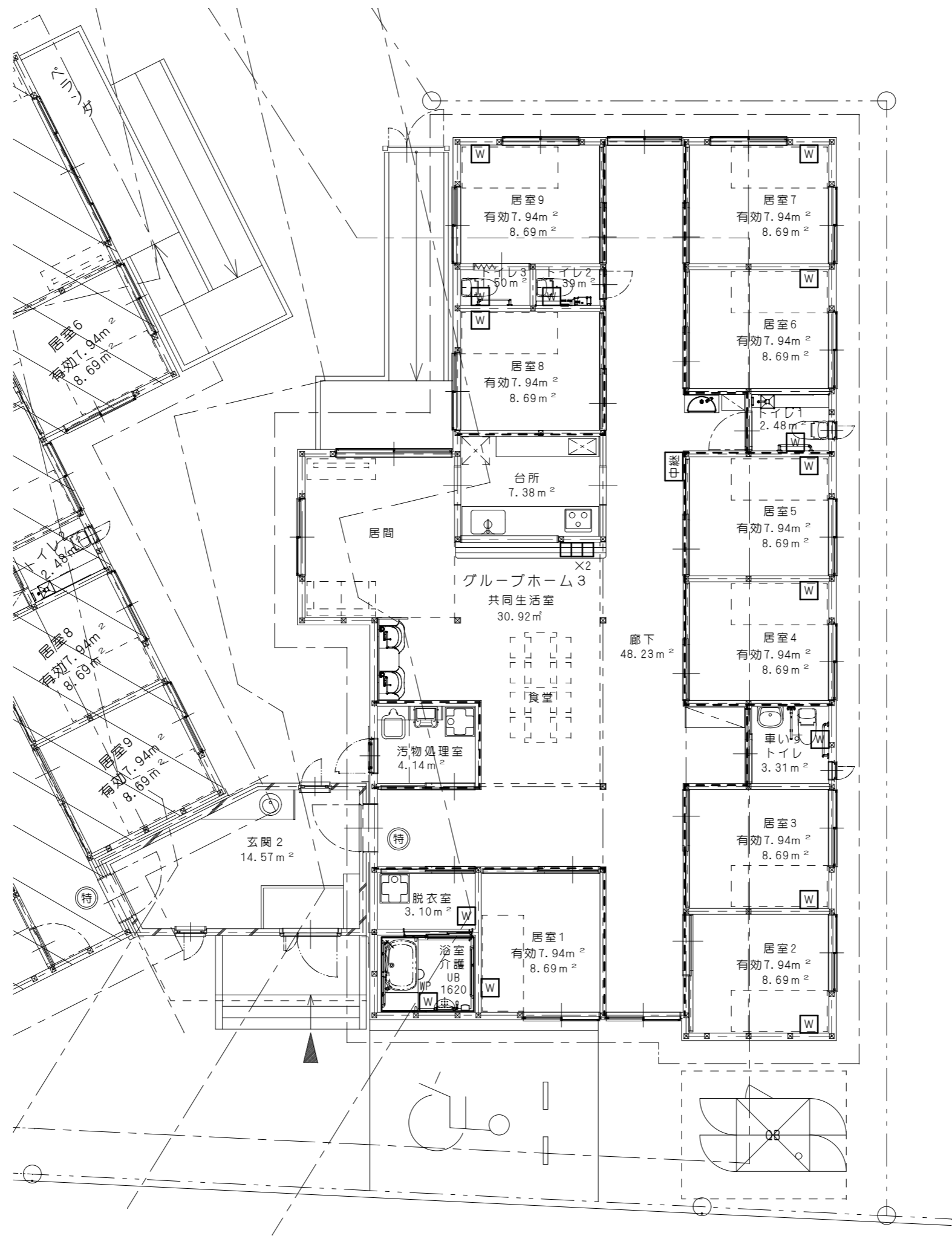
2. 防火区画部分を貫通する配管・ケーブルには防火区画貫通処理材を施すこと。

3. 凡例は系統図参照とする。

A 3 → 5 0 % 印刷

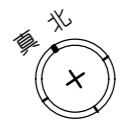
グループホームおひさま 増築工事	R05.04.25
自動火災報知設備平面図 S=1/100	E-19
<b>アズ建築設計事務所</b> 広島県福山市春日町1-6-16 Tel・Fax: 084-941-0616	一級建築士事務所 広島 19-1-158号 一級建築士 第88163号 齊藤孝夫





1. 凡例

	-- ワイヤレスコール携帯受信機 (充電器台共)	(別紙姿図参照)
	-- ワイヤレスコール壁掛発信機	(別紙姿図参照)
	-- ワイヤレスコール浴室発信機	(別紙姿図参照)
	-- ワイヤレス中継器	(別紙姿図参照)



グループホームおひさま 増築工事	R05.02.27
ナースコール設備平面図 S=1/100	E-20







		工 事 区 分						項 目						項 目					
		建 築	空 調	衛 生	電 気	E V	備 考	建 築	空 調	衛 生	電 気	E V	備 考	建 築	空 調	衛 生	電 気	E V	備 考
空 気 調 和 ・ 暖 房 ・ 換 気 設 備	25 地下オイルタンク	イ) 据付け方法は標準図 ・ 施工30 (タンク室有り) ・ 施工31 (タンク室無し) ロ) タンクの保護被覆は ※ エポキシ樹脂 ・ アスファルト ・ モルタル ハ) 遠隔油量指示装置 (電気式で [ ・ 屋内 ・ 屋外] より油量監視用) を取付ける。 ニ) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要 (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) ホ) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事)						躯体関係						9 その他					
	26 フィルターの予備品	・ 機器表特記による。 ○ フィルターの装着枚数の100%を予備品 (枠付) として納める。 但し、ルームエアコン・パッケージ形マルチ屋内機・カセット形全熱交換器・カセット形ファンコイルユニットを除く。						1 設備機器の基礎						2 重ビット及びトレンチのマンホール蓋 機器搬入用フック ビーム 化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上 点検口 (天井・床下・壁) 排煙口等の天井仕上材の取付け 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強 消火器BOX設置工事 厨房用グリストラップ トラフ・ビット類 (蓋を含む) 地下各水槽躯体及び防水・マンホール・タラップ ALC板・壁開口・補強 油サービスタクの防油堤 フリーアクセスフロア内の防水堤					
	27 防 振 基 礎	送風機の防振基礎 防振材 ( ・ ゴム ・ 金属バネ )						2 RC造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部						屋外排水設備・外構					
	28 冷凍機の安全弁等のガス放出口	法令及び施設基準の規定に基づき設置する。						貫通スリーブ 貫通スリーブの補強 開口補強を要する型枠材及び取付け 開口部の補強 開口補強を要しない型枠材及び取付け 貫通孔・開口部の差出し スリーブ・型枠の穴埋め						1 浄化槽の躯体 現場施工形 ユニット形					
	29 蒸気ボイラー安全弁放出口	屋外に放出するよう設ける。						3 S・SRC造 (梁・壁・床) の貫通孔・開口部						2 地下貯油槽 (タンク室を設ける場合) タンク室の躯体 タンク室の乾燥砂充填 タンク室のタンク本体及び配管 タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事					
	30 直置き吸収冷温水機	形式 ・ 煙管式若しくは液管式						開口補強を要する型枠材及び取付け 開口部の補強 貫通スリーブ 貫通孔・開口部の差出し スリーブ・型枠の穴埋め 予備スリーブの穴埋め						3 煙突 煙突 発電機室から煙突までの排気管 煙道接続用スリーブ					
	31 冷 却 塔	・ 標準型 ・ 低騒音型 ・ 超低騒音型 の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。						仕上げ関係						4 雑排水・汚水 屋外雑排水及び屋外汚水排水設備 樹及び樹蓋 化粧マンホール上蓋及び、蓋の仕上					
	32 ベントキャップ、丸形・深形フード	※ 外部取付のベントキャップ及び丸形・深形フードは、防虫網付とする。(給気・排気共)						1 外壁廻り 外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ ウェザーカバー・バンドキャップ 換気扇 換気扇用枠						5 雨水 屋外雨水排水設備 樹及び樹蓋 ルーフトレイン 雨水たて樋及び横引配管					
	1 一 般 事 項	空調、暖房、換気の当該事項を適用する。						2 つりボルト及びインサート						6 その他 駐車場ガソリントラップ					
	2 ダ ク ト	※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト						3 既製間仕切り 切込み及び補強 位置ボックス 衛生器具類・機器類取付用壁補強						電気配線配管 機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地線共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線 機器と付属操作スイッチの渡り配管 機器と操作スイッチの渡り配線 小便器用節水装置への電源供給 排煙口 上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線 電気錠への電源供給					
3 排 煙 口	※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 イ) 形状 ・ 可動羽根 ・ 可動パネル ロ) 開放装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの						4 軽鉄天井・壁下地 補強を要するボードの切込み及び下地の補強 補強を要しないボードの切込み 開口部の差出し リブ天井仕上げ材の器具廻り補修												
4 排 煙 風 量 測 定	建築設備定期検査業務指導書 ( 財 ) 日本建築設備安全センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。						5 湯沸室廻り 流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台 湯沸器 既製品レンジフード換気扇 現場制作SUSフード ミニキッチン本体 ミニキッチン用換気送風機・ダクト ミニキッチン用衛生配管												
1 中 央 監 視 制 御 装 置	・ 有り (構成機能は図示による) ・ 無し						6 便所廻り 洗面カウンター (既製品) 鏡 衛生陶器及び水栓類 身障用手すり・ペーパーホルダー 既製品カウンターと建築部材とのコーキング 衛生陶器廻りのコーキング												
2 電 源 装 置	・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要						7 浴室廻り ユニットバス・ユニットシャワー 既製品浴槽 (風呂釜含む) 浴槽・洗いの排水金物 洗濯機パン												
3 温 度 調 節 器 等	取付け高さは ※ 1300mm イ) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井裏への配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ロ) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項 21.電線類の規格による。(機器、盤類はこれによらずともよい) 用途：①電源線、接地線 ②電気式の調節器 (サーモ・ヒューミ等) 用電線 ③各種検出器 (温度・湿度等)、操作器 (バルブ・ダンパー等) における弱電信号、通信線を除く制御線						8 事務室廻り ドアガラリ及びアンダーカット OAフロア切込み及び補強												
4 計 装 工 事 の 配 線	天共隠す配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。																		
1 下 記 メ ー カ ー と 同 等 品 以 上 と し、 監 督 員 の 承 認 す る 製 作 所																			
メ ー カ ー リ ス ト	鋼 管	JISマーク表示品																	
	銅 管	JISマーク表示品																	
	ビ ニ ル 管	JISマーク表示品																	
	ビニルライニング管	水マーク表示品																	
	パッケージエアコン	ダイキン工業	三菱電機	東芝キャリア	日立アプライアンス	三菱重工													
	ルームエアコン	ダイキン工業	三菱電機	東芝キャリア	日立アプライアンス	三菱重工													
	全熱交換器	三菱電機	パナソニック	ダイキン工業	テラル														
	ポンプ類	テラル	荏原テクノサーブ 川本製作所																
	送風機	テラル	荏原テクノサーブ	ミツヤ送風機	三菱電機	パナソニック													
	換気扇	三菱電機	パナソニック 東芝キャリア																
	クーリングタワー	空研工業	エバラシワフ ダイキン工業 三菱電機																
	ファンコイルユニット	新晃工業	昭和鉄工 前田鉄工																
	製缶類	ホーコス	森松工業 ベルテクノ 中国金属																
	自動制御機器	山武	ジョンソンコントロールズ 東京計器																
制気口・ダンパー	空研工業	協立エアテック																	
ボイラー類	日本サーモエナー	巴商会	昭和鉄工	前田鉄工	三浦工業														
防振架台	クランキ化工特許機器																		

凡 例			
名 称	記 号	施工場所	適 用
給 水 管	----	屋外露出	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) JWWA K 116
		ｺﾝｸﾘｰﾄ内、土間埋設	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD) JWWA K 116
		天井内、床下、空室内 屋外埋設	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742
汚水・雑排水管	=====	床下	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
		ｺﾝｸﾘｰﾄ内、土間埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
		屋外埋設 (樹間)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) JIS K 6741
通 気 管	-----	天井内、床下、空室内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
雨 水 管	=====	ｺﾝｸﾘｰﾄ内、土間埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) JIS K 6741
給 湯 管	----- -----	全般	一般配管用ステンレス鋼管 JIS K 3448
冷 媒 管	-----R-----	全般	保温付被覆鋼管 (メーカー標準品)
ド レ ン 管	-----D-----	全般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741
リモコン配線	-----/-----	全般	EM-C EE-S-1.25-2C
室内外操作線	-----#-----	全般	EM-E EF-1.6-3C (冷媒管と共巻きとする)
空調機リモコン	☐		空調機標準リモコン
防火区画貫通処理	⊗		
エコキュートリモコン	☑		リモコン本体支給し、取付及び配線配管工事は電気設備工事

【注 記】

- 電気容量は参考とする。
- 電気湯沸器の定格加熱能力及び定格消費電力は、JIS C 9219の定格条件及び試験方法による。
- 給湯配管の保温仕様は下記とする。

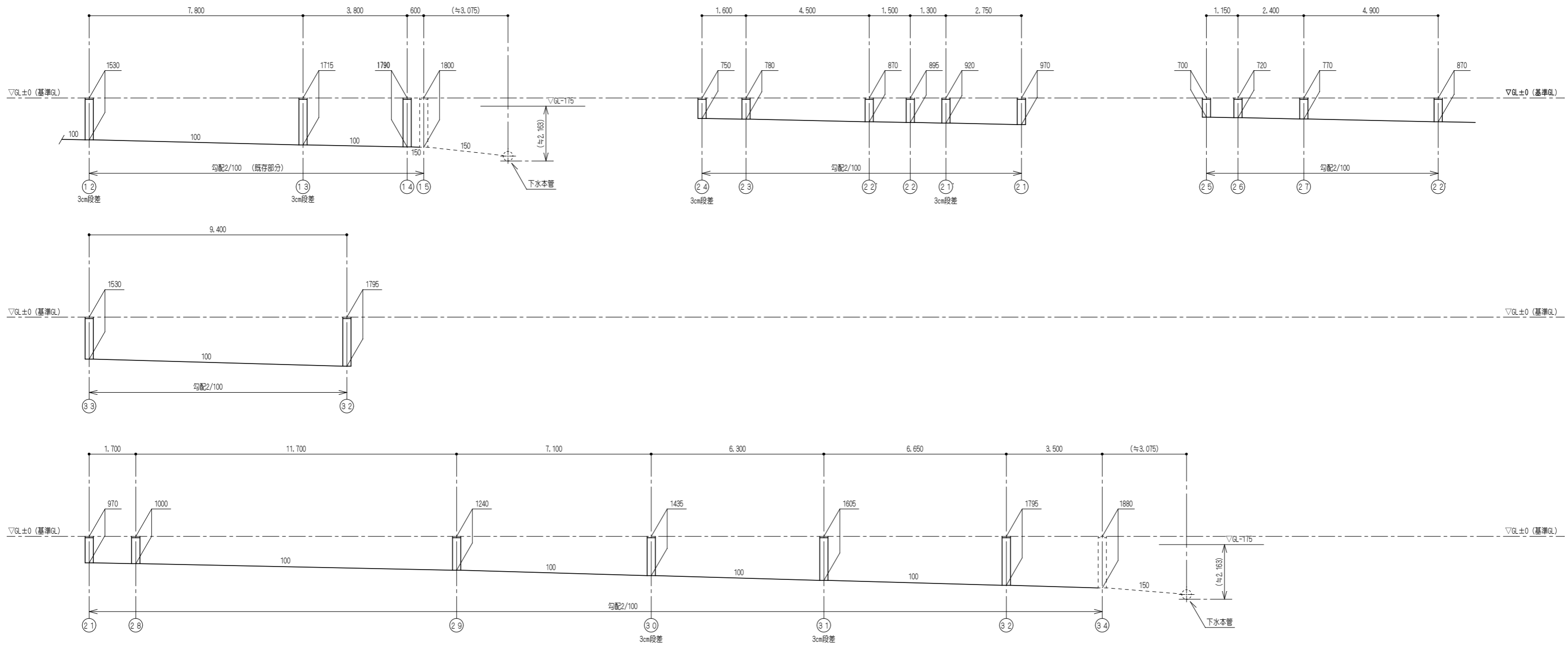
材質：グラスウール

配管径	保温厚
～50φ	： 20mm以上
50～125φ	： 25mm以上
～125φ	： 30mm以上

衛生機器表				
記 号	名 称	仕 様	数 量	備 考
E C Q - 1	電気温水器	形式 自然冷媒CO2ヒートポンプ給湯機 (屋外床置高圧力型) 貯湯量 550L 電源 3φ200V ヒートポンプユニット 中間期加熱能力/消費電力 7.2kW/1.67kW 夏期期加熱能力/消費電力 6.0kW/1.22kW 冬期期加熱能力/消費電力 7.2kW/1.80kW 年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率 4.0 消費電力 制御用：10W、凍結防止ヒーター：36W 最大電流 12A わき上げ温度 約65℃～約85℃ 給湯設定温度 35℃～48℃ (1℃刻み)、50℃、60℃ 最高使用圧力 320kPa 通常使用圧力 280kPa 付属品 リモコン、固定金具、他標準付属品共 電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁	2	コンクリート基礎 150H GE-552SU (参考品番) 2台並列で1系統とする。 (リモコンも2台並列に1個設置) リモコン本体は電気設備工事へ支給し、 取付及び配管配線工事は電気設備工事とする。 熱源機 (室外機) の上下二段設置架台
W H E - 1	電気温水器	形式 台下設置型 (温度調節機能付) 貯湯量 3.0L 電源 1φ100V 消費電力 0.6KW 付属品 フレキシブル管13A (給水×2本、給湯1本)、 膨張水排出装置、他標準付属品共	1	玄関ホール REWF03 (参考型番)

衛生器具一覧表																
品 名	品 番・仕 様	数 量 合 計	グループホーム3										屋 外			
			玄 関 2	脱 衣 室	浴 室	汚 物 処 理 室	車 い す ト イ レ	ト イ レ 1	ト イ レ 2	ト イ レ 3	共 同 生 活 室	台 所		廊 下		
洋風大便器	CS597BCS、SH596BAYR、TCF6543P、YH650	1					1									
洋風大便器	CS597BCS、SH596BAYR、TCF6543P	3						1	1	1						
汚物流し	SKL330HNNP	1				1										
マーブライトカウンター	MLHMH1780、LE33SM4AX2、MX60022PX2、M9P40AX3	1											1			
手洗カウンターセット	ULUHKAN1650AW、ULTHKAN1650AB11NHW	1						1								
手洗カウンターセット	ULRD1LAB1242N1HW	1							1							
		1								1						
洗面器	L250C、TLE26SS1W、TLDP2105J、TL250D	1					1									
洗面器	L525RCU、TK525、TLE26SS1W、TLDP2105J	1	1													
洗濯機パン	PWP640N2W、PJ2009NW	2		1		1										
洗濯用流し	SK507、T131UNL13C、TK40S、T9R、T8C	1				1										
洗面化粧流し	LDD704BYS、LMD520E	1													1	
一般鏡	YM3580AC	1	1													
システムキッチン (1式)	建築工事	1											1			
介護UB (1式)	建築工事	1			1											
前方ボードはねあげ手すり	EWCS720BR、T110D25、T110D16×4	3					1	1		1						
はねあげ手すり	T112HK7R、T110D25	1					1									
インテリアパー1型手すり	TS136GY12	1					1									
化粧鏡	LMHA085G3MLC1A	1										1				
サイドキャビネット	LYHA045NGG1A	2										2				
洗濯用横水栓	TW11R	2		1		1										
散水栓	T28UNH13 散水栓ボックス共 (SUS製)	1														1
便器及び洗面、手洗器等の配管付属品は青錆びなどの発生防止を施す。																

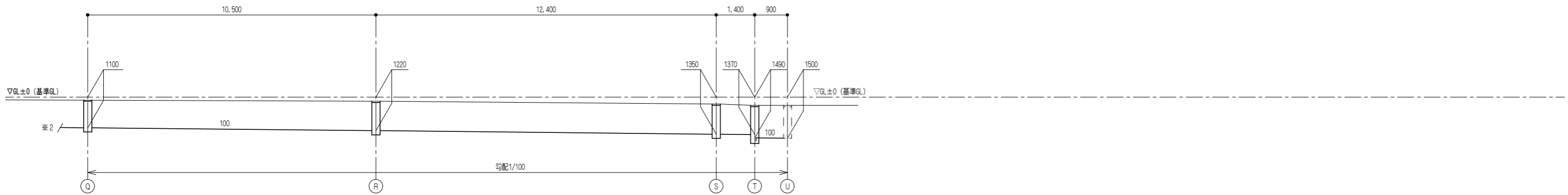
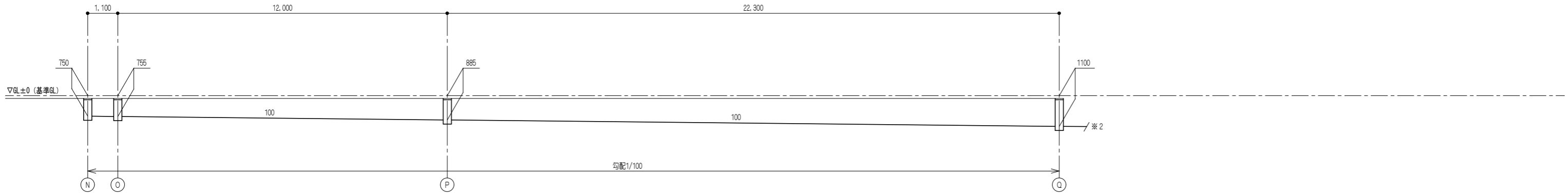
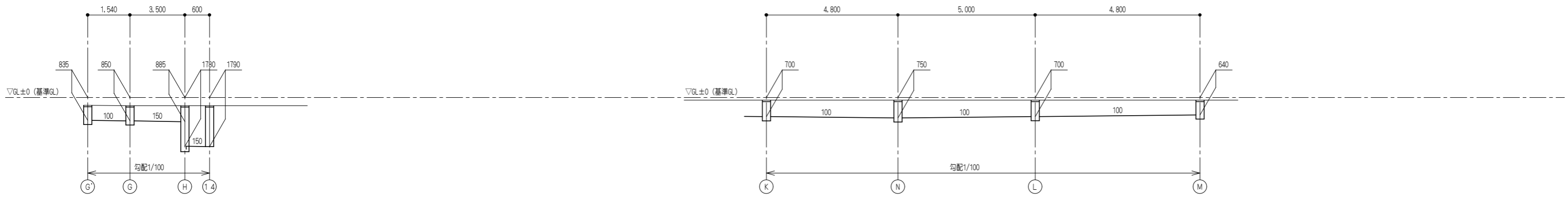
グループホームおひさま 増築工事	R05.02.13
衛生設備 凡例・機器表・器具表	M-05



樹リスト (汚水)						
記号	種類	樹仕様 型番 - 管径 - 樹径	蓋仕様	基準GLから 管底までの 深さ (mm)	地盤計画	備考
1 2	小口径インバート樹	45YS - 100 - 150	鋳鉄製防護蓋 (T-8) 内蓋共	1530	アスファルト	3cm段差付
1 3	小口径インバート樹	WLS - 100 - 150	鋳鉄製防護蓋 (T-8) 内蓋共	1715	アスファルト	3cm段差付
1 4	小口径インバート樹	90Y - 100 - 150	鋳鉄製防護蓋 (T-8) 内蓋共	1790	アスファルト	自在継手による角度調整
1 5	新設公共樹	-	-	1800	アスファルト	別途公共工事
2 4	小口径インバート樹	45YS - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	750	土	3cm段差付
2 3	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	780	土	
2 2'	小口径インバート樹	WLS - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	870	土	自在継手による角度調整
2 2	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	895	土	
2 1'	小口径インバート樹	WLS - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	920	土	3cm段差付 自在継手による角度調整
2 1	小口径インバート樹	90Y - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	970	土	
2 5	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	700	土	
2 6	小口径インバート樹	UT - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	720	土	
2 7	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	770	土	

1. 樹蓋は防臭・防水形にする。

樹リスト (汚水)						
記号	種類	樹仕様 型番 - 管径 - 樹径	蓋仕様	基準GLから 管底までの 深さ (mm)	地盤計画	備考
2 8	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	1000	土	自在継手による角度調整
2 9	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	1240	土	
3 0	小口径インバート樹	45YS - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	1435	土	3cm段差付
3 1	小口径インバート樹	45YS - 100 - 150	塩ビ製蓋 (ワンタッチ式)	1605	土	3cm段差付
3 2	小口径インバート樹	UT - 100 - 150	鋳鉄製防護蓋 (T-8) 内蓋共	1795	コンクリート	
3 3	小口径インバート樹	90L - 100 - 150	鋳鉄製防護蓋 (T-8) 内蓋共	1530	アスファルト	
3 4	新設公共樹	-	-	1880	コンクリート	別途公共工事



樹 リ ス ト (雨水)						
記号	種類	樹 仕 様 樹 径	蓋仕様	基準GLから 管底までの 深さ (mm)	地盤計画	備 考
G'	樹脂製ため樹	350φ	耐圧レジコン製蓋	835	アスファルト	
G	樹脂製ため樹	350φ	耐圧レジコン製蓋	850	アスファルト	
H	樹脂製ため樹 (トラップ)	350φ	耐圧レジコン製蓋	1780	アスファルト	流出管トラップ構造
K	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	700	土	
L	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	700	土	
M	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	640	土	
N	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	750	土	
O	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	755	土	
P	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	885	土	
1. 樹蓋は防臭・防水形にする。						

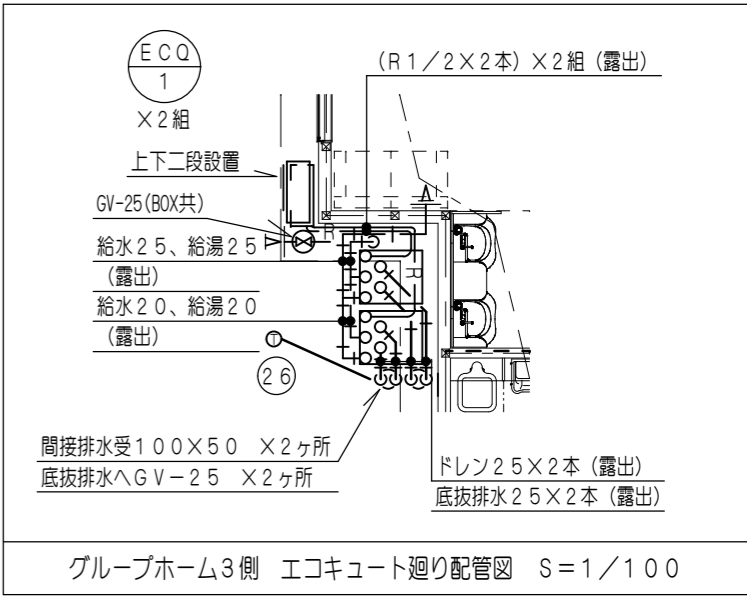
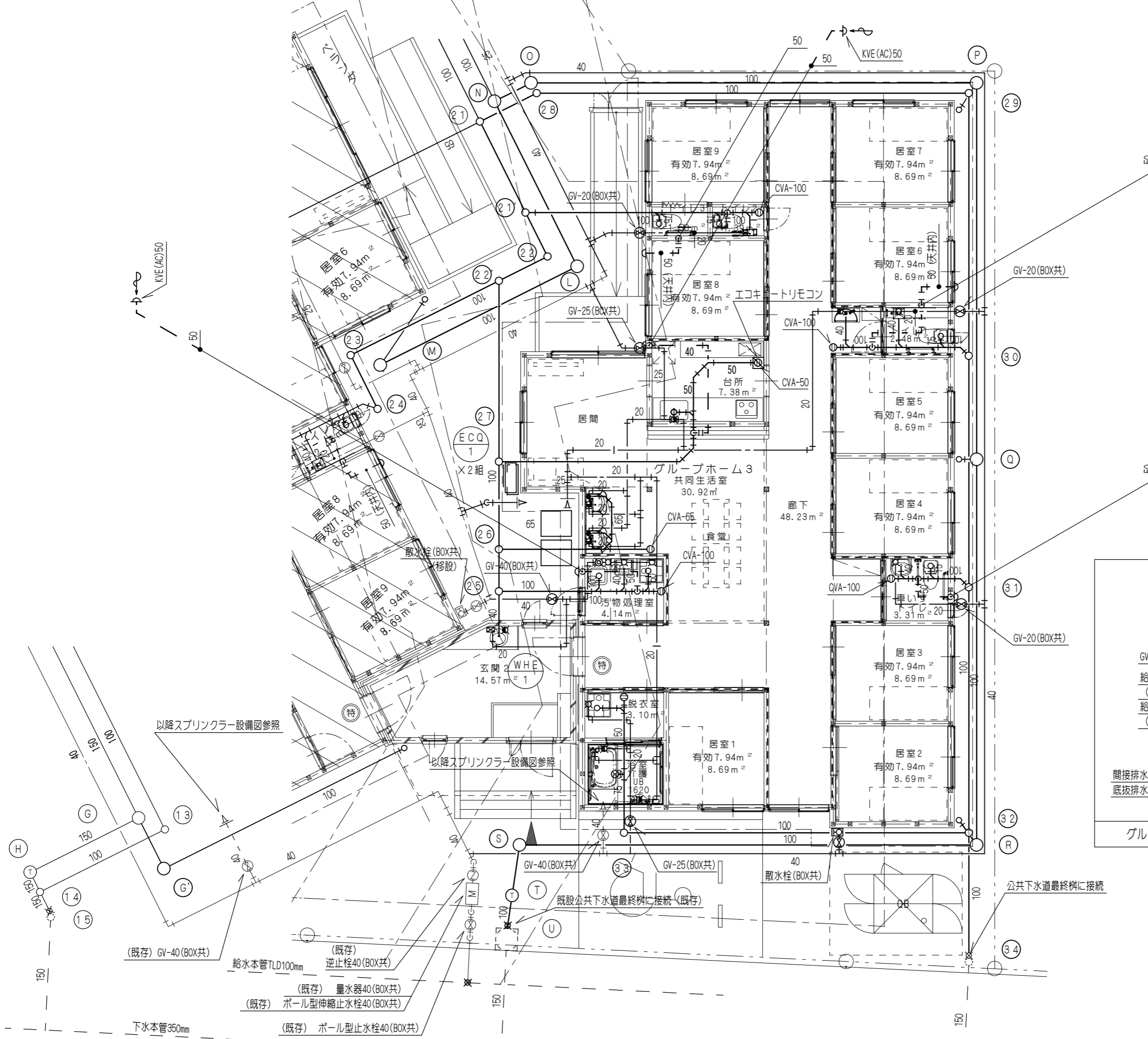
樹 リ ス ト (雨水)						
記号	種類	樹 仕 様 樹 径	蓋仕様	基準GLから 管底までの 深さ (mm)	地盤計画	備 考
Q	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	1100	土	
R	樹脂製ため樹	300φ	レジコン製蓋	1220	コンクリート	
S	樹脂製ため樹	300φ	耐圧レジコン製蓋	1350	アスファルト	
T	樹脂製ため樹 (トラップ)	300φ	耐圧レジコン製蓋	1490	アスファルト	流出管トラップ構造
U	既設公共樹	-	-	1500	アスファルト	既設利用
1. 樹蓋は防臭・防水形にする。						

A3-71%印刷

グループホームおひさま 増築工事	R05.02.28
給排水衛生設備 勾配図・樹リスト (雨水) S=1/100	M-07

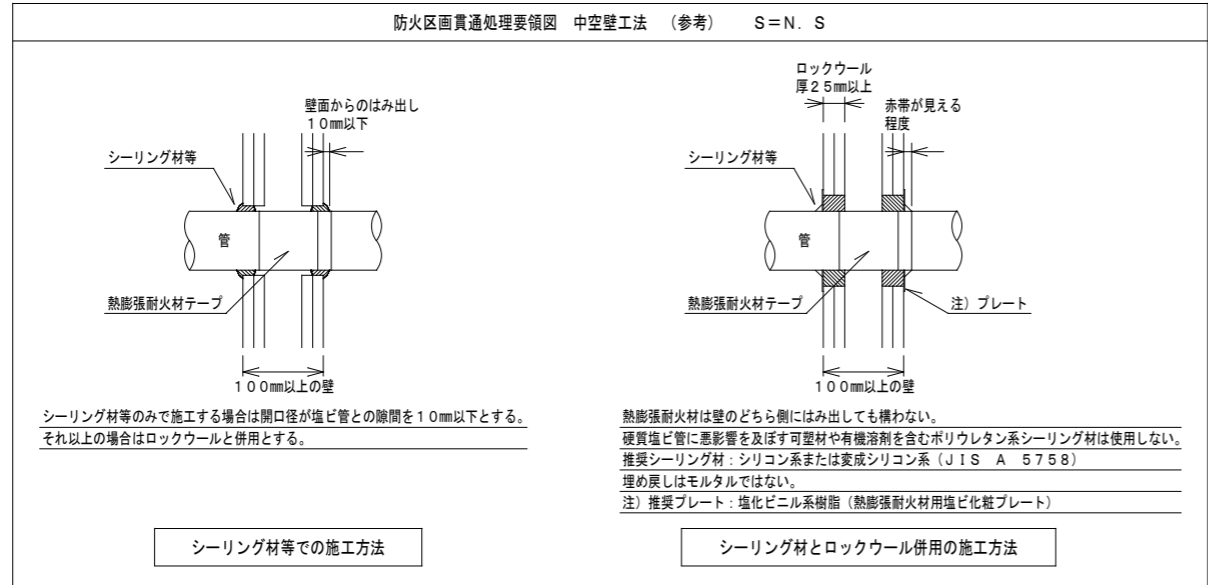
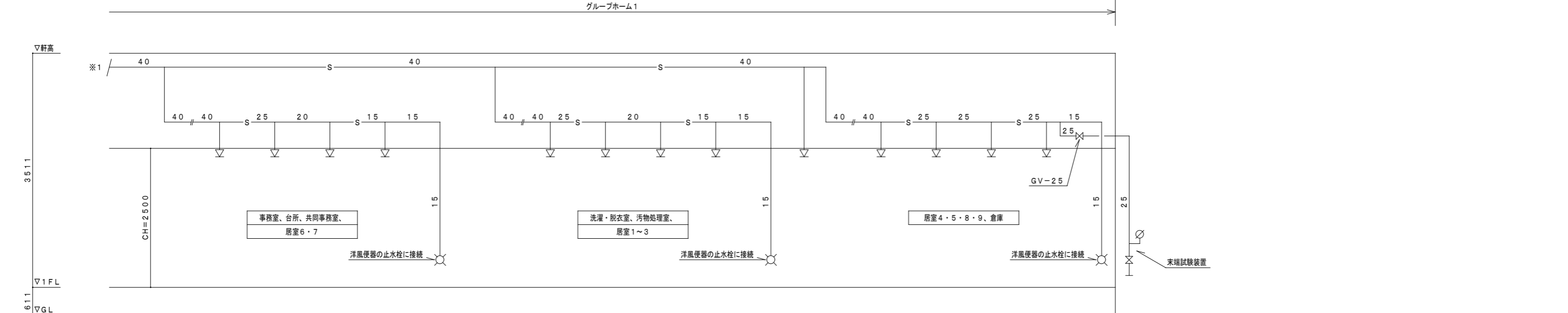
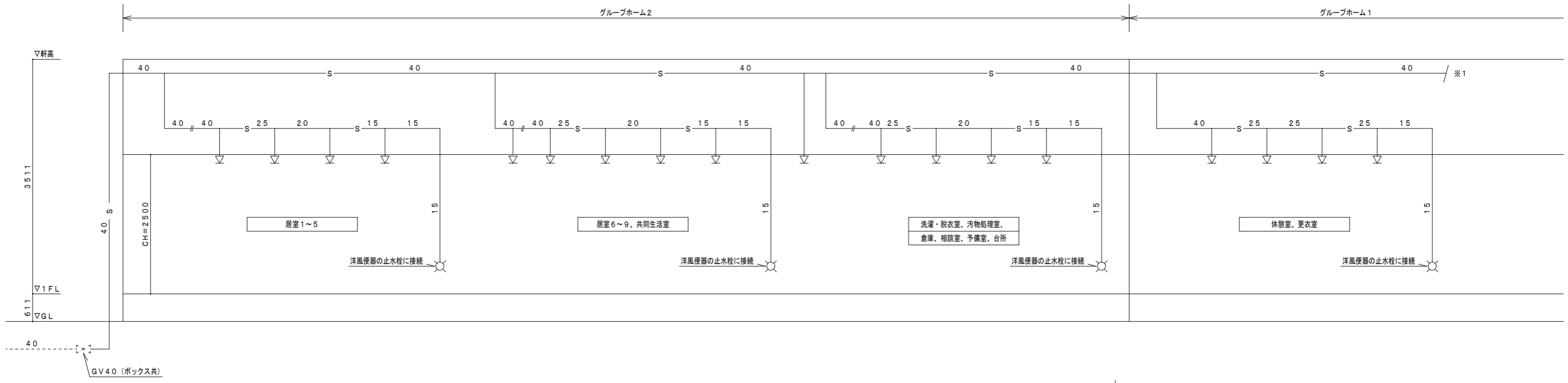






グループホーム3側 エコキュート廻り配管図 S=1/100

グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
給排水衛生設備 平面図 S=1/100	M-09

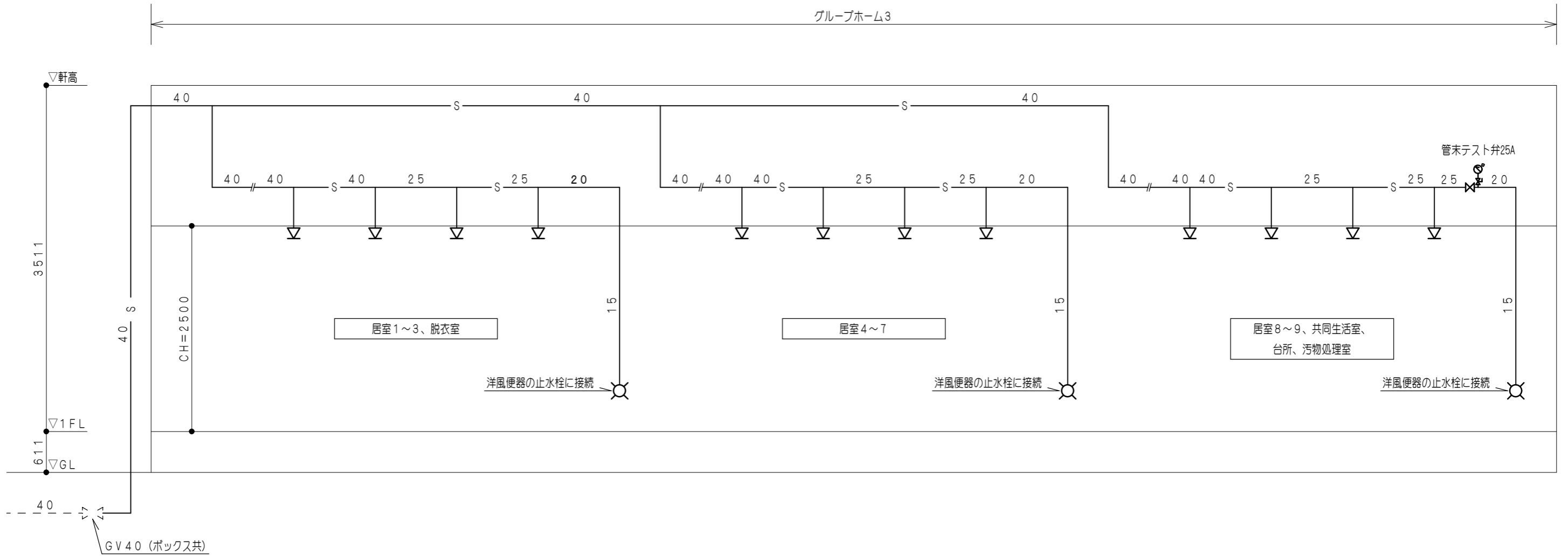


凡例

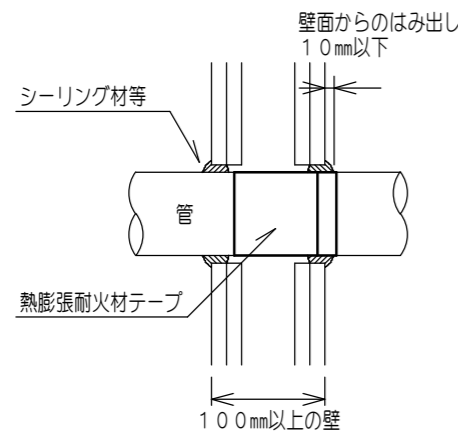
記号	名称	備考
○ ▽	水道連結型SPヘッド	最低放水圧力 0.02MPa 流量 15L/min 標示温度 72℃ (水道法適合品) 水道連結型SPヘッドは必ず、停滯水防止継手(水道法適合品)と組合せて設置すること。
⊠	仕切弁	水道法適合品
⊙	圧力計	水道法適合品
⊕	末端試験装置	
— S —	スプリンクラー配管	天井インベイ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HI-VP) JIS K 6742 地中 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) JWWA K 116 屋内・屋外露出
▨	区画貫通処理	熱膨張耐火材テープ (国土交通大臣認定工法に準ずる。)

スプリンクラー必要水量

設備名	同時個数 N (個)	基本吐出量 (L/min)	定格吐出量 Q (L/min)
スプリンクラー設備	4	15	60

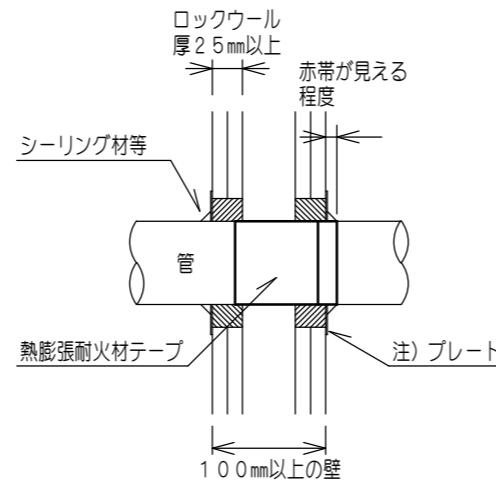


防火区画貫通処理要領図 中空壁工法 (参考) S=N, S



シーリング材等のみで施工する場合は開口径が塩ビ管との隙間を10mm以下とする。  
それ以上の場合はロックウールと併用とする。

シーリング材等での施工方法



熱膨張耐火材は壁のどちら側にはみ出しても構わない。  
硬質塩ビ管に悪影響を及ぼす可塑材や有機溶剤を含むポリウレタン系シーリング材は使用しない。  
推奨シーリング材：シリコン系または変成シリコン系 (JIS A 5758)  
埋め戻しはモルタルではない。  
注) 推奨プレート：塩化ビニル系樹脂 (熱膨張耐火材用塩化ビニルプレート)

シーリング材とロックウール併用の施工方法

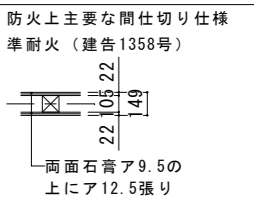
凡例

記号	名称	備考
○ ▽	水道連結型SPヘッド	最低放水圧力 0.02MPa 流量 15L/min 標示温度 72℃ (水道法適合品) 水道連結型SPヘッドは必ず、停滞水防止継手 (水道法適合品) と組合せて設置すること。
✂	仕切弁	水道法適合品
∅	圧力計	
㊦	末端試験装置	
S	スプリンクラー配管	天井インパイ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HI-VP) JIS K 6742 地中 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) JWVA K 116 屋内・屋外露出
■	区画貫通処理	PS060WL-0102 PS060WL-9346

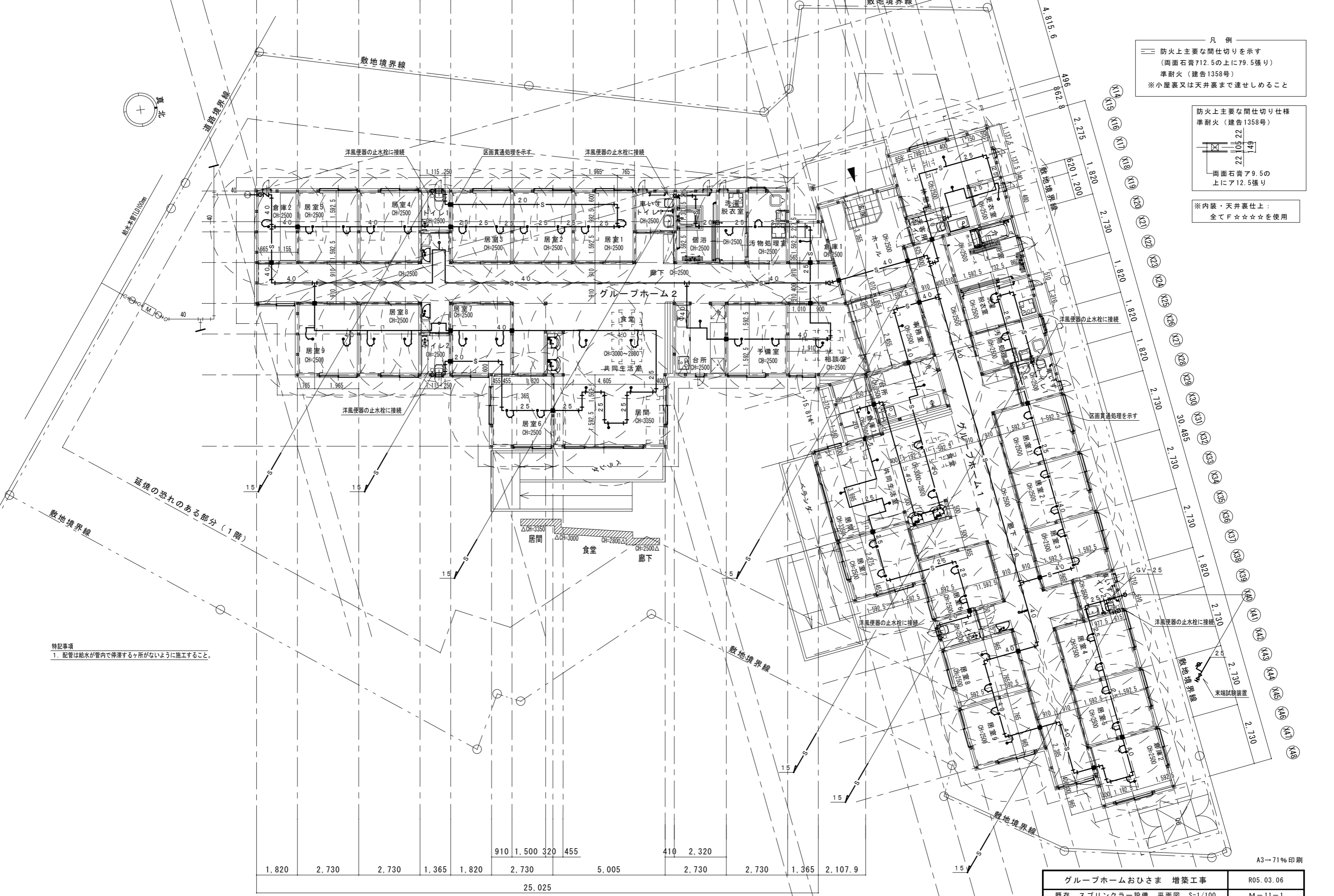
スプリンクラー必要水量

設備名	同時個数 N (個)	基本吐出量 (L/min)	定格吐出量 Q (L/min)
スプリンクラー設備	4	15	60

凡例  
 防火上主要な間仕切りを示す  
 (両面石膏712.5の上に79.5張り)  
 準耐火(建告1358号)  
 ※小屋裏又は天井裏まで達せしめること



※内装・天井裏仕上:  
 全てF☆☆☆☆を使用

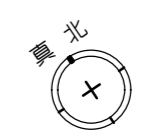
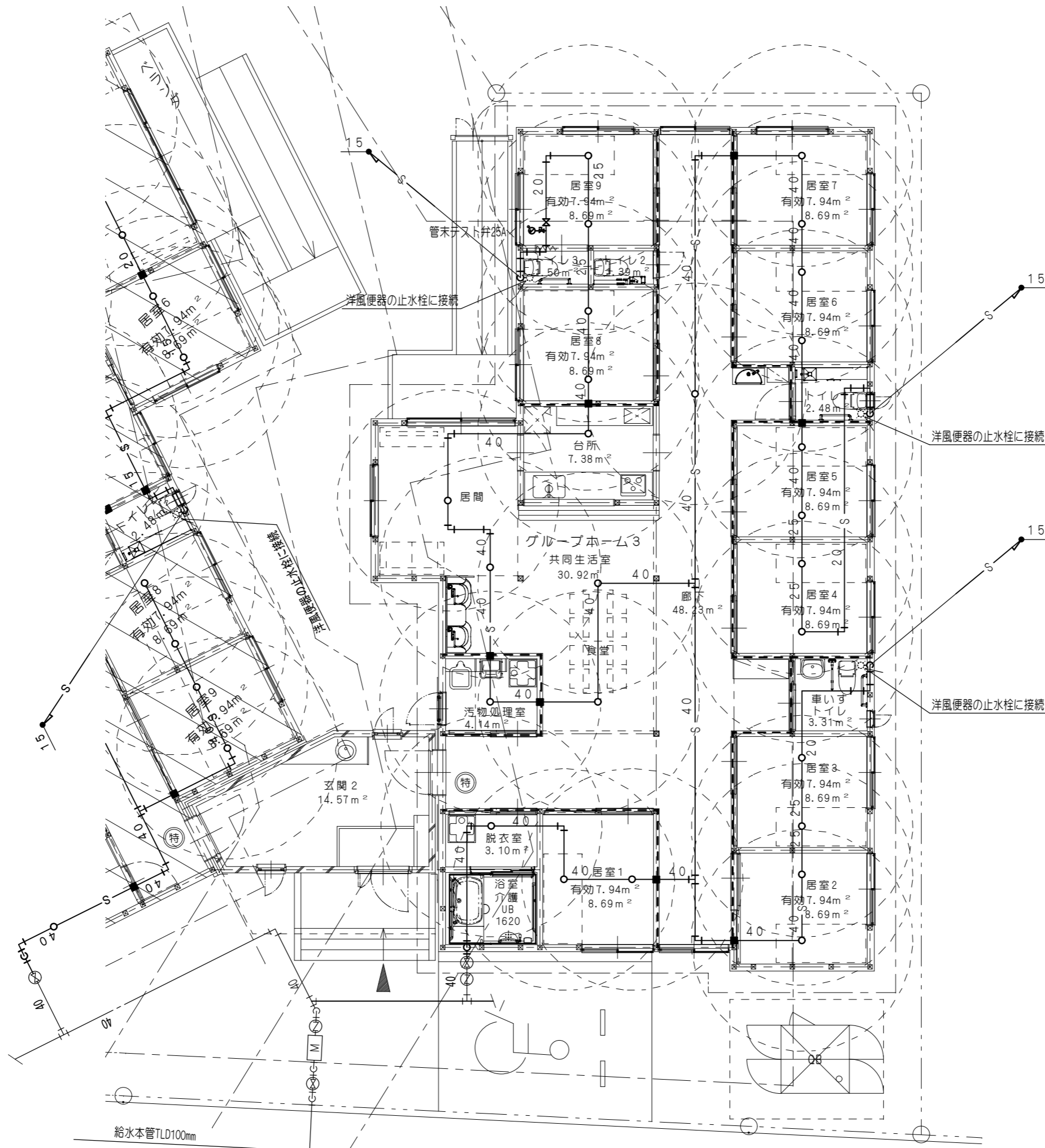


特記事項  
 1. 配管は給水が管内で停滞するヶ所がないように施工すること。

Y0 Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12 Y13 Y14 Y15 Y16 Y17 Y18 Y19 Y20 Y21 Y22 Y23 Y24 Y25 Y26 Y27 Y28 Y29 Y30

グループホームおひさま 増築工事	R05.03.06
既存 スプリンクラー設備 平面図 S=1/100	M-11-1

A3-71%印刷



グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
スプリンクラー設備 平面図 S=1/100	M-11
アズ建築設計事務所 広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616	一級建築士事務所 広島 19-1-1583号 一級建築士 第88163号 斉藤孝夫

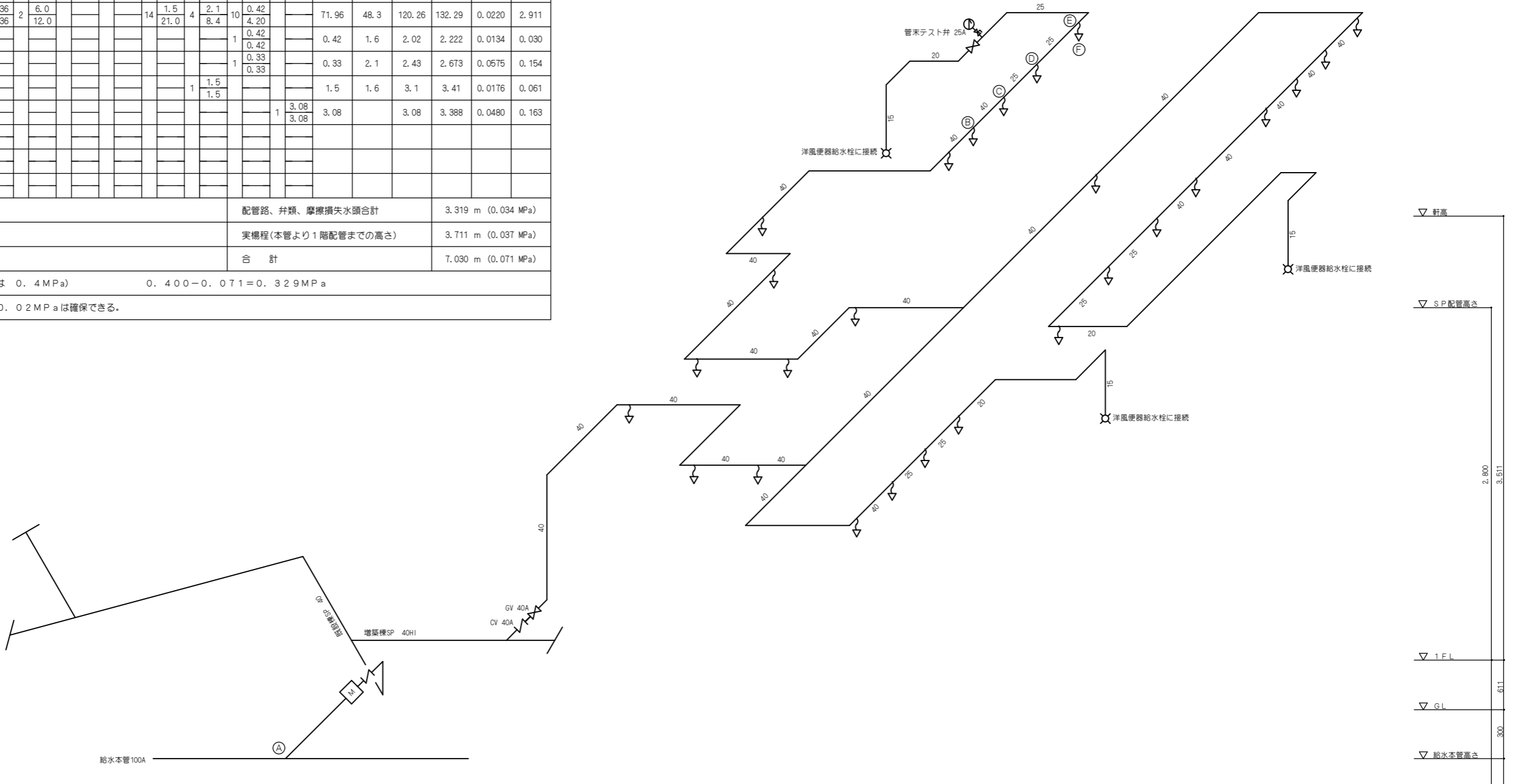
特定施設水道連結型スプリンクラー設備  
 放水量 15L/min 以上 15 X 4 個 = 60L/min  
 最低放水圧力 0.02MPa 以上  
 同時開放個数 最大 4 個

区 間	管サイズ	水 量	数 量
A ~ B	40A	60L/min	48.3m
B ~ C	40A	45L/min	1.6m
C ~ D	25A	30L/min	2.1m
D ~ E	25A	15L/min	1.6m

凡 例

記 号	名 称	備 考
▽	閉鎖型SPヘッド(水道連結型)	1種72度・96度(R=2.6)
▽	閉鎖型SPヘッド(水道連結型)	集熱板付1種96度(R=2.6)
※	必ず停滞水防止継手(水道法適合品)と組み合わせて使う事。	
~	巻き出しフレキ	
◇	仕切弁	水道法適合品
▽	逆止弁	水道法適合品
○	圧力計	
⊕	末端試験弁	
—SP—	スプリンクラー用配管(一般)	(HIVP) JIS-K-6742
—SP—	スプリンクラー用配管(埋設)	(HIVP) JIS-K-6742
— — —	給水管	(HIVP) JIS-K-6742

建築名称		グループホームおひさま増築工事		設備		特定施設水道連結スプリンクラー 福山市水道直圧計算書																						
区間	(L/min)	管径 (mm)	分岐		メーター		スリーヴ		逆止弁		異径接合		エルボ90°(肘)		エルボ90°		チーズ(分岐)		チーズ(直流)		フレキ継手		継手 相当管長 (m)	直管長 (m)	管長計 (m)	総管長 (10%アップ) (m)	損失水頭 係数	損失水頭 (m)
			個数	計	個数	計	個数	計	個数	計	個数	計	個数	計	個数	計	個数	計	個数	計	個数	計						
A~B	60	40	1	26.0	1	0.36	1	0.36	2	6.0			14	1.5	4	2.1	10	0.42					71.96	48.3	120.26	132.29	0.0220	2.911
B~C	45	40															1	0.42					0.42	1.6	2.02	2.222	0.0134	0.030
C~D	30	25															1	0.33					0.33	2.1	2.43	2.673	0.0575	0.154
D~E	15	25													1	1.5							1.5	1.6	3.1	3.41	0.0176	0.061
E~F	15	20															1	3.08					3.08		3.08	3.388	0.0480	0.163
配管路、弁類、摩擦損失水頭合計																											3.319 m (0.034 MPa)	
実揚程(本管より1階配管までの高さ)																											3.711 m (0.037 MPa)	
合 計																											7.030 m (0.071 MPa)	
本管よりSPヘッドF点までの残圧(本管水圧は 0.4MPa)																											0.400 - 0.071 = 0.329 MPa	
※ スプリンクラーヘッドまでの必要最低圧力0.02MPaは確保できる。																												





空調設備 機器表							換気設備 機器表						
記号	名称	仕様	電気容量	台数	設置場所	備考	記号	名称	仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
PAC-1	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機 (インバータ式) (店舗用エアコン)	形式 カセット形(4方向吹) 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 付属品 リモコン、化粧パネル、防振吊金具(室内機)、 予備フィルター コンクリート基礎(200H)、ゴムマット敷10t	電源 3φ200V 圧縮機 1.7kW 送風機 50W(屋内) 60W(屋外) 消費電力 2.1kW(冷房) 2.05kW(暖房)	1	GH:2 共同生活室	S2RC80BCV	FE-1 24時間換気	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 150m <sup>3</sup> /h×5Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)150φ SUS製深形フード(防虫網付)FD付150φ	電源 1φ100V 消費電力 6.4W	3	GH:1 汚物処理室(24H) GH:2 汚物処理室(24H) GH:1 介護浴室(一般)	V-12PPS AT-150FNS5-W AT-150FNSD5-W
PAC-2	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機 (インバータ式) (店舗用エアコン)	形式 カセット形(4方向吹) 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW 付属品 リモコン、化粧パネル、防振吊金具(室内機)、 予備フィルター コンクリート基礎(200H)、ゴムマット敷10t	電源 3φ200V 圧縮機 1.3kW 送風機 50W(屋内) 40W(屋外) 消費電力 1.38kW(冷房) 1.4kW(暖房)	1	GH:1 共同生活室	S2RC63BCV	FE-2	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 110m <sup>3</sup> /h×5Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)FD付150φ	電源 1φ100V 消費電力 6.5W	1	GH:2 個浴	V-12PDS7 AT-150FNSD5-W
RAC-1	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機 (インバータ式) (ルームエアコン)	形式 壁掛形 冷房能力 3.6kW 暖房能力 4.8kW 付属品 ワイヤレスリモコン コンクリート基礎(200H)、ゴムマット敷10t	電源 1φ200V 圧縮機 1.2kW 消費電力 1.065kW(冷房) 1.1kW(暖房)	1	GH:1 洗濯・脱衣室	S36WCKS-W	FE-3 24時間換気	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 80m <sup>3</sup> /h×15Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 4.5W	3	GH:1 車いすトイレ1 GH:1 車いすトイレ2 GH:2 車いすトイレ1	V-08PPX7 AT-150FNS5-W
RAC-2	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機 (インバータ式) (ルームエアコン)	形式 壁掛形 冷房能力 2.5kW 暖房能力 2.8kW 付属品 ワイヤレスリモコン コンクリート基礎(200H)、ゴムマット敷10t	電源 1φ100V 圧縮機 0.65kW 消費電力 0.5kW(冷房) 0.63kW(暖房)	3	GH:1 事務室、休憩室、 GH:1 相談室	S25XTMXS-W	FE-4	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 70m <sup>3</sup> /h×10Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 4.5W	1	GH:1 洗濯・脱衣室	V-08PPX7 AT-100FNS5-W
RAC-3	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機 (インバータ式) (ルームエアコン)	形式 壁掛形 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.8kW 付属品 ワイヤレスリモコン コンクリート基礎(200H)、ゴムマット敷10t	電源 1φ100V 圧縮機 0.6kW 消費電力 0.425kW(冷房) 0.53kW(暖房)	19	GH:1 居室1~9 GH:1 倉庫 GH:2 居室1~9	S22TMXS-W	FE-5 24時間換気	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 60m <sup>3</sup> /h×10Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 2W	3	GH:1 トイレ GH:2 トイレ1 GH:2 トイレ2	V-08PX7 AT-100FNS5-W
RAC-4	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機 (インバータ式) (ルームエアコン)	形式 壁掛形 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.7kW 付属品 ワイヤレスリモコン 室外機転倒防止金具(SUS製) コンクリート基礎(200H)、ゴムマット敷10t	電源 1φ100V 圧縮機 1.5kW 消費電力 2.1kW(冷房) 1.79kW(暖房)	2	GH:1 廊下 GH:2 廊下	S56WTCX-W	FE-6	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 50m <sup>3</sup> /h×5Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 2W	1	GH:2 洗濯・脱衣室	V-08PX7 AT-100FNS5-W
1. パッケージエアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。 2. 室内外操作線及び電源線は本工事とする。 3. リモコンスイッチ取付及び配線は本工事とする。(店舗用エアコンはワイヤードリモコン、ルームエアコンはワイヤレスリモコン) 4. 冷媒管の屋外露出はステンレスラッキング仕上。 5. ドレン管の天井内GW+アルミガラスクロス、屋外露出SOP2回塗り仕上。							FE-7 24時間換気	排気ファン	形式 バイブ用ファン 風量 30m <sup>3</sup> /h×5Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 2W	1	GH:1 更衣室	V-08PX7 AT-100FNS5-W

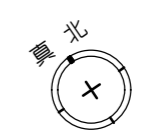
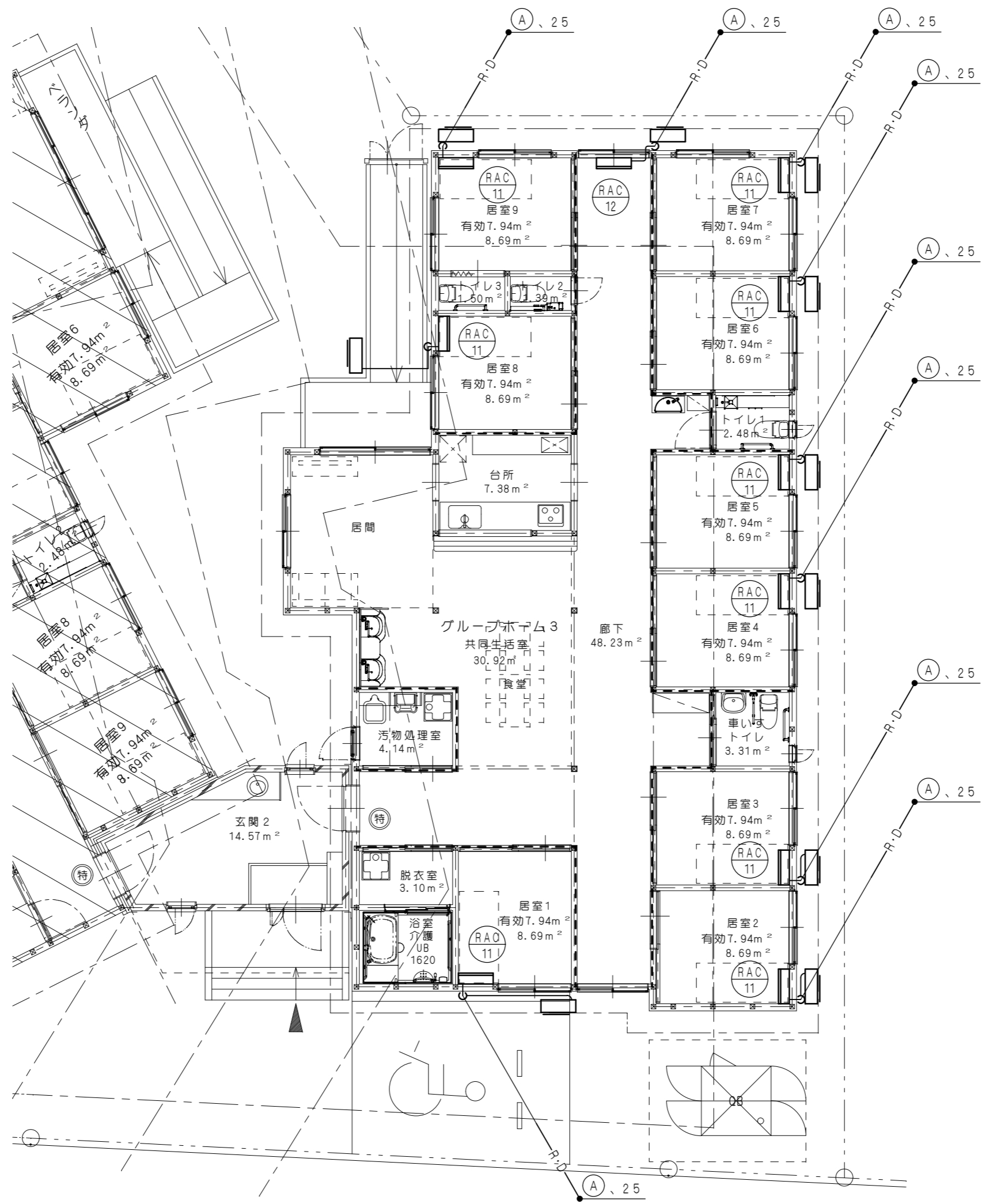
換気設備 機器表						
記号	名称	仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
VF-4	レンジフード	形式 レンジフード 風量 170m <sup>3</sup> /h×25Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)150φ	電源 1φ100V 消費電力 15.5W	2	GH:1 台所 GH:2 台所	建築工事
VF-5	排気ファン	形式 天井扇(低騒音形、金属グリル製) 風量 40m <sup>3</sup> /h×25Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 9.3W	1	GH:1 休憩室 (ミニキッチン)	建築工事
	外気取入口 (外壁)	給気口 自然給気ユニット(壁取付)100φ フィルター付、過給気防止機能付(風圧シャッター付) フード 自然給気ユニット専用防音フード SUS製深形フード(防虫網付)100φ		26	GH:1、2 居室1~9 GH:1、2 洗濯・脱衣室 GH:1、2 共同生活室 GH:1 休憩室、倉庫2 GH:2 相談室、予備室	P-13WQU AT-100SNS5B
	外気取入口 (天井)	給気口 自然給気ユニット(天井取付)100φ フィルター付、過給気防止機能付(風圧シャッター付) フード 自然給気ユニット専用防音フード SUS製深形フード(防虫網付)100φ		1	GH:1 事務室	P-13TQU2 AT-100SNS5B
	空間通気口	通気口 通気ユニット(壁取付)100φ シャッター開閉面積調整		2	GH:1 洗濯・脱衣室 GH:2 洗濯・脱衣室	P-13TU2

VF-1	排気ファン	形式 天井扇(低騒音形) 風量 220m <sup>3</sup> /h×25Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)150φ	電源 1φ100V 消費電力 29.5W	1	GH:2 共同生活室	VD-18ZC10 AT-150FNS5-W
VF-2	排気ファン	形式 天井扇(低騒音形) 風量 180m <sup>3</sup> /h×25Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)150φ	電源 1φ100V 消費電力 23.5W	1	GH:2 共同生活室	VD-17ZSC10 AT-150FNS5-W
VF-3	排気ファン	形式 天井扇(低騒音形) 風量 50m <sup>3</sup> /h×25Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	電源 1φ100V 消費電力 9.3W	3	GH:1 事務室 GH:1 来客用トイレ GH:2 相談室	VD-10ZC11 AT-100FNS5-W
特記事項 1. 排気ファン、一般換気扇のスイッチの本体、取付、配線配管は電気工事とする。 2. 24時間換気機器のスイッチには「24時間換気」と表示し、通常の換気量で運転時間のみ運転させる。						



空調設備 機器表						
記号	名称	仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
PAC-11	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (インバータ式) (店舗用エアコン)	形式 カセット形(4方向吹) 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 付属品 リモコン、化粧パネル、防振吊金具(室内機)、 予備フィルター コンクリート床基礎(200H)、コンクリート敷10t	電源 3φ200V 圧縮機 1.7kW 送風機 50W(屋内) 60W(屋外) 消費電力 2.1kW(冷房) 2.05kW(暖房)	1	GH:3 共同生活室	SZRC80BYV
RAC-11	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (インバータ式) (ルームエアコン)	形式 壁掛形 冷房能力 2.2kW 暖房能力 2.2kW 付属品 ワイヤレスリモコン コンクリート床基礎(200H)、コンクリート敷10t	電源 1φ100V 圧縮機 0.6kW 消費電力 0.54kW(冷房) 0.42kW(暖房)	9	GH:3 居室1~9	S223ATMS-W
RAC-12	空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調和機 (インバータ式) (ルームエアコン)	形式 壁掛形 冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.7kW 付属品 ワイヤレスリモコン コンクリート床基礎(200H)、コンクリート敷10t	電源 1φ200V 圧縮機 1.7kW 消費電力 2.07kW(冷房) 1.85kW(暖房)	1	GH:3 廊下	S563ATCP-W
1. パッケージエアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。 2. 室内外操作線及び電源線は本工事とする。 3. リモコンスイッチ取付及び配線は本工事とする。(店舗用エアコンはワイヤードリモコン、ルームエアコンはワイヤレスリモコン) 4. 冷媒管の屋外露出はステンレスラッキング仕上。 5. ドレン管の天井内GW+アルミガラスクロス、屋外露出SOP2回塗り仕上。						

換気設備 機器表						
記号	名称	仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
FE-1 24時間換気	排気ファン	形式 パイプ用ファン	電源 1φ100V	2	GH:3 汚物処理室	V-08PPX8
		風量 80m <sup>3</sup> /hX15Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	消費電力 4.5W		GH:3 車いすトイレ	
FE-2 24時間換気	排気ファン	形式 パイプ用ファン	電源 1φ100V	2	GH:3 トイレ1	V-08PX8
		風量 60m <sup>3</sup> /hX10Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	消費電力 2W		GH:3 トイレ3	
VF-1	排気ファン	形式 天井扇(低騒音形)	電源 1φ100V	1	GH:3 共同生活室	VD-18ZC13
		風量 220m <sup>3</sup> /hX25Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)FD付150φ	消費電力 29.5W			
VF-2 24時間換気	排気ファン	形式 天井扇(低騒音形)	電源 1φ100V	2	GH:3 脱衣室	VD-10ZC13
		風量 50m <sup>3</sup> /hX25Pa ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	消費電力 9.3W		GH:3 トイレ2	
VF-3	レンジフード	形式 レンジフード	電源 1φ100V	1	GH:3 台所	建築工事
		風量 170m <sup>3</sup> /hX25Pa ダクト径 150φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)150φ	消費電力 15.5W			
VF-4	浴室換気暖房乾燥機	形式 天井扇(低騒音形)	電源 1φ200V	1	GH:3 介護UB	建築工事 TYB3121GA
		風量 ダクト径 100φ 付属品 SUS製深形フード(防虫網付)100φ	消費電力 2070W			
	外気取入口 (外壁)	給気口 自然給気ユニット(壁取付)100φ フィルター付、過給気防止機能付(風圧シャッター付)		10	GH:3 居室1~9	P-13WQU
		フード 自然給気ユニット専用防音フード SUS製深形フード(防虫網付)100φ		10	GH:3 共同生活室	AT-100SNS5B
特記事項 1. 排気ファン、一般換気扇のスイッチの本体、取付、配線配管は電気工事とする。 2. 24時間換気機器のスイッチには「24時間換気」と表示し、通常の換気量で運営時間のみ運転させる。 3. 南側フード(3ヶ所)は、外壁同色等の焼付塗装とする。						

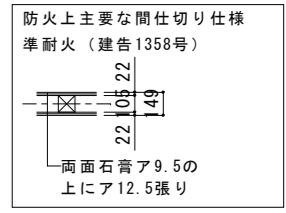


グループホームおひさま 増築工事	R05.02.20
空調設備 平面図 S=1/100	M-14
 <b>アズ建築設計事務所</b> <small>広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax:084-941-0616</small>	<small>一級建築士事務所 広島 19-1-1583号  一級建築士 第88163号 斉藤孝夫</small>

X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21 X22 X23 X24 X25 X26 X27 X28 X29 X30 X31 X32 X33 X34 X35 X36 X37 X38 X39 X40 X41 X42 X43 X44 X45 X46 X47 X48



凡例  
 防火上主要な間仕切りを示す  
 (両面石膏712.5の上に79.5張り)  
 準耐火 (建告1358号)  
 ※小屋裏又は天井裏まで達せしめること



※内装・天井裏仕上:  
 全てF☆☆☆☆を使用

Y44  
Y43  
Y42  
Y41  
Y40  
Y39  
Y38  
Y37  
Y36  
Y35  
Y34  
Y33  
Y32  
Y31

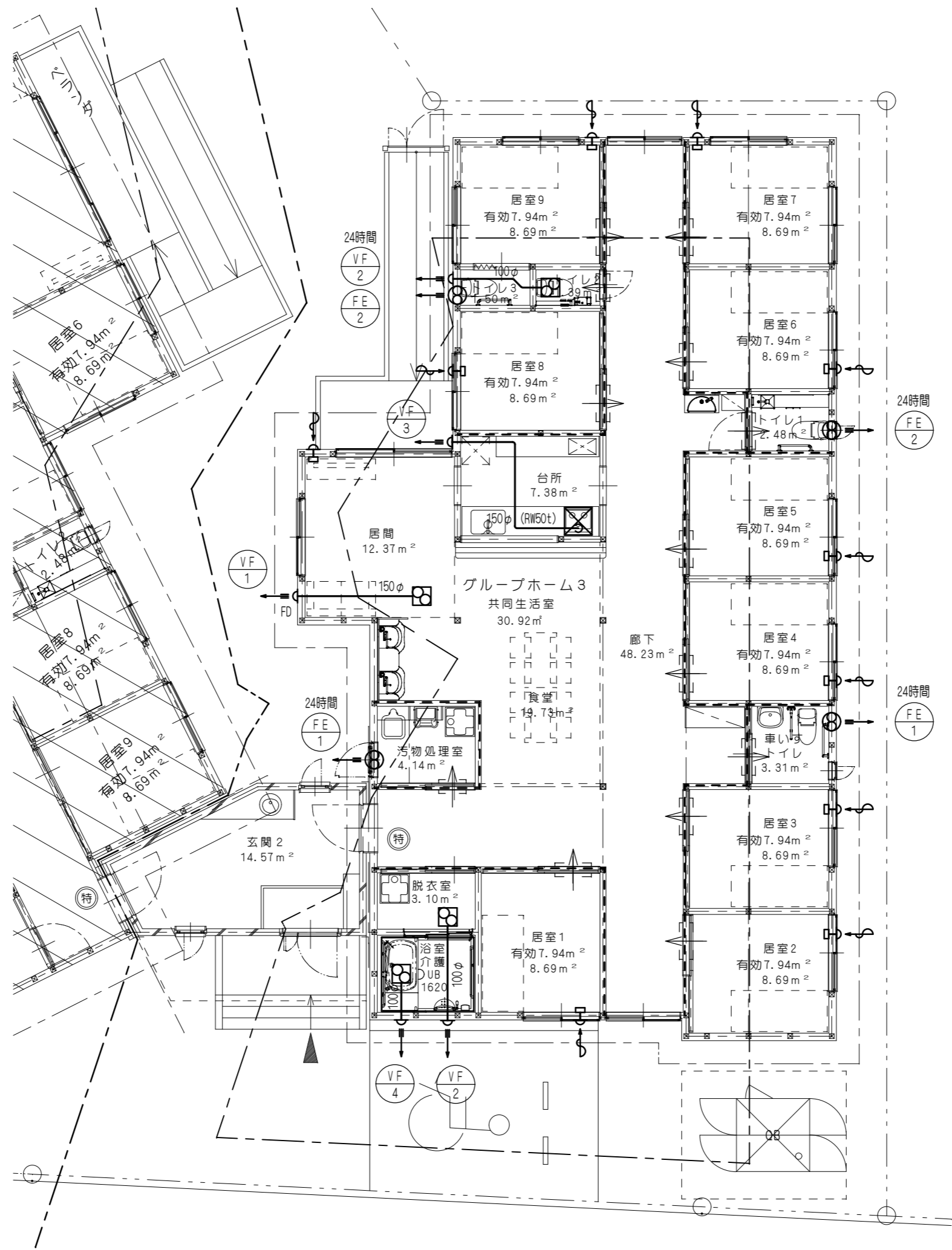
Y44  
Y43  
Y42  
Y41  
Y40  
Y39  
Y38  
Y37  
Y36  
Y35  
Y34

凡例	
	外気取入口 (外壁取付) (外壁: 深形フード+内壁: 自然給気ユニット) 100φ
	取付高さ (居室: FL+800H, 居室以外: FL+2,000H)
	外気取入口 (天井取付) (外壁: 深形フード+天井: 自然給気ユニット) 100φ
	室間通気口 (内壁取付) (通気ユニット)、取付高さ: FL+2,000H 100φ
	建具ガラリ若しくはアンダーカット (建築工事)



A3-71%印刷

グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
既存 換気設備 平面図 S=1/120	M-15-1
	一級建築士事務所 広島 19-1-1588号 一級建築士 第88163号 斉藤孝夫
広島県福山市春日町1-8-16 Tel: Fax: 084-941-0616	



凡例	
	外気取入口 (外壁取付) (外壁: 深形フード+内壁: 自然給気ユニット) 100φ 取付高さ (居室: FL+800H、居室以外: FL+2,000H)
	外気取入口 (天井取付) (外壁: 深形フード+天井: 自然給気ユニット) 100φ
	室間通気口 (内壁取付) (通気ユニット)、取付高さ: FL+2,000H 100φ
	建具ガタリ若しくはアンダーカット (建築工事)



グループホームおひさま 増築工事	R05.05.12
換気設備 平面図 S=1/100	M-15
アズ建築設計事務所 広島県福山市春日町1-8-16 Tel・Fax: 084-941-0616	一級建築士事務所 広島 19-1-1583号 一級建築士 第88163号 斉藤孝夫